

ひたちなか市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和8年3月
ひたちなか市

目次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 回収の結果	3
4 報告書の見方	3
第2章 対象者について.....	5
1 調査対象者の概要と回収結果	7
2 回答者の概要	9
第3章 設問ごとの分析.....	15
問1 あなたのご家族や生活状況について.....	17
問2 からだを動かすことについて.....	21
問3 食べることについて.....	32
問4 毎日の生活について.....	40
問5 地域での活動について.....	60
問6 就労について.....	81
問7 たすけあいについて.....	82
問8 健康について.....	85
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	91
問10 在宅での医療や介護について.....	97
問11 地域包括支援センター（おとしより相談センター）について.....	105
第4章 生活機能評価等に関するリスク分析.....	107
1 生活機能評価等に関するリスク分析	109
2 運動器の機能低下	110
3 転倒リスク	112
4 低栄養の傾向	114
5 口腔機能の低下	116
6 閉じこもり傾向	118
7 認知機能の低下	120
8 うつ傾向	122
9 IADLの低下	124
第5章 日常生活圏域に関する分析.....	127
1 本市における日常生活圏域について	129
2 日常生活圏域についての分析	130
3 生活機能評価等に関する分析	146
第6章 クロス集計による分析.....	147
1 総合事業についての分析	149

2	認知症についての分析	160
3	在宅医療・在宅介護についての分析	164
4	地域包括支援センター（おとしより相談センター）についての分析	169
5	最寄りのバス停までの移動の可否についての分析	170
6	家族構成（1人暮らし）についての分析	177
7	有償ボランティアについての分析	180
第7章	調査票.....	181

第1章 調査の概要

1 調査の目的

ひたちなか市に在住する高齢者の日常生活の状況や健康状態等を把握し、今後の高齢者保健福祉施策に活かすために調査を行いました。

2 調査の設計

調査地域	ひたちなか市
調査対象	令和7年10月1日現在でひたちなか市にお住まいの65歳以上の方で、要介護認定を受けられていない方。
調査方法	郵送による配付・回収
調査期間	令和7年12月10日～令和8年1月9日
抽出方法	無作為抽出

3 回収の結果

発送者数	有効回収数	有効回収率
6,400人	4,280人	66.9%

4 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数(計)を基数とした百分率(%)で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- グラフ中の(計:〇〇)という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。

第1章 調査の概要

第2章 対象者について

1 調査対象者の概要と回収結果

(1)性別の回収結果

●性別では、男性66.8%、女性65.1%となっています。

項目		調査対象者数	回答者数	回収率
全体		6,400	4,280	66.9%
性別	男性	3,200	2,136	66.8%
	女性	3,200	2,082	65.1%
	無回答	—	62	—

(2)年齢階級別の回収結果

●年齢階級別では、80～84歳が70.0%で最も高く、次いで、85歳以上が68.3%、75～79歳が68.1%となっています。

項目		調査対象者数	回答者数	回収率
年齢別	65～69歳	1,596	974	61.0%
	70～74歳	1,604	1,044	65.1%
	75～79歳	1,532	1,043	68.1%
	80～84歳	1,040	728	70.0%
	85歳以上	628	429	68.3%
	無回答	—	62	—

(3)前期高齢者・後期高齢者別の回収結果

●年齢階級別では、前期高齢者が63.1%、後期高齢者が68.8%となっています。

項目		調査対象者数	回答者数	回収率
年齢別	前期高齢者	3,200	2,018	63.1%
	後期高齢者	3,200	2,200	68.8%
	無回答	—	62	—

(4)日常生活圏域別の回収結果

●日常生活圏域別では、勝田第二中学校区域が69.3%で最も高く、次いで大島中学校区域が68.8%、佐野中学校区域が68.5%、勝田第三中学校区域が67.8%となっています。

項目		調査対象者数	回答者数	回収率
圏 域 別	勝田第一中学校区	800	519	64.9%
	勝田第二中学校区	800	554	69.3%
	勝田第三中学校区	800	542	67.8%
	佐野中学校区	800	548	68.5%
	大島中学校区	800	550	68.8%
	田彦中学校区	800	507	63.4%
	那珂湊中学校区	800	511	63.9%
	美乃浜学園区	800	487	60.9%
	無回答	-	62	-

(5)認定状況別の回収結果

●認定状況別では、一般高齢者が65.9%、要支援1が72.0%、要支援2が62.5%、総合事業対象者が68.0%となっています。

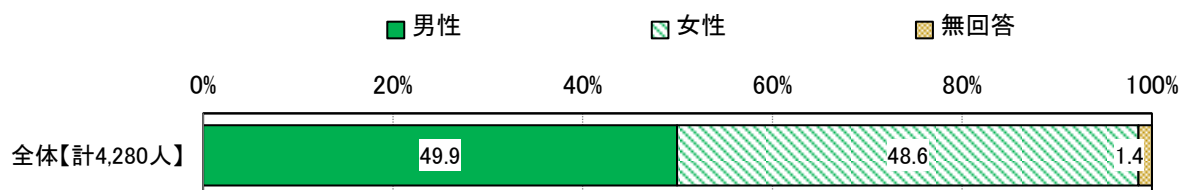
項目		調査対象者数	回答者数	回収率
認 定 状 況 別	一般高齢者	6,019	3,966	65.9%
	要支援1	132	95	72.0%
	要支援2	224	140	62.5%
	総合事業利用者	25	17	68.0%
	無回答	-	62	-

2 回答者の概要

(1)性別の構成

●性別では、男性 49.9%、女性 48.6%となっています。

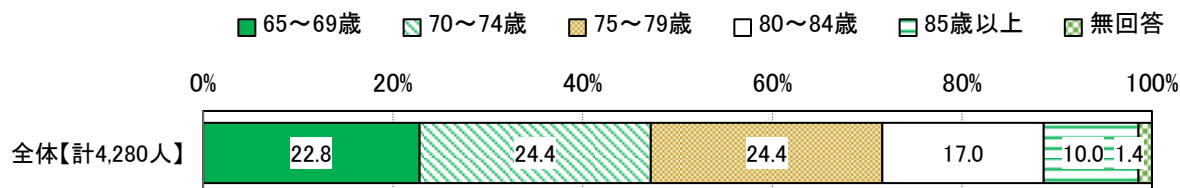
項目	男性	女性	無回答	回答者数 (人)
実数 (人)	2,136	2,082	62	4,280
構成比 (%)	49.9	48.6	1.4	100.0



(2)年齢階級別の構成

●年齢階級別では、70～74歳、75～79歳がともに24.4%で最も高く、次いで、65～69歳が22.8%となっています。

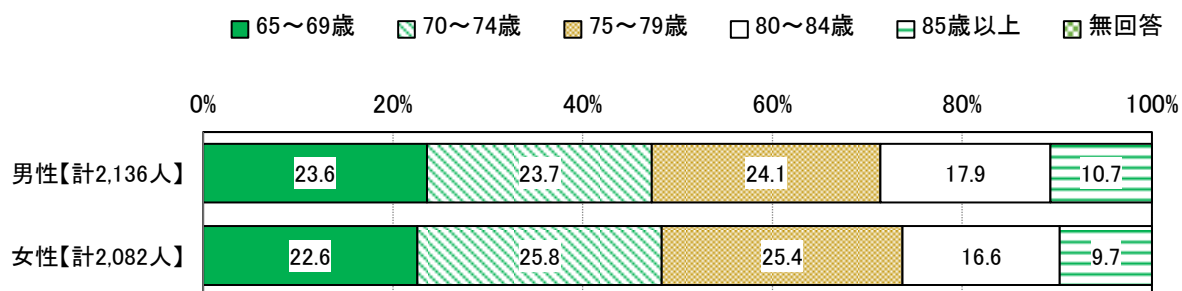
項目	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	回答者数 (人)
実数 (人)	974	1,044	1,043	728	429	62	4,280
構成比 (%)	22.8	24.4	24.4	17.0	10.0	1.4	100.0



(3)性別・年齢階級別の構成

- 男性の年齢階級別では、75～79歳が24.1%で最も高く、次いで、70～74歳が23.7%、65～69歳が23.6%となっています。
- 女性の年齢階級別では、70～74歳が25.8%で最も高く、次いで、75～79歳が25.4%、65～69歳が22.6%となっています。

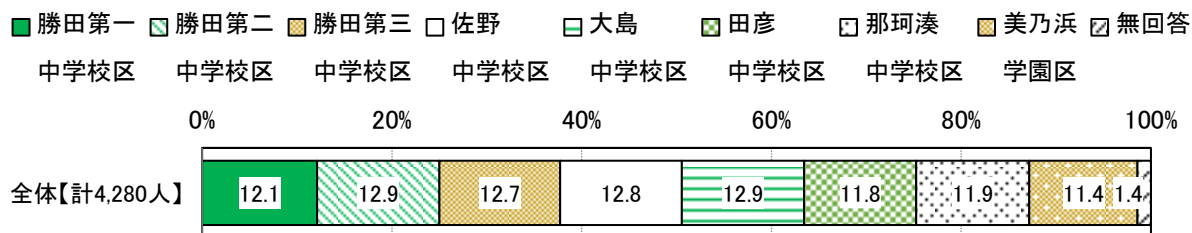
項目		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	回答者数 (人)
男 性	実数 (人)	504	507	515	382	228	0.0	2,136
	構成比 (%)	23.6	23.7	24.1	17.9	10.7	0.0	100.0
女 性	実数 (人)	470	537	528	346	201	0.0	2,082
	構成比 (%)	22.6	25.8	25.4	16.6	9.7	0.0	100.0



(4)日常生活圏域別の構成

●日常生活圏域別の構成では、勝田第二中学校区域、大島中学校区域がともに12.9%で最も高く、次いで佐野中学校区域が12.8%、勝田第三中学校区域が12.7%となっています。

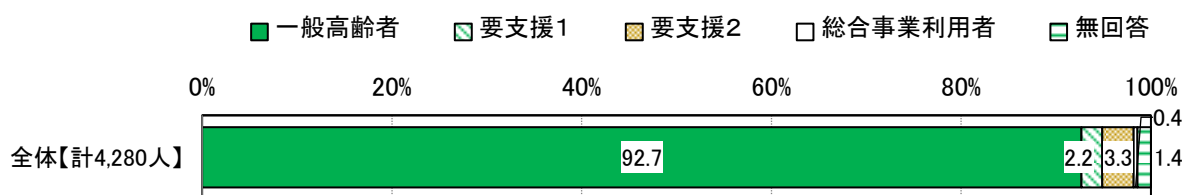
項目	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区	無回答	回答者数 (人)
実数 (人)	519	554	542	548	550	507	511	487	62	4,280
構成比 (%)	12.1	12.9	12.7	12.8	12.9	11.8	11.9	11.4	1.4	100.0



(5)認定状況別の構成

●認定状況別の構成では、一般高齢者が92.7%、要支援2が3.3%、要支援1が2.2%、総合事業対象者が0.4%となっています。

項目	一般 高齢者	要支援1	要支援2	総合事業 利用者	無回答	回答者数 (人)
実数 (人)	3,966	95	140	17	62	4,280
構成比 (%)	92.7	2.2	3.3	0.4	1.4	100.0

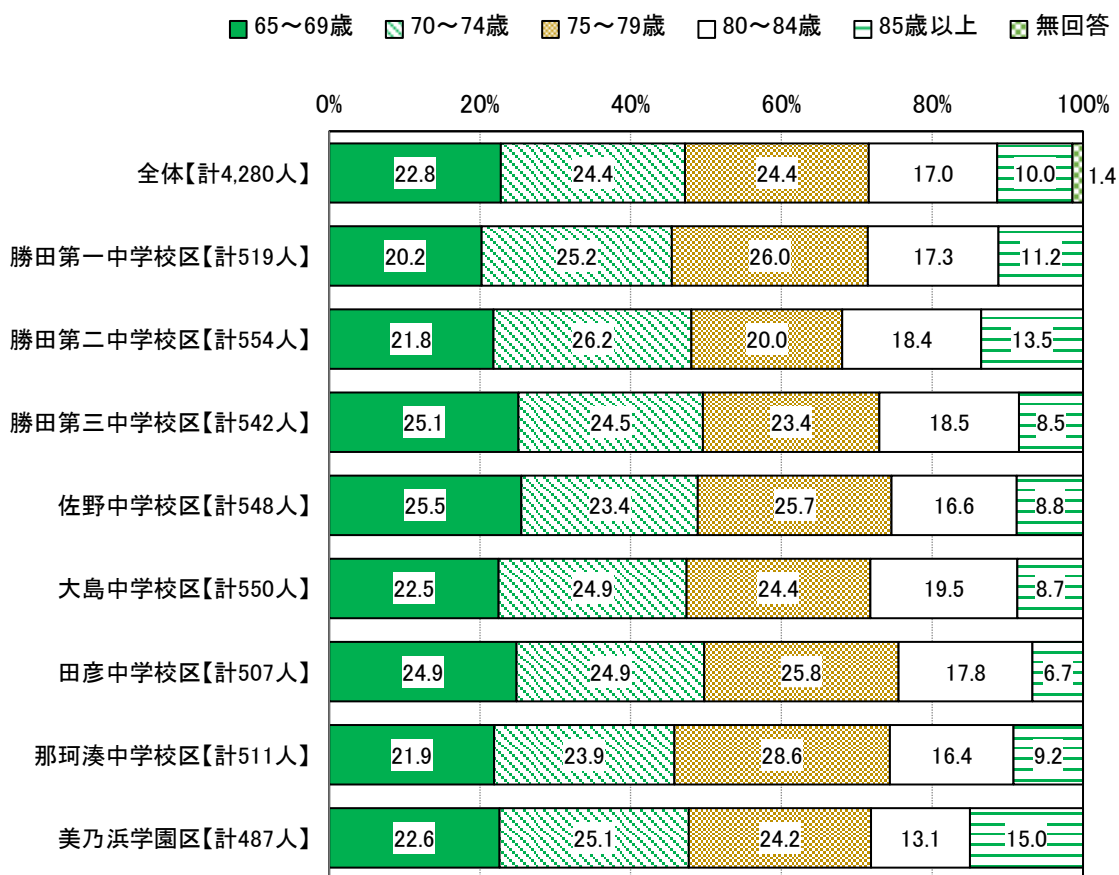


第2章 対象者について

(6)日常生活圏域別の回収率及び回答者の性別・年齢階級・認定状況の構成比

項目		勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区			
調査対象者数（人）		800	800	800	800	800	800	800	800			
回答者数（人）		519	554	542	548	550	507	511	487			
回答率（％）		64.9	69.3	67.8	68.5	68.8	63.4	63.9	60.9			
回答者の内訳及び構成比	性別	男性	回答者数（人）	272	279	276	290	277	253	252	237	
			構成比（％）	52.4	50.4	50.9	52.9	50.4	49.9	49.3	48.7	
		女性	回答者数（人）	247	275	266	258	273	254	259	250	
			構成比（％）	47.6	49.6	49.1	47.1	49.6	50.1	50.7	51.3	
	年齢別	65～69歳	回答者数（人）	105	121	136	140	124	126	112	110	
			構成比（％）	20.2	21.8	25.1	25.5	22.5	24.9	21.9	22.6	
		70～74歳	回答者数（人）	131	145	133	128	137	126	122	122	
			構成比（％）	25.2	26.2	24.5	23.4	24.9	24.9	23.9	25.1	
		75～79歳	回答者数（人）	135	111	127	141	134	131	146	118	
			構成比（％）	26.0	20.0	23.4	25.7	24.4	25.8	28.6	24.2	
		80～84歳	回答者数（人）	90	102	100	91	107	90	84	64	
			構成比（％）	17.3	18.4	18.5	16.6	19.5	17.8	16.4	13.1	
		85歳以上	回答者数（人）	58	75	46	48	48	34	47	73	
			構成比（％）	11.2	13.5	8.5	8.8	8.7	6.7	9.2	15.0	
		認定状況別	一般 高齢者	回答者数（人）	492	523	512	515	521	483	478	442
				構成比（％）	94.8	94.4	94.5	94.0	94.7	95.3	93.5	90.8
	要支援1		回答者数（人）	12	16	11	13	12	6	9	16	
			構成比（％）	2.3	2.9	2.0	2.4	2.2	1.2	1.8	3.3	
	要支援2		回答者数（人）	14	14	19	16	17	16	22	22	
			構成比（％）	2.7	2.5	3.5	2.9	3.1	3.2	4.3	4.5	
総合事業 利用者	回答者数（人）		1	1	0	4	0	2	2	7		
	構成比（％）		0.2	0.2	0.0	0.7	0.0	0.4	0.4	1.4		

●日常生活圏域別の年齢階級の構成



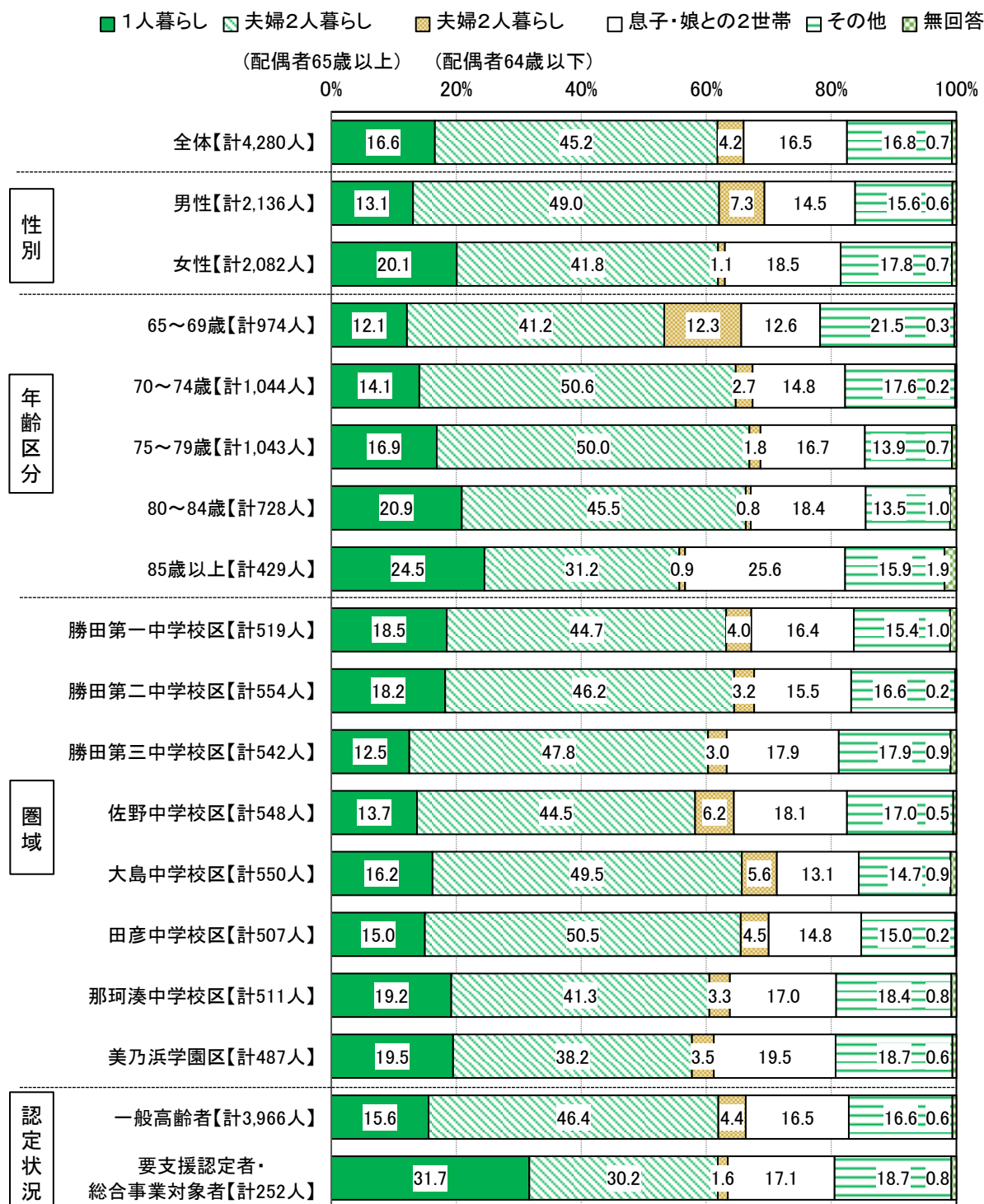
第2章 対象者について

第3章 設問ごとの分析

問1 あなたのご家族や生活状況について

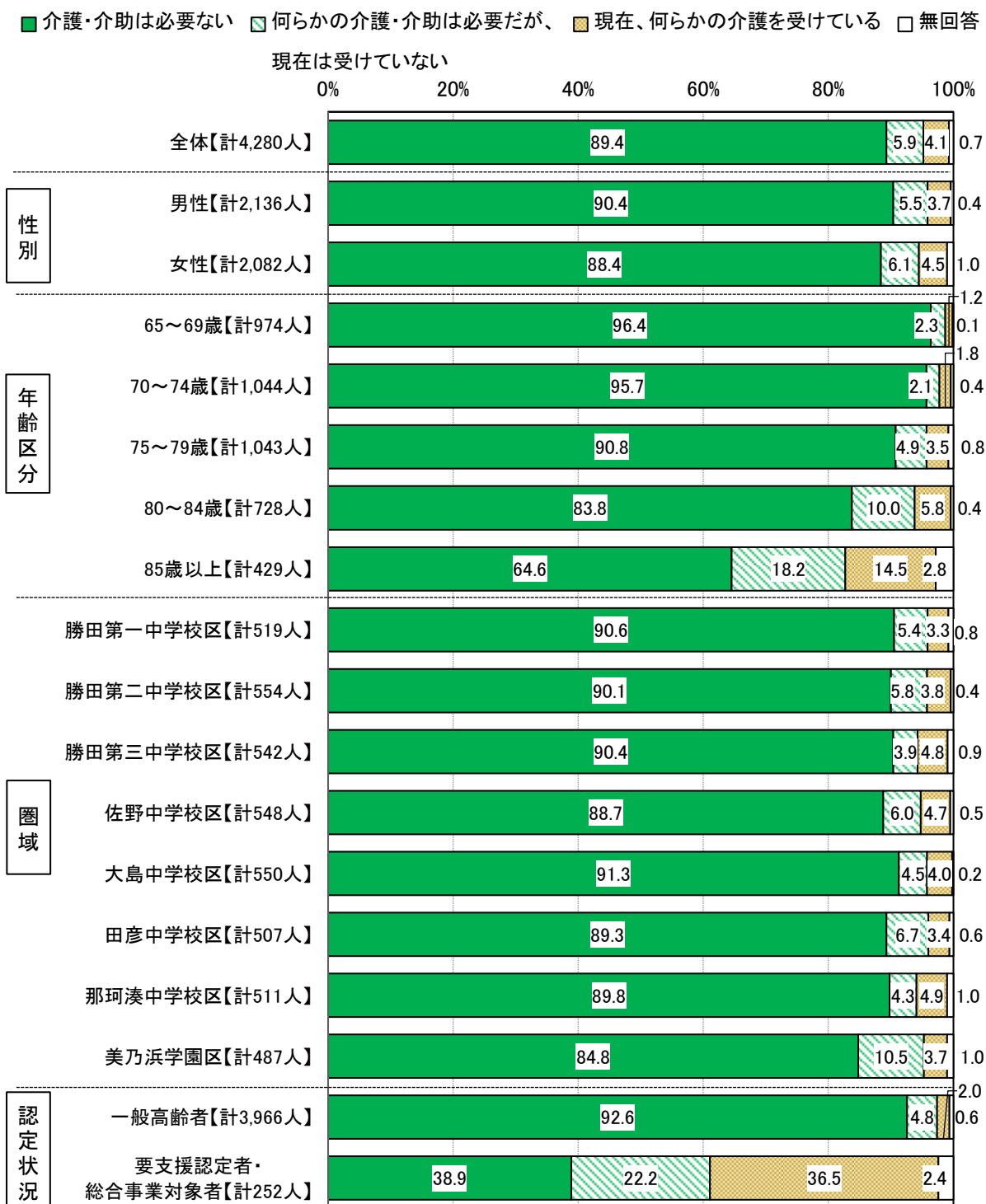
(1) 家族構成をお教えてください

- 家族構成では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が45.2%で最も高く、次いで、「1人暮らし」が16.6%、「息子・娘との2世帯」が16.5%となっています。
- 圏域別にみると、「1人暮らし」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(19.5%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(12.5%)となっています。



(2)あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

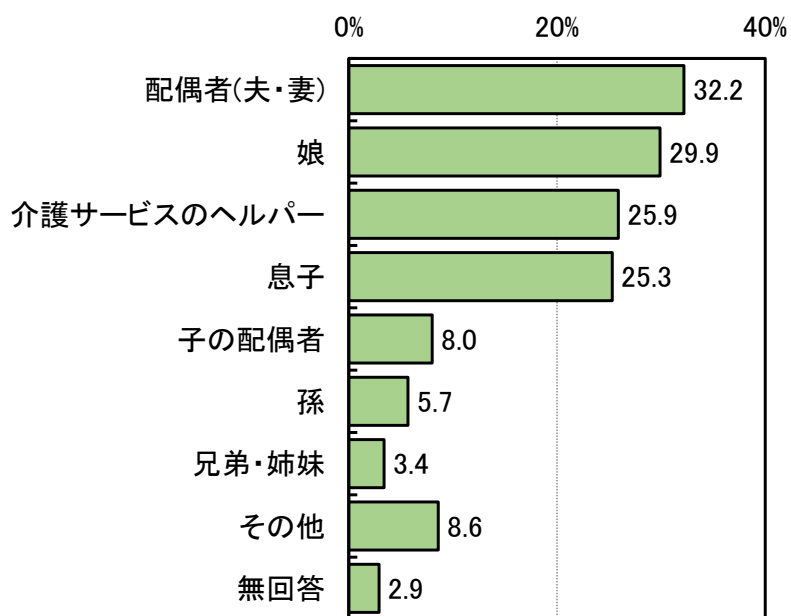
- 「介護・介助は必要ない」が89.4%で最も高く、次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.1%となっています。
- 圏域別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(10.5%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(3.9%)となっています。



【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

(3)主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

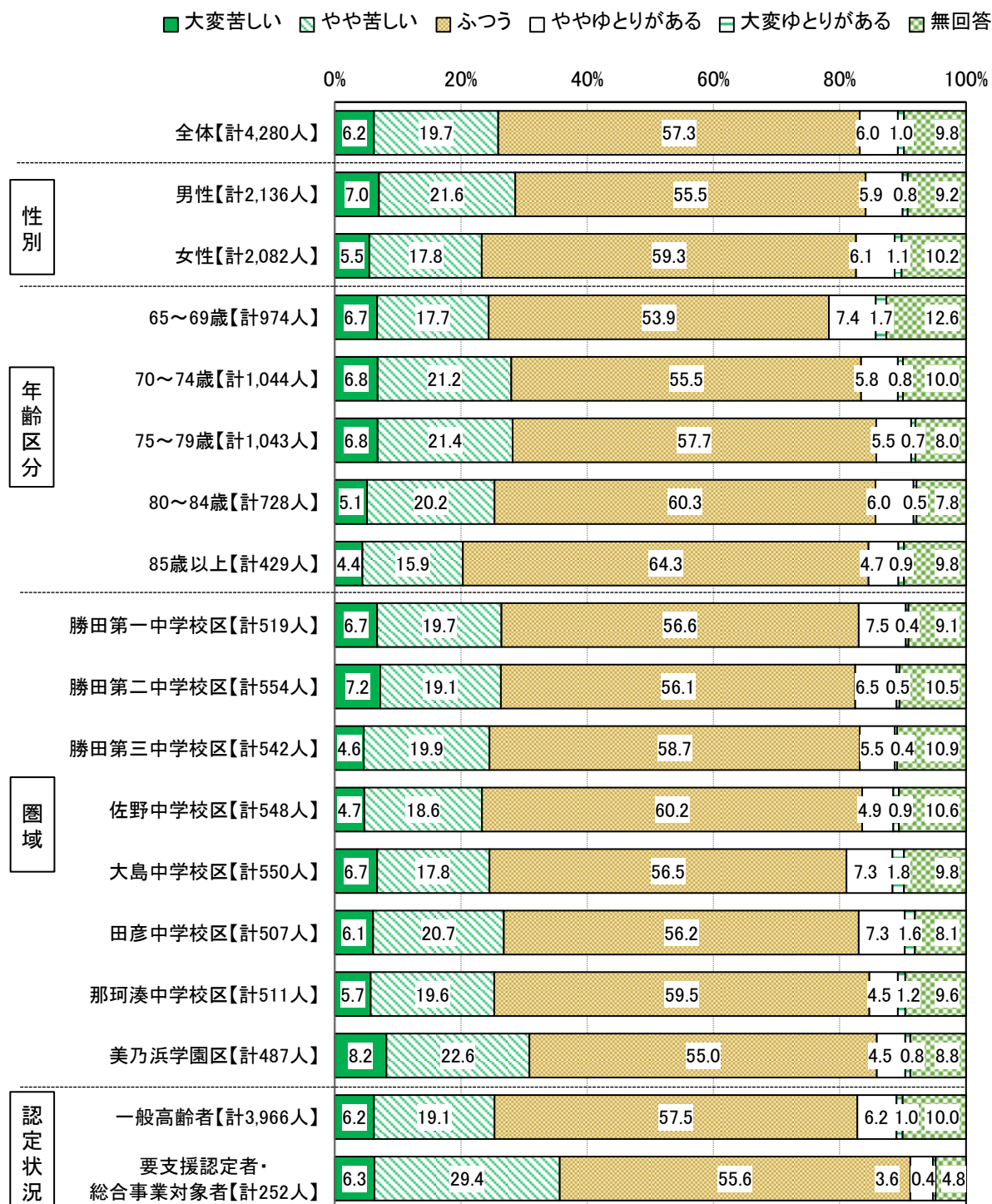
●現在、何らかの介護を受けている方の主な介護・介助者は、「配偶者(夫・妻)」と回答した人が32.2%で最も高く、次いで、「娘」(29.9%)、「介護サービスのヘルパー」(25.9%)と続いています。



【n=174】

(4)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

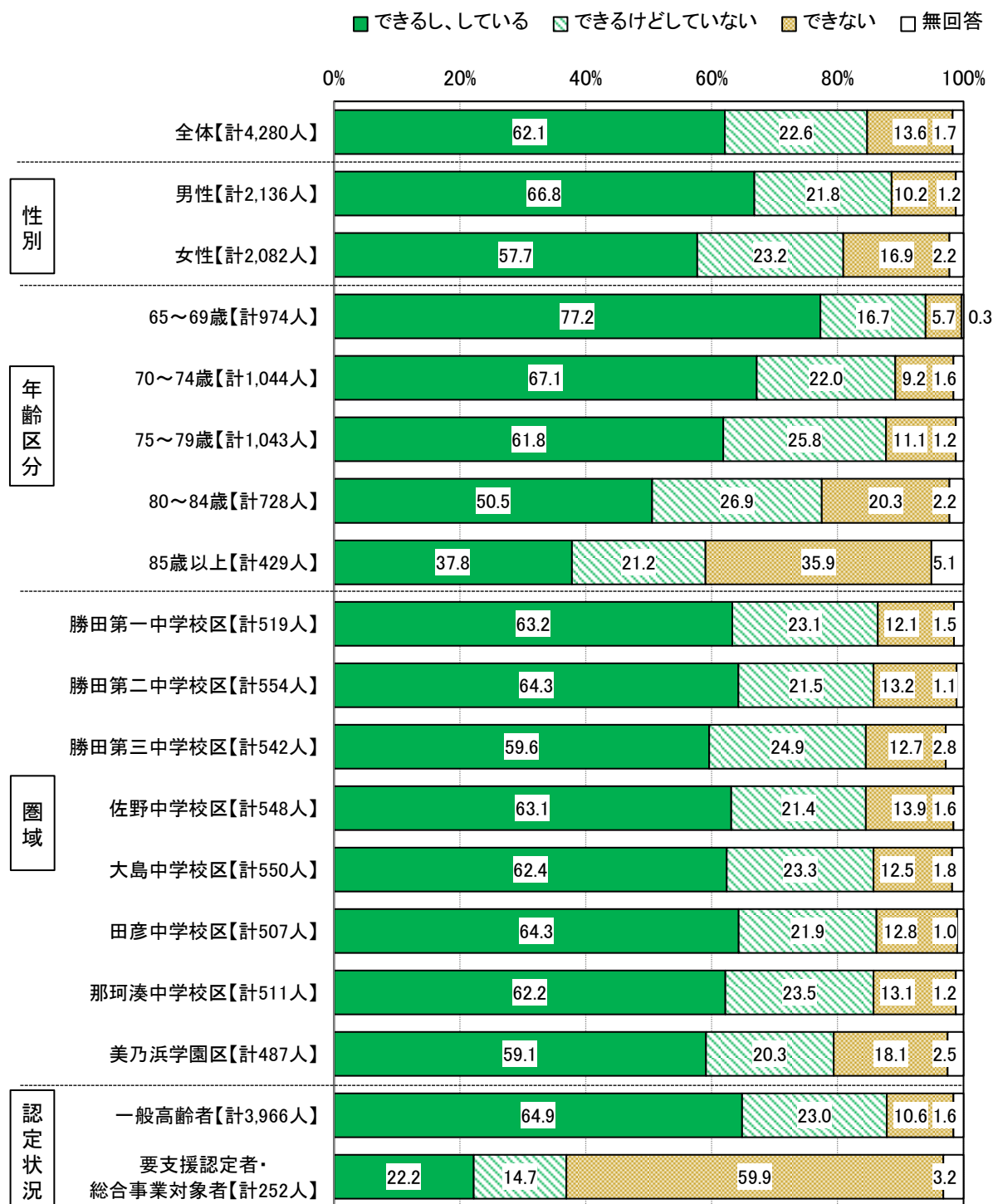
- 「ふつう」が57.3%で最も高く、次いで、「やや苦しい」が19.7%、「大変苦しい」が6.2%となっています。
- 圏域別にみると、「大変苦しい」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(8.2%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(4.6%)となっています。



問2 からだを動かすことについて

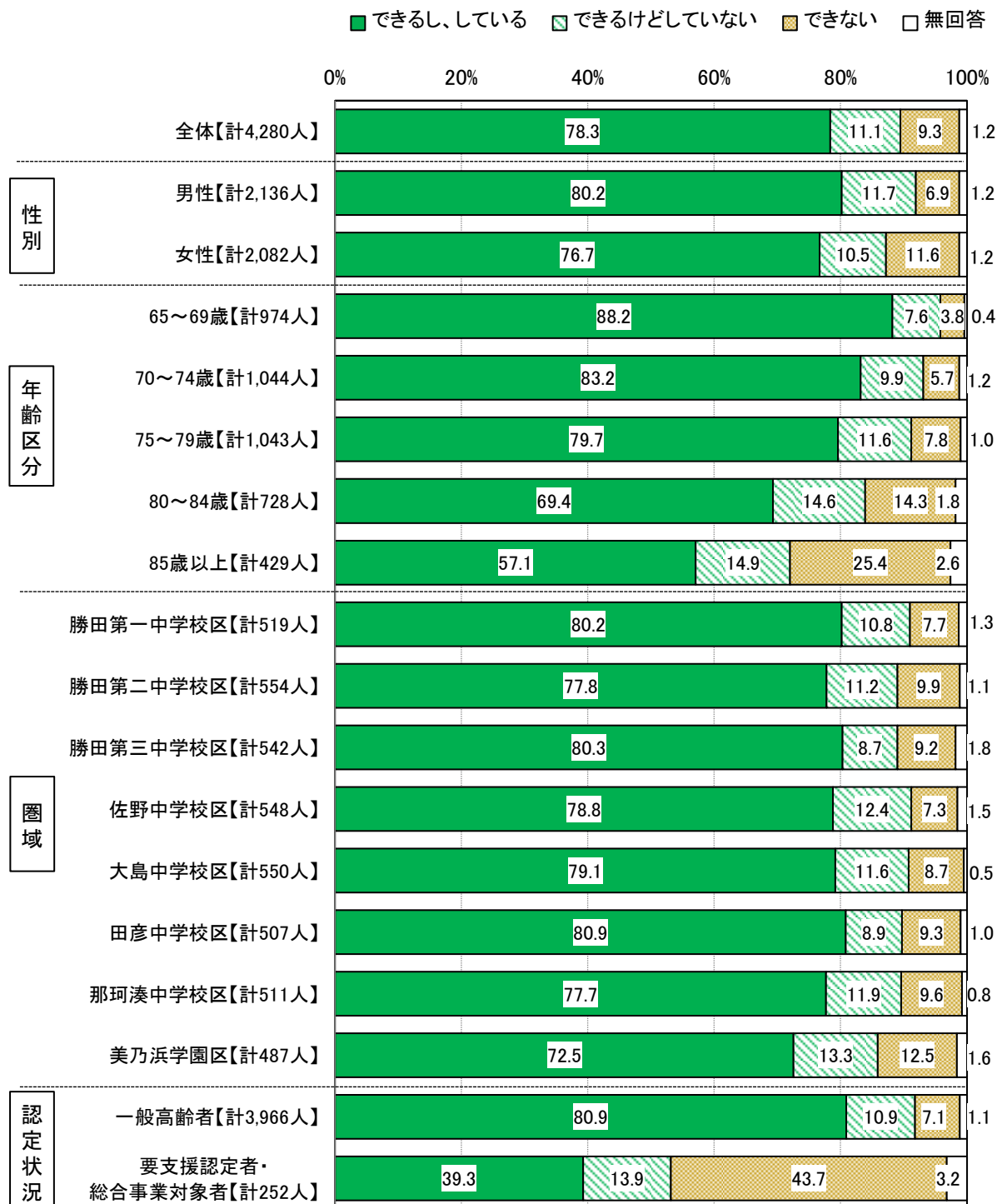
(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- 「できるし、している」が62.1%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が22.6%、「できない」が13.6%となっています。
- 圏域別にみると、「できない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(18.1%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」(12.1%)となっています。



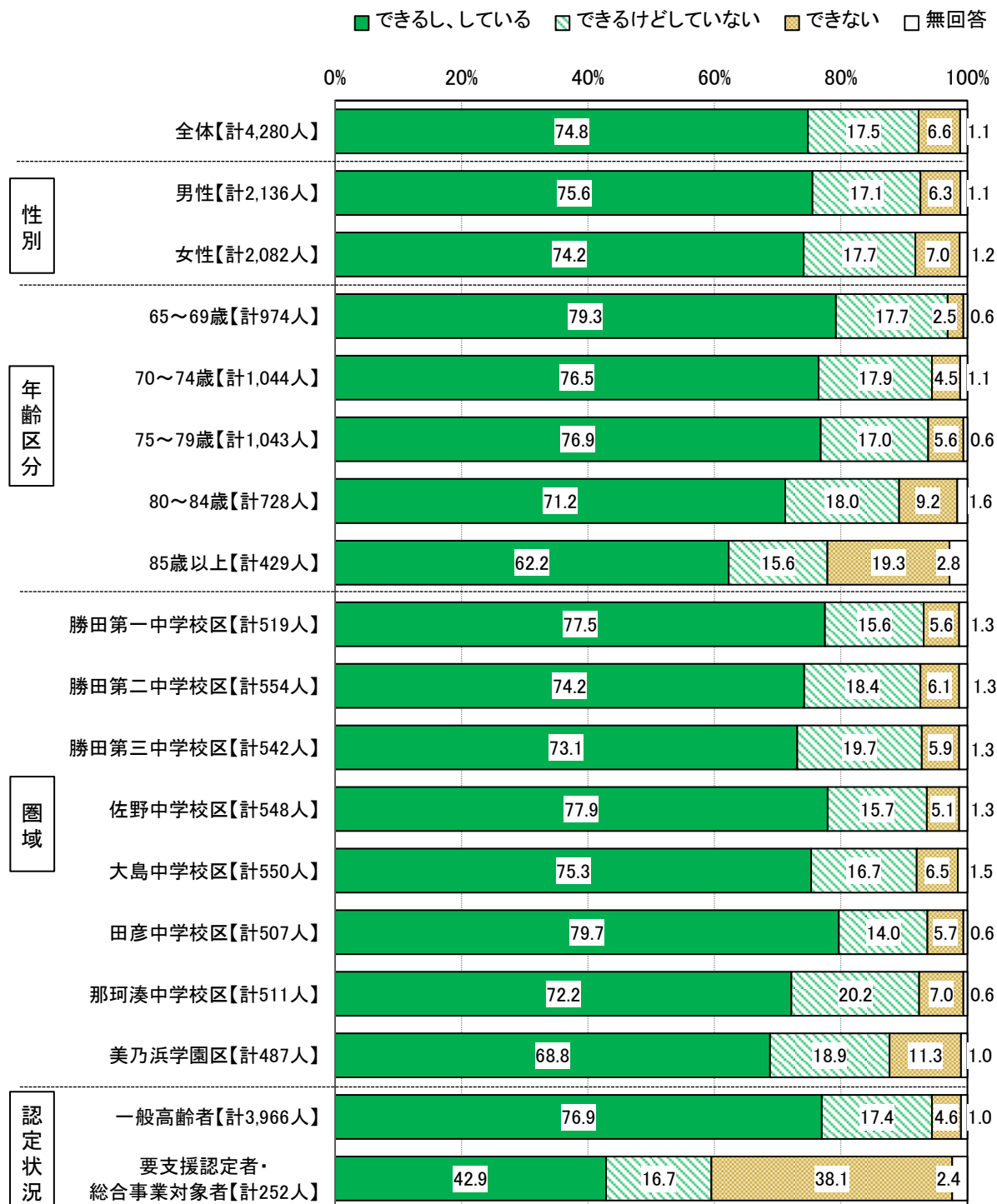
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- 「できるし、している」が78.3%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が11.1%、「できない」が9.3%となっています。
- 圏域別にみると、「できない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(12.5%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(7.3%)となっています。



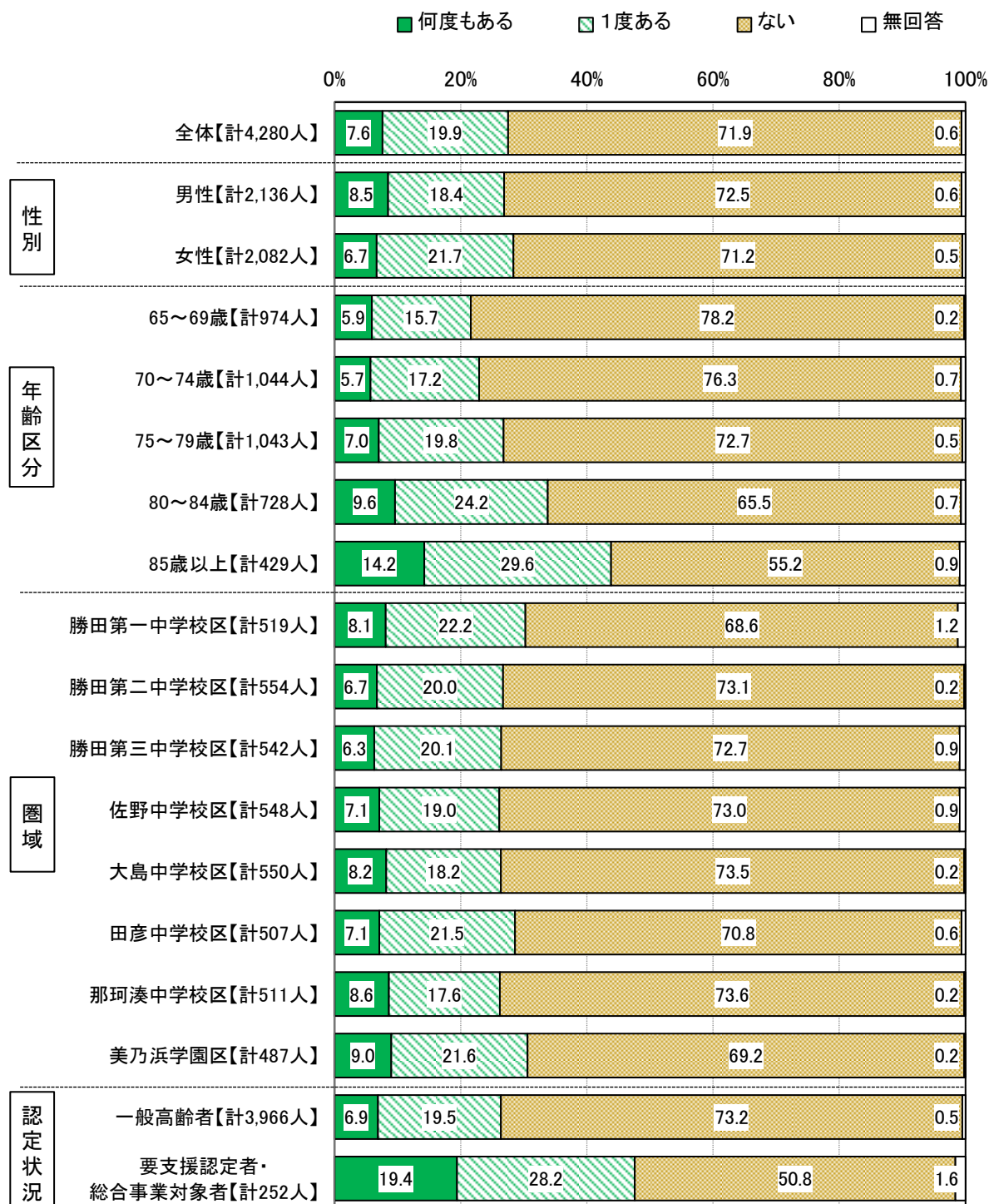
(3)15分位続けて歩いていますか

- 「できるし、している」が74.8%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が17.5%、「できない」が6.6%となっています。
- 圏域別にみると、「できない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(11.3%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(5.1%)となっています。



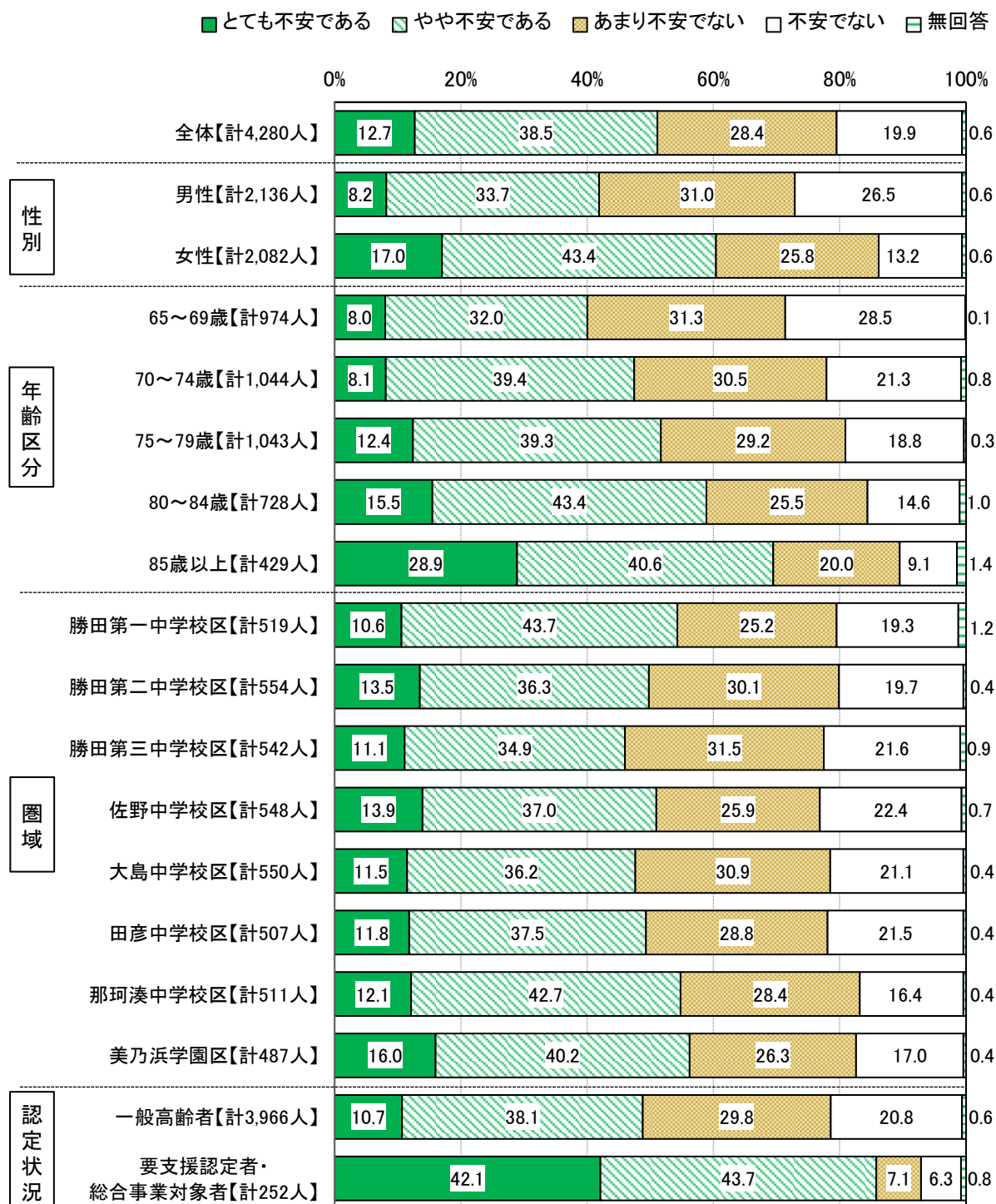
(4)過去1年間に転んだ経験がありますか

- 「1度ある」または「何度もある」と回答した人の割合は27.5%となっています。一方、「ない」と回答した人の割合は71.9%となっています。
- 圏域別にみると、「何度もある」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(9.0%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(6.3%)となっています。



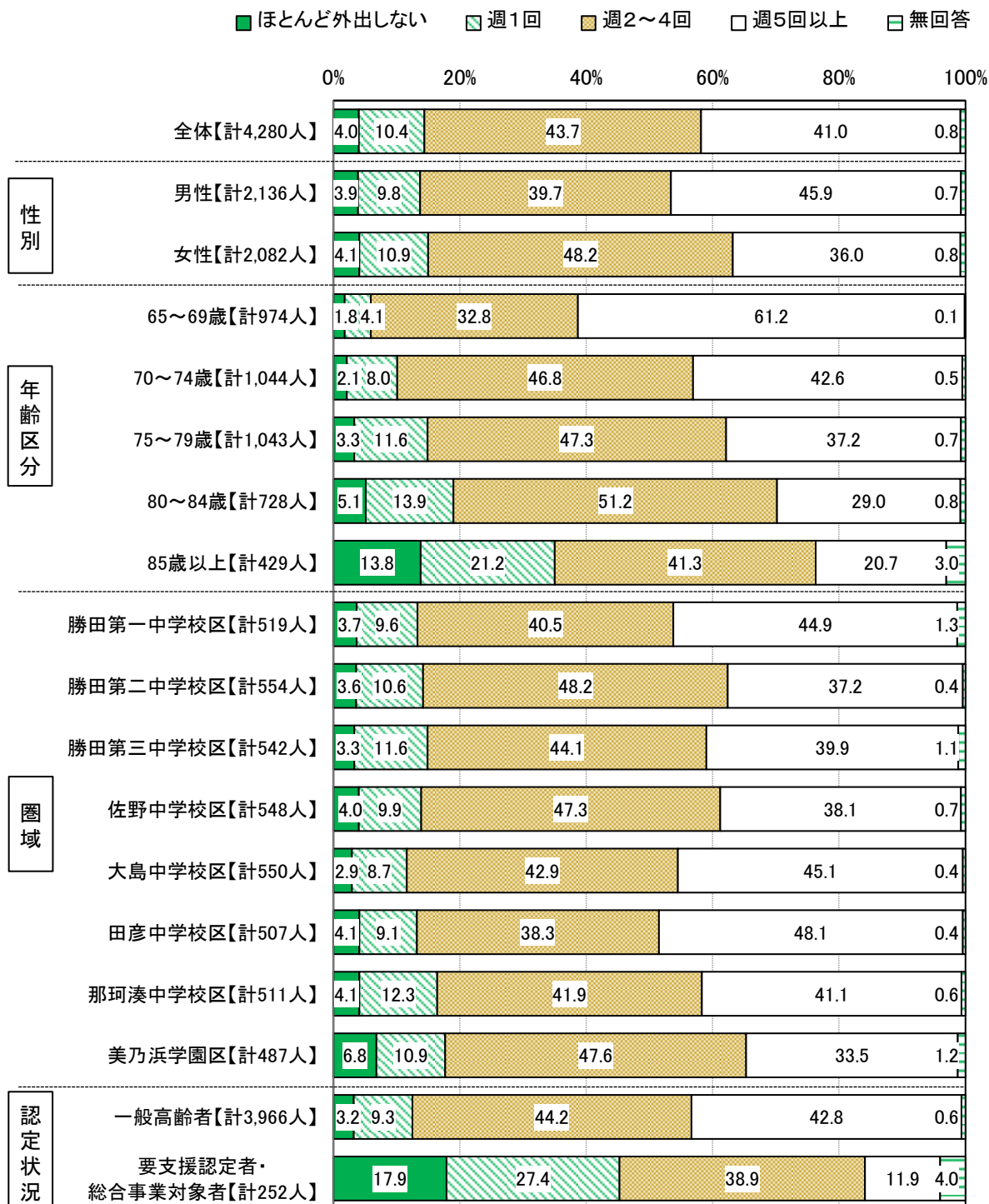
(5)転倒に対する不安は大きいですか

- 「とても不安である」または「やや不安である」と回答した人の割合は51.2%となっています。一方、「あまり不安でない」または「不安でない」と回答した人の割合は48.3%となっています。
- 圏域別にみると、「とても不安である」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(16.0%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」(10.6%)となっています。



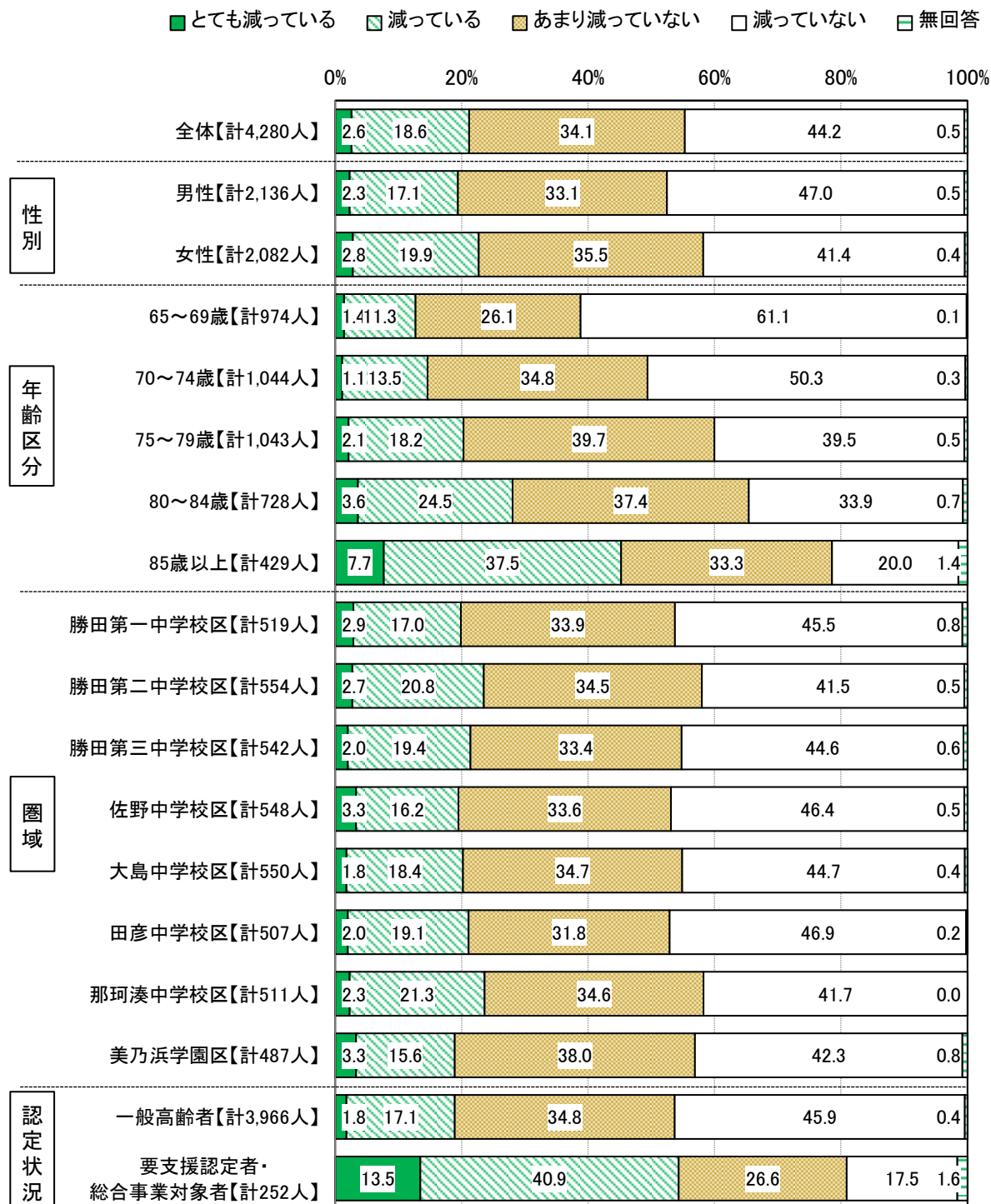
(6)週に1回以上は外出していますか

- 「週2～4回」が43.7%で最も高く、次いで、「週5回以上」(41.0%)、「週1回」(10.4%)と続いています。
- 圏域別にみると、「ほとんど外出しない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(6.8%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(2.9%)となっています。



(7)昨年と比べて外出の回数が減っていますか

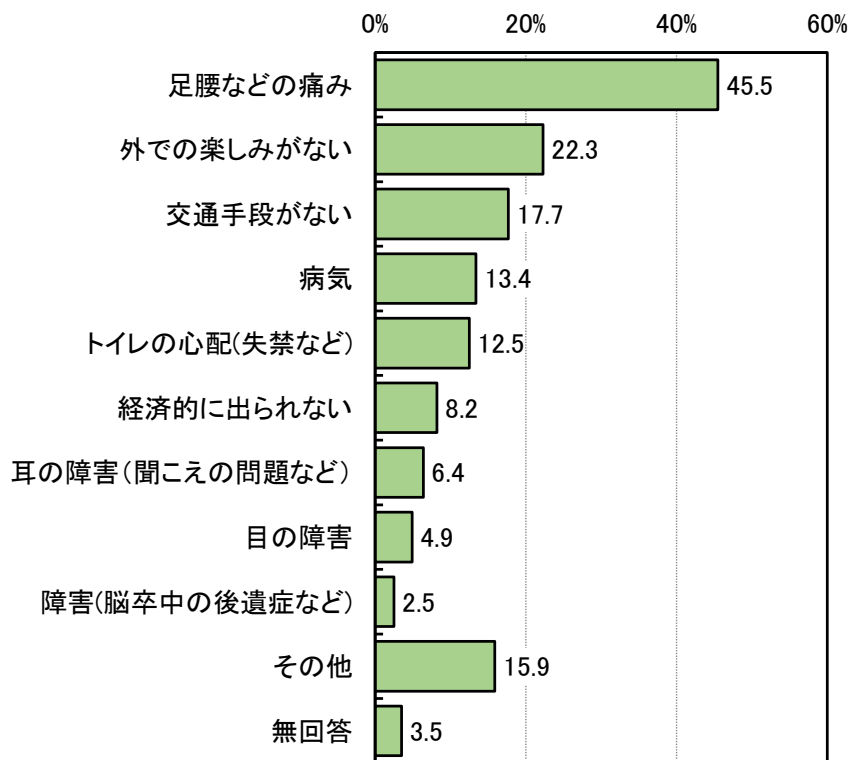
- 「減っていない」が44.2%で最も高く、次いで、「あまり減っていない」が34.1%、「減っている」が18.6%、「とても減っている」が2.6%となっています。
- 圏域別にみると、「とても減っている」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」、「美乃浜学園区」(3.3%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(1.8%)となっています。



【(7)で「1. とても減っている」、「2. 減っている」の方のみ】

(8)外出の回数が減っている理由は、次のどれですか(いくつでも)

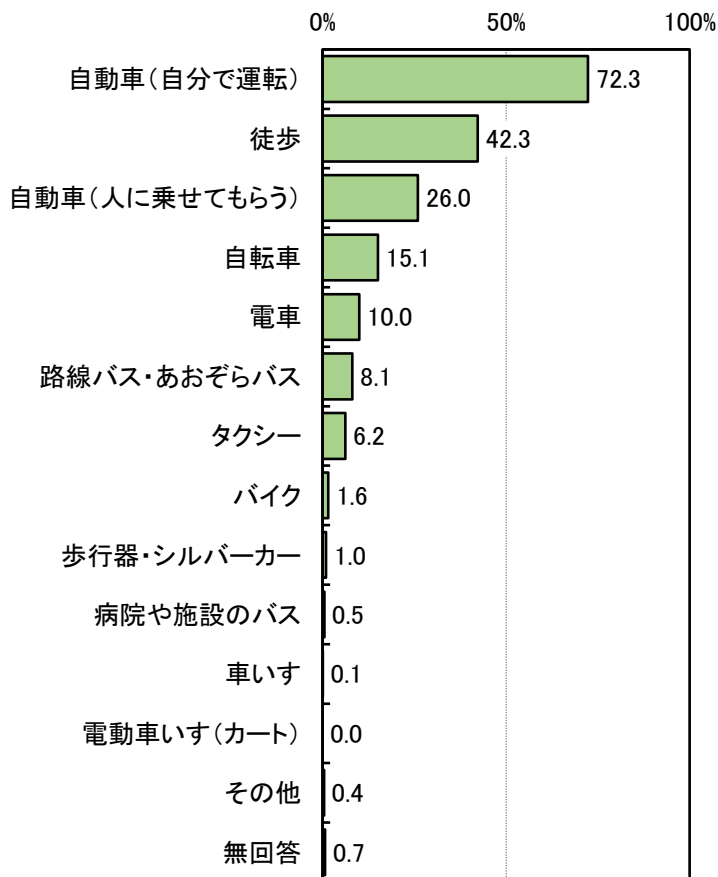
●「足腰などの痛み」が45.5%で最も高く、次いで、「外での楽しみがない」(22.3%)、「交通手段がない」(17.7%)、「病気」(13.4%)、「トイレの心配(失禁など)」(12.5%)と続いています。



【n=905】

(9)外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

●外出する際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」が72.3%で最も高く、次いで、「徒歩」(42.3%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(26.0%)、「自転車」(15.1%)、「電車」(10.0%)と続いています。

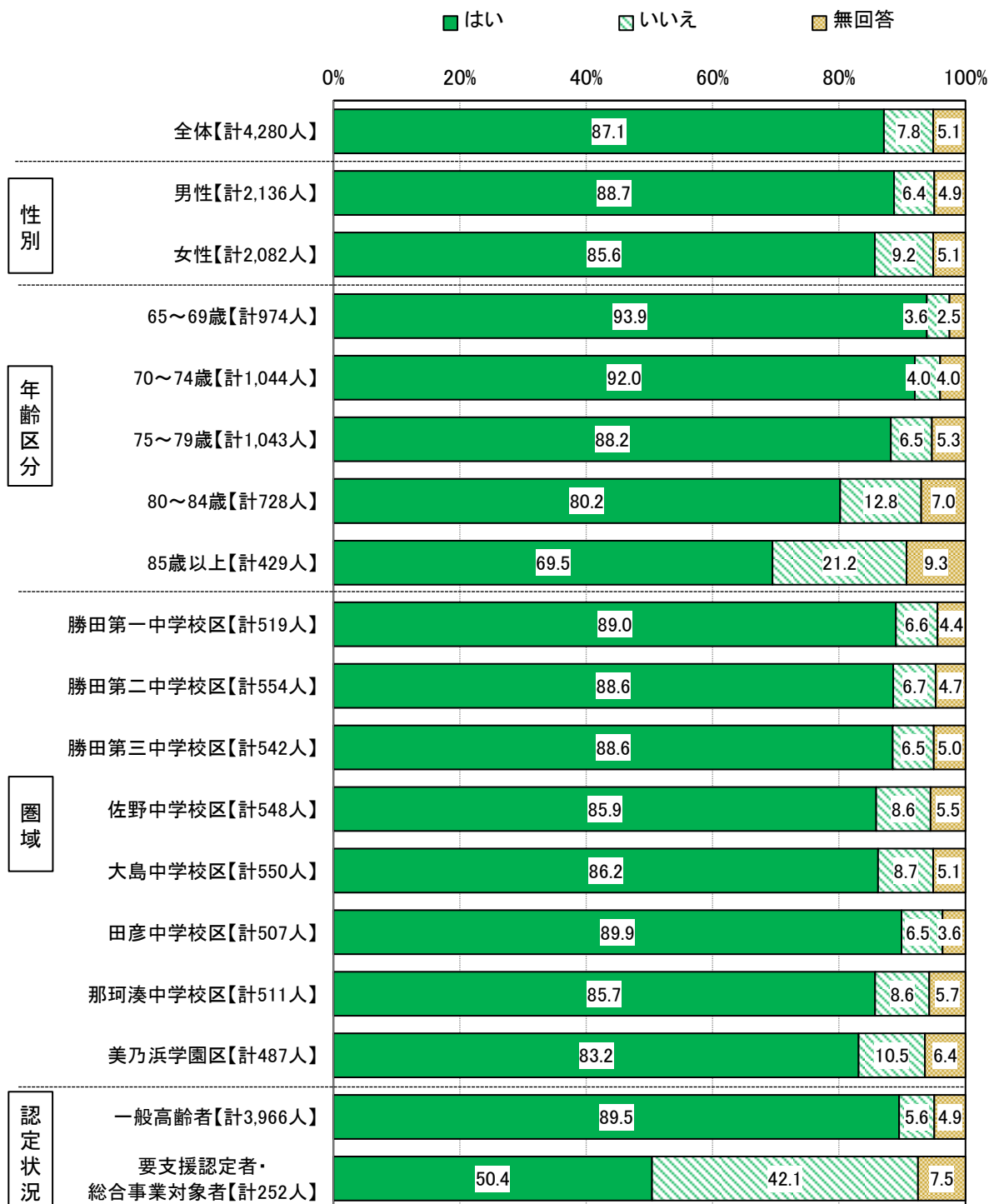


【n=4,280】

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
自動車(自分で運転)	72.3	71.5	72.2	76.4	73.7	72.0	73.4	72.6	68.2
徒歩	42.3	42.0	44.2	35.8	45.1	52.0	47.5	37.6	32.6
自動車(人に乗せてもらう)	26.0	24.3	26.7	23.8	27.0	25.6	25.8	26.6	28.1
自転車	15.1	13.9	19.9	12.2	15.7	19.8	18.5	10.6	9.0
電車	10.0	10.2	10.8	5.5	13.0	13.1	11.0	7.0	9.2
路線バス・あおぞらバス	8.1	8.9	11.2	7.6	6.6	8.0	8.9	5.9	7.8
タクシー	6.2	7.5	7.4	4.2	6.0	9.1	7.5	3.5	3.7
バイク	1.6	1.7	1.1	1.1	1.1	1.3	1.6	2.9	2.5
歩行器・シルバーカー	1.0	0.4	0.4	0.7	1.5	0.7	1.4	1.0	2.1
病院や施設のバス	0.5	0.2	0.4	0.6	0.7	0.2	0.6	0.6	0.8
車いす	0.1	0.4	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0
電動車いす(カート)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
その他	0.4	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	1.4
無回答	0.7	0.6	0.5	1.3	0.5	0.7	0.2	1.0	0.2

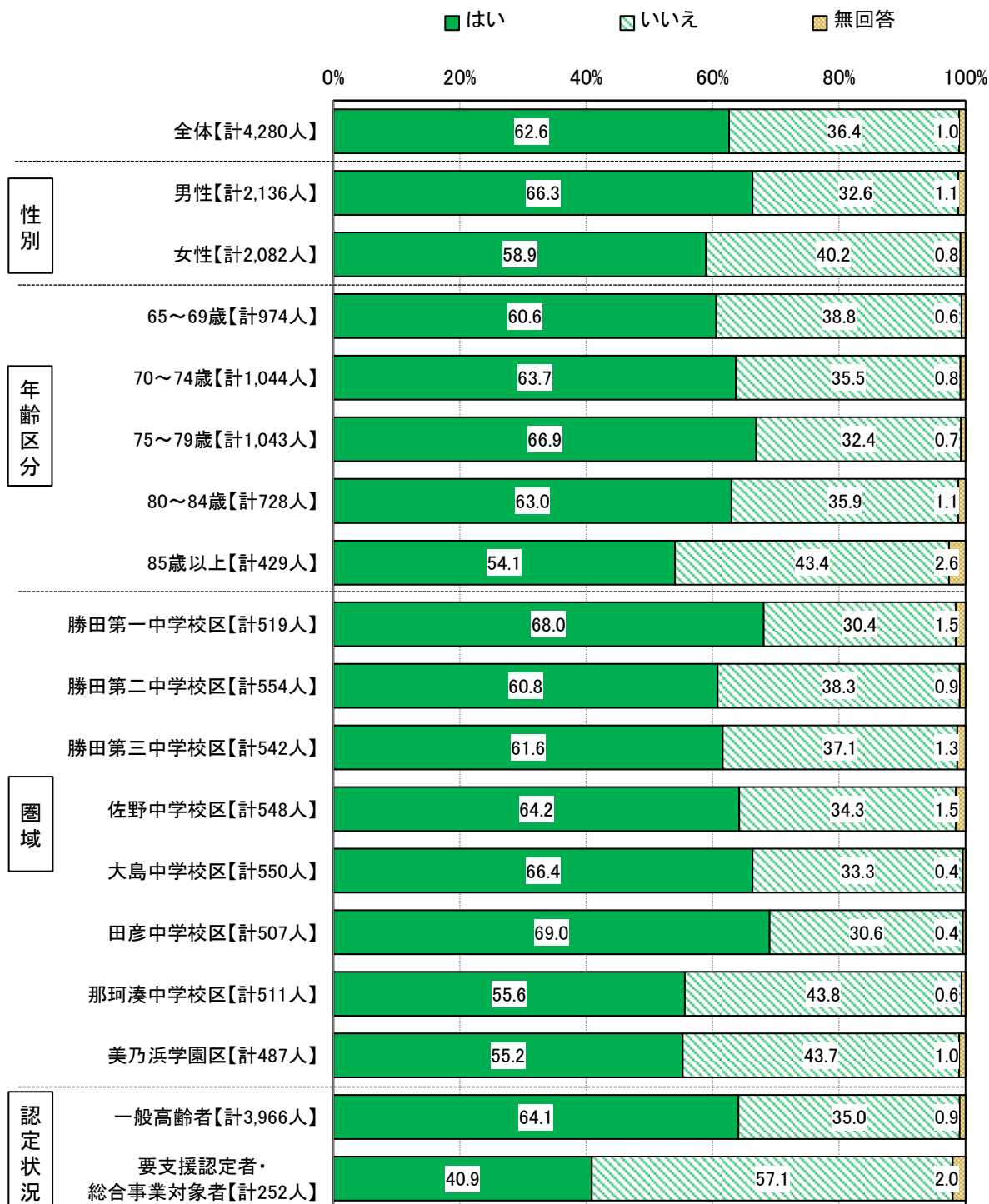
(10)あおぞらバスなどの最寄りのバス停まで1人で歩いて行けますか

- 「はい」と回答した人の割合は87.1%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は7.8%となっています。
- 圏域別にみると、「いいえ」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(10.5%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」、「田彦中学校区」(6.5%)となっています。



(11)ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか

- 「はい」と回答した人の割合は62.6%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は36.4%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「田彦中学校区」(69.0%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(55.2%)となっています。

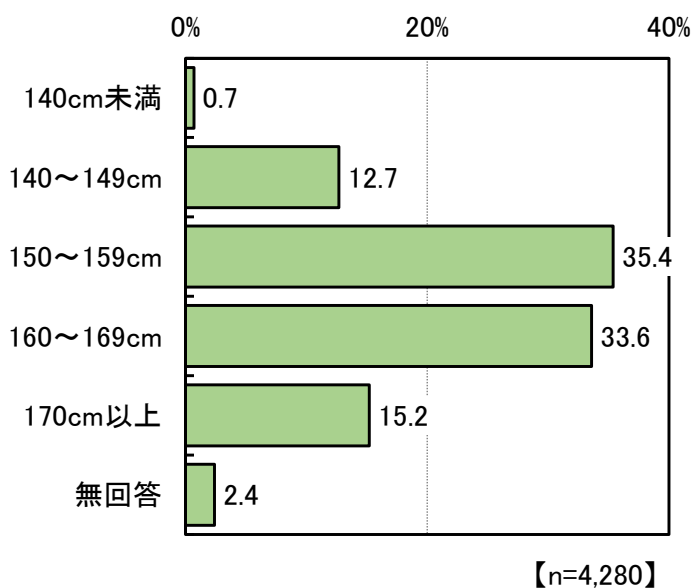


問3 食べることについて

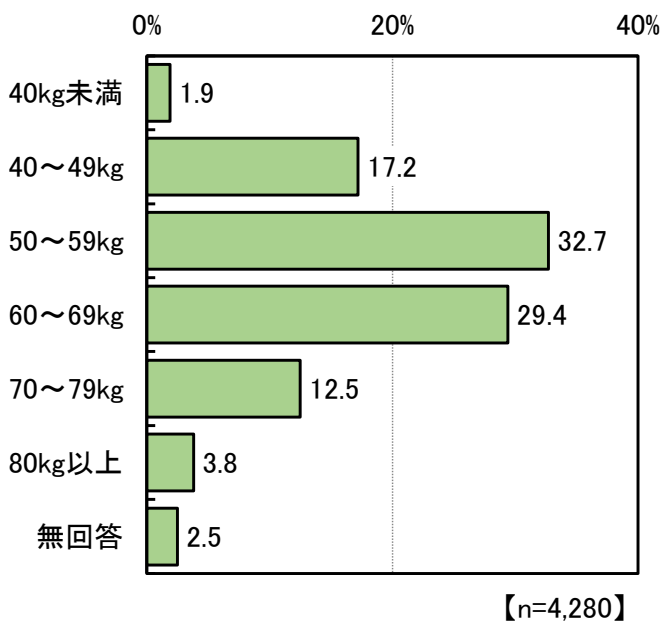
(1)身長・体重・BMI

- 身長は、「150～159cm」が35.4%で最も高く、次いで、「160～169cm」(33.6%)、「170cm以上」(15.2%)、「140～149cm」(12.7%)と続いています。
- 体重は、「50～59kg」が32.7%で最も高く、次いで、「60～69kg」(29.4%)、「40～49kg」(17.2%)、「70～79kg」(12.5%)と続いています。

【身長】

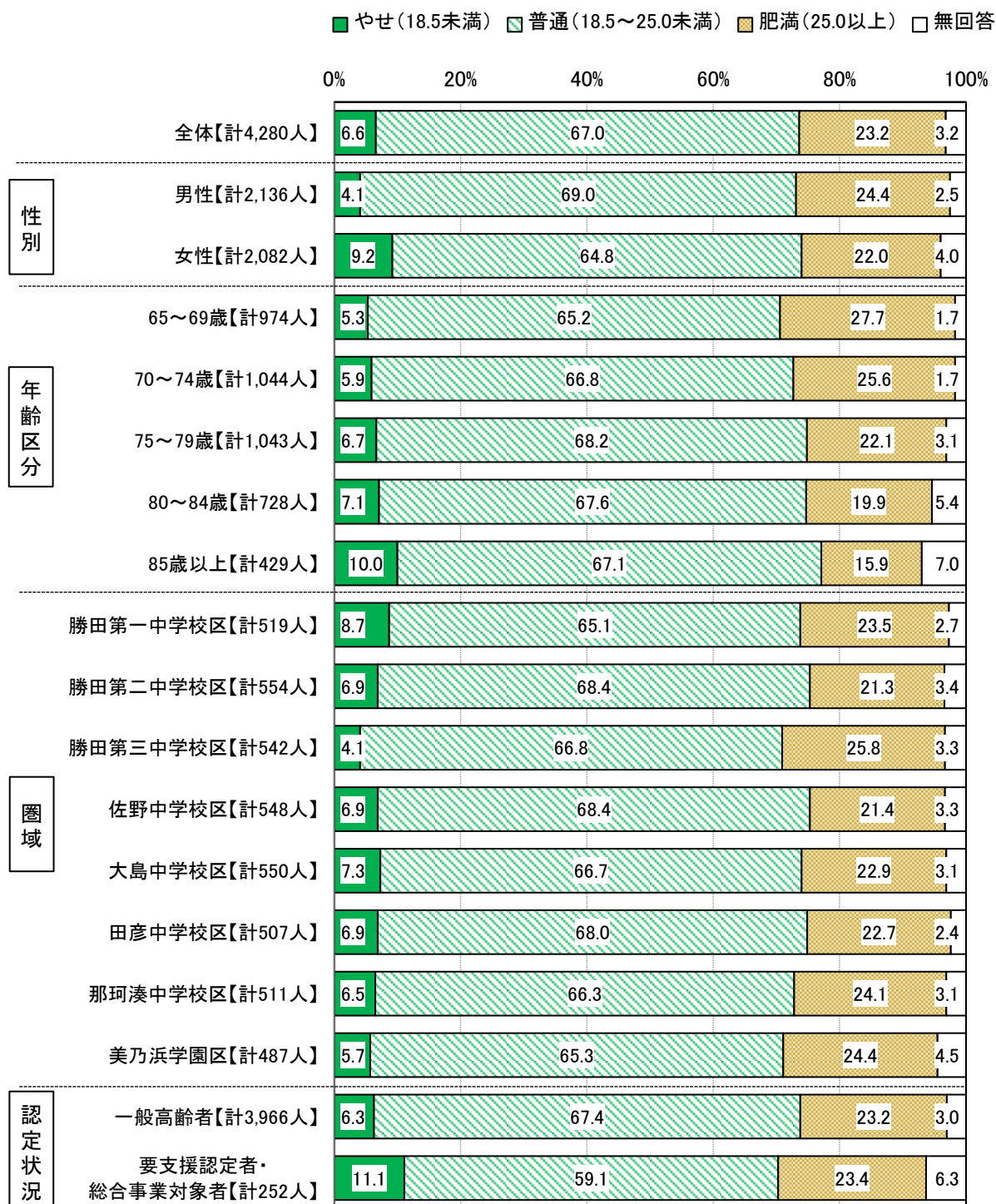


【体重】



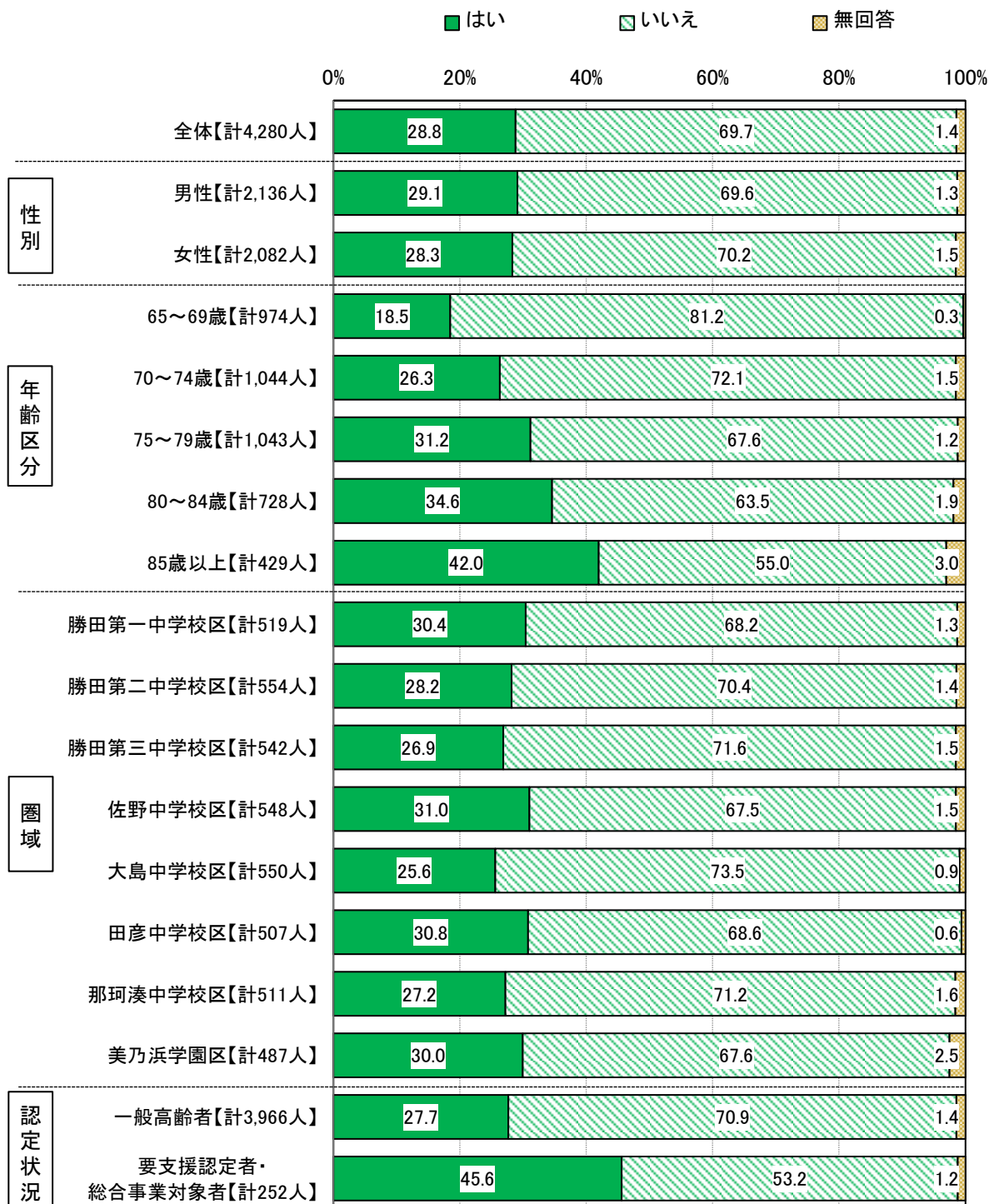
- BMIは、「普通(18.5～25.0未満)」が67.0%で最も高く、次いで、「肥満(25.0以上)」(23.2%)、「やせ(18.5未満)」(6.6%)と続いています。
- 圏域別にみると、「普通(18.5～25.0未満)」の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」、「佐野中学校区」(68.4%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」(65.1%)となっています。

【BMI】



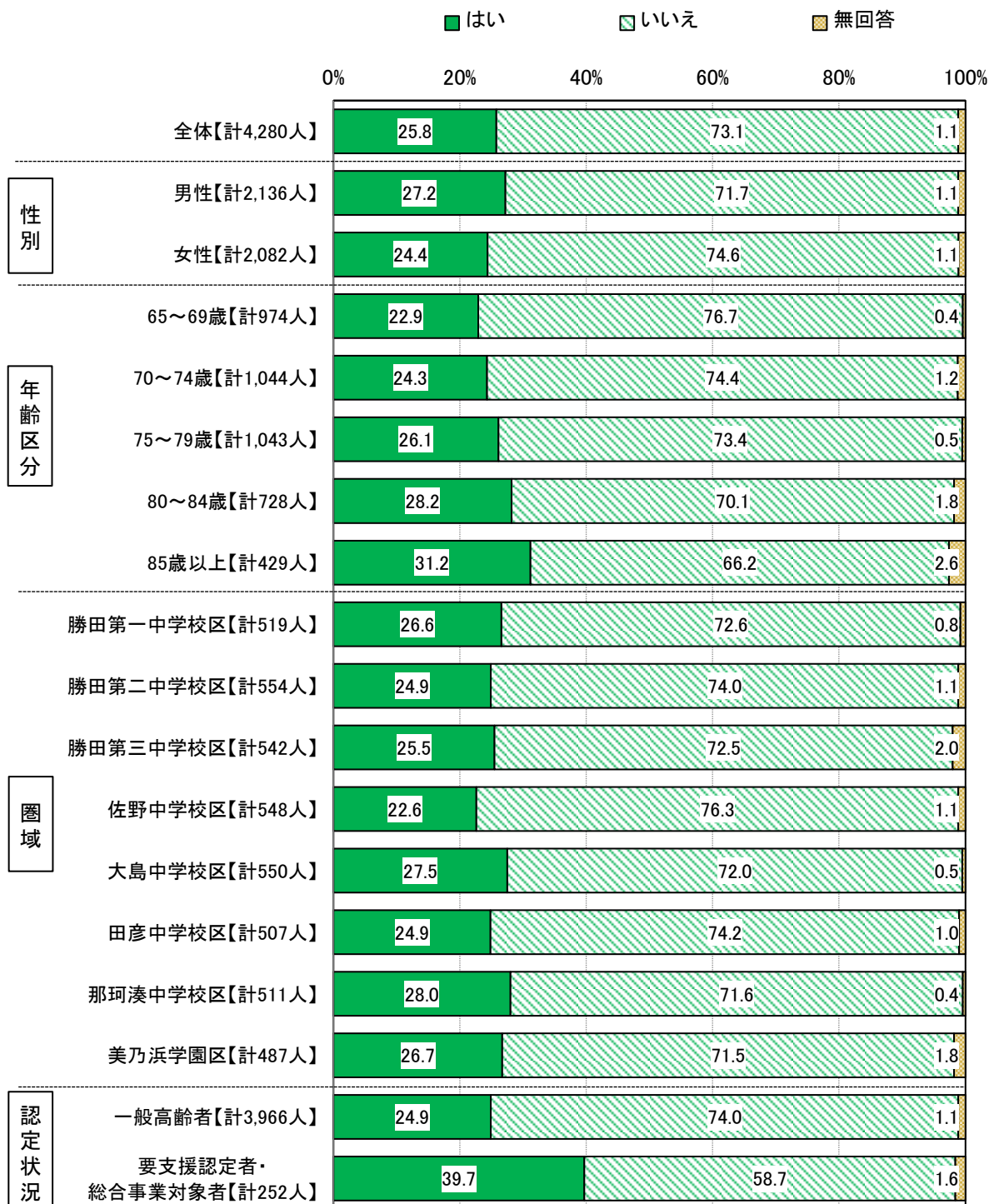
(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

- 「はい」と回答した人の割合は28.8%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は69.7%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(31.0%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(25.6%)となっています。



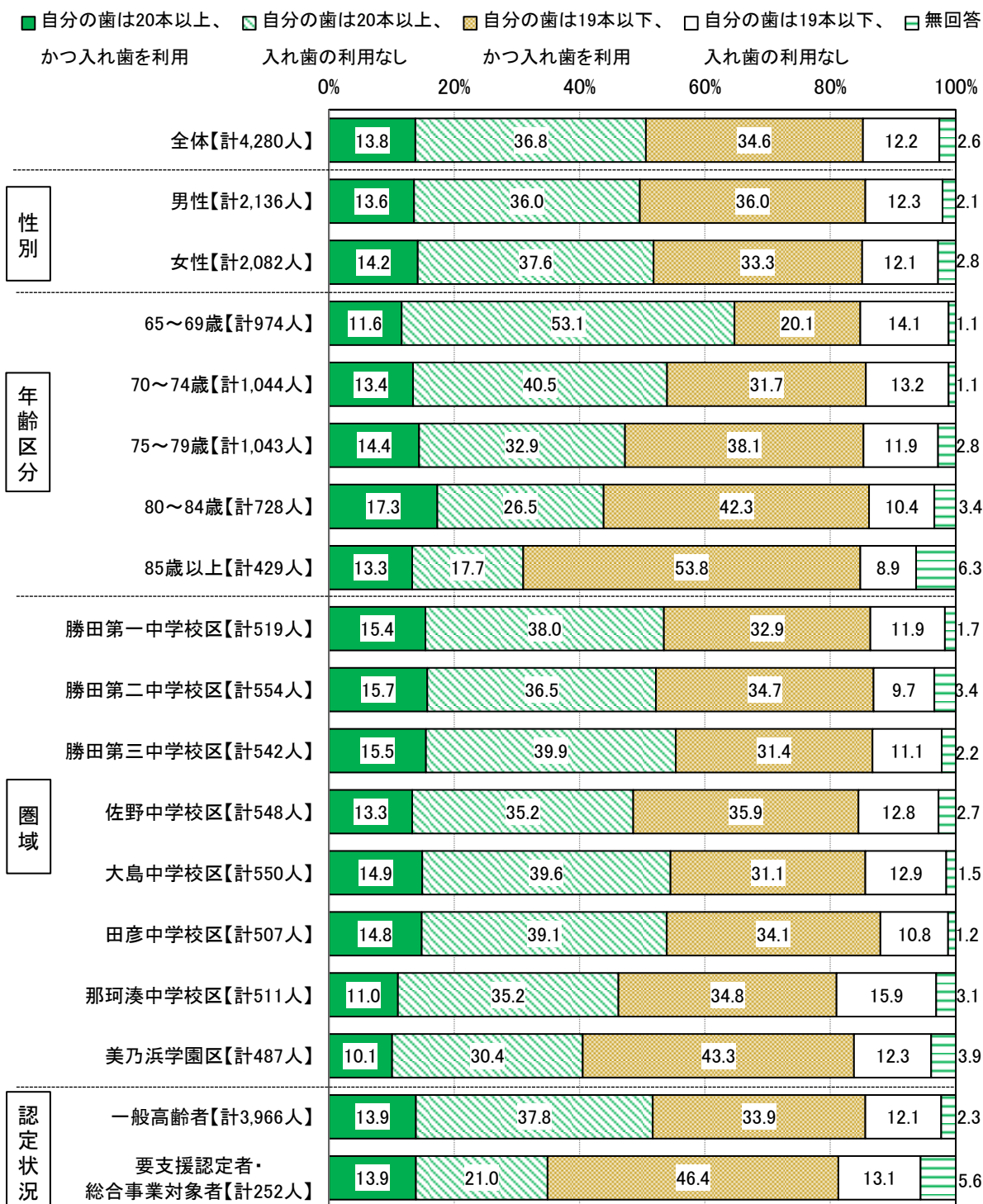
(3)お茶や汁物等でむせることがありますか

- 「はい」と回答した人の割合は25.8%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は73.1%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(28.0%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(22.6%)となっています。



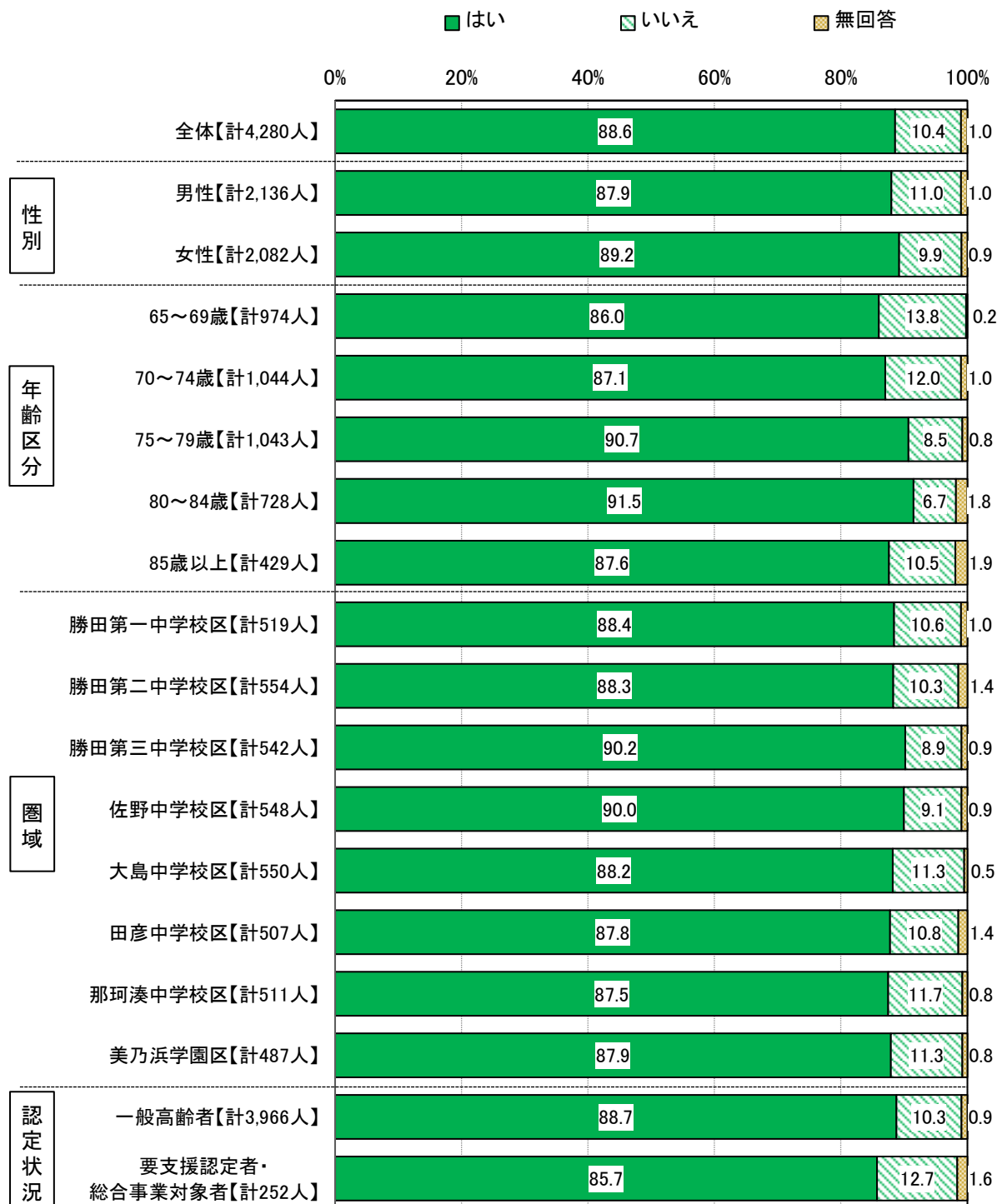
(4) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.8%で最も高く、次いで、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(34.6%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(13.8%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(12.2%)と続いています。
- 圏域別にみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(39.9%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(30.4%)となっています。



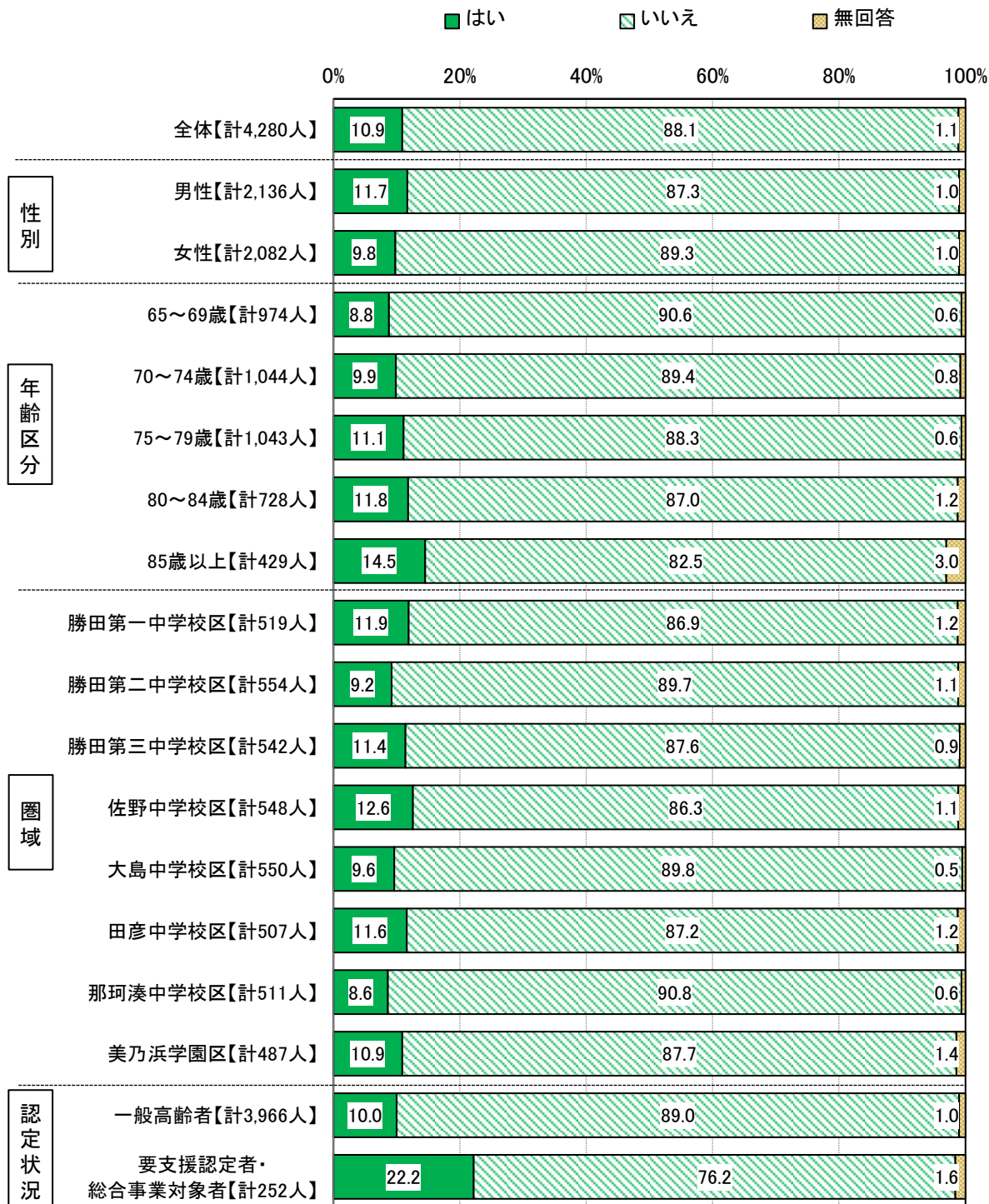
(5)1日3食、欠食せずにきちんと食べていますか

- 「はい」と回答した人の割合は88.6%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は10.4%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(90.2%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(87.5%)となっています。



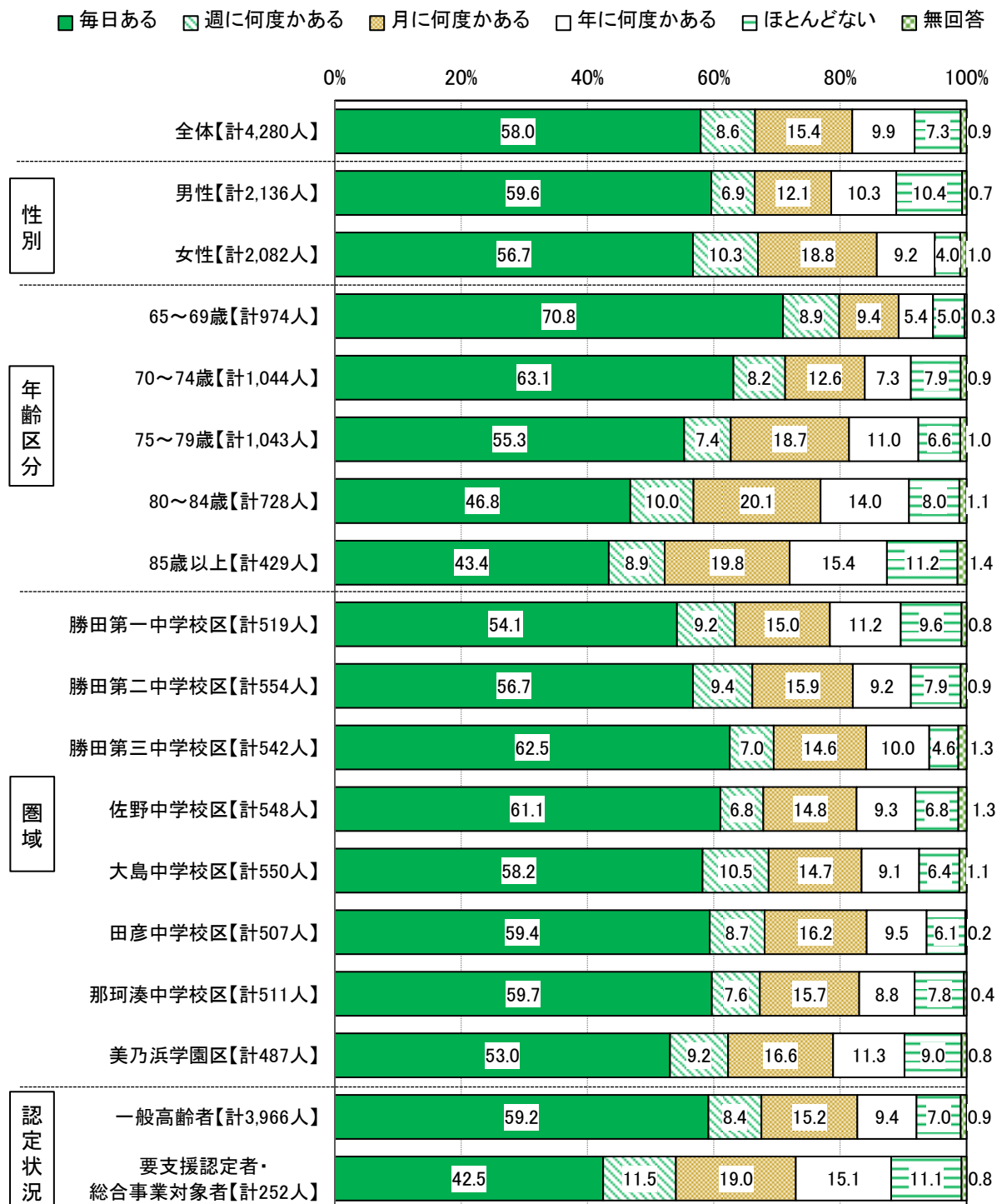
(6)6か月間で2～3kg以上の体重の減少はありましたか

- 「はい」と回答した人の割合は10.9%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は88.1%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(12.6%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(8.6%)となっています。



(7)どなたかと食事をとにもする機会がありますか

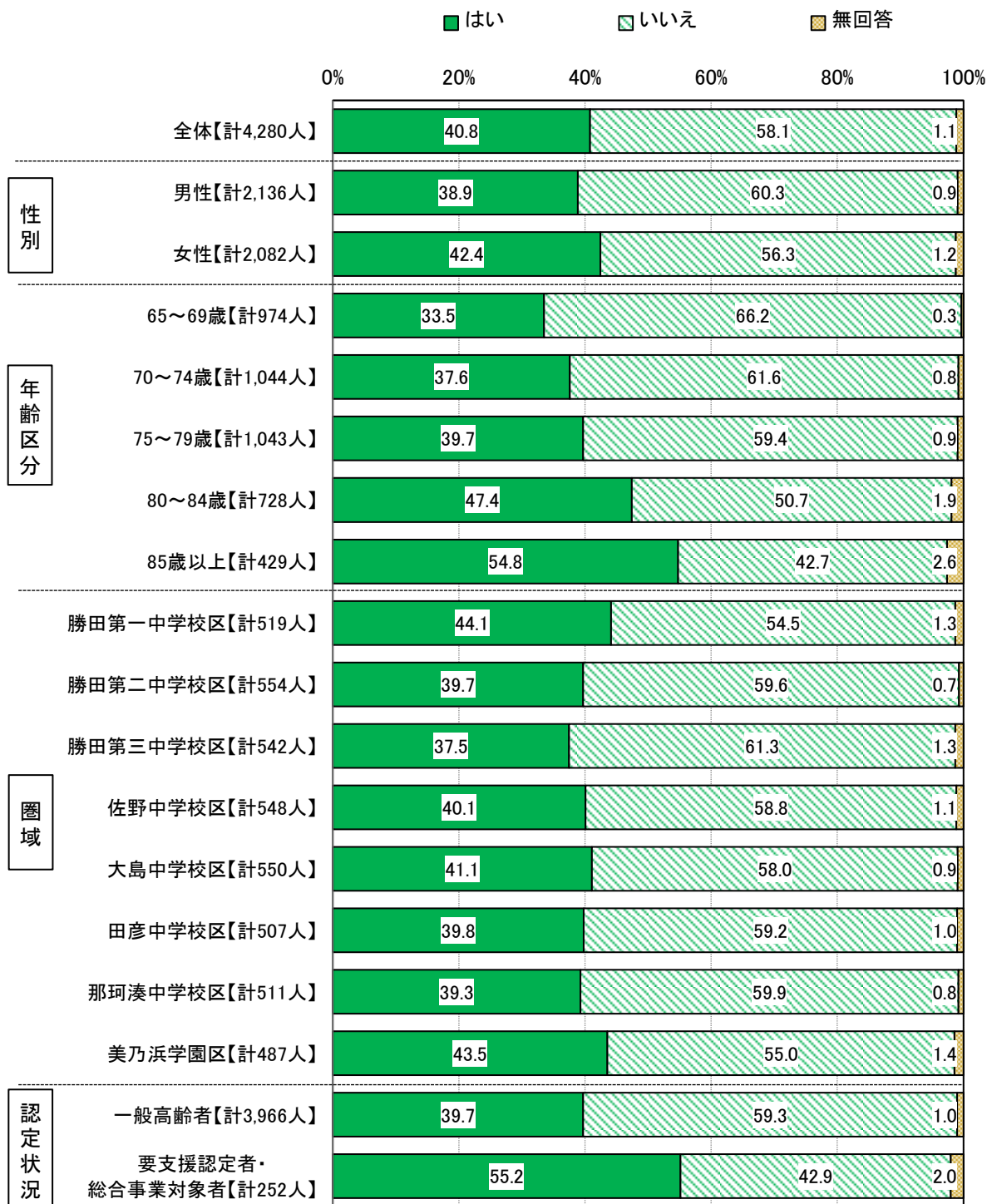
- 「毎日ある」が58.0%で最も高く、次いで、「月に何度かある」が15.4%、「年に何度かある」が9.9%、「週に何度かある」が8.6%、「ほとんどない」が7.3%となっています。
- 圏域別にみると、「ほとんどない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(9.6%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(4.6%)となっています。



問4 毎日の生活について

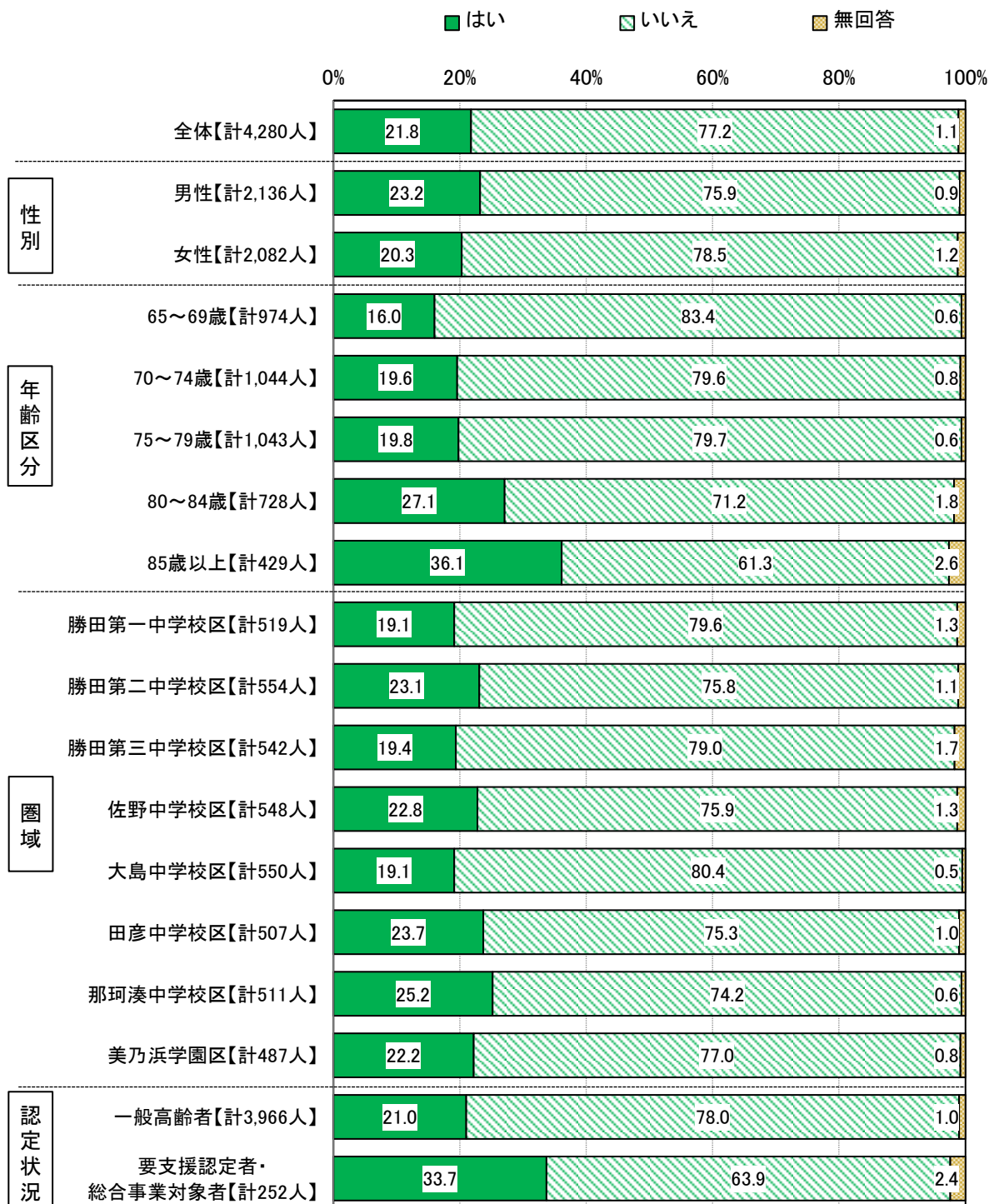
(1)物忘れが多いと感じますか

- 「はい」と回答した人の割合は40.8%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は58.1%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(44.1%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(37.5%)となっています。



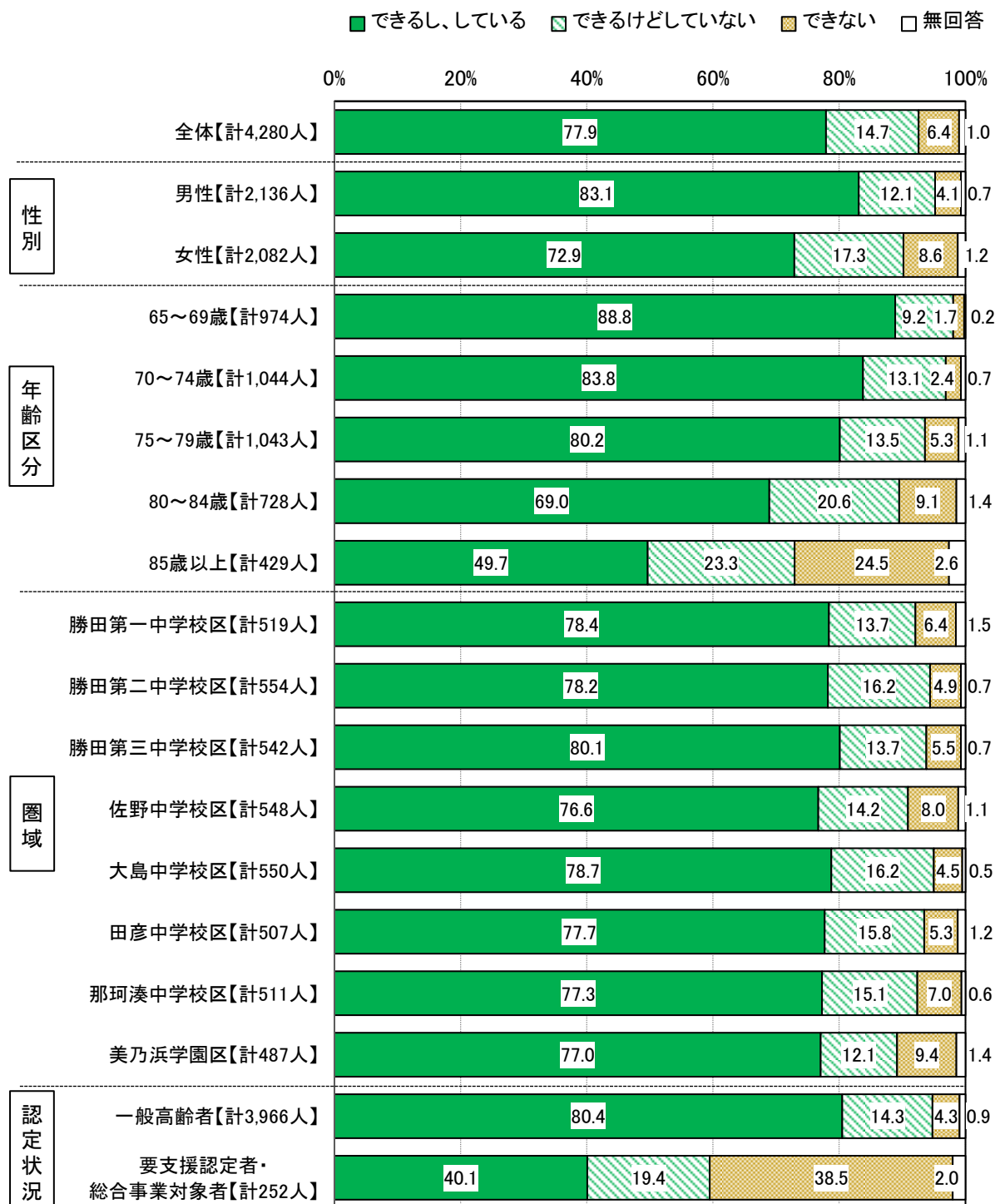
(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか

- 「はい」と回答した人の割合は21.8%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は77.2%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(25.2%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」、「大島中学校区」(19.1%)となっています。



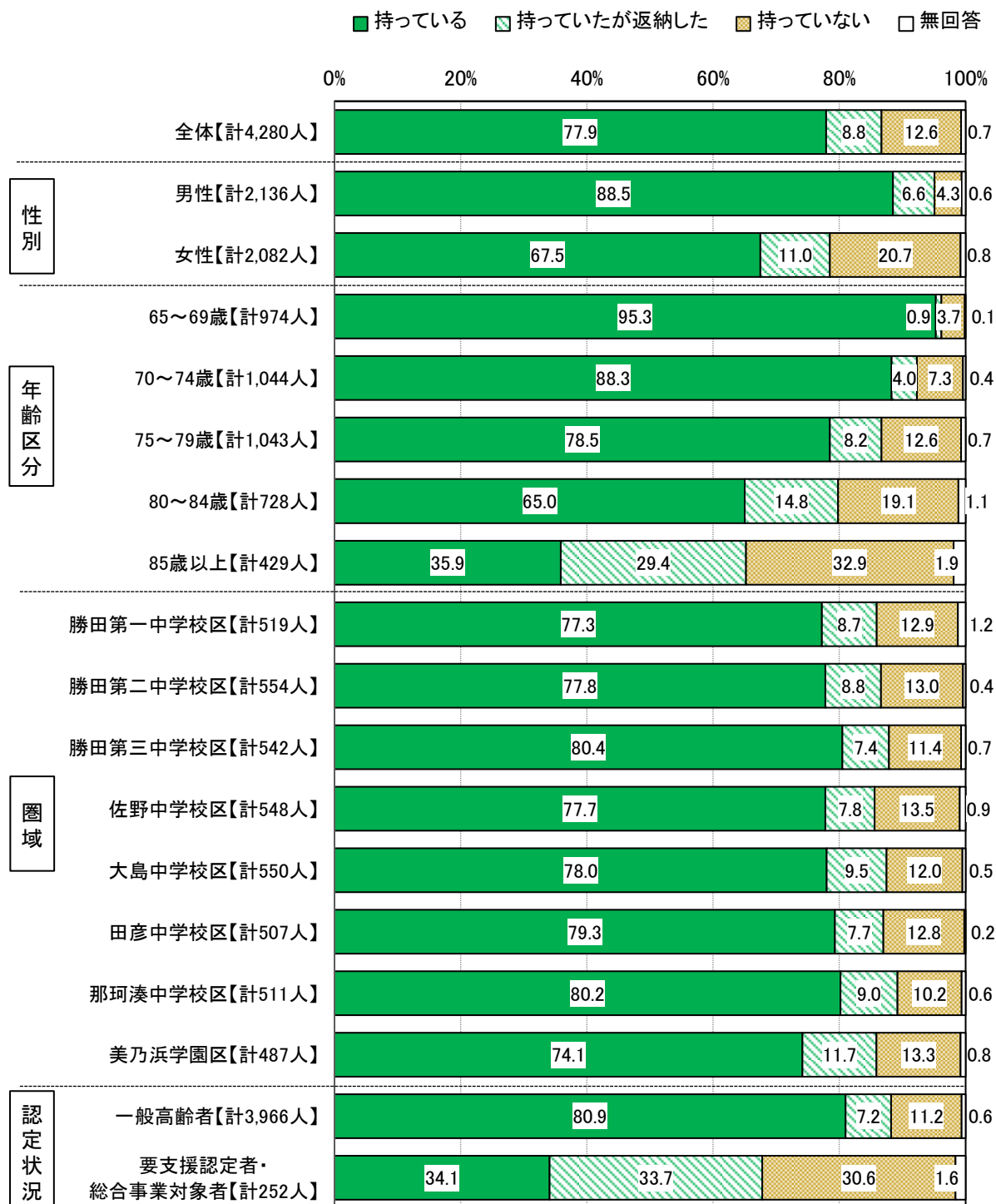
(3)バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

- 「できるし、している」が77.9%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が14.7%、「できない」が6.4%となっています。
- 圏域別にみると、「できない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(9.4%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(4.5%)となっています。



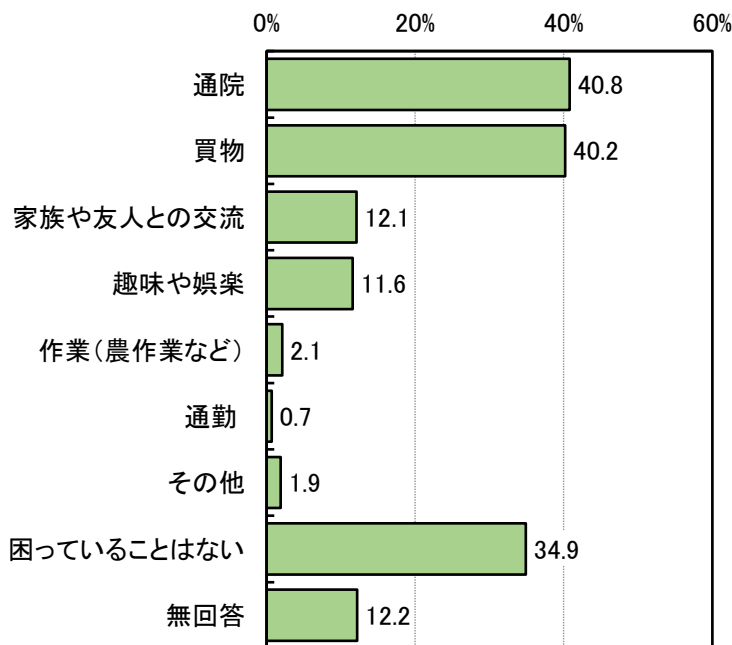
(4)自動車運転免許(バイクを含む)を持っていますか

- 「持っている」が77.9%、「持っていない」が12.6%、「持っていたが返納した」が8.8%となっています。
- 圏域別にみると、「持っている」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(80.4%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(74.1%)となっています。



【(4)において「2. 持っていたが返納した」、「3. 持っていない」の方のみ】
 (5)外出において困っていることはありますか(いくつでも)

- 「通院」が40.8%で最も高く、次いで、「買物」(40.2%)、「家族や友人との交流」(12.1%)、「趣味や娯楽」(11.6%)と続いています。
- 34.9%は「困っていることはない」と回答しています。

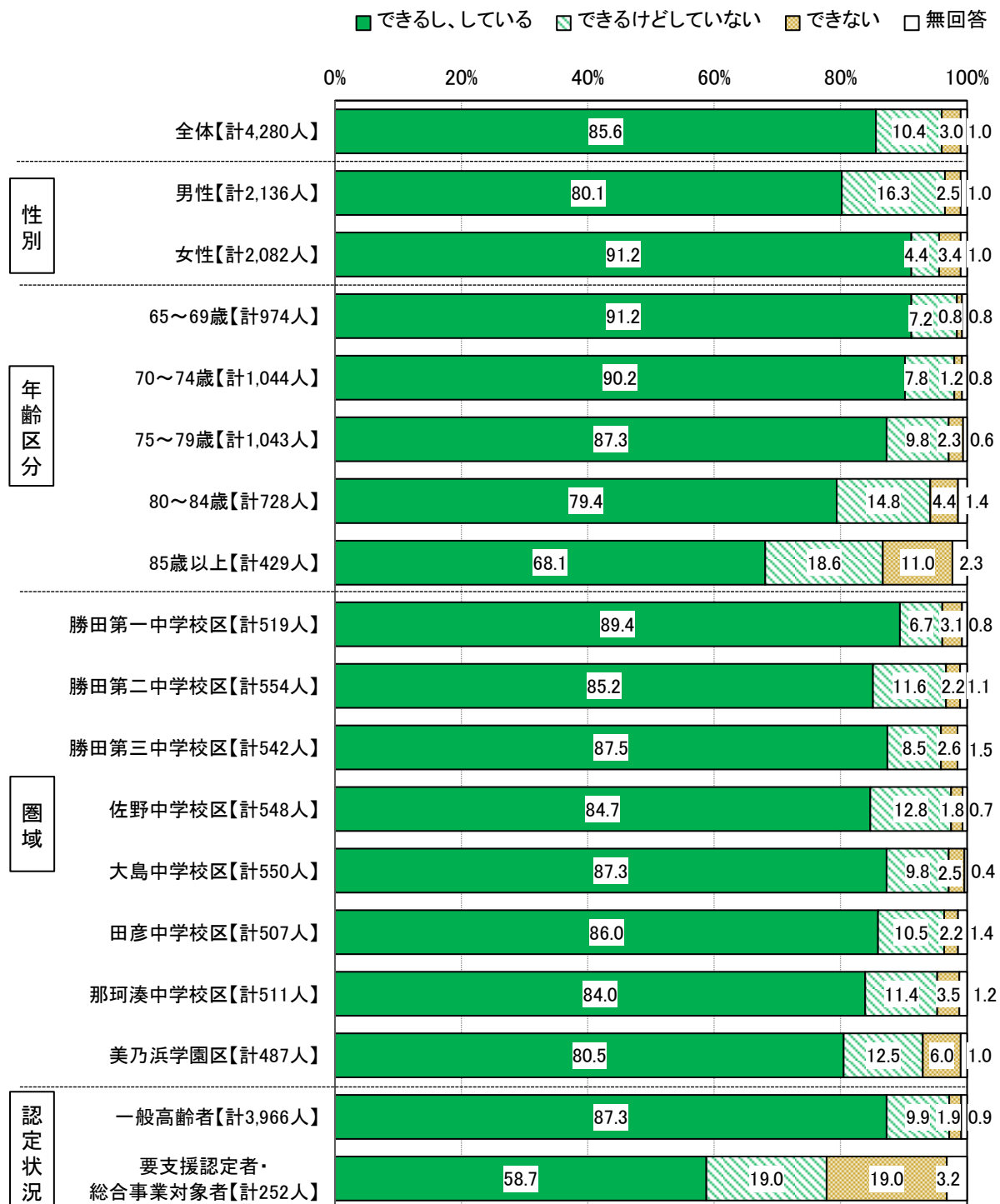


【n=916】

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
通院	40.8	39.3	41.3	45.1	35.9	37.3	39.4	40.8	45.9
買物	40.2	32.1	40.5	44.1	41.0	34.7	39.4	39.8	46.7
家族や友人との交流	12.1	8.9	12.4	14.7	12.0	9.3	10.6	14.3	13.9
趣味や娯楽	11.6	5.4	16.5	9.8	15.4	11.0	12.5	4.1	15.6
作業(農作業など)	2.1	3.6	1.7	2.0	0.0	2.5	1.0	0.0	3.3
通勤	0.7	0.9	1.7	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0
その他	1.9	2.7	2.5	0.0	0.9	0.8	5.8	1.0	0.8
困っていることはない	34.9	35.7	33.9	35.3	40.2	42.4	34.6	30.6	29.5
無回答	12.2	12.5	13.2	13.7	13.7	9.3	8.7	16.3	12.3

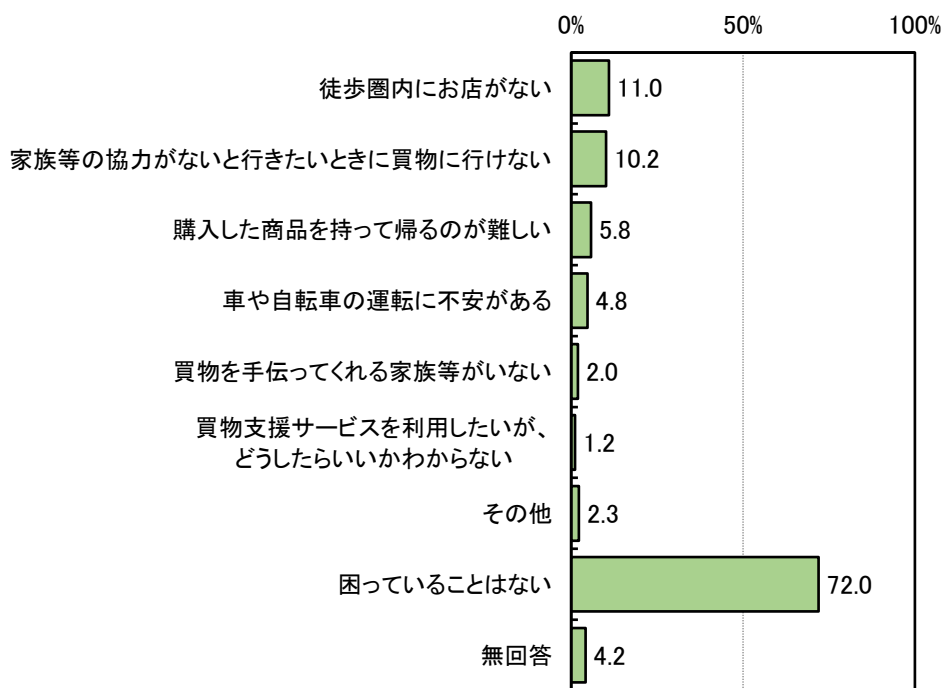
(6)自分で食品・日用品の買物をしていますか

- 「できるし、している」が85.6%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が10.4%、「できない」が3.0%となっています。
- 圏域別にみると、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(89.4%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(80.5%)となっています。



(7)買物で困っていることはありますか(いくつでも)

- 「徒歩圏内にお店がない」が11.0%で最も高く、次いで、「家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない」(10.2%)、「購入した商品を持って帰るのが難しい」(5.8%)、「車や自転車の運転に不安がある」(4.8%)と続いています。
- 72.0%は「困っていることはない」と回答しています。

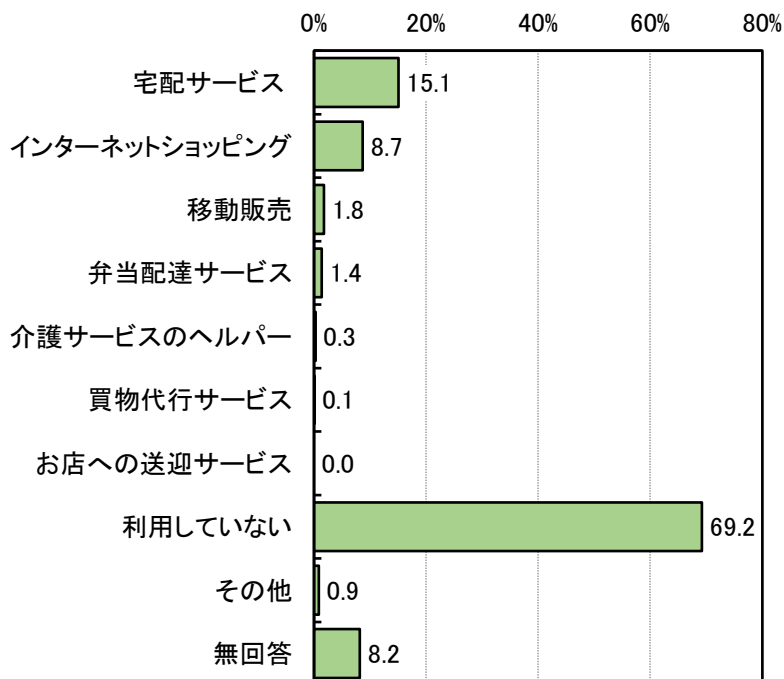


【n=4,280】

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
徒歩圏内にお店がない	11.0	13.7	11.2	14.9	8.8	5.8	6.5	8.8	19.1
家族等の協力がないと 行きたいときに買物に行けない	10.2	8.9	10.3	9.0	11.5	7.5	8.5	10.2	15.0
購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	5.8	7.0	5.5	5.3	4.4	5.7	7.0	4.7
車や自転車の運転に不安がある	4.8	6.7	5.2	3.9	4.9	3.3	4.3	4.3	5.7
買物を手伝ってくれる家族等がない	2.0	3.3	2.7	1.7	1.8	1.6	1.2	1.4	2.5
買物支援サービスを利用したいが、 どうしたらいいかわからない	1.2	1.2	1.3	1.8	1.5	1.1	0.6	1.0	0.6
その他	2.3	2.3	3.1	1.1	2.0	3.1	3.0	2.5	0.8
困っていることはない	72.0	70.1	71.8	70.7	73.9	77.1	75.5	72.0	65.7
無回答	4.2	3.1	2.9	4.6	5.1	4.0	4.3	4.7	4.1

(8)現在利用している買物支援サービスはありますか(いくつでも)

- 「宅配サービス」が15.1%で最も高く、次いで、「インターネットショッピング」(8.7%)、「移動販売」(1.8%)、「弁当配達サービス」(1.4%)と続いています。
- 69.2%は「利用していない」と回答しています。

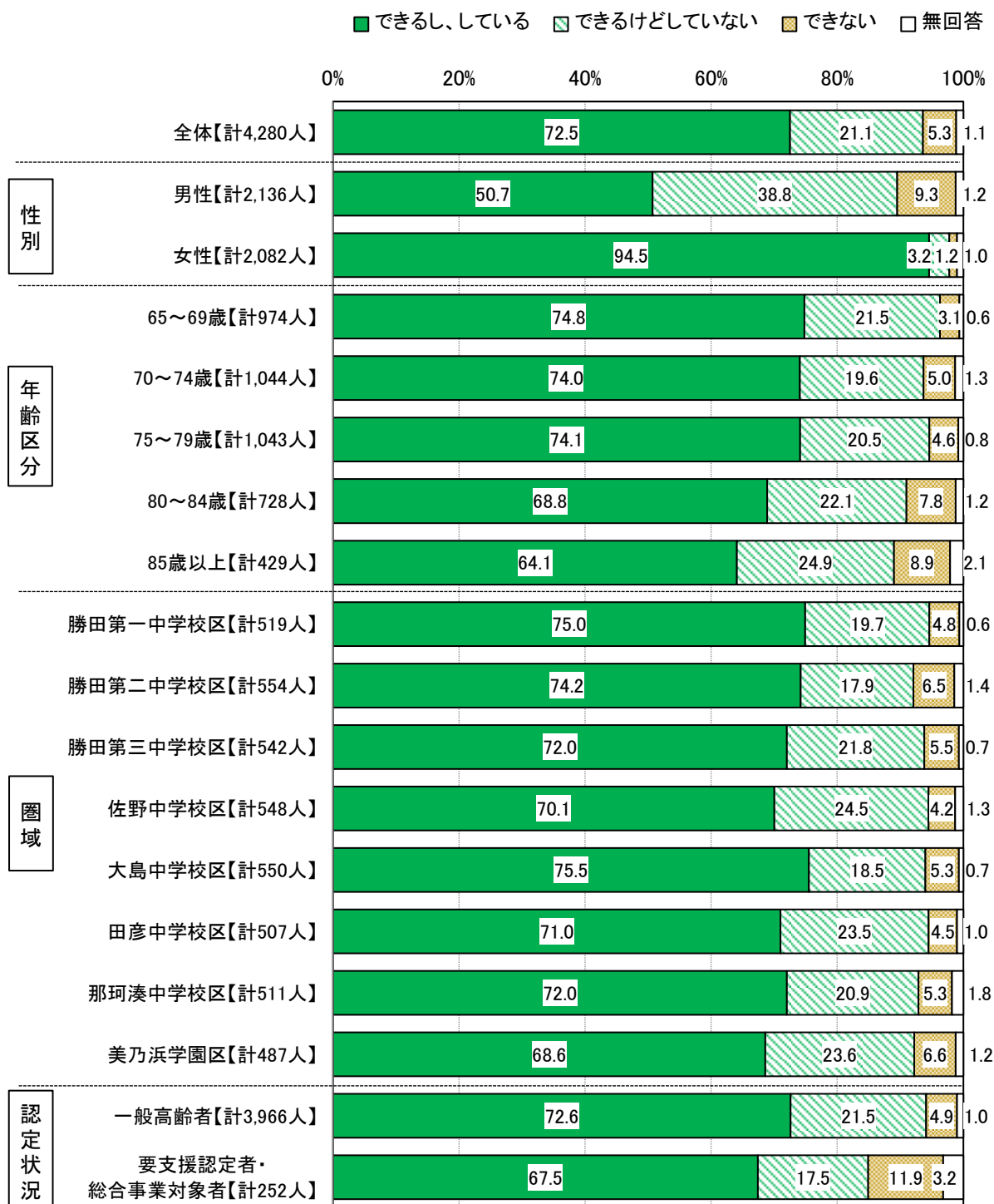


【n=4,280】

	全体	勝田第一 中学校区	勝田第二 中学校区	勝田第三 中学校区	佐野 中学校区	大島 中学校区	田彦 中学校区	那珂湊 中学校区	美乃浜 学園区
宅配サービス	15.1	12.9	16.6	15.5	13.9	18.5	18.9	12.1	11.7
インターネットショッピング	8.7	8.7	9.2	8.7	8.2	10.2	11.4	7.4	6.4
移動販売	1.8	1.7	2.5	1.5	2.0	0.4	1.0	2.3	2.3
弁当配達サービス	1.4	1.9	1.3	2.2	1.3	1.1	0.8	0.8	2.3
介護サービスのヘルパー	0.3	0.2	0.5	0.4	0.2	0.4	0.0	0.4	0.0
買物代行サービス	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.4
お店への送迎サービス	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
利用していない	69.2	71.9	68.2	67.0	69.5	69.1	66.9	70.3	71.5
その他	0.9	1.5	1.3	0.2	0.9	0.4	1.2	0.4	1.4
無回答	8.2	6.6	6.3	9.2	9.7	6.2	7.5	9.8	9.9

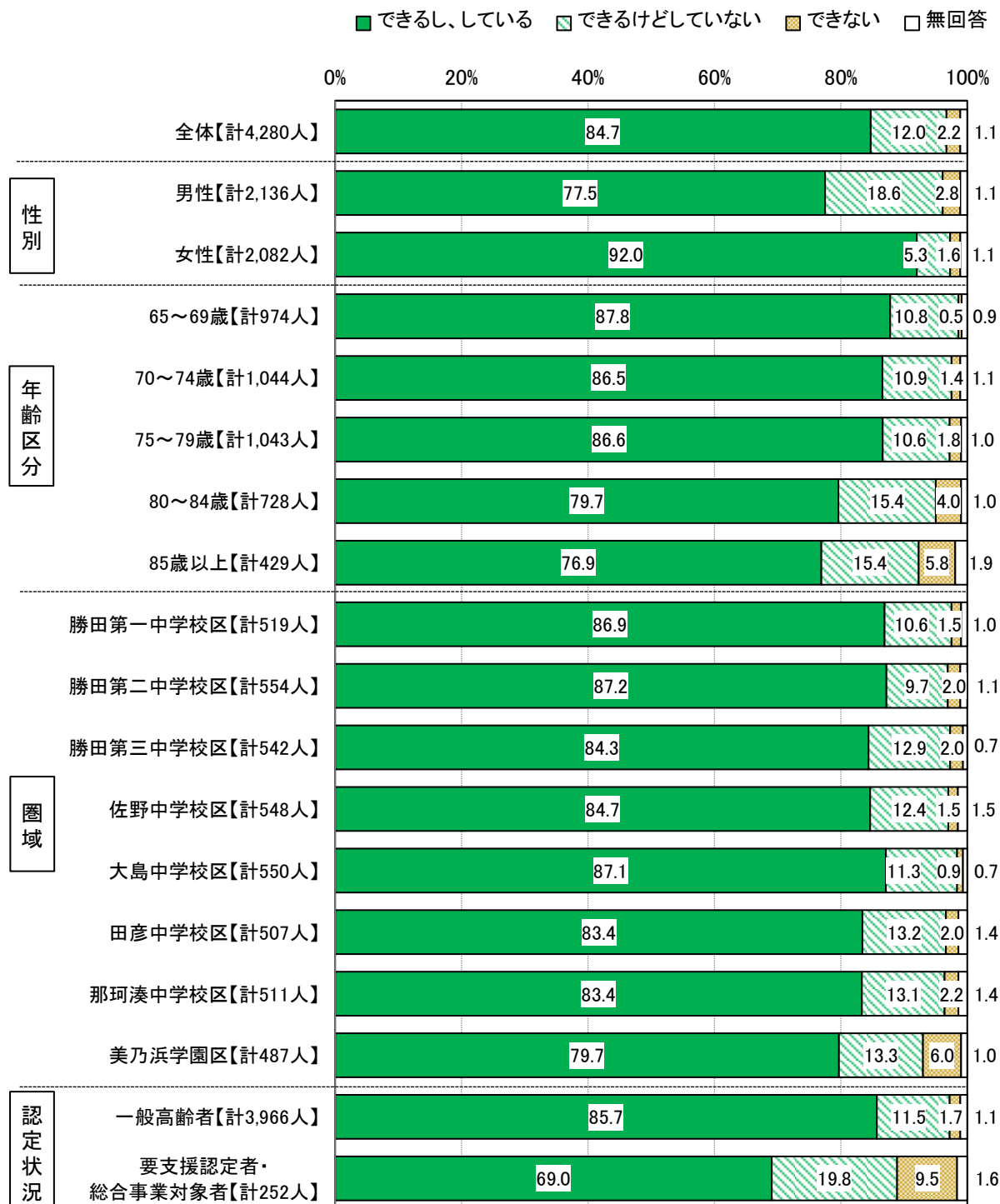
(9)自分で食事の用意をしていますか

- 「できるし、している」が72.5%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が21.1%、「できない」が5.3%となっています。
- 性別にみると、男性に比べ女性のほうが「できるし、している」と回答した人の割合が高くなっています。
- 圏域別にみると、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(75.5%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(68.6%)となっています。



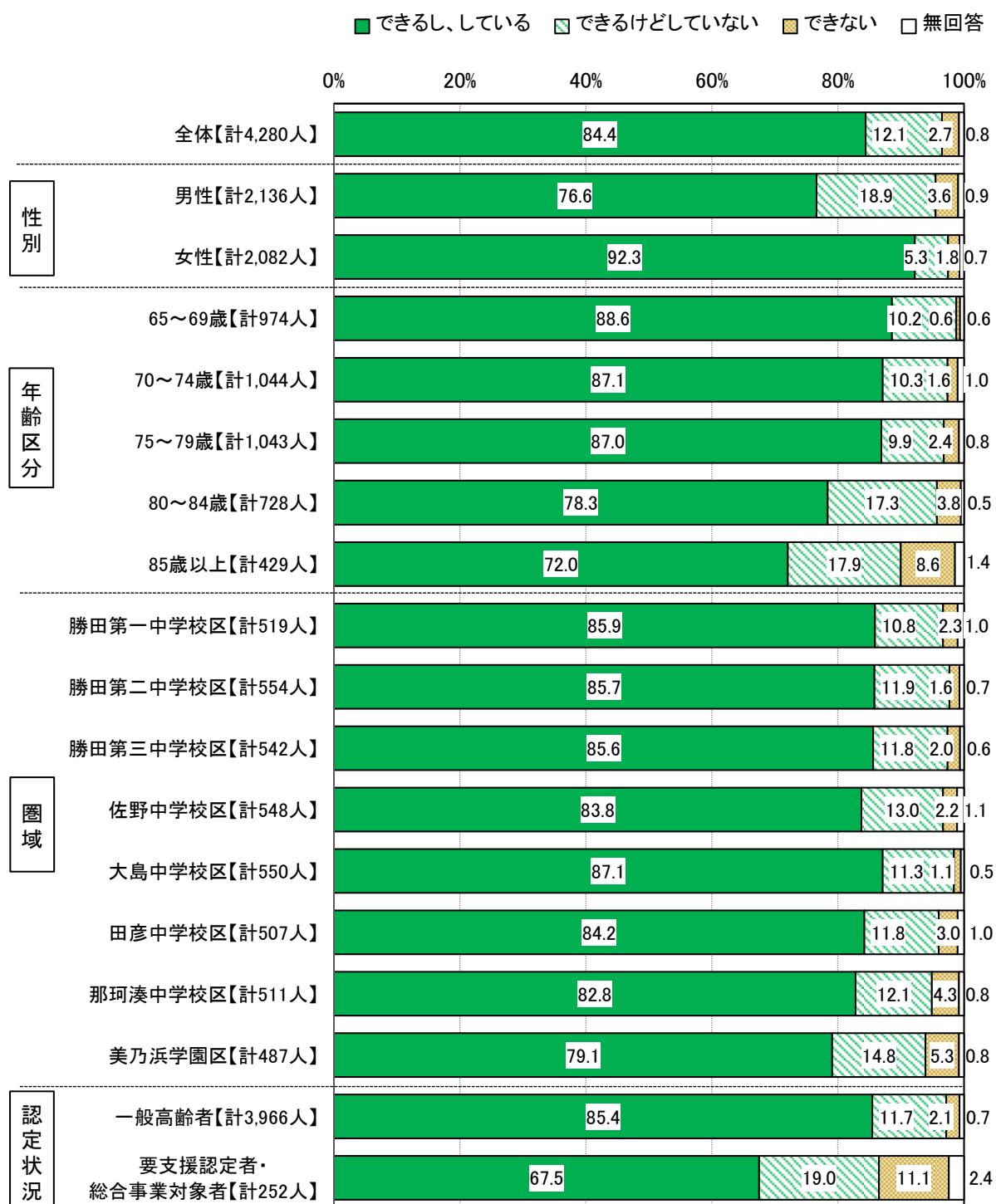
(10)自分で請求書の支払いをしていますか

- 「できるし、している」が84.7%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が12.0%、「できない」が2.2%となっています。
- 圏域別にみると、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(87.2%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(79.7%)となっています。



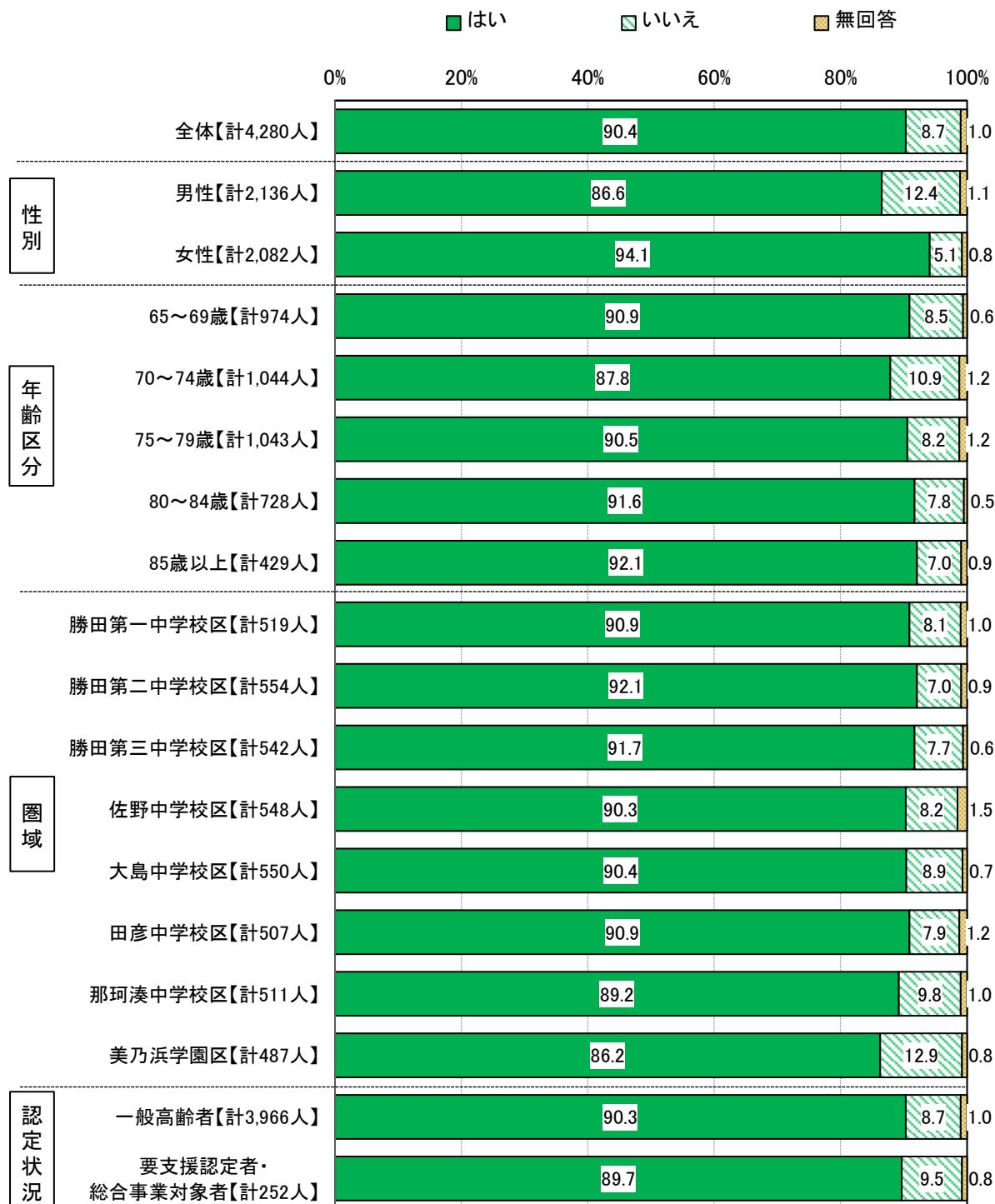
(11)自分で預貯金の出し入れをしていますか

- 「できるし、している」が84.4%で最も高く、次いで、「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が2.7%となっています。
- 性別にみると、男性に比べ女性のほうが「できるし、している」と回答した人の割合が高くなっています。
- 圏域別にみると、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(87.1%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(79.1%)となっています。



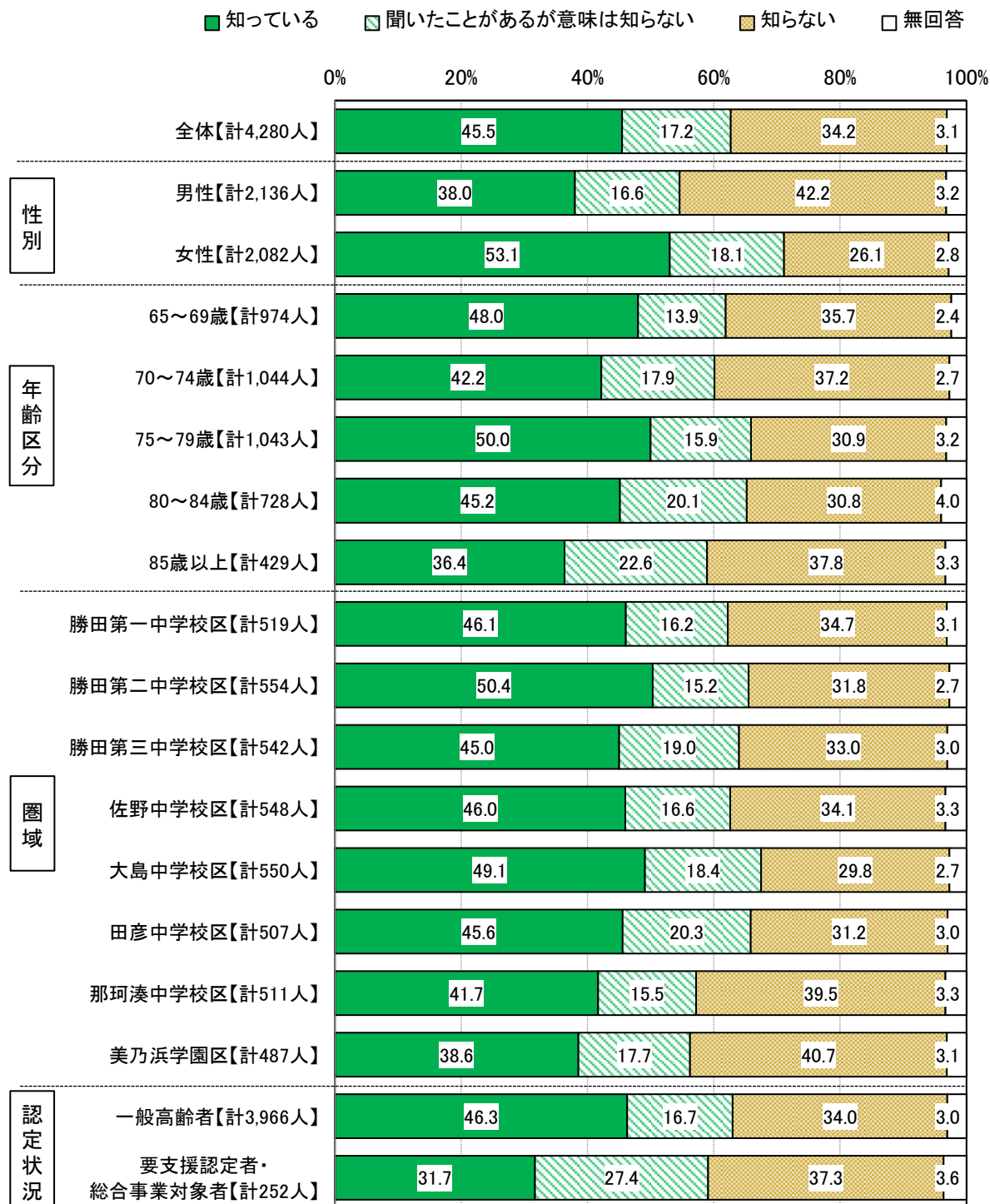
(12)健康についての記事や番組に関心がありますか

- 「はい」と回答した人の割合は90.4%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は8.7%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(92.1%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(86.2%)となっています。



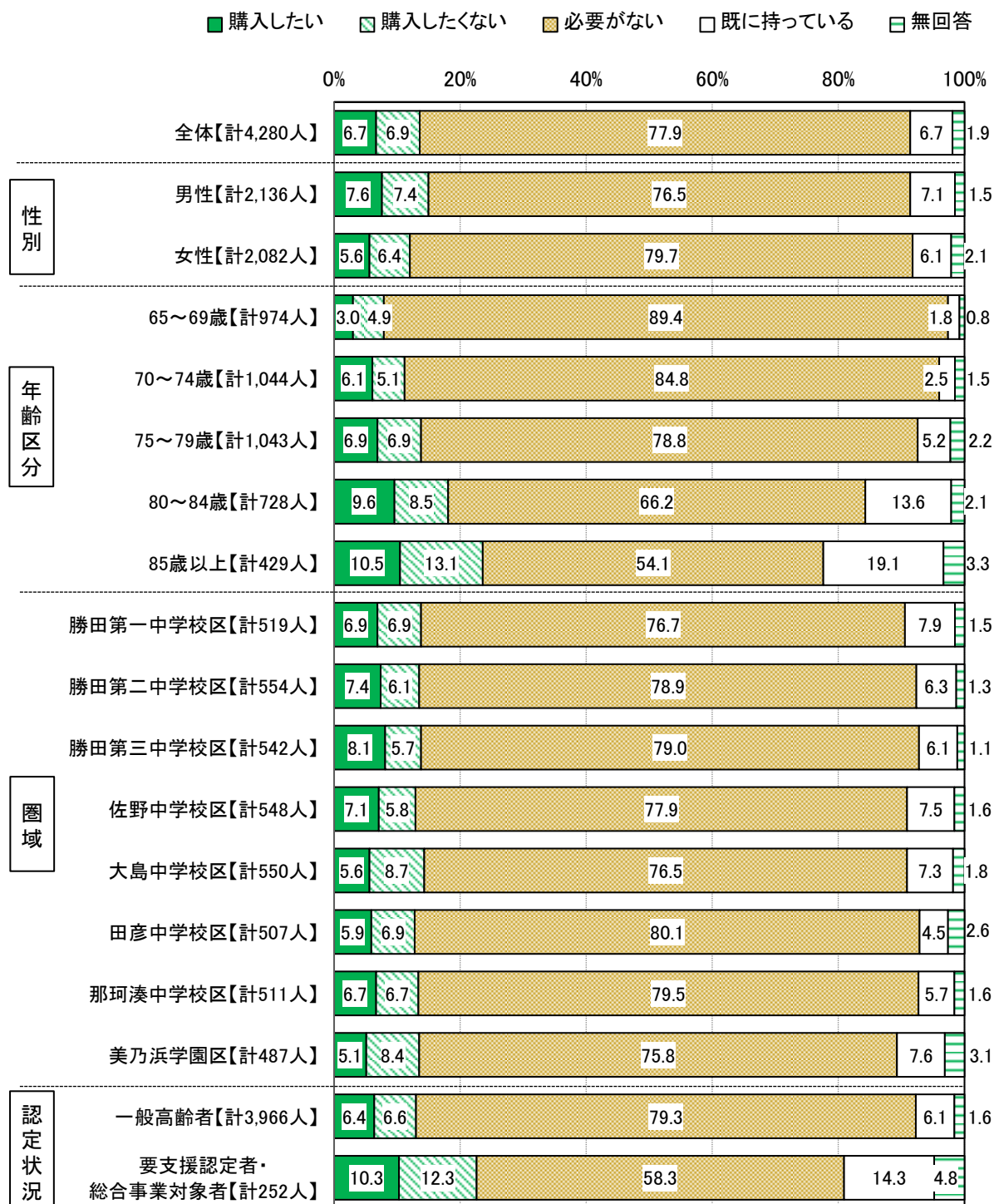
(13)「フレイル」という言葉を知っていますか

- 「知っている」が45.5%で最も高く、次いで、「知らない」が34.2%、「聞いたことがあるが意味は知らない」が17.2%となっています。
- 性別にみると、男性に比べ女性のほうが「知っている」、「聞いたことがあるが意味は知らない」と回答した人の割合が高くなっています。
- 圏域別にみると、「知っている」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(50.4%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(38.6%)となっています。



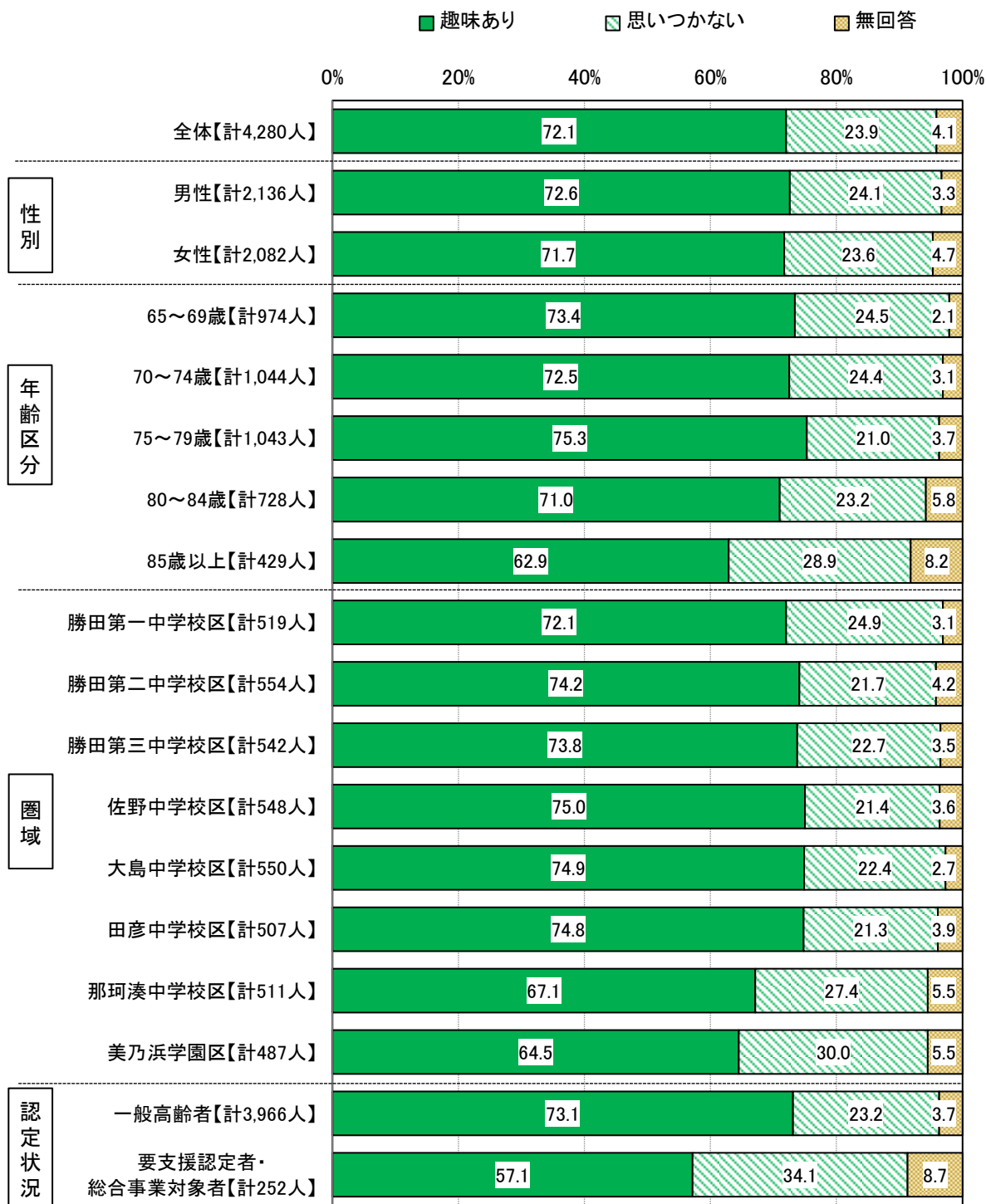
(14)補聴器を購入したいと思いますか

- 「必要がない」が77.9%で最も高く、「購入したくない」が6.9%、「購入したい」が6.7%、「既に持っている」が6.7%となっています。
- 圏域別にみると、「購入したい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(8.1%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(5.1%)となっています。「既に持っている」と回答した割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(7.9%)であり、最も低いのは「田彦中学校区」(4.5%)となっています。



(15)趣味はありますか
 (「1. 趣味あり」の方は()内に趣味をご記入ください)

- 「趣味あり」と回答した人の割合は72.1%となっています。一方、「思いつかない」と回答した人の割合は23.9%となっています。
- 圏域別にみると、「趣味あり」と回答した人の割合が最も高いのは「佐野中学校区」(75.0%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(64.5%)となっています。



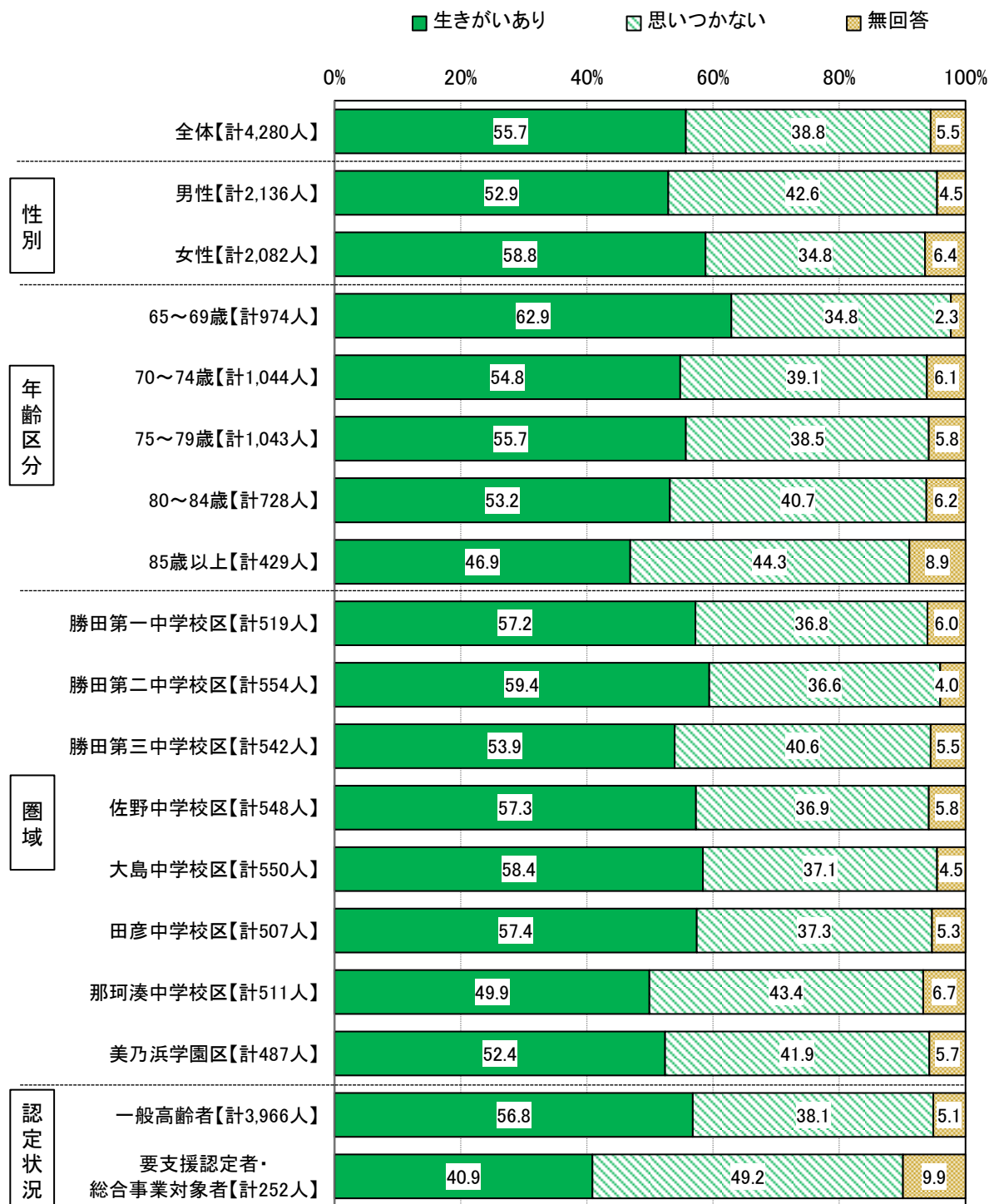
趣味の内容について

順位	趣味	件数
1	ゴルフ(グラウンドゴルフを含む)	411
2	読書(歴史読書・図書館等含む)	381
3	家庭菜園・野菜づくり	236
4	旅行	195
5	ガーデニング・園芸	170
6	手芸・編み物	166
7	ウォーキング	144
8	音楽鑑賞	138
9	カラオケ	110
10	映画鑑賞	96
11	釣り	85
12	散歩	77
13	ドライブ	71
14	料理	55
15	書道	43
16	水泳	41
17	卓球	38
18	洋裁	32
19	テニス	31
20	絵画	31

(16)生きがいはありますか

(「1. 生きがいあり」の方は()内に生きがいをご記入ください)

- 「生きがいあり」と回答した人の割合は55.7%となっています。一方、「思いつかない」と回答した人の割合は38.8%となっています。
- 圏域別にみると、「生きがいあり」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(59.4%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(49.9%)となっています。

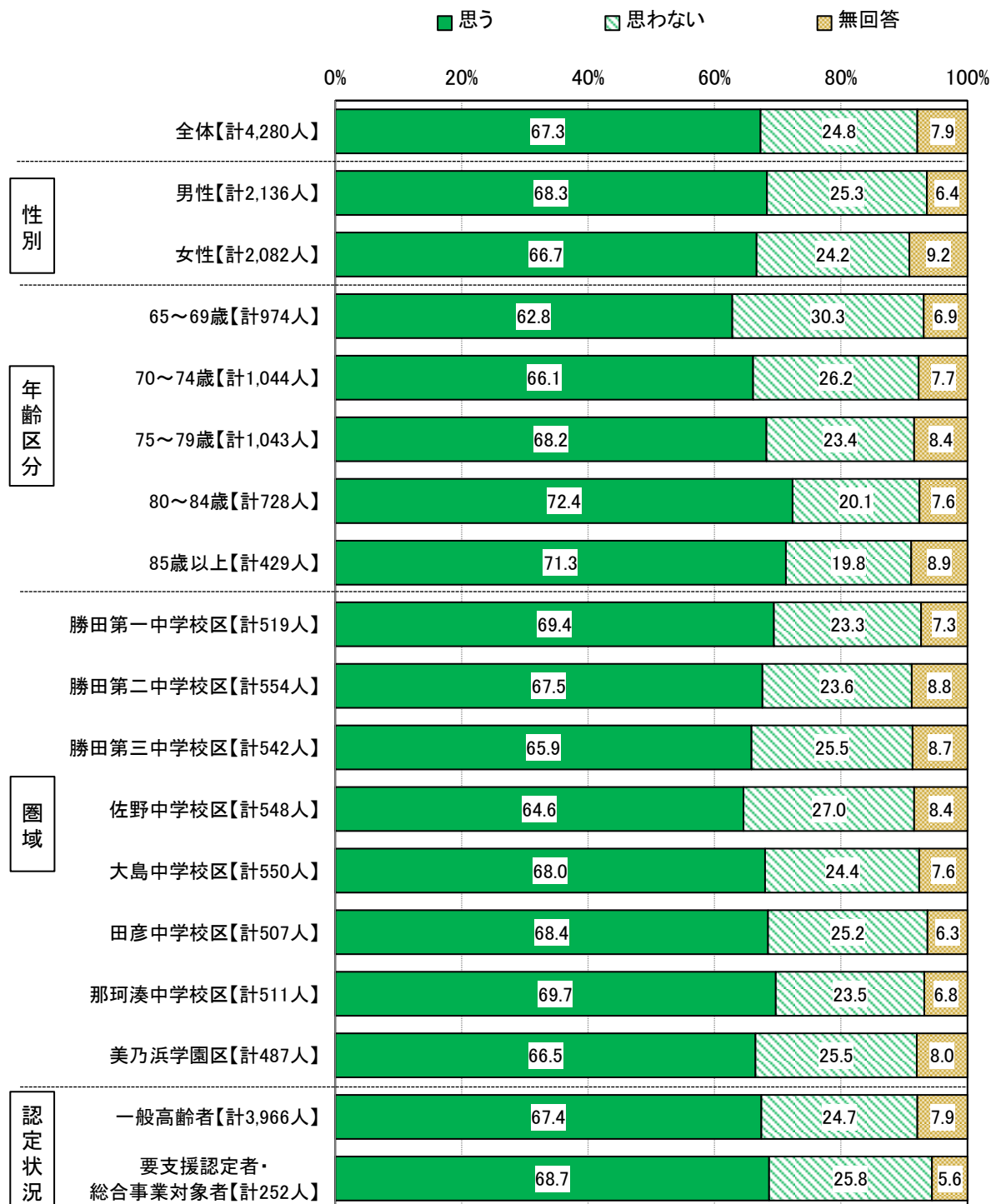


生きがいの内容について

順位	生きがい	件数
1	孫(孫の成長・孫と過ごす時間等含む)	576
2	友人・人との交流	192
3	家族(夫婦・家族、子どもとの時間など)	172
4	旅行・温泉	134
5	健康・健康維持	126
6	家庭菜園、野菜づくり、ガーデニング	107
7	スポーツ・運動	106
8	仕事(働くこと・仕事の継続)	83
9	趣味活動	72
10	ペット(犬・猫など)	48
11	ボランティア活動	21
12	読書	20
13	食事・外食(食べることなども含む)	19
14	テレビ	18
15	ドライブ	12

(17)ひたちなか市は、高齢者にとって住みやすいまちだと思いますか

- 「思う」と回答した人の割合は67.3%となっています。一方、「思わない」と回答した人の割合は24.8%となっています。
- 圏域別にみると、「思う」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(69.7%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(64.6%)となっています。



思わない理由について

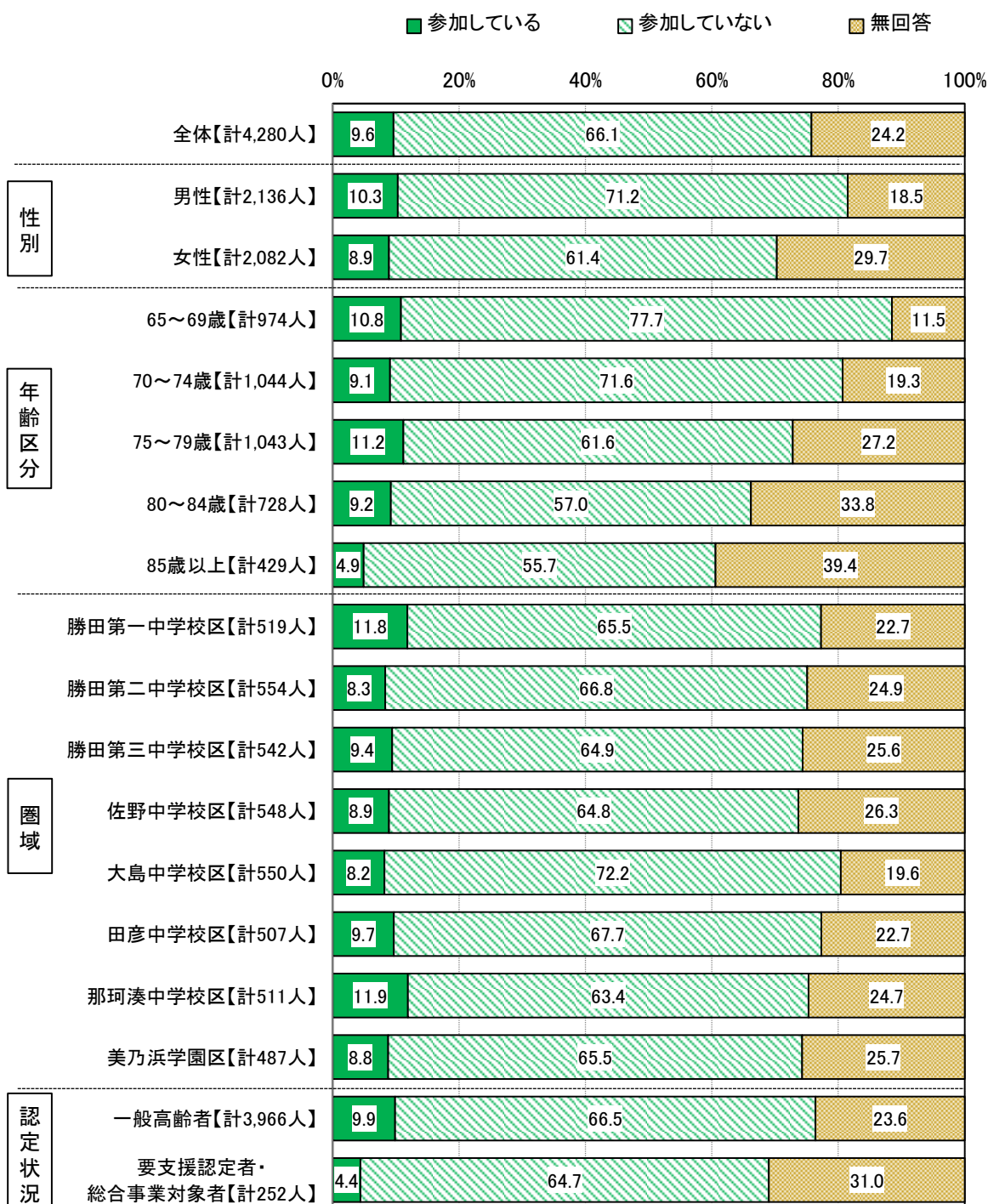
順位	思わない理由について	件数
1	バスが少ない・バスが不便	109
2	車がないと生活できない	41
3	スーパー・買い物が不便	39
4	電車が不便・本数が少ない	32
5	病院・医療機関が少ない	31
6	店が少ない	24
7	タクシーが少ない・利用しにくい	21
8	交通が不便(総合表現)	17
9	高齢者の生活が不便	12
10	道路・交通環境が悪い	9
11	公共施設が少ない	8
12	娯楽施設が少ない	7
13	仕事・雇用が少ない	6

問5 地域での活動について

(1)以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 (①から⑧について当てはまる番号に○をつけてください)

①ボランティアのグループ ※「参加している」は「週4回以上」、「週2~3回」、「週1回」、「月1~3回」、「年に数回」の合計値

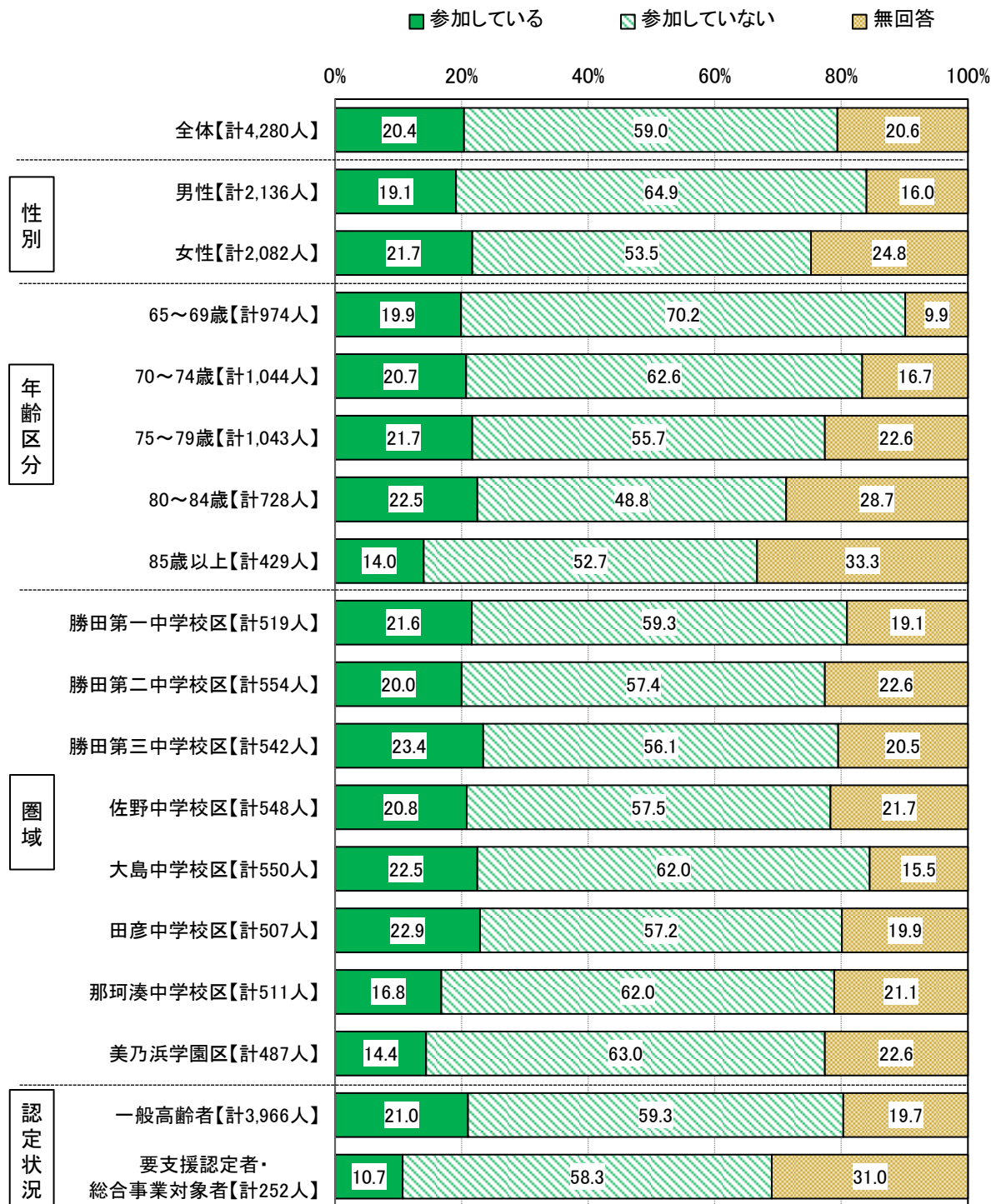
- 「参加している」と回答した人の割合は9.6%となっています。一方、「参加していない」と回答した割合は66.1%となっています。
- 圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(11.9%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(8.2%)となっています。



		参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体【計4,280人】		0.5	0.9	0.8	3.3	4.1	66.1	24.2
性別	男性【計2,136人】	0.6	0.7	0.8	3.1	5.1	71.2	18.5
	女性【計2,082人】	0.5	1.1	0.8	3.5	3.0	61.4	29.7
年齢区分	65～69歳【計974人】	0.5	1.4	0.7	3.1	5.0	77.7	11.5
	70～74歳【計1,044人】	0.6	0.8	1.0	3.2	3.6	71.6	19.3
	75～79歳【計1,043人】	0.7	0.7	0.8	4.2	4.9	61.6	27.2
	80～84歳【計728人】	0.4	1.2	1.1	3.6	2.9	57.0	33.8
	85歳以上【計429人】	0.2	0.2	0.2	1.6	2.6	55.7	39.4
圏域	勝田第一中学校区【計519人】	1.0	1.9	0.8	2.7	5.4	65.5	22.7
	勝田第二中学校区【計554人】	0.5	0.5	0.4	3.8	3.1	66.8	24.9
	勝田第三中学校区【計542人】	0.9	1.3	1.3	2.6	3.3	64.9	25.6
	佐野中学校区【計548人】	0.2	0.7	1.3	2.7	4.0	64.8	26.3
	大島中学校区【計550人】	0.5	0.7	0.4	2.7	3.8	72.2	19.6
	田彦中学校区【計507人】	0.4	0.8	1.0	4.3	3.2	67.7	22.7
	那珂湊中学校区【計511人】	0.6	0.6	0.8	3.9	6.1	63.4	24.7
	美乃浜学園区【計487人】	0.0	0.8	0.6	3.9	3.5	65.5	25.7
認定状況	一般高齢者【計3,966人】	0.5	1.0	0.8	3.5	4.2	66.5	23.6
	要支援認定者・ 総合事業対象者【計252人】	0.4	0.0	1.2	1.2	1.6	64.7	31.0

②スポーツ関係のグループやクラブ

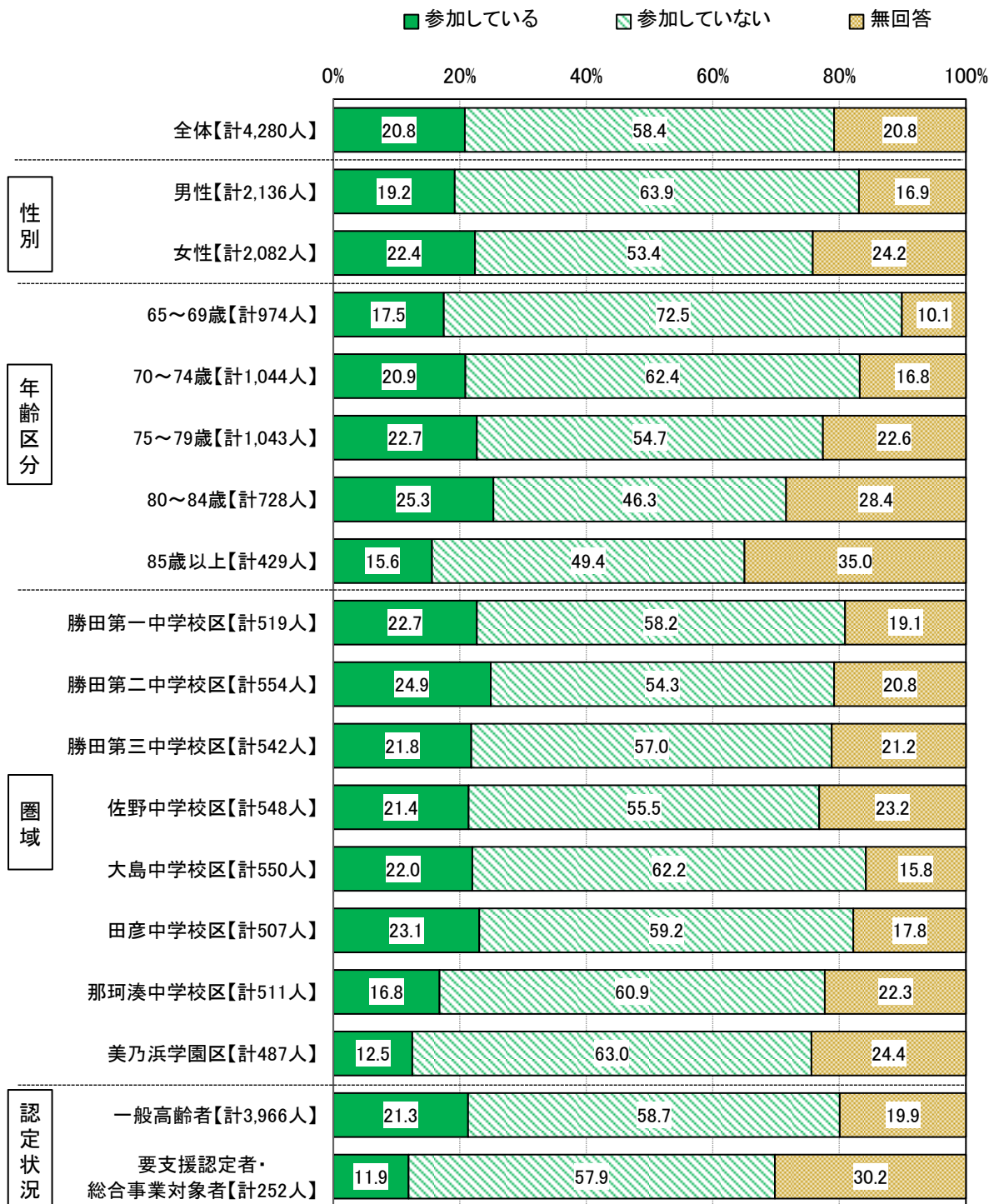
- 「参加している」と回答した人の割合は20.4%となっています。一方、「参加していない」と回答した割合は59.0%となっています。
- 圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(23.4%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(14.4%)となっています。



		参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体【計4,280人】		3.3	6.4	4.0	4.7	2.0	59.0	20.6
性別	男性【計2,136人】	2.9	4.5	3.6	4.9	3.2	64.9	16.0
	女性【計2,082人】	3.9	8.2	4.4	4.5	0.8	53.5	24.8
年齢区分	65～69歳【計974人】	3.4	6.1	3.3	3.9	3.3	70.2	9.9
	70～74歳【計1,044人】	3.3	6.1	4.0	5.1	2.2	62.6	16.7
	75～79歳【計1,043人】	3.8	6.5	5.5	4.8	1.1	55.7	22.6
	80～84歳【計728人】	3.4	6.9	3.7	6.6	1.9	48.8	28.7
	85歳以上【計429人】	2.3	6.1	2.6	2.1	0.9	52.7	33.3
圏域	勝田第一中学校区【計519人】	3.9	5.2	5.0	5.0	2.5	59.3	19.1
	勝田第二中学校区【計554人】	3.4	6.1	3.4	5.6	1.4	57.4	22.6
	勝田第三中学校区【計542人】	3.1	7.2	7.0	2.8	3.3	56.1	20.5
	佐野中学校区【計548人】	3.5	7.3	3.1	4.7	2.2	57.5	21.7
	大島中学校区【計550人】	4.2	7.5	4.2	5.3	1.5	62.0	15.5
	田彦中学校区【計507人】	4.1	7.3	5.3	4.5	1.6	57.2	19.9
	那珂湊中学校区【計511人】	3.1	4.9	2.0	4.3	2.5	62.0	21.1
	美乃浜学園区【計487人】	1.4	4.9	1.8	5.3	0.8	63.0	22.6
認定状況	一般高齢者【計3,966人】	3.5	6.6	4.1	4.8	2.0	59.3	19.7
	要支援認定者・ 総合事業対象者【計252人】	0.8	2.8	2.8	3.2	1.2	58.3	31.0

③趣味関係のグループ

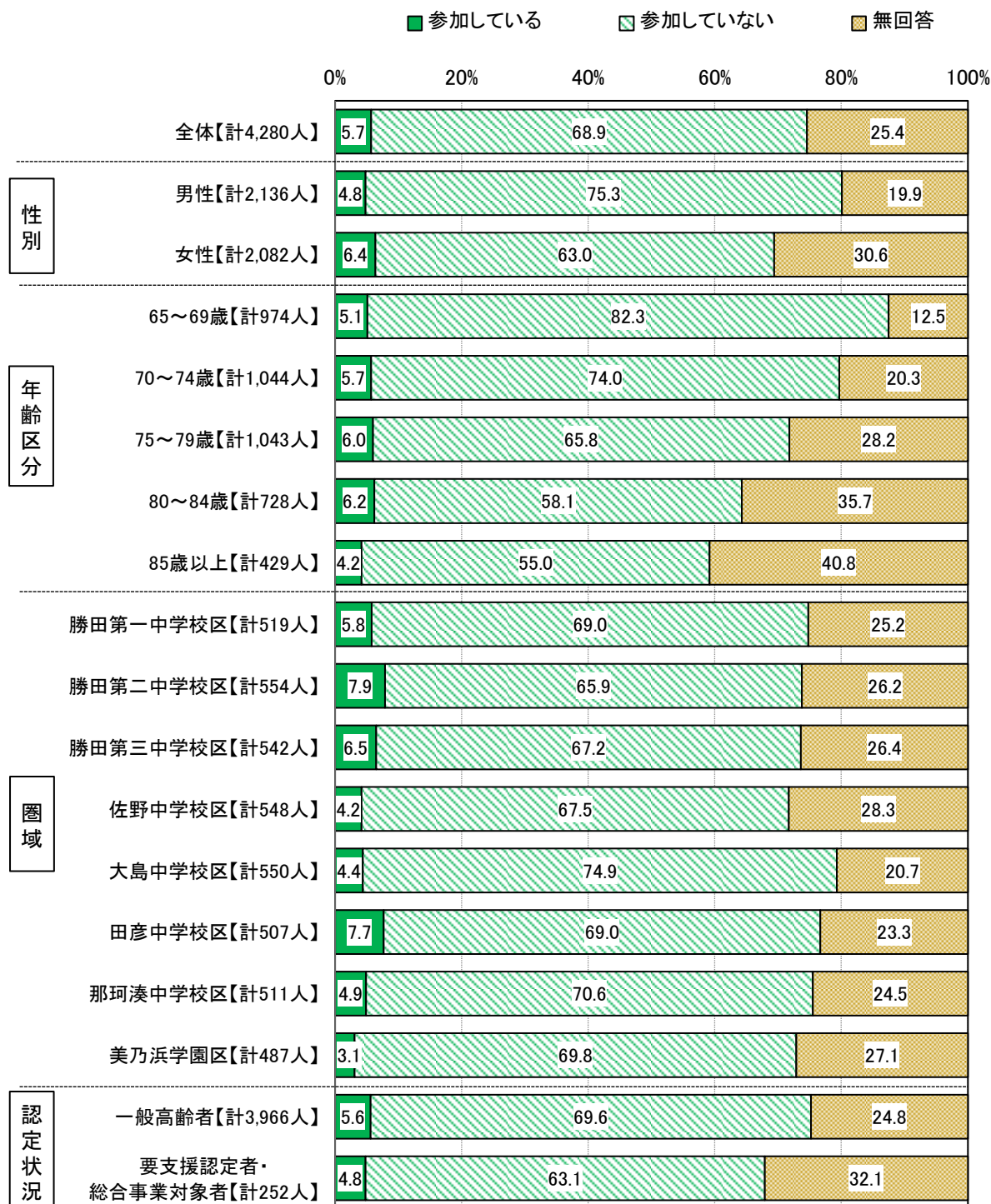
- 「参加している」と回答した人の割合は20.8%となっています。一方、「参加していない」と回答した割合は58.4%となっています。
- 圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(24.9%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(12.5%)となっています。



		参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体【計4,280人】		0.9	2.8	3.5	9.8	3.8	58.4	20.8
性別	男性【計2,136人】	0.7	2.3	3.3	7.7	5.2	63.9	16.9
	女性【計2,082人】	1.2	3.2	3.7	11.9	2.4	53.4	24.2
年齢区分	65～69歳【計974人】	0.6	1.7	2.4	8.0	4.7	72.5	10.1
	70～74歳【計1,044人】	1.0	3.1	3.5	10.5	2.8	62.4	16.8
	75～79歳【計1,043人】	1.1	3.1	4.1	11.0	3.5	54.7	22.6
	80～84歳【計728人】	1.0	4.3	5.1	10.9	4.1	46.3	28.4
	85歳以上【計429人】	0.9	0.7	2.1	7.0	4.9	49.4	35.0
圏域	勝田第一中学校区【計519人】	0.6	3.5	3.7	10.2	4.8	58.2	19.1
	勝田第二中学校区【計554人】	1.3	3.8	3.4	12.5	4.0	54.3	20.8
	勝田第三中学校区【計542人】	1.1	1.5	4.6	9.2	5.4	57.0	21.2
	佐野中学校区【計548人】	0.5	3.1	3.6	10.6	3.5	55.5	23.2
	大島中学校区【計550人】	0.9	2.9	4.7	9.6	3.8	62.2	15.8
	田彦中学校区【計507人】	1.6	2.6	3.9	11.8	3.2	59.2	17.8
	那珂湊中学校区【計511人】	1.0	2.0	3.3	7.2	3.3	60.9	22.3
	美乃浜学園区【計487人】	0.2	2.5	0.6	6.6	2.7	63.0	24.4
認定状況	一般高齢者【計3,966人】	1.0	2.7	3.5	10.1	4.0	58.7	19.9
	要支援認定者・ 総合事業対象者【計252人】	0.0	2.4	3.6	4.4	1.6	57.9	30.2

④学習・教養サークル

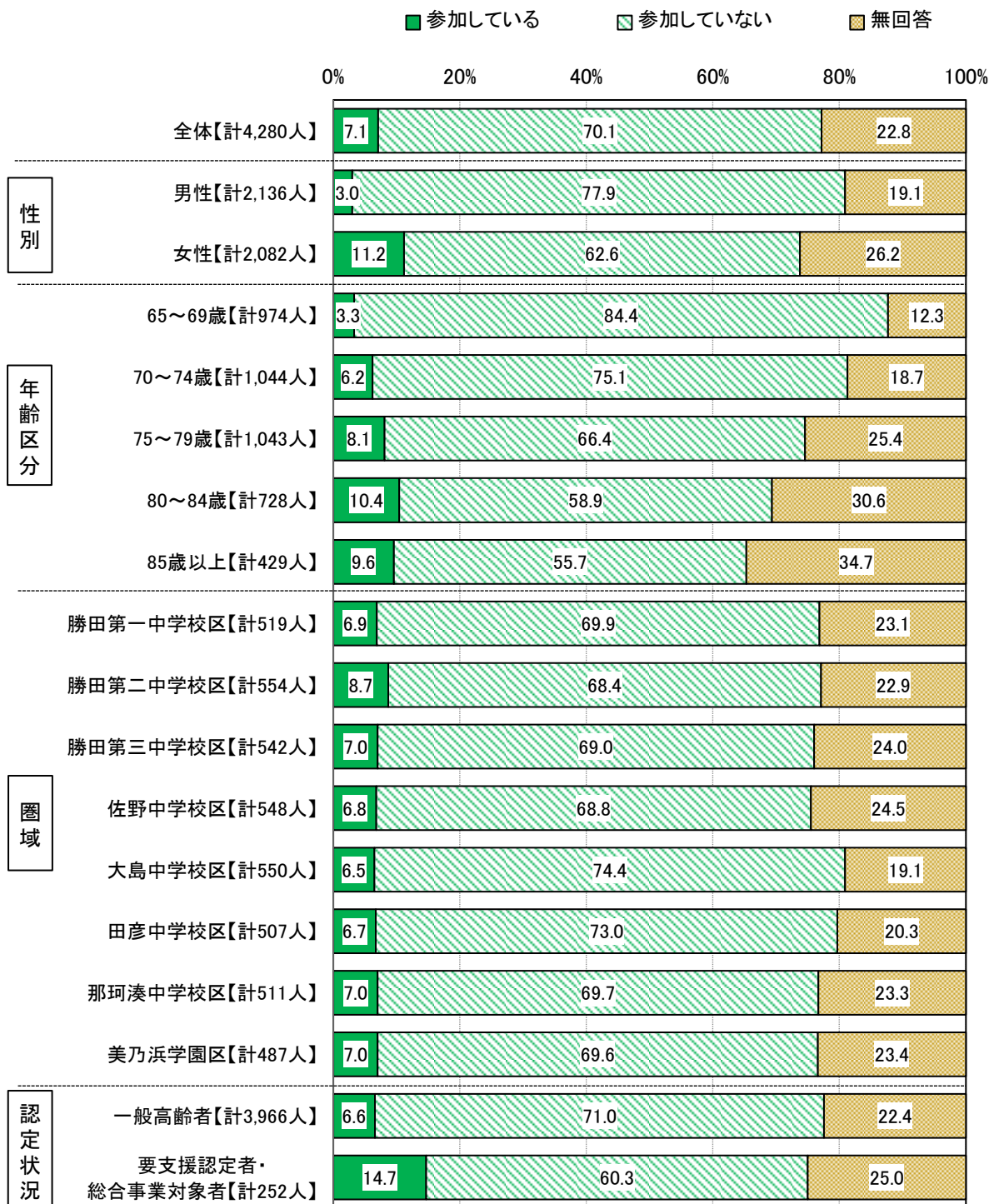
- 「参加している」と回答した人の割合は5.7%となっています。一方、「参加していない」と回答した割合は68.9%となっています。
- 圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(7.9%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(3.1%)となっています。



		参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体【計4,280人】		0.3	0.4	0.6	2.2	2.2	68.9	25.4
性別	男性【計2,136人】	0.3	0.2	0.4	1.4	2.5	75.3	19.9
	女性【計2,082人】	0.4	0.5	0.7	2.9	1.9	63.0	30.6
年齢区分	65～69歳【計974人】	0.3	0.4	0.3	2.0	2.2	82.3	12.5
	70～74歳【計1,044人】	0.1	0.6	0.8	2.6	1.6	74.0	20.3
	75～79歳【計1,043人】	0.5	0.4	0.6	1.9	2.7	65.8	28.2
	80～84歳【計728人】	0.4	0.1	0.5	2.5	2.6	58.1	35.7
	85歳以上【計429人】	0.5	0.0	0.5	1.6	1.6	55.0	40.8
圏域	勝田第一中学校区【計519人】	0.4	0.4	0.2	2.7	2.1	69.0	25.2
	勝田第二中学校区【計554人】	0.2	0.2	0.9	3.4	3.2	65.9	26.2
	勝田第三中学校区【計542人】	0.6	0.4	0.6	2.8	2.2	67.2	26.4
	佐野中学校区【計548人】	0.0	0.4	0.4	1.8	1.6	67.5	28.3
	大島中学校区【計550人】	0.2	0.7	0.5	1.8	1.1	74.9	20.7
	田彦中学校区【計507人】	0.8	0.6	1.2	2.2	3.0	69.0	23.3
	那珂湊中学校区【計511人】	0.0	0.2	0.6	1.6	2.5	70.6	24.5
	美乃浜学園区【計487人】	0.6	0.0	0.0	0.8	1.6	69.8	27.1
認定状況	一般高齢者【計3,966人】	0.3	0.4	0.6	2.2	2.2	69.6	24.8
	要支援認定者・ 総合事業対象者【計252人】	0.4	0.0	0.4	2.0	2.0	63.1	32.1

⑤市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場

- 「参加している」と回答した人の割合は7.1%となっています。一方、「参加していない」と回答した割合は70.1%となっています。
- 性別にみると、男性に比べ女性のほうが「参加している」と回答した人の割合が高くなっています。
- 圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(8.7%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(6.5%)となっています。

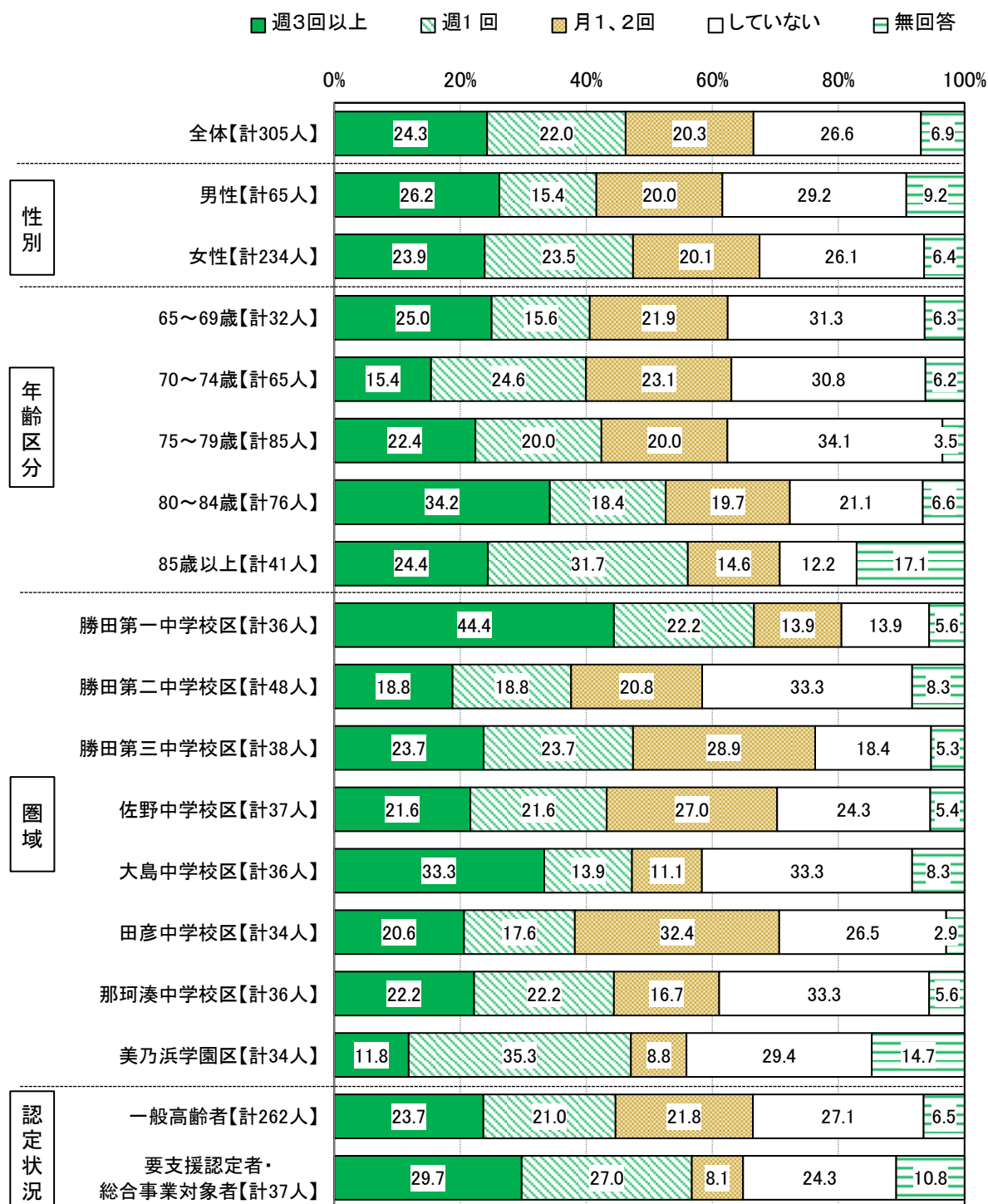


		参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体【計4,280人】		0.3	0.8	1.3	3.4	1.3	70.1	22.8
性別	男性【計2,136人】	0.0	0.3	0.3	1.4	1.0	77.9	19.1
	女性【計2,082人】	0.6	1.3	2.3	5.3	1.7	62.6	26.2
年齢区分	65～69歳【計974人】	0.1	0.3	0.4	0.8	1.6	84.4	12.3
	70～74歳【計1,044人】	0.0	0.7	1.0	3.2	1.4	75.1	18.7
	75～79歳【計1,043人】	0.7	0.6	1.6	4.1	1.2	66.4	25.4
	80～84歳【計728人】	0.5	1.2	2.1	5.8	0.8	58.9	30.6
	85歳以上【計429人】	0.2	2.1	1.9	3.5	1.9	55.7	34.7
圏域	勝田第一中学校区【計519人】	0.4	0.4	1.9	3.1	1.2	69.9	23.1
	勝田第二中学校区【計554人】	0.4	0.9	0.7	5.1	1.6	68.4	22.9
	勝田第三中学校区【計542人】	0.2	0.9	1.3	3.1	1.5	69.0	24.0
	佐野中学校区【計548人】	0.2	0.5	2.2	2.4	1.5	68.8	24.5
	大島中学校区【計550人】	0.2	0.4	0.5	4.4	1.1	74.4	19.1
	田彦中学校区【計507人】	0.0	1.2	1.0	3.4	1.2	73.0	20.3
	那珂湊中学校区【計511人】	0.8	1.0	1.6	2.2	1.6	69.7	23.3
	美乃浜学園区【計487人】	0.4	1.2	1.0	3.1	1.2	69.6	23.4
認定状況	一般高齢者【計3,966人】	0.3	0.6	1.1	3.3	1.4	71.0	22.4
	要支援認定者・ 総合事業対象者【計252人】	0.8	4.0	4.4	4.8	0.8	60.3	25.0

【(1)⑤において「1～5」を選択した方のみ】

(2)－①教室で教わった運動を自宅でも実施していますか

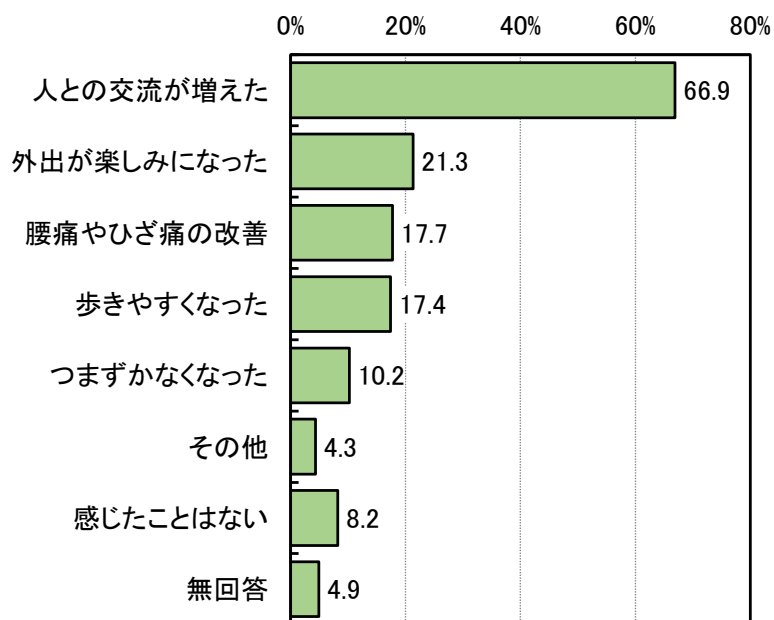
- 「していない」が26.6%で最も高く、次いで、「週3回以上」が24.3%、「週1回」が22.0%、「月1、2回」が20.3%となっています。
- 圏域別にみると、「週3回以上」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(44.4%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(11.8%)となっています。



【(1)⑤において「1～5」を選択した方のみ】

(2)－②教室に参加したことで、どのような効果を感じていますか

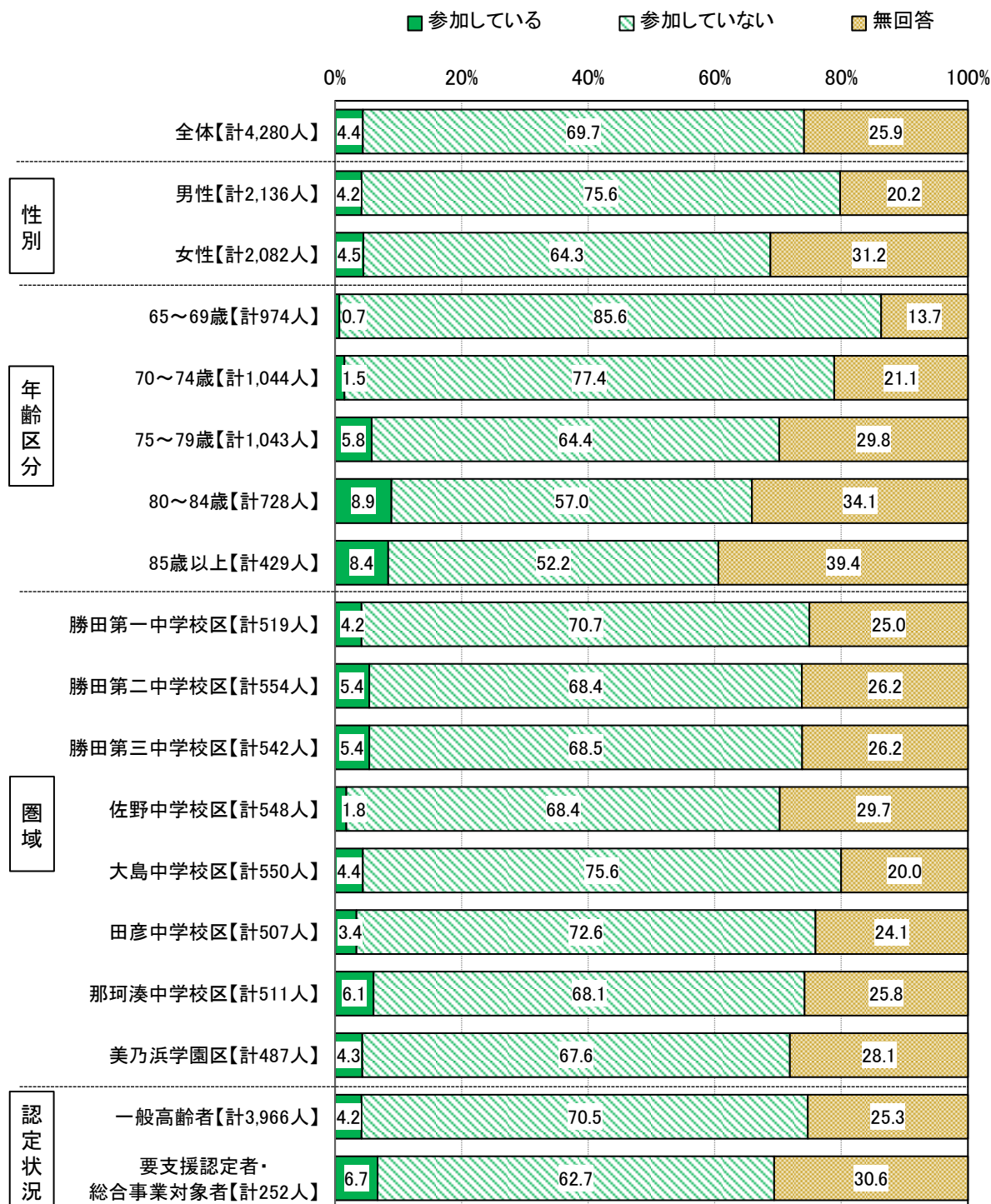
- 「人との交流が増えた」が66.9%で最も高く、次いで、「外出が楽しみになった」(21.3%)、「腰痛やひざ痛の改善」(17.7%)、「歩きやすくなった」(17.4%)、「つまずかなくなった」(10.2%)と続いています。



【n=305】

⑥老人クラブ

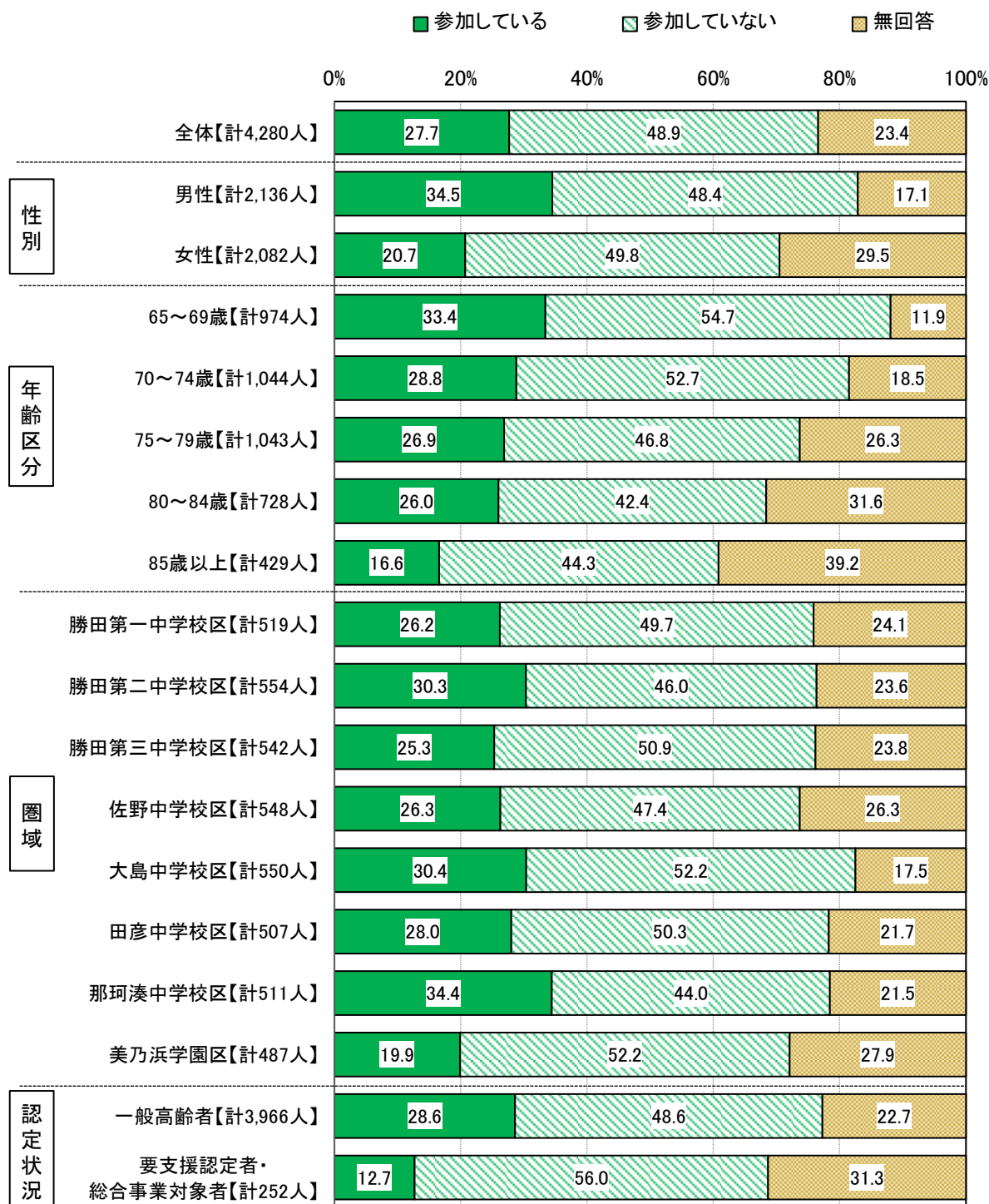
- 「参加している」と回答した人の割合は4.4%となっています。一方、「参加していない」と回答した割合は69.7%となっています。
- 圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(6.1%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(1.8%)となっています。



		参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体【計4,280人】		0.3	0.5	0.6	1.3	1.7	69.7	25.9
性別	男性【計2,136人】	0.2	0.4	0.7	1.2	1.8	75.6	20.2
	女性【計2,082人】	0.3	0.6	0.6	1.4	1.6	64.3	31.2
年齢区分	65～69歳【計974人】	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	85.6	13.7
	70～74歳【計1,044人】	0.1	0.3	0.2	0.6	0.4	77.4	21.1
	75～79歳【計1,043人】	0.3	0.5	1.0	1.4	2.6	64.4	29.8
	80～84歳【計728人】	1.1	1.1	1.2	2.7	2.7	57.0	34.1
	85歳以上【計429人】	0.0	0.9	1.2	2.8	3.5	52.2	39.4
圏域	勝田第一中学校区【計519人】	0.6	0.2	0.8	0.8	1.9	70.7	25.0
	勝田第二中学校区【計554人】	0.5	0.9	0.9	2.0	1.1	68.4	26.2
	勝田第三中学校区【計542人】	0.0	0.7	0.9	1.1	2.6	68.5	26.2
	佐野中学校区【計548人】	0.2	0.5	0.2	0.2	0.7	68.4	29.7
	大島中学校区【計550人】	0.2	0.2	0.7	2.2	1.1	75.6	20.0
	田彦中学校区【計507人】	0.0	0.6	0.4	0.0	2.4	72.6	24.1
	那珂湊中学校区【計511人】	0.6	0.2	0.4	2.2	2.7	68.1	25.8
	美乃浜学園区【計487人】	0.2	0.4	0.6	1.8	1.2	67.6	28.1
認定状況	一般高齢者【計3,966人】	0.3	0.5	0.6	1.2	1.7	70.5	25.3
	要支援認定者・ 総合事業対象者【計252人】	0.0	0.8	1.2	2.8	2.0	62.7	30.6

⑦町内会・自治会

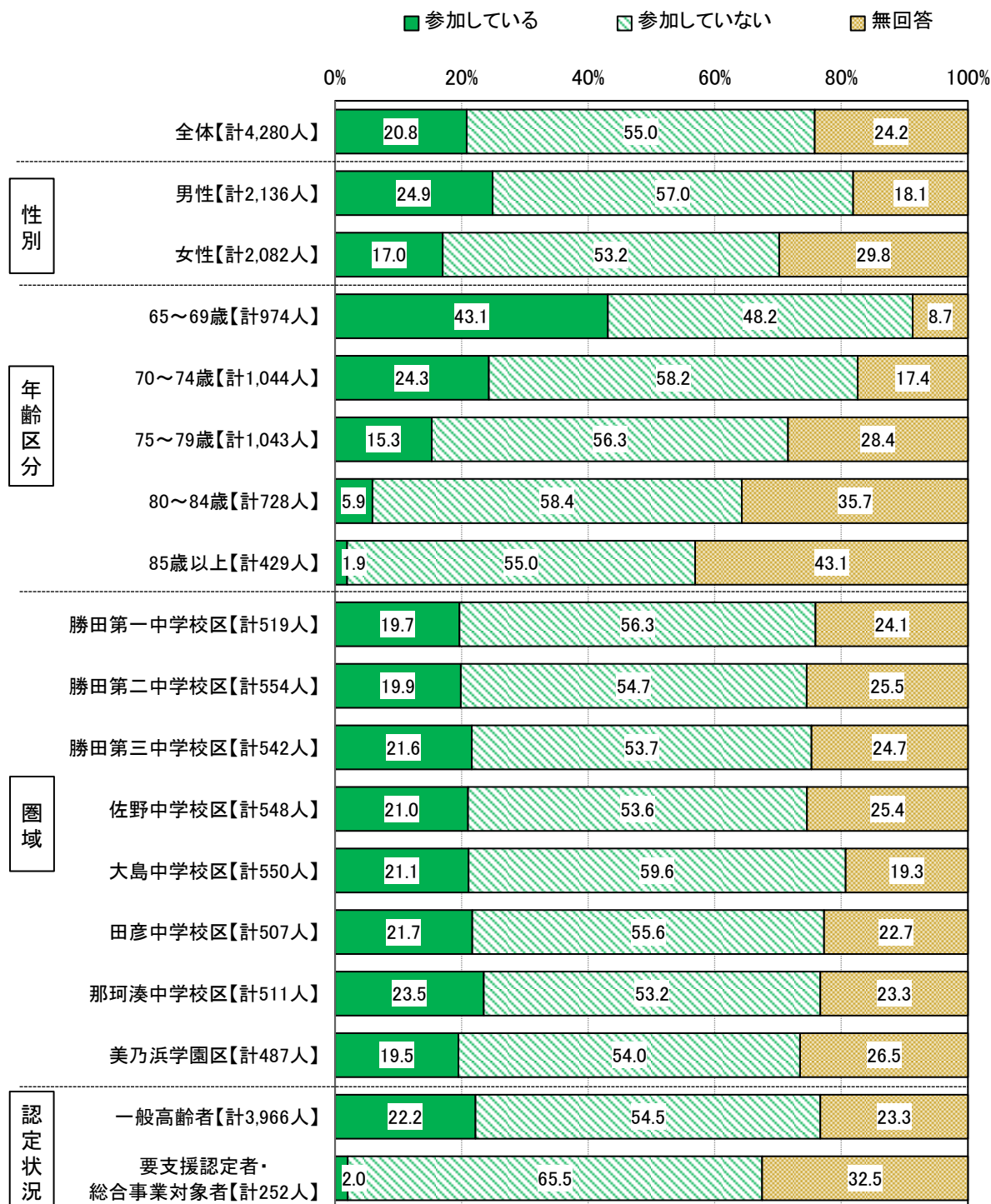
- 「参加している」と回答した人の割合は27.7%となっています。一方、「参加していない」と回答した割合は48.9%となっています。
- 性別にみると、女性に比べ男性のほうが「参加している」と回答した人の割合が高くなっています。
- 圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(34.4%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(19.9%)となっています。



		参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体【計4,280人】		0.5	0.5	0.6	4.4	21.7	48.9	23.4
性別	男性【計2,136人】	0.7	0.4	0.7	6.2	26.4	48.4	17.1
	女性【計2,082人】	0.2	0.3	0.5	2.7	17.0	49.8	29.5
年齢区分	65～69歳【計974人】	0.4	0.2	0.4	4.2	28.1	54.7	11.9
	70～74歳【計1,044人】	0.3	0.2	0.6	4.1	23.7	52.7	18.5
	75～79歳【計1,043人】	0.7	0.7	0.9	4.8	19.9	46.8	26.3
	80～84歳【計728人】	0.7	0.4	0.7	5.8	18.4	42.4	31.6
	85歳以上【計429人】	0.2	0.5	0.7	2.8	12.4	44.3	39.2
圏域	勝田第一中学校区【計519人】	0.4	0.2	0.4	3.9	21.4	49.7	24.1
	勝田第二中学校区【計554人】	0.5	0.7	0.7	4.7	23.6	46.0	23.6
	勝田第三中学校区【計542人】	0.2	0.2	0.2	3.5	21.2	50.9	23.8
	佐野中学校区【計548人】	0.4	0.4	0.5	4.7	20.3	47.4	26.3
	大島中学校区【計550人】	0.4	0.2	0.7	4.4	24.7	52.2	17.5
	田彦中学校区【計507人】	0.8	0.2	0.4	3.7	22.9	50.3	21.7
	那珂湊中学校区【計511人】	1.2	0.8	1.2	7.4	23.9	44.0	21.5
	美乃浜学園区【計487人】	0.0	0.4	1.0	3.3	15.2	52.2	27.9
認定状況	一般高齢者【計3,966人】	0.5	0.4	0.7	4.6	22.4	48.6	22.7
	要支援認定者・ 総合事業対象者【計252人】	0.0	0.0	0.0	2.4	10.3	56.0	31.3

⑧収入のある仕事

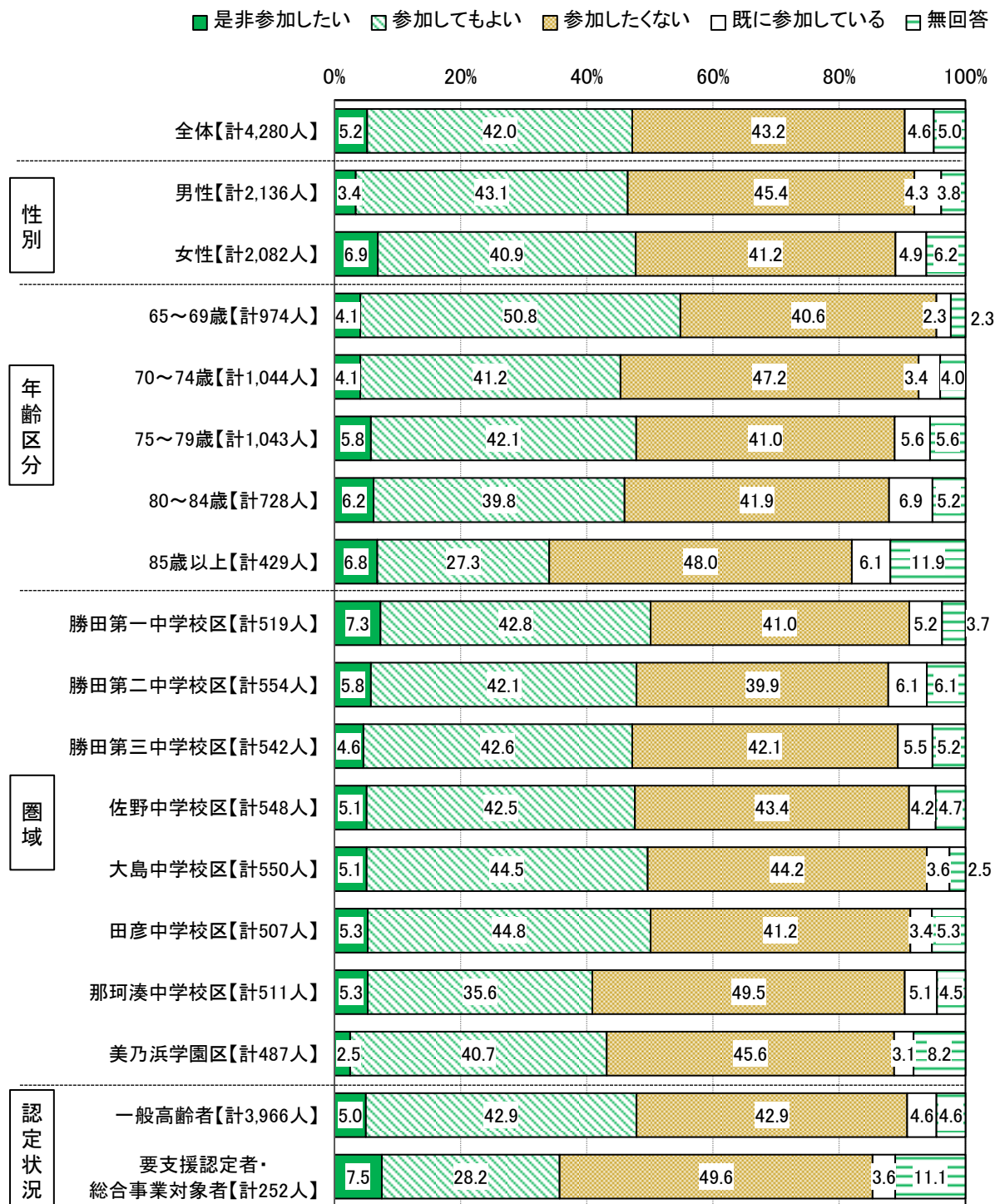
- 「参加している」と回答した人の割合は20.8%となっています。一方、「参加していない」と回答した割合は55.0%となっています。
- 圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(23.5%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(19.5%)となっています。



		参加している					参加して いない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体【計4,280人】		11.2	5.7	0.8	1.4	1.6	55.0	24.2
性別	男性【計2,136人】	13.2	7.3	0.8	1.7	1.8	57.0	18.1
	女性【計2,082人】	9.5	4.2	0.7	1.2	1.3	53.2	29.8
年齢区分	65～69歳【計974人】	28.4	9.2	1.1	2.0	2.4	48.2	8.7
	70～74歳【計1,044人】	11.8	8.3	1.0	1.2	2.0	58.2	17.4
	75～79歳【計1,043人】	5.9	5.2	0.5	2.3	1.4	56.3	28.4
	80～84歳【計728人】	2.2	1.6	0.7	0.5	0.8	58.4	35.7
	85歳以上【計429人】	0.5	0.2	0.2	0.5	0.5	55.0	43.1
圏域	勝田第一中学校区【計519人】	11.0	5.2	0.6	1.5	1.3	56.3	24.1
	勝田第二中学校区【計554人】	9.9	5.1	1.3	2.0	1.6	54.7	25.5
	勝田第三中学校区【計542人】	10.3	7.2	0.6	0.9	2.6	53.7	24.7
	佐野中学校区【計548人】	12.0	5.8	0.4	1.3	1.5	53.6	25.4
	大島中学校区【計550人】	12.2	4.9	1.1	1.5	1.5	59.6	19.3
	田彦中学校区【計507人】	10.8	6.9	1.0	2.0	1.0	55.6	22.7
	那珂湊中学校区【計511人】	14.1	6.1	0.4	1.4	1.6	53.2	23.3
	美乃浜学園区【計487人】	10.7	5.1	0.8	1.2	1.6	54.0	26.5
認定状況	一般高齢者【計3,966人】	12.0	6.2	0.8	1.5	1.7	54.5	23.3
	要支援認定者・ 総合事業対象者【計252人】	1.2	0.0	0.4	0.4	0.0	65.5	32.5

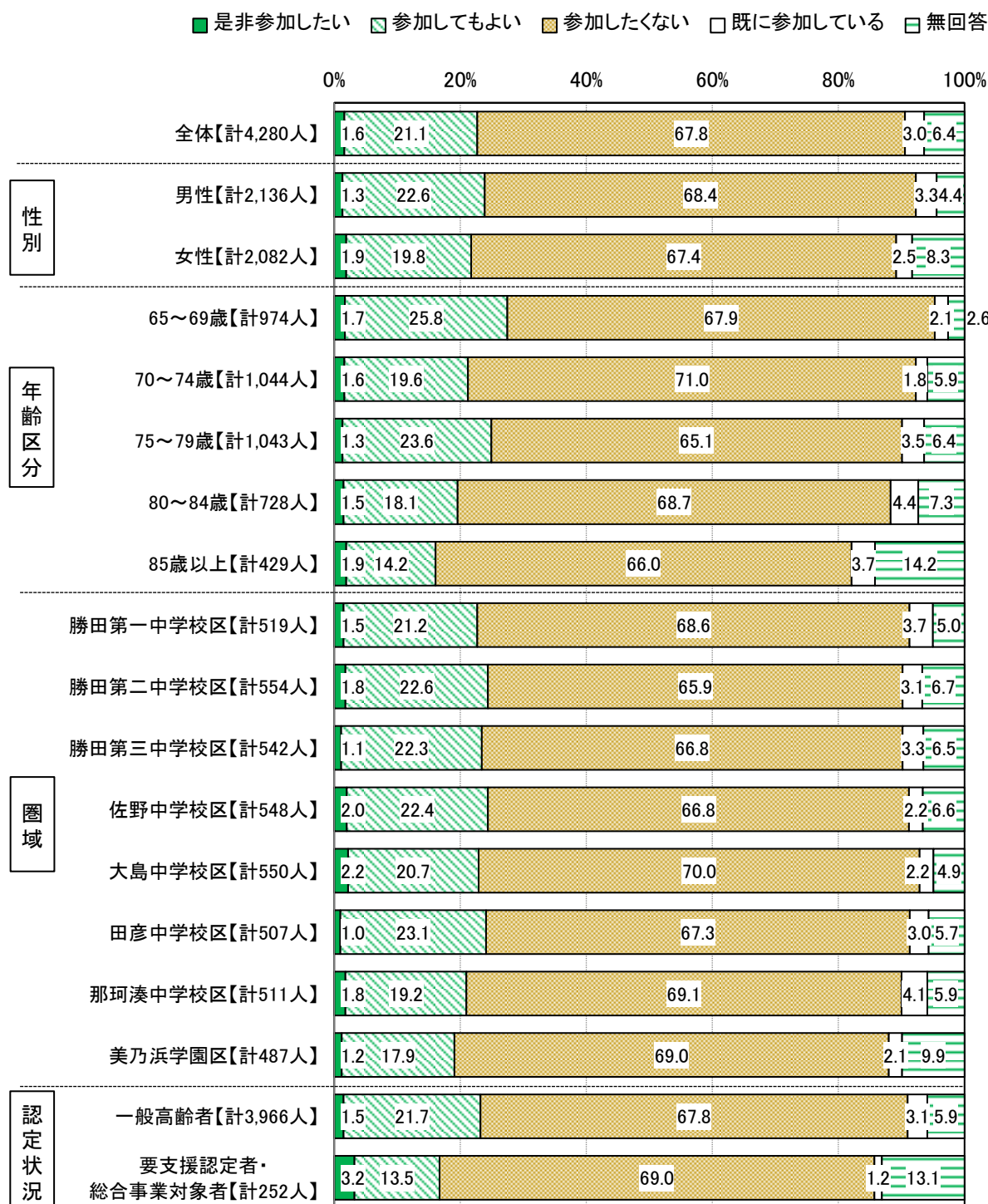
(3)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

- 「参加したくない」が43.2%で最も高く、次いで「参加してもよい」が42.0%、「是非参加したい」が5.2%、「既に参加している」が4.6%となっています。
- 圏域別にみると、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(49.5%)であり、最も低いのは「勝田第二中学校区」(39.9%)となっています。



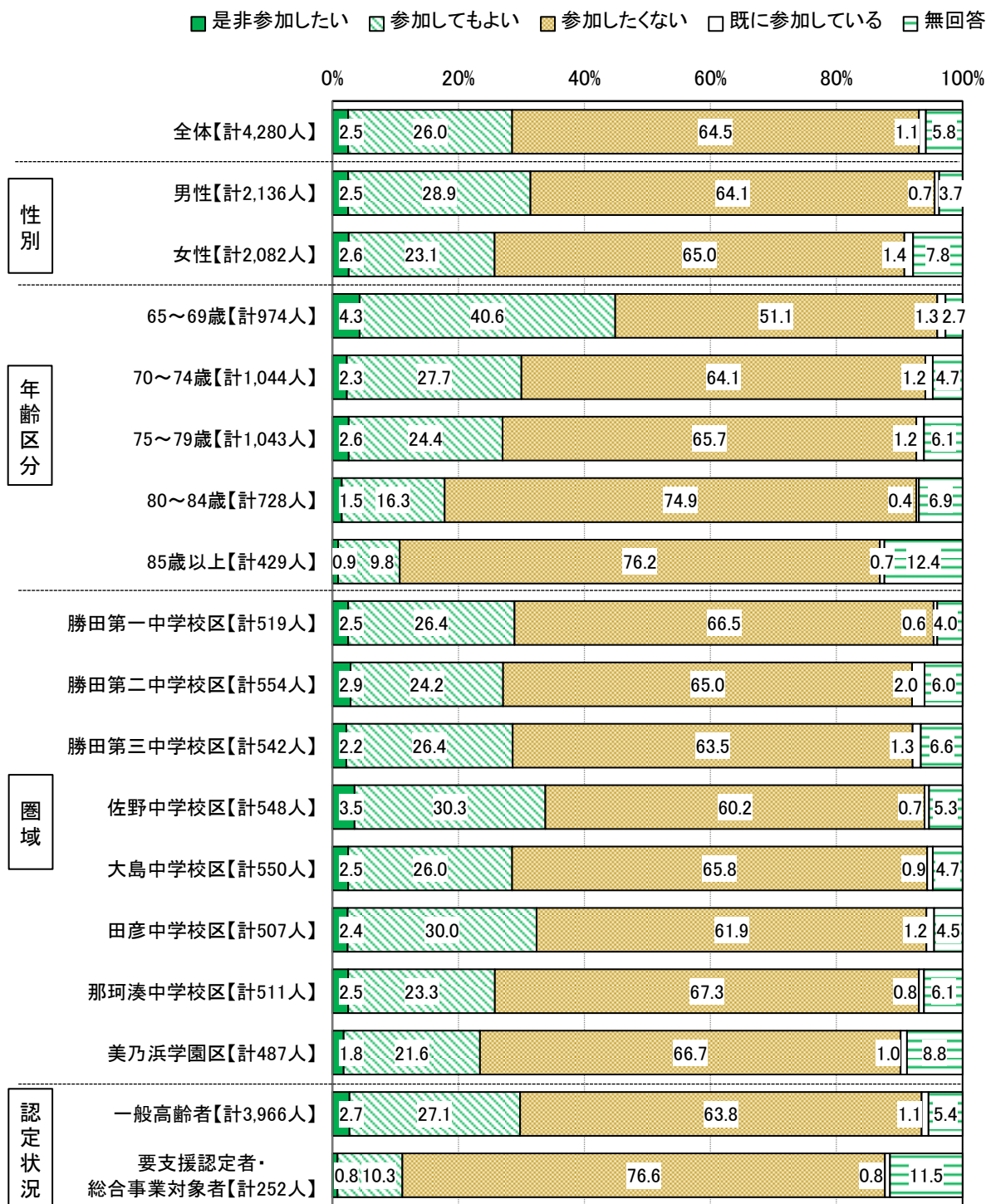
(4)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

- 「参加したくない」が67.8%で最も高く、次いで、「参加してもよい」が21.1%、「既に参加している」が3.0%、「是非参加したい」が1.6%となっています。
- 圏域別にみると、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(70.0%)であり、最も低いのは「勝田第二中学校区」(65.9%)となっています。



(5)有償ボランティア(対価として物やお金がもらえるボランティア)があったら、参加してみたいと思いますか

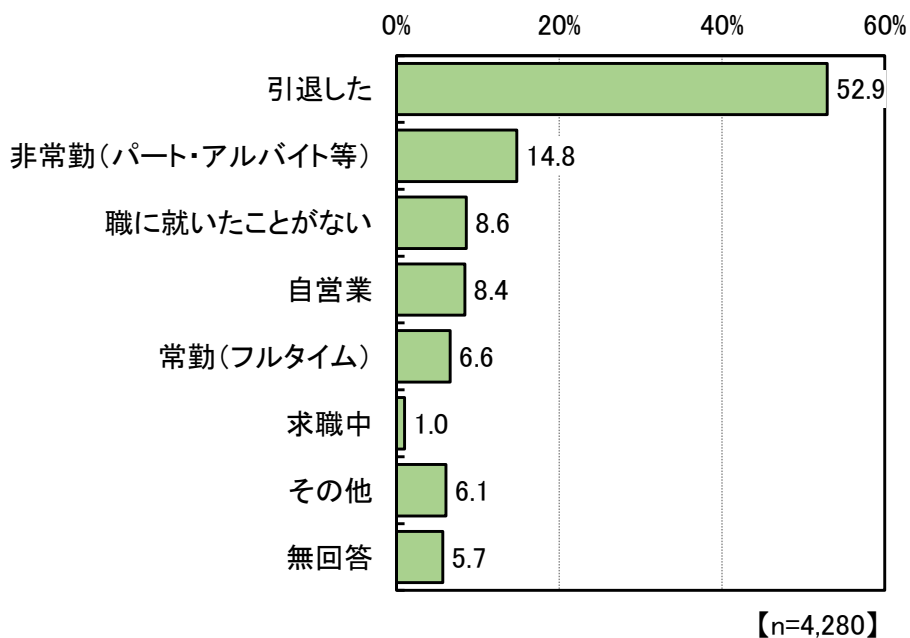
- 「参加したくない」が64.5%で最も高く、次いで、「参加してもよい」が26.0%、「是非参加したい」が2.5%、「既に参加している」が1.1%となっています。
- 圏域別にみると、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(67.3%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(60.2%)となっています。



問6 就労について

(1)現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)

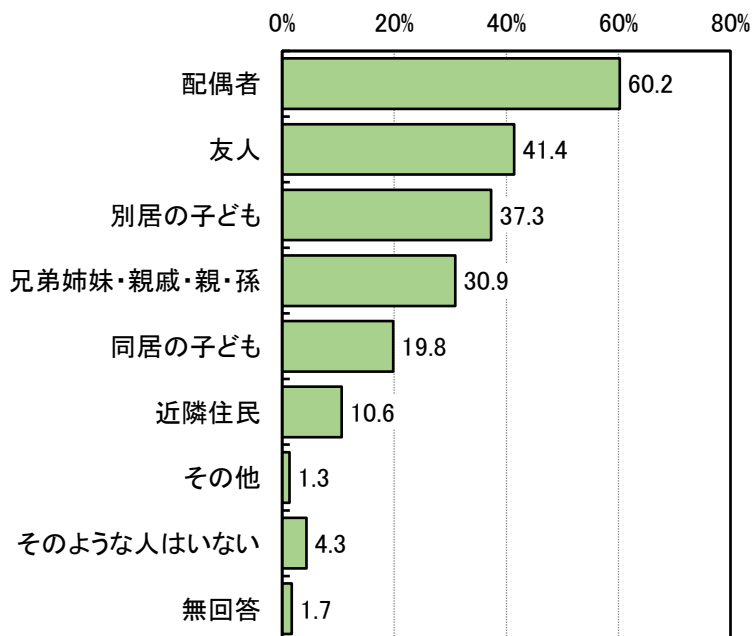
●「引退した」が52.9%で最も高く、次いで、「非常勤(パート・アルバイト等)」が14.8%、「職に就いたことがない」が8.6%、「自営業」が8.4%、「常勤(フルタイム)」が6.6%となっています。



問7 たすけあいについて

(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

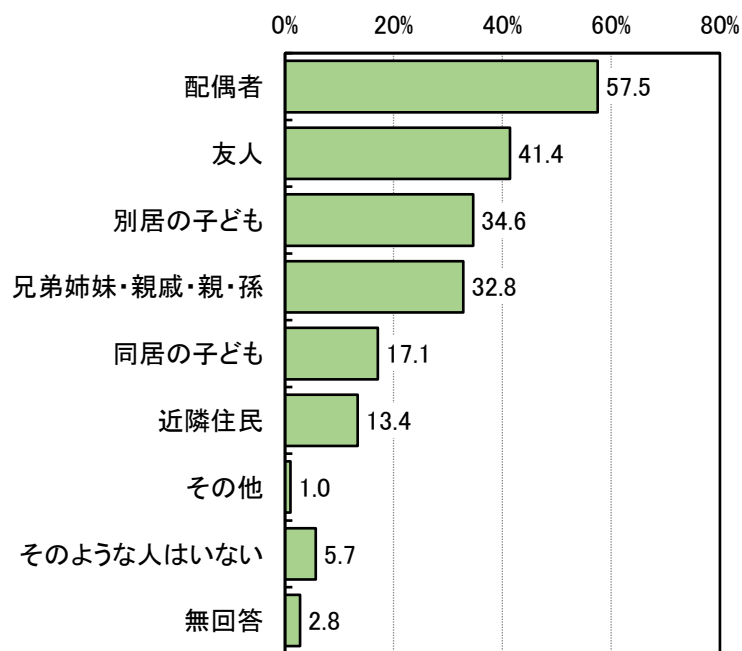
●「配偶者」が60.2%で最も高く、次いで、「友人」(41.4%)、「別居の子ども」(37.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.9%)、「同居の子ども」(19.8%)となっています。



【n=4,280】

(2)反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

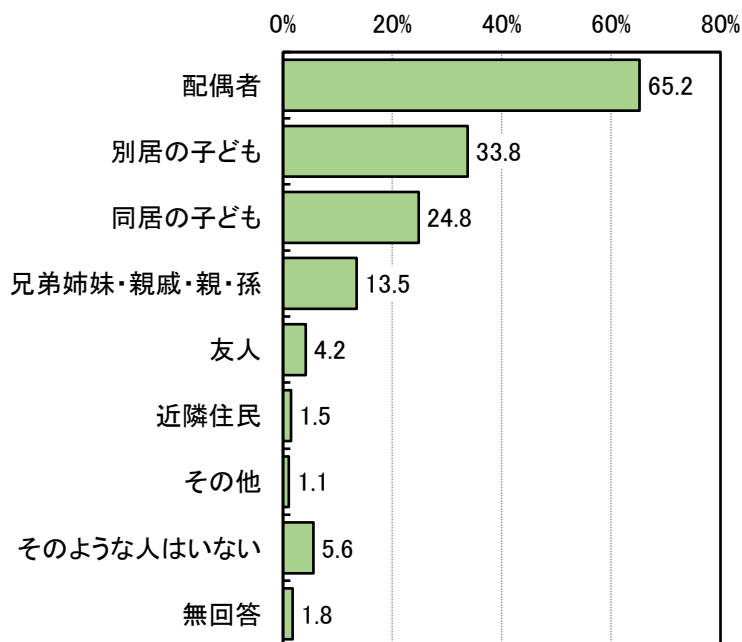
●「配偶者」が57.5%で最も高く、次いで、「友人」(41.4%)、「別居の子ども」(34.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(32.8%)、「同居の子ども」(17.1%)と続いています。



【n=4,280】

(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

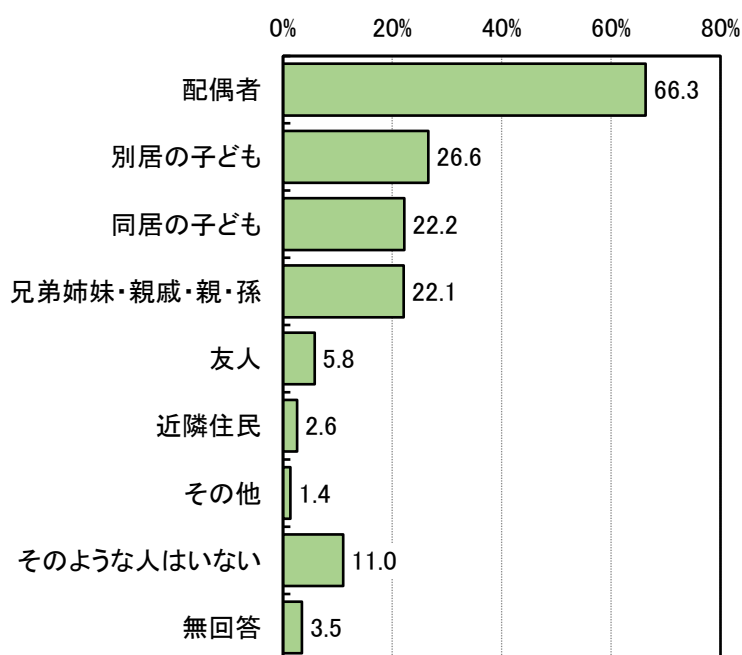
●「配偶者」が65.2%で最も高く、次いで、「別居の子ども」(33.8%)、「同居の子ども」(24.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(13.5%)、「そのような人はいない」(5.6%)と続いています。



【n=4,280】

(4)反対に、看病や世話をしあげる人(いくつでも)

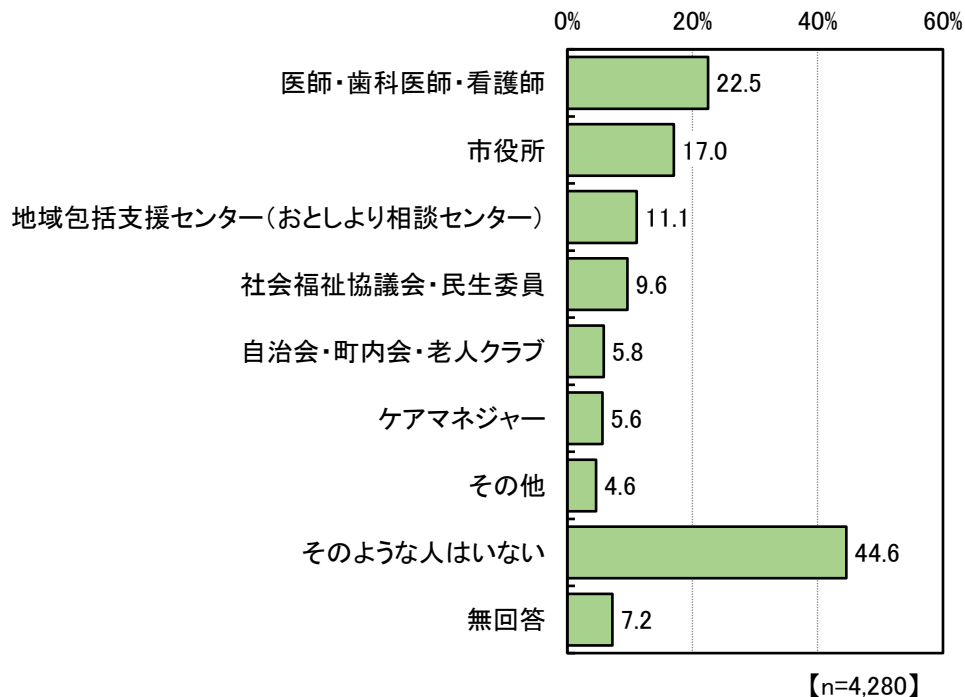
●「配偶者」が66.3%で最も高く、次いで、「別居の子ども」(26.6%)、「同居の子ども」(22.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.1%)、「そのような人はいない」(11.0%)と続いています。



【n=4,280】

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は誰ですか (いくつでも)

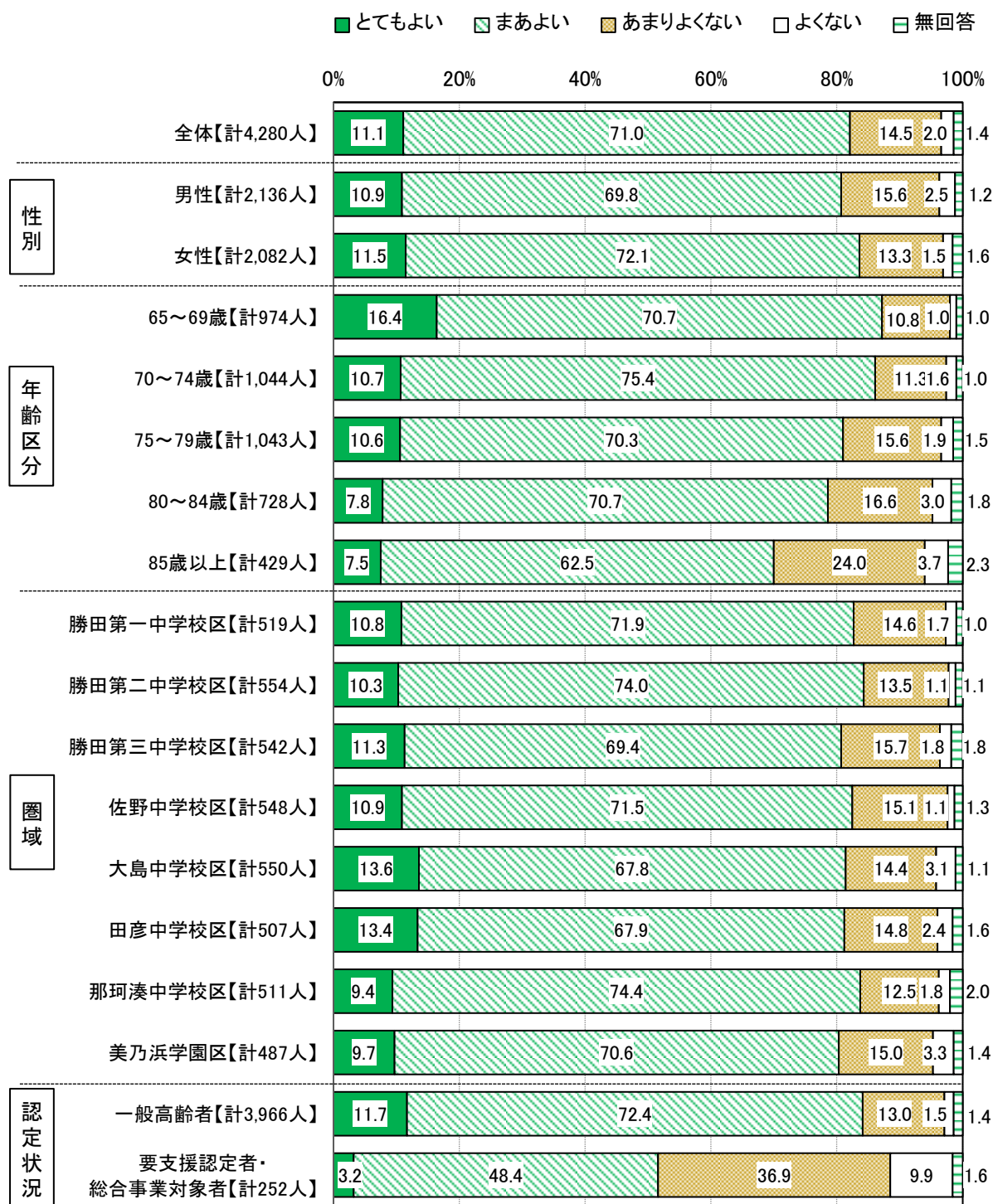
●「そのような人はいない」が44.6%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(22.5%)、「市役所」(17.0%)、「地域包括支援センター(おとしより相談センター)」(11.1%)、「社会福祉協議会・民生委員」(9.6%)と続いています。



問8 健康について

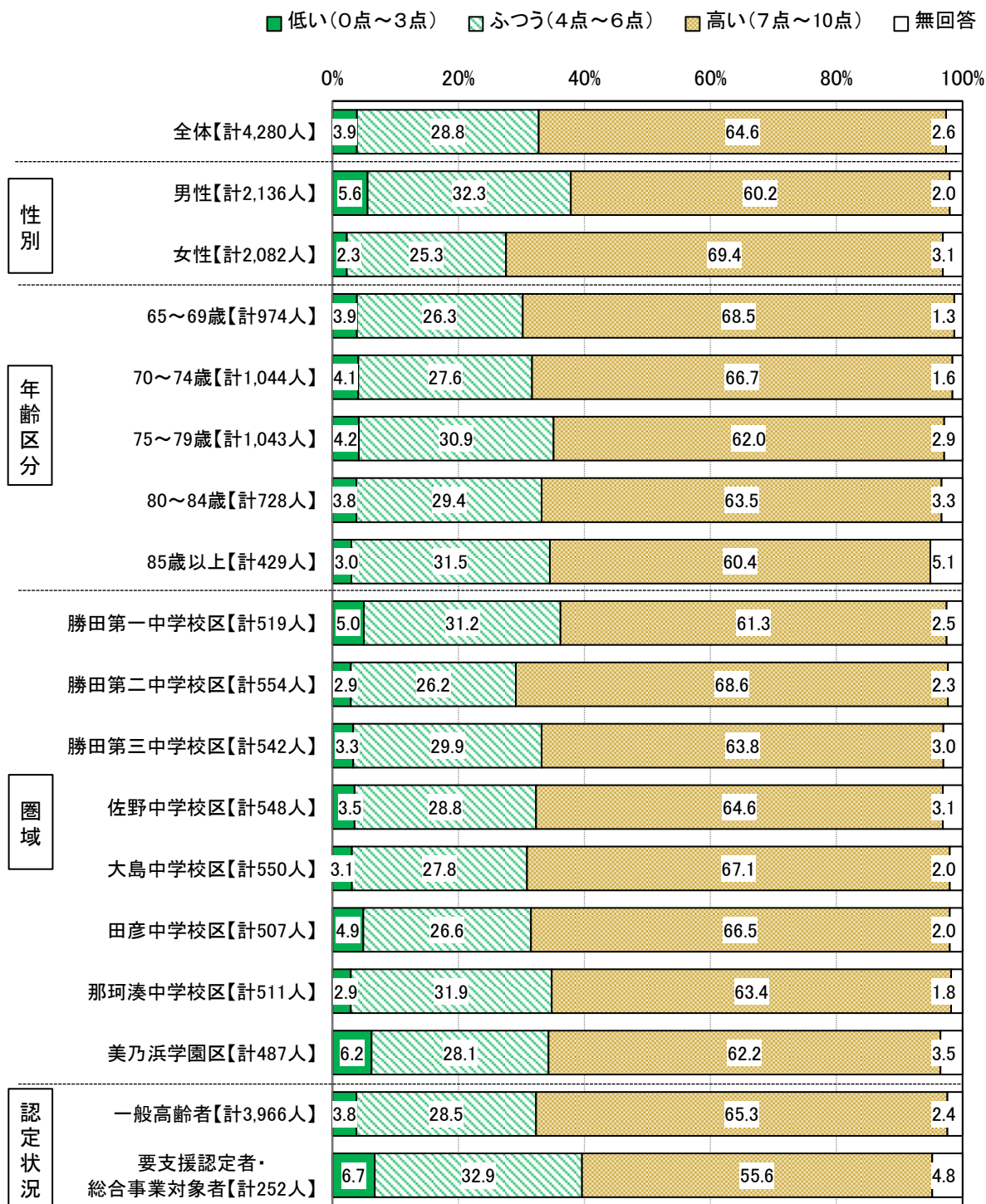
(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか

- 「とてもよい」または「まあよい」と回答した人の割合は82.1%となっています。一方、「あまりよくない」または「よくない」と回答した人の割合は16.5%となっています。
- 圏域別にみると、「とてもよい」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(13.6%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(9.4%)となっています。



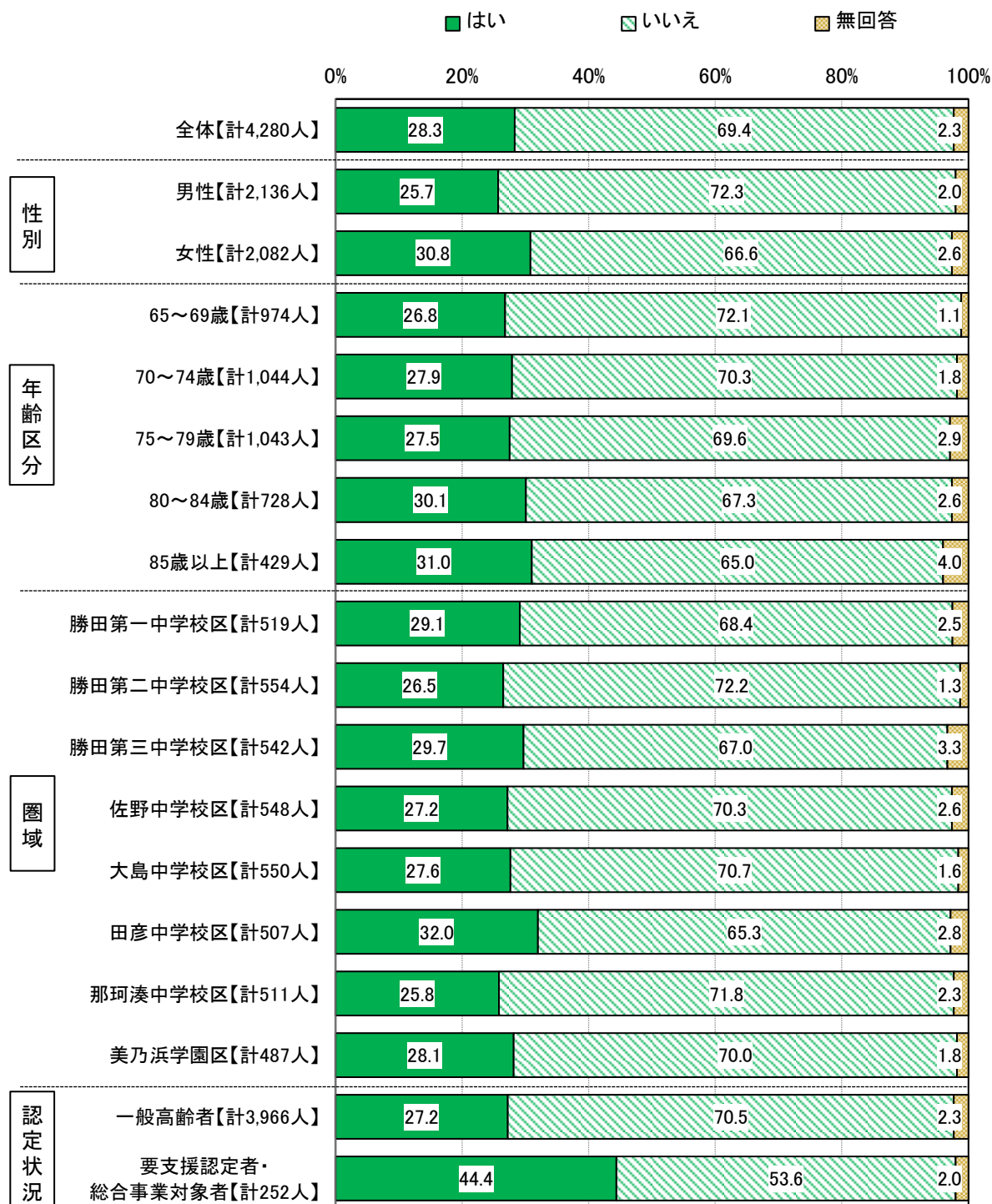
(2)あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

- 「高い(7点～10点)」と回答した人の割合が最も高く、64.6%となっています。次いで、「ふつう(4点～6点)」(28.8%)、「低い(0点～3点)」(3.9%)となっています。
- 性別にみると、男性に比べ女性のほうが「高い(7点～10点)」と回答した人の割合が高くなっています。
- 圏域別にみると、「低い(0点～3点)」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(6.2%)であり、最も低いのは「勝田第二中学校区」、「那珂湊中学校区」(2.9%)となっています。



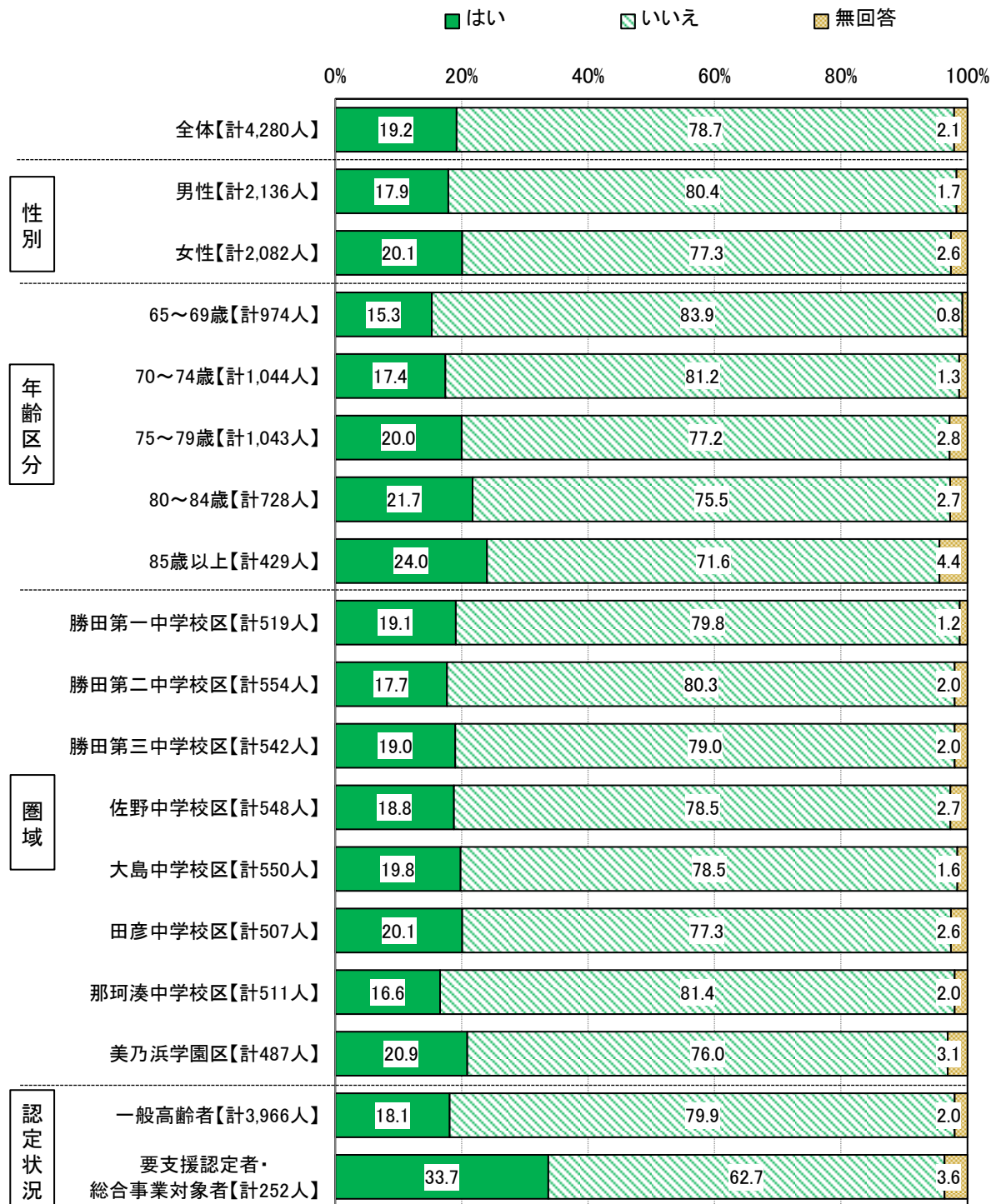
(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

- 「はい」と回答した人の割合は28.3%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は69.4%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「田彦中学校区」(32.0%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(25.8%)となっています。



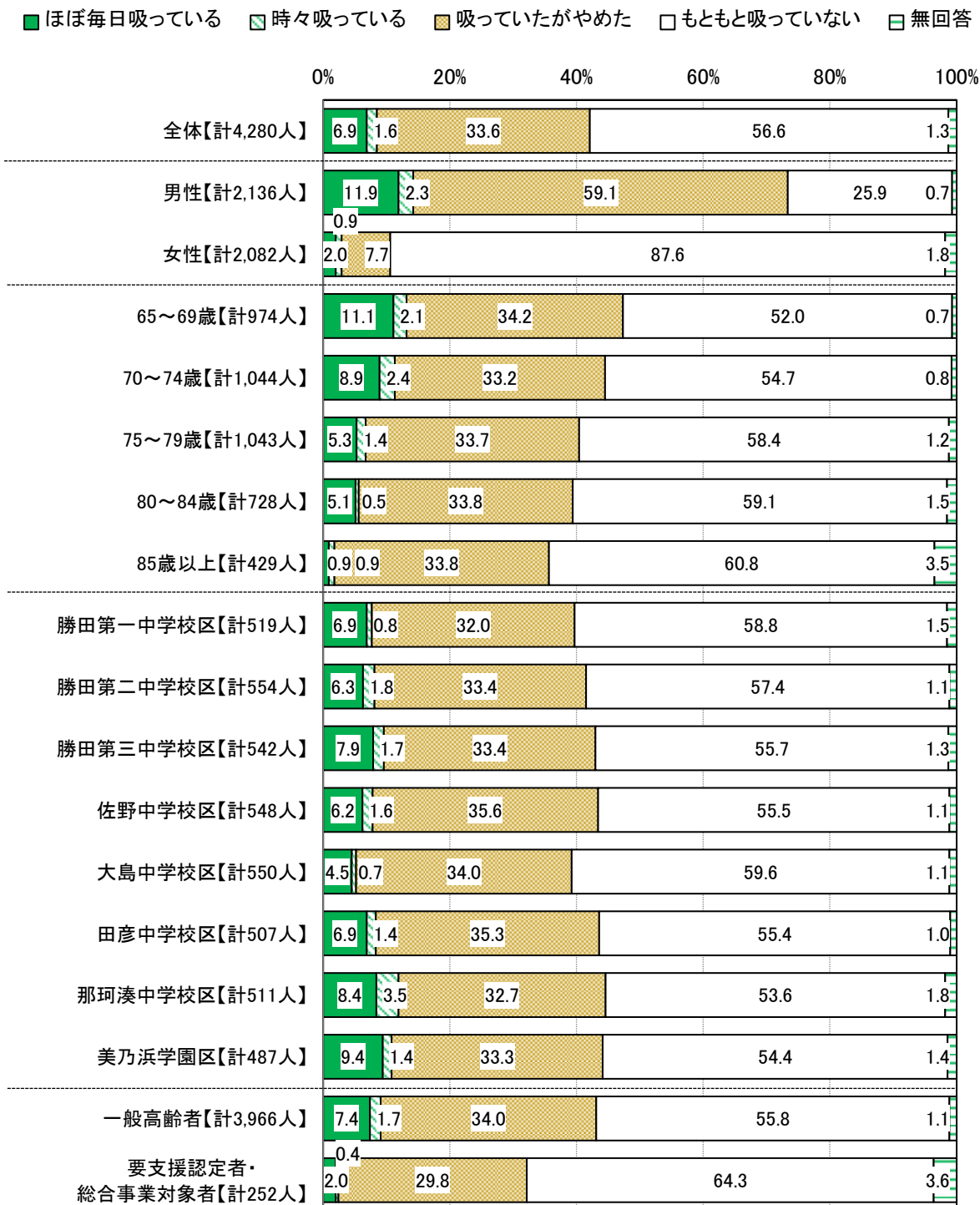
(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

- 「はい」と回答した人の割合は19.2%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は78.7%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(20.9%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(16.6%)となっています。



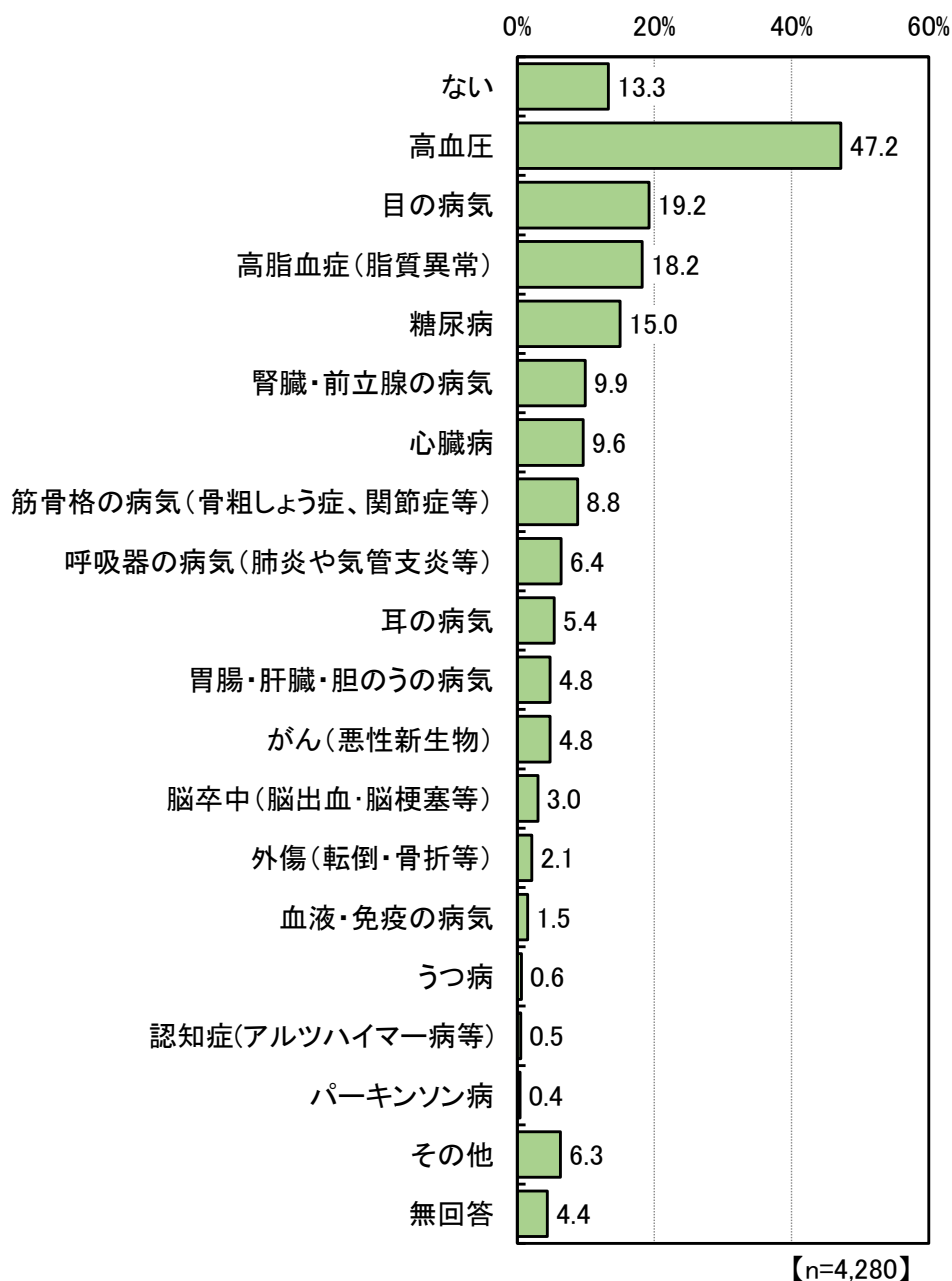
(5)タバコは吸っていますか

- 「もともと吸っていない」が56.6%で最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」が33.6%、「ほぼ毎日吸っている」が6.9%、「時々吸っている」が1.6%となっています。
- 圏域別にみると、「ほぼ毎日吸っている」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(9.4%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(4.5%)となっています。



(6)現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

- 「高血圧」が47.2%で最も高く、次いで、「目の病気」(19.2%)、「高脂血症(脂質異常)」(18.2%)、「糖尿病」(15.0%)、「腎臓・前立腺の病気」(9.9%)と続いています。
- 13.3%は「ない」と回答しています。



問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

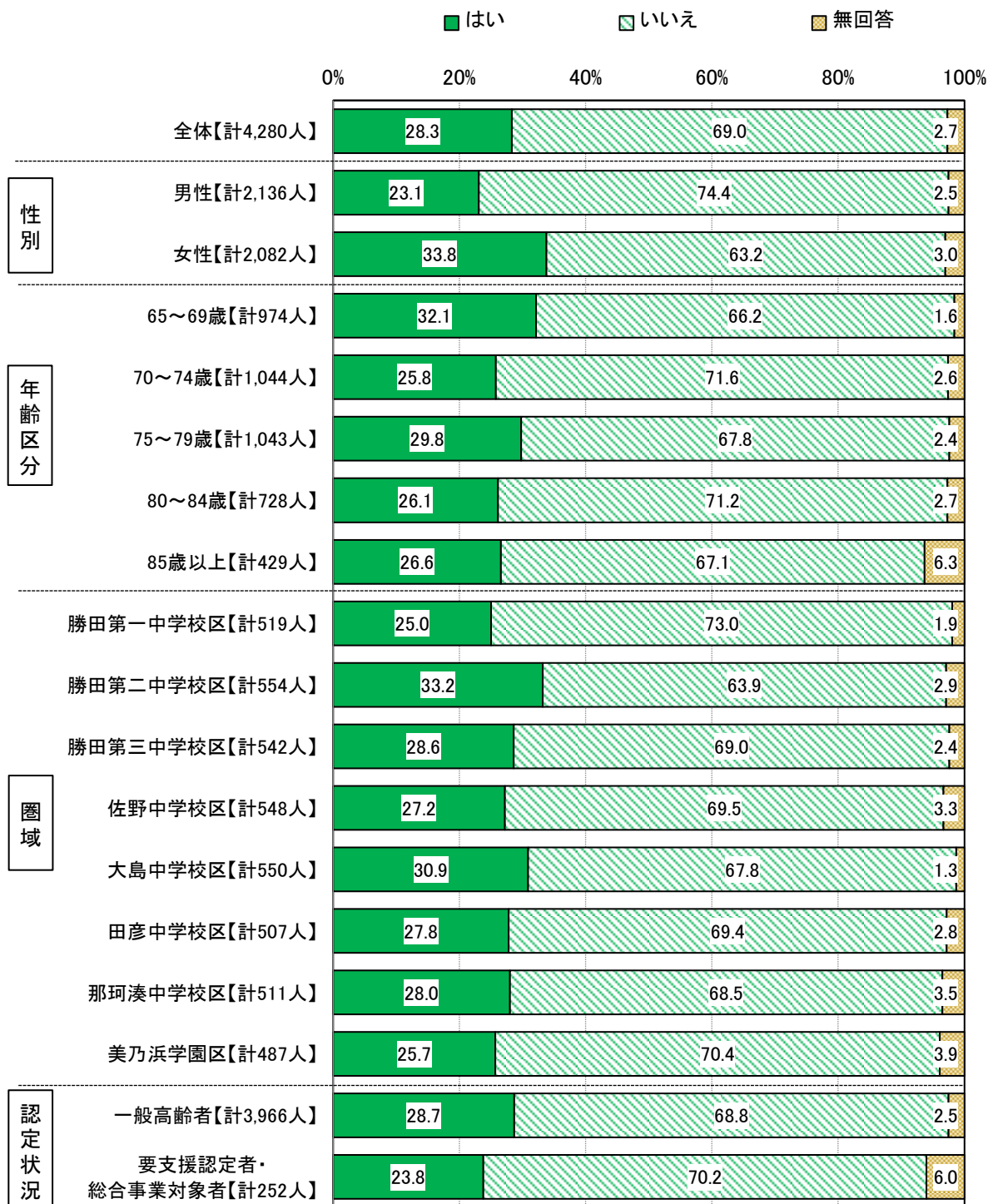
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

- 「はい」と回答した人の割合は7.7%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は89.6%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「那珂湊中学校区」(9.0%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(6.8%)となっています。



(2)認知症に関する相談窓口を知っていますか

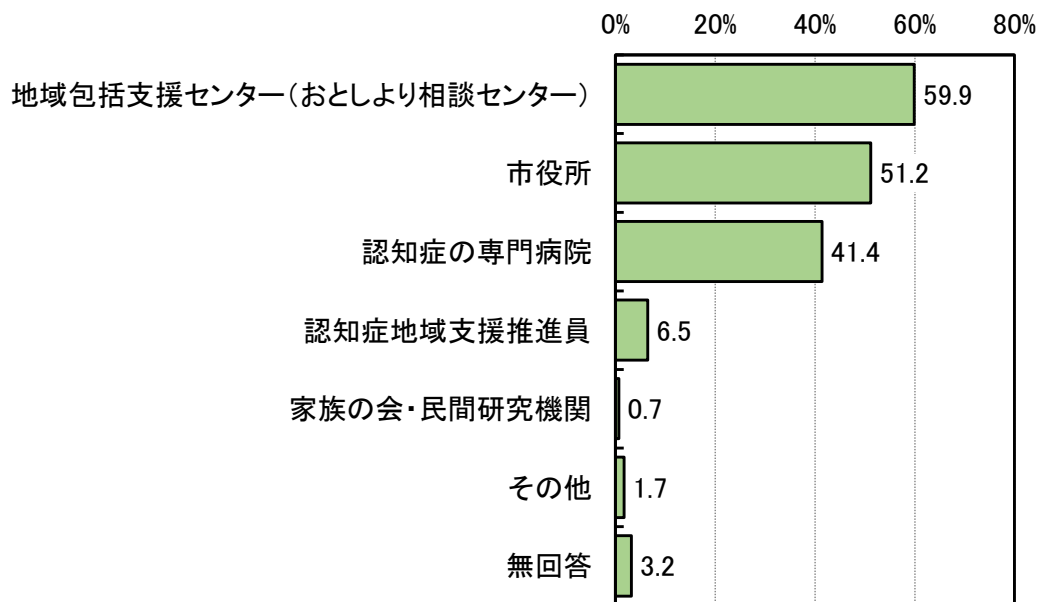
- 認知症に関する相談窓口を知っていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は28.3%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は69.0%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(33.2%)であり、最も低いのは「勝田第一中学校区」(25.0%)となっています。



【(2)において「1. はい」の方のみ】

(3)認知症の相談窓口として、知っている機関はどこですか(いくつでも)

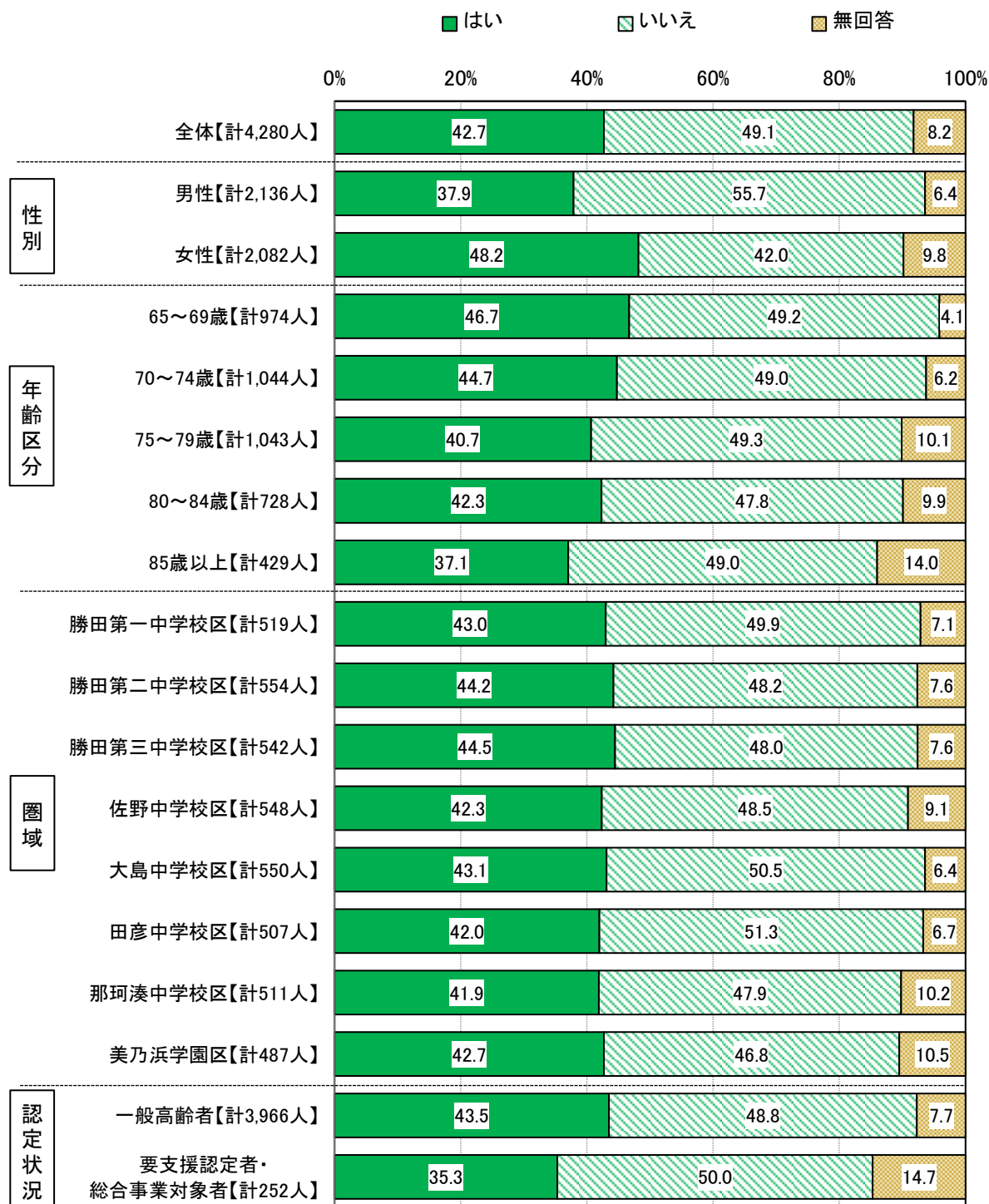
●「地域包括支援センター(おとしより相談センター)」が59.9%で最も高く、次いで、「市役所」(51.2%)、「認知症の専門病院」(41.4%)、「認知症地域支援推進員」(6.5%)と続いています。



【n=1,211】

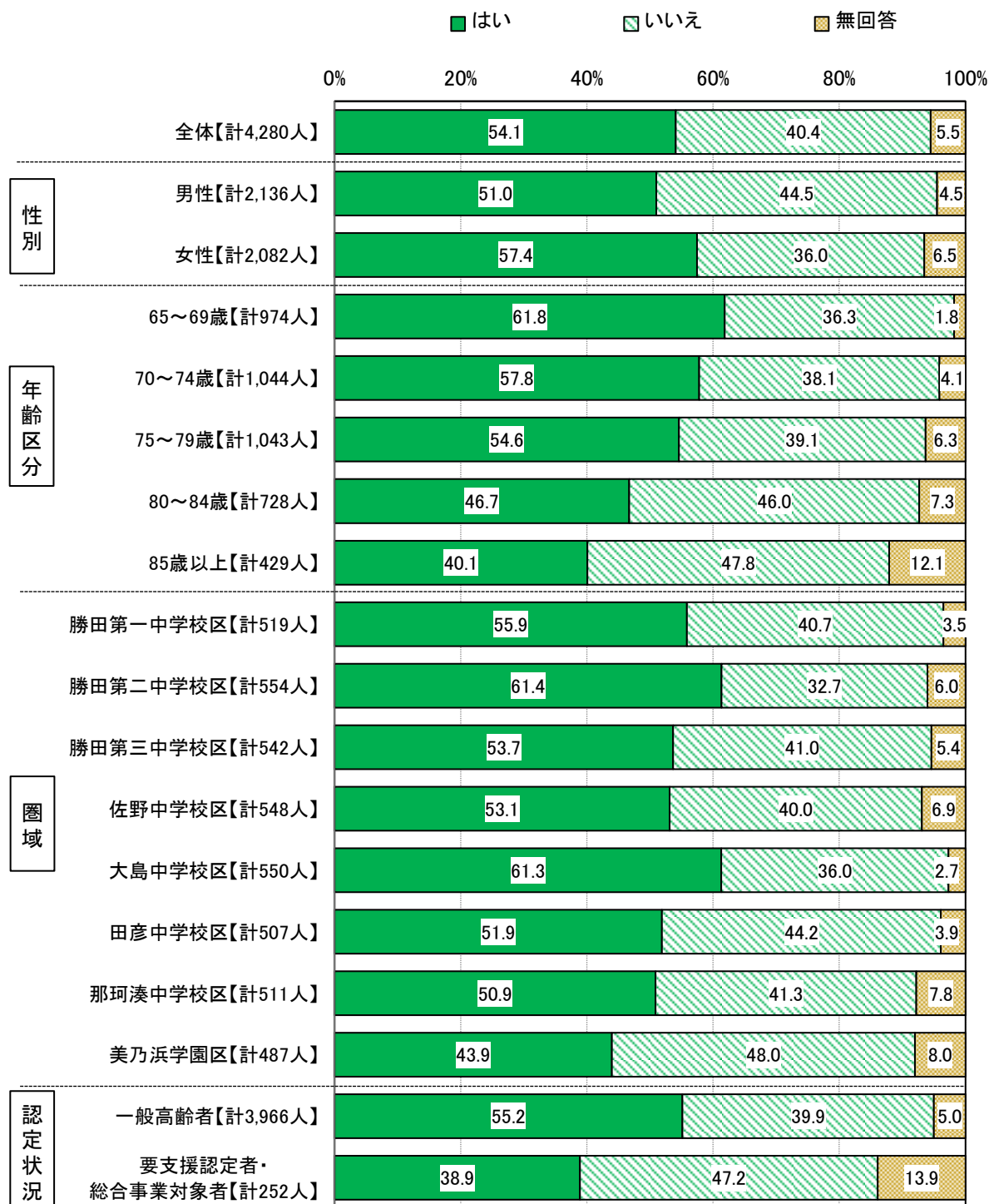
(4) 家族に認知症の症状があり、徘徊など生活をする上で困った場合に、友人や近所の人に相談したり、協力を求めたりすることができますか

- 「はい」と回答した人の割合は42.7%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は49.1%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第三中学校区」(44.5%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(41.9%)となっています。



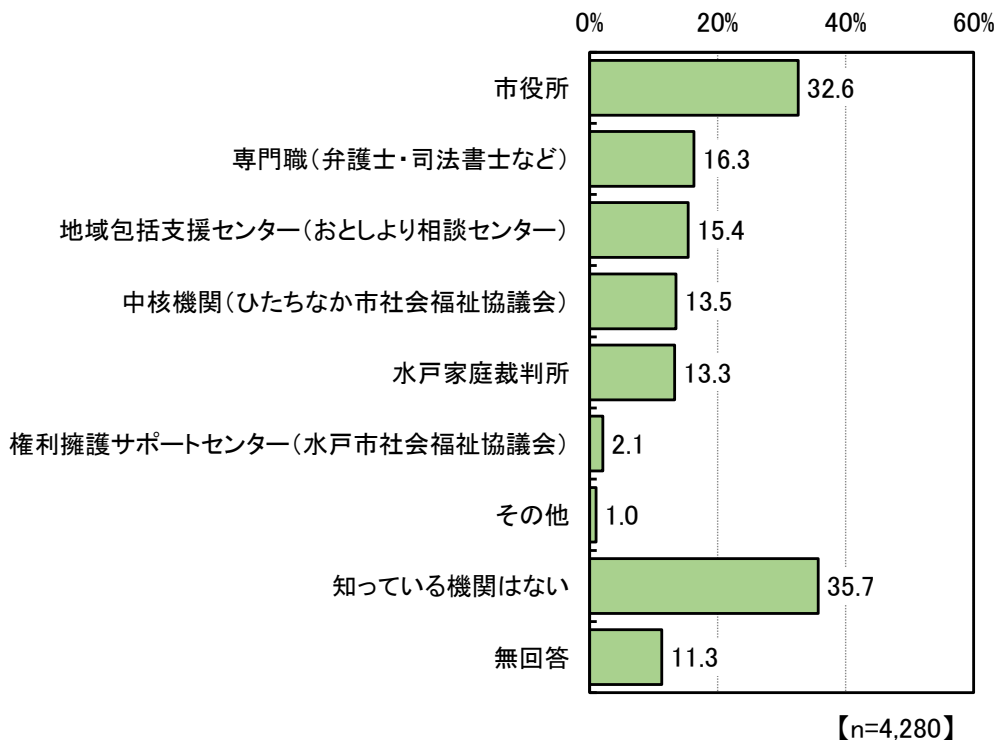
(5)成年後見制度について知っていますか

- 「はい」と回答した人の割合は54.1%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は40.4%となっています。
- 圏域別にみると、「はい」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第二中学校区」(61.4%)であり、最も低いのは「美乃浜学園区」(43.9%)となっています。



(6)成年後見制度の相談窓口として、知っている機関はどこですか(いくつでも)

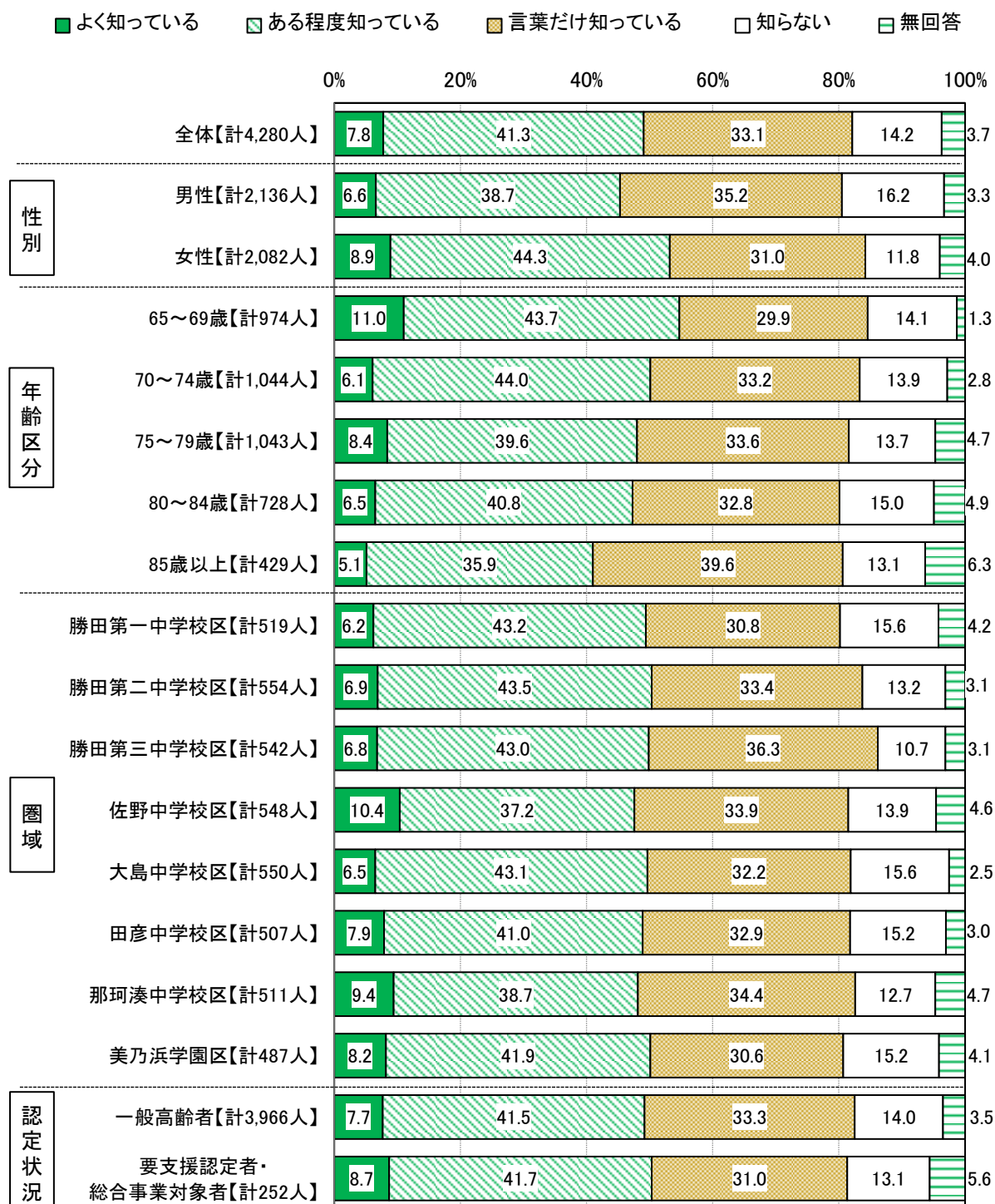
- 「市役所」が32.6%で最も高く、次いで、「専門職(弁護士・司法書士など)」(16.3%)、「地域包括支援センター(おとしより相談センター)」(15.4%)、「中核機関(ひたちなか市社会福祉協議会)」(13.5%)と続いています。
- 35.7%は「知っている機関はない」と回答しています。



問10 在宅での医療や介護について

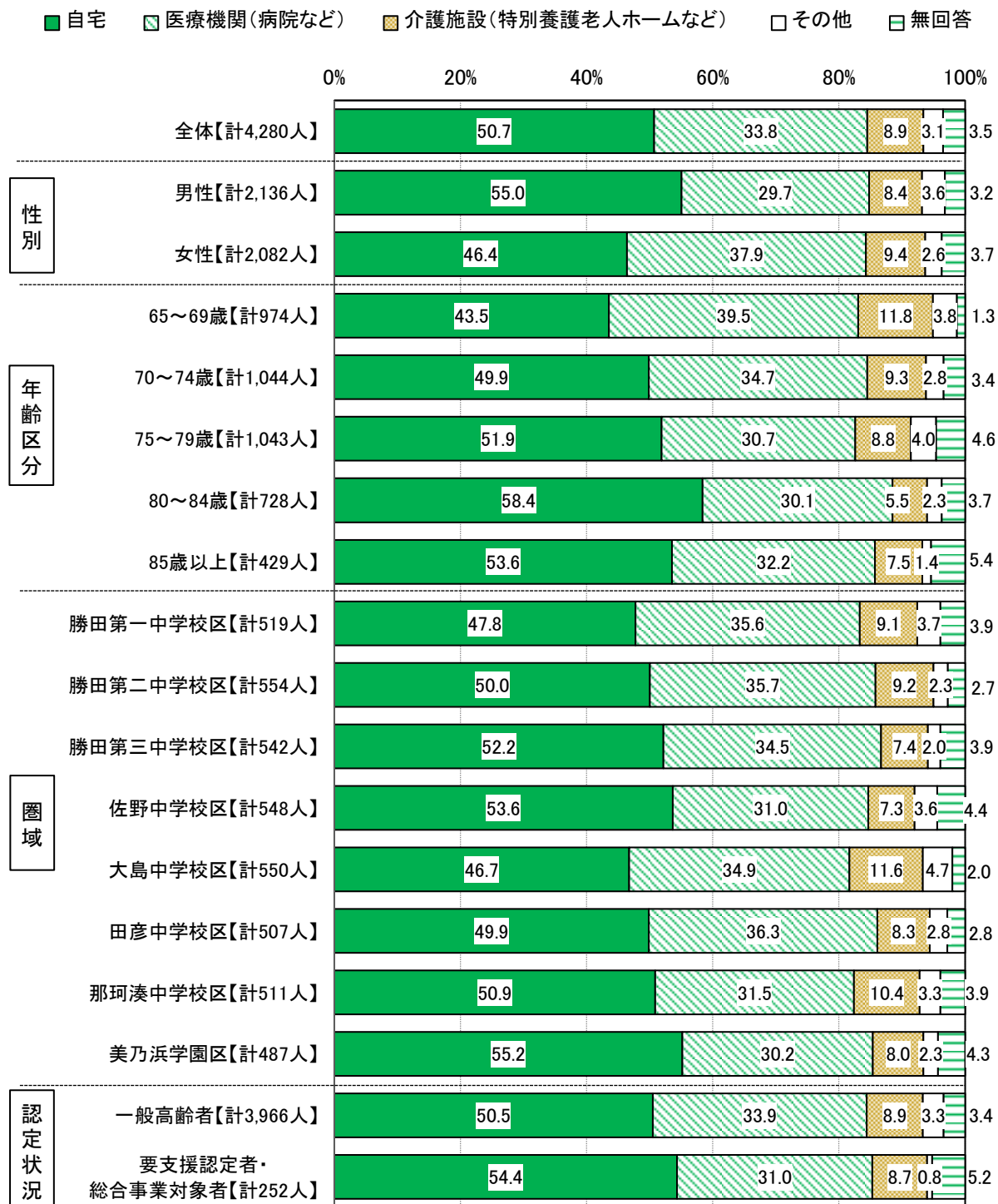
(1)在宅での医療や介護について、知っていますか

- 「ある程度知っている」が41.3%で最も高く、次いで、「言葉だけ知っている」が33.1%、「知らない」が14.2%、「よく知っている」が7.8%となっています。
- 圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」、「大島中学校区」(15.6%)であり、最も低いのは「勝田第三中学校区」(10.7%)となっています



(2)最期を迎える場として、どこが良いと考えますか

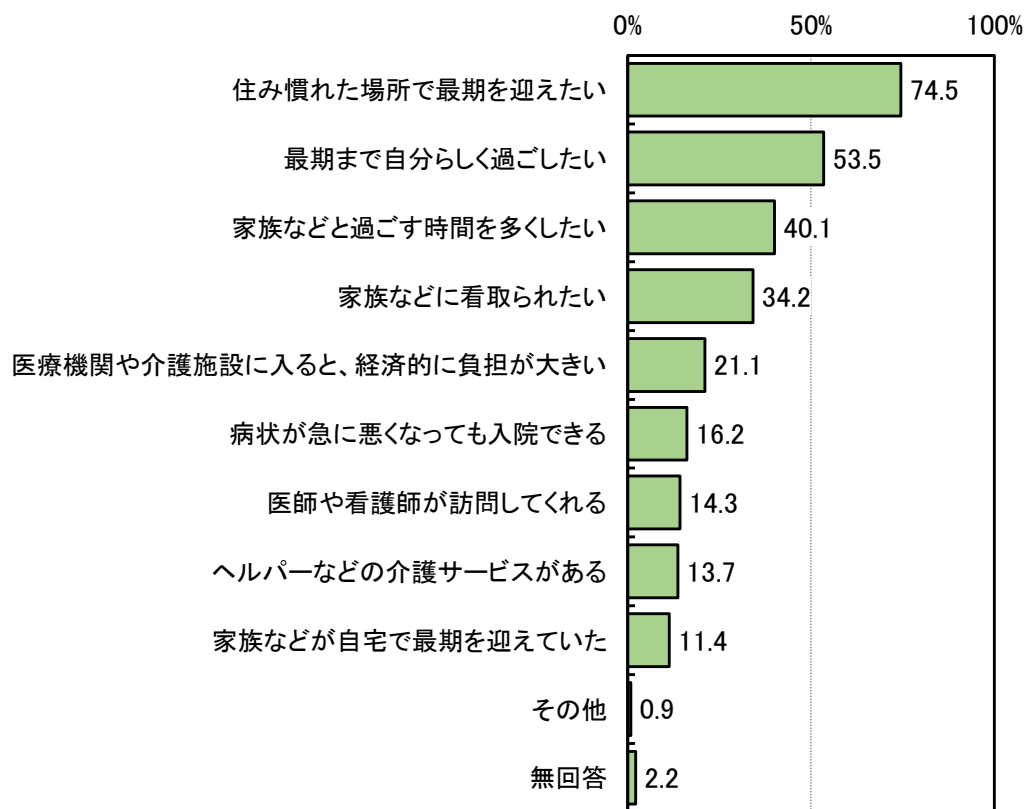
- 「自宅」が50.7%で最も高く、次いで、「医療機関(病院など)」が33.8%、「介護施設(特別養護老人ホームなど)」が8.9%となっています。
- 圏域別にみると、「自宅」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(55.2%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(46.7%)となっています。



【(2)において「1. 自宅」の方のみ】

(3)－①選んだ理由は次のどれですか(いくつでも)

●「住み慣れた場所で最期を迎えたい」が74.5%で最も高く、次いで、「最期まで自分らしく過ごしたい」(53.5%)、「家族などと過ごす時間を多くしたい」(40.1%)、「家族などに看取られたい」(34.2%)、「医療機関や介護施設に入ると、経済的に負担が大きい」(21.1%)と続いています。

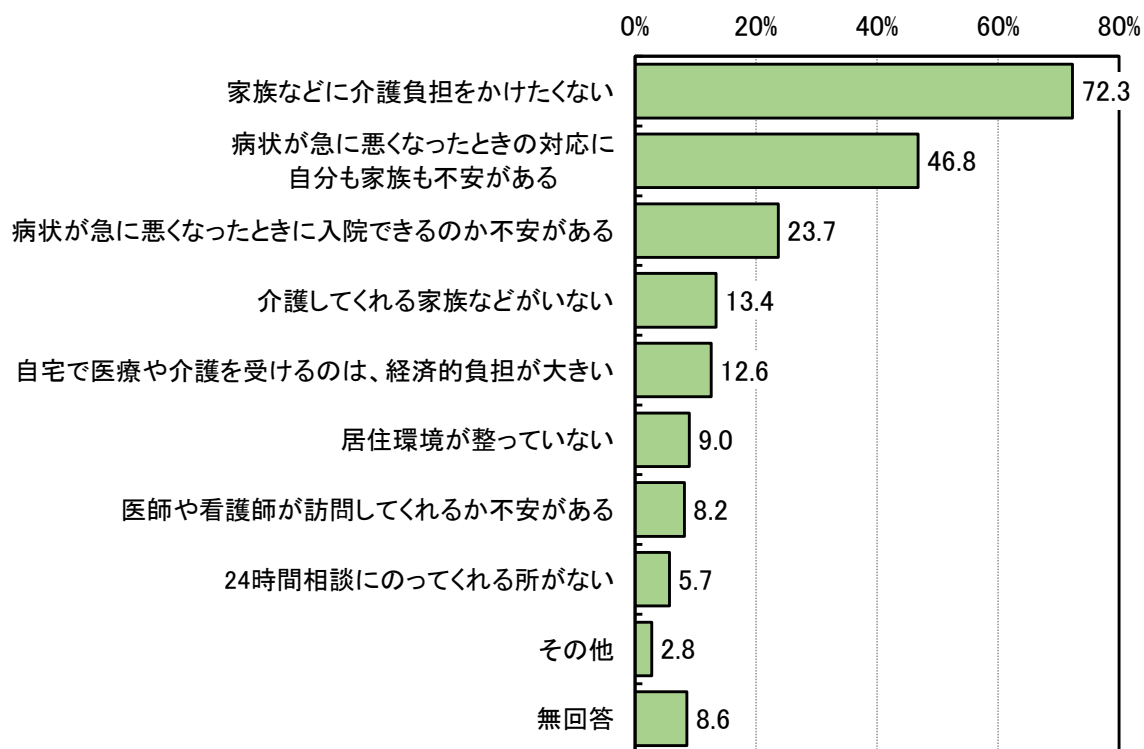


【n=2,169】

【(2)において「1. 自宅」以外の方のみ】

(3)－②選んだ理由は次のどれですか(いくつでも)

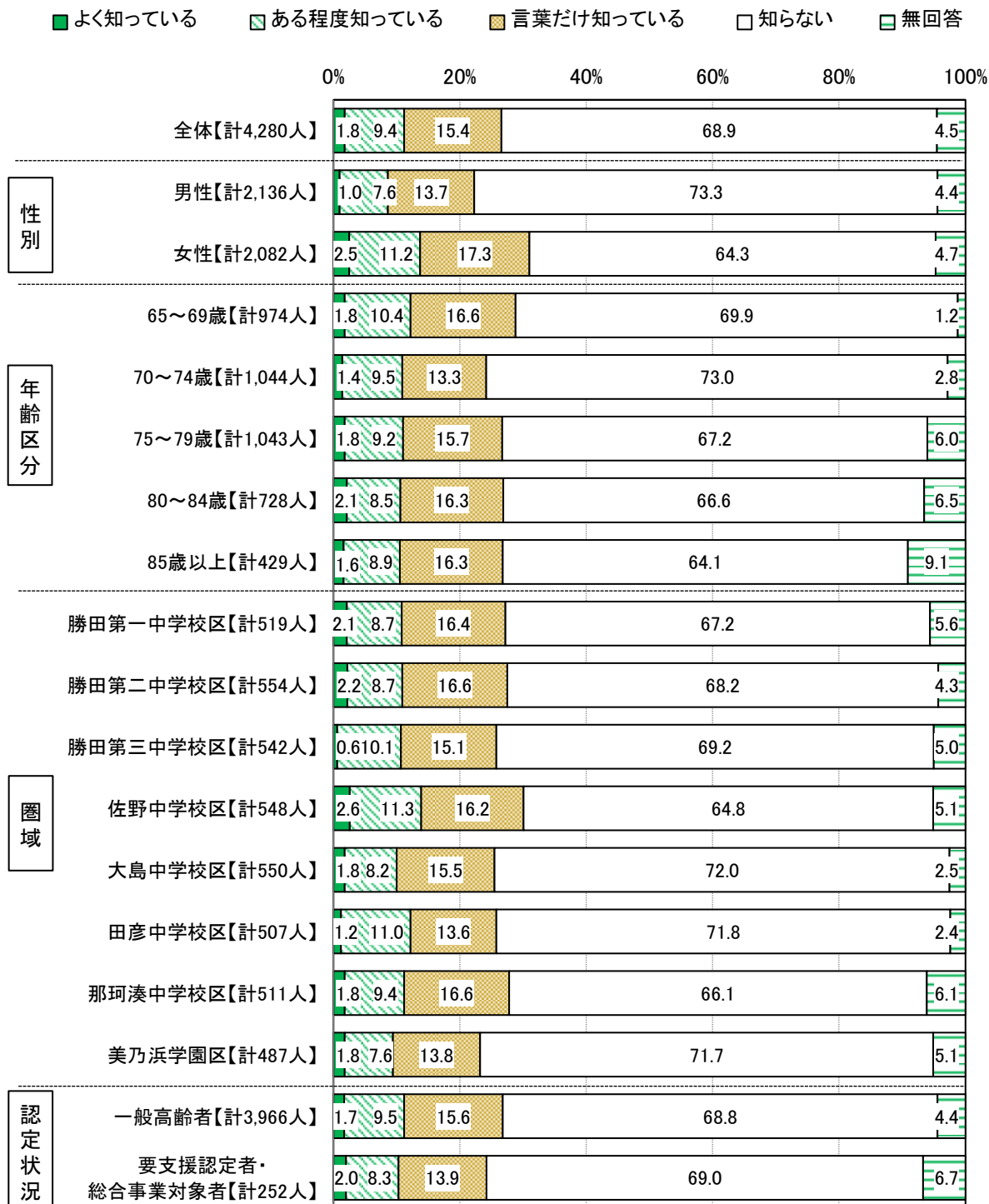
●「家族などに介護負担をかけたくない」が72.3%で最も高く、次いで、「病状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安がある」(46.8%)、「病状が急に悪くなったときに入院できるのか不安がある」(23.7%)、「介護してくれる家族などがいない」(13.4%)、「自宅で医療や介護を受けるのは、経済的負担が大きい」(12.6%)と続いています。



【n=1,961】

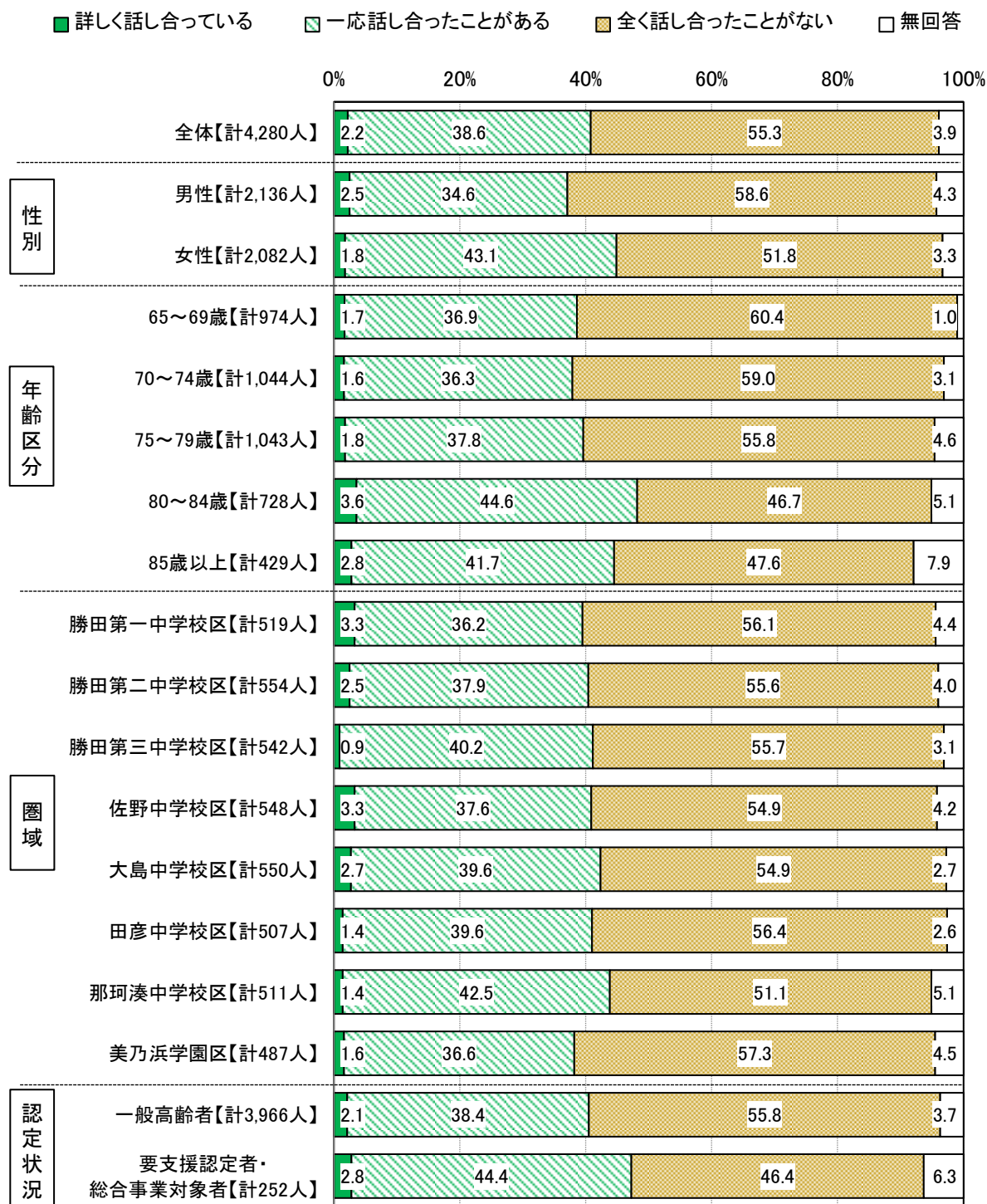
(4)もしものとき(自身の最期が近い場合など)のために、受きたい医療や介護について前もって繰り返し話し合う取り組み(人生会議)を知っていますか

- 「よく知っている」または「ある程度知っている」「言葉だけ知っている」と回答した人の割合は26.6%となっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は68.9%となっています。
- 圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合が最も高いのは「大島中学校区」(72.0%)であり、最も低いのは「佐野中学校区」(64.8%)となっています。



(5)もしものときの受けたい医療や介護について、家族等とどれくらい話し合っていますか

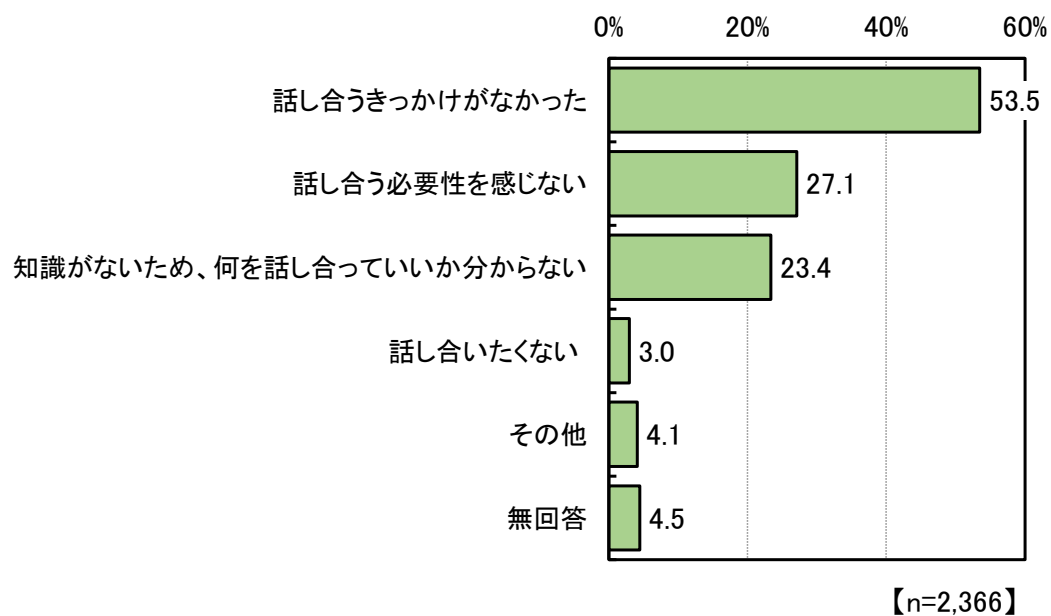
- 「全く話し合ったことがない」が55.3%で最も高く、「一応話し合ったことがある」が38.6%、「詳しく話し合っている」が2.2%となっています。
- 圏域別にみると、「全く話し合ったことがない」と回答した人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」(57.3%)であり、最も低いのは「那珂湊中学校区」(51.1%)となっています。



【(5)において「3. 全く話し合ったことがない」の方のみ】

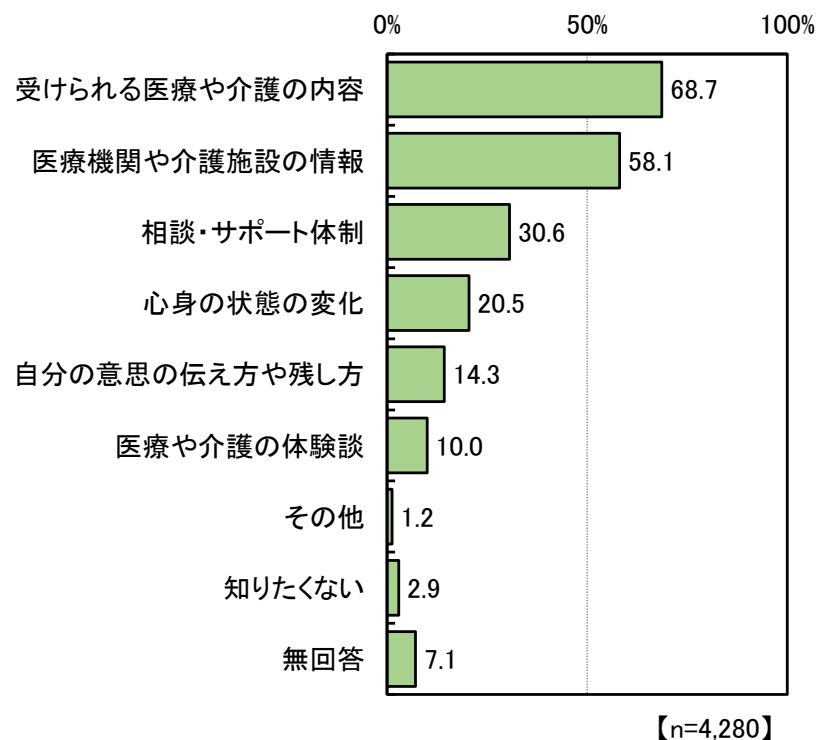
(6)話し合ったことがない理由は、次のどれですか(いくつでも)

- 「話し合うきっかけがなかった」が53.5%で最も高く、次いで、「話し合う必要性を感じない」(27.1%)、「知識がないため、何を話し合っているかわからない」(23.4%)、「話し合いたくない」(3.0%)と続いています。



(7)もしものときの受けたい医療や介護について考えるために、知りたい情報は次のどれですか
(いくつでも)

●「受けられる医療や介護の内容」が68.7%で最も高く、次いで、「医療機関や介護施設の情報」(58.1%)、「相談・サポート体制」(30.6%)、「心身の状態の変化」(20.5%)、「自分の意思の伝え方や残し方」(14.3%)と続いています。



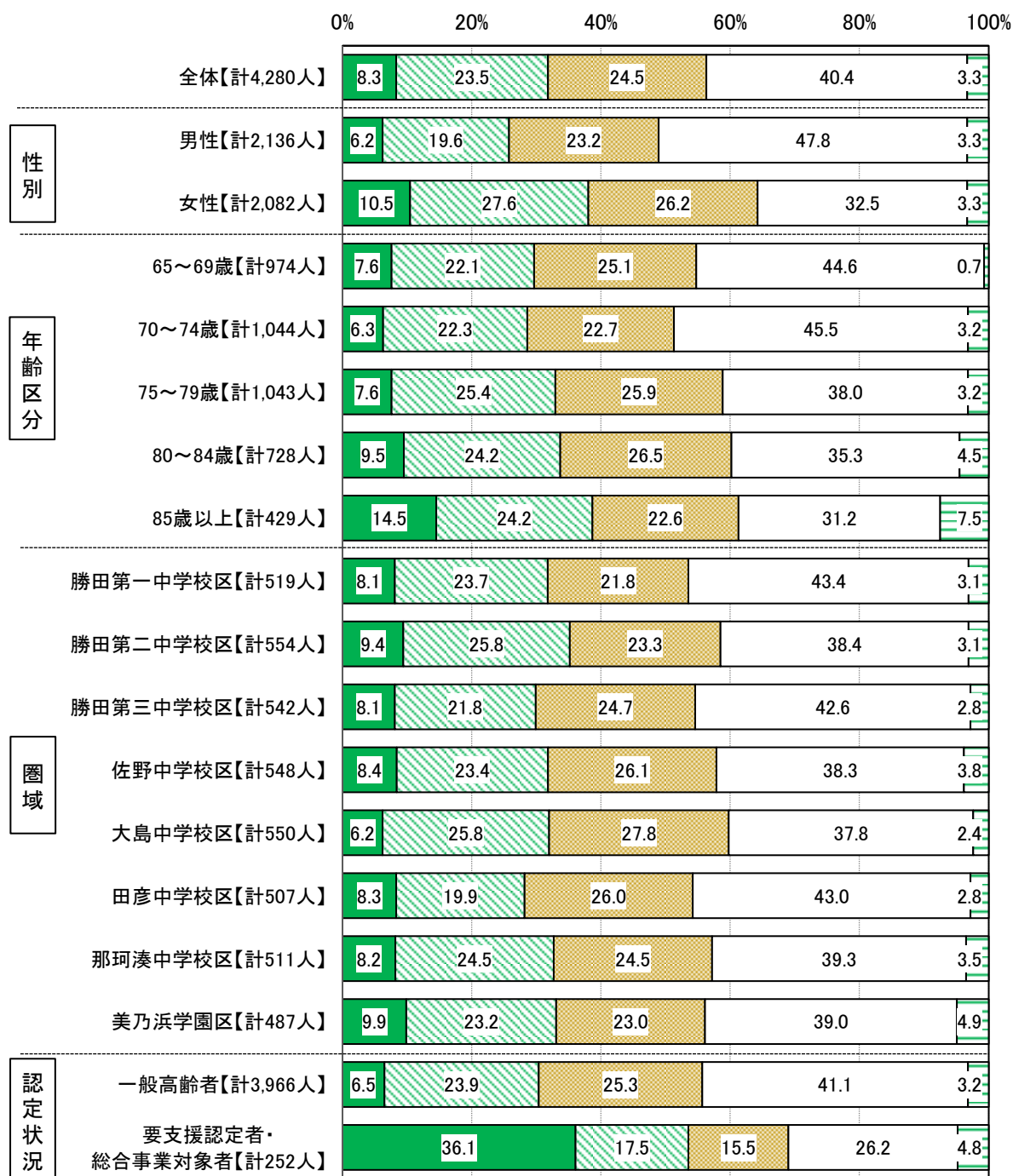
問11 地域包括支援センター(おとしより相談センター)について

(1)市内にある高齢者の相談窓口「地域包括支援センター(おとしより相談センター)」を知っていますか

●「知らない」が40.4%で最も高く、次いで、「名前は知っている」が24.5%、「知っているが利用したことはない」が23.5%、「知っており利用したことがある」が8.3%となっています。

●圏域別にみると、「知らない」と回答した人の割合が最も高いのは「勝田第一中学校区」(43.4%)であり、最も低いのは「大島中学校区」(37.8%)となっています。

■ 知っており利用したことがある ■ 知っているが利用したことはない ■ 名前は知っている □ 知らない □ 無回答



第3章 設問ごとの分析

第4章 生活機能評価等に関するリスク分析

1 生活機能評価等に関するリスク分析

本調査は、国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づき、運動器の機能低下、転倒リスク、低栄養の傾向、口腔機能の低下、閉じこもり傾向、認知機能の低下、うつ傾向、IADLの低下のリスク該当者を判定しました。

生活機能評価等に関する分析では、全体で認知機能の低下の40.8%が最も高く、うつ傾向の31.9%、転倒リスクの27.6%、口腔機能の低下の16.5%と続いています。

男女別にみると、口腔機能の低下、IADLの低下以外で女性が男性を上回る割合となっており、特に運動器の機能低下においてその差が大きくなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるに従い、各評価項目の該当者の割合が高くなっています。その差が大きいのが閉じこもり傾向と運動器の機能低下、IADLの低下であり、閉じこもり傾向では65～69歳の6.0%に対し、85歳以上は35.0%、運動器の機能低下では65～69歳の4.7%に対し、85歳以上は31.0%、IADLの低下では65～69歳の4.5%に対し、85歳以上は29.9%が該当しています。

日常生活圏域別にみると、美乃浜学園区で該当割合が高くなっています。

○各評価項目の該当者割合

区分		単位	回答者数	運動器	転倒	低栄養	口腔	閉じこもり	認知機能	うつ	IADL
全体	該当者	人	4,280	489	1,180	138	707	619	1,747	1,365	461
	該当率	%		11.4	27.6	3.2	16.5	14.5	40.8	31.9	10.7
性別	男性	該当者	2,136	192	574	50	366	294	830	631	268
		該当率		%	9.0	26.9	2.3	17.1	13.8	38.9	29.5
	女性	該当者	2,082	290	590	86	330	312	883	710	186
		該当率		%	13.9	28.3	4.1	15.9	15.0	42.4	34.1
年齢区分	65～69歳	該当者	974	46	210	29	106	58	326	287	44
		該当率		%	4.7	21.6	3.0	10.9	6.0	33.5	29.5
	70～74歳	該当者	1,044	78	240	33	154	105	393	321	76
		該当率		%	7.5	23.0	3.2	14.8	10.1	37.6	30.7
	75～79歳	該当者	1,043	103	280	34	193	155	414	327	98
		該当率		%	9.9	26.8	3.3	18.5	14.9	39.7	31.4
	80～84歳	該当者	728	122	246	19	141	138	345	251	108
		該当率		%	16.8	33.8	2.6	19.4	19.0	47.4	34.5
	85歳以上	該当者	429	133	188	21	102	150	235	155	128
		該当率		%	31.0	43.8	4.9	23.8	35.0	54.8	36.1
圏域	勝田第一中学校区	該当者	519	54	157	16	91	69	229	170	52
		該当率		%	10.4	30.3	3.1	17.5	13.3	44.1	32.8
	勝田第二中学校区	該当者	554	62	148	18	95	79	220	165	60
		該当率		%	11.2	26.7	3.2	17.1	14.3	39.7	29.8
	勝田第三中学校区	該当者	542	57	143	13	90	81	203	181	53
		該当率		%	10.5	26.4	2.4	16.6	14.9	37.5	33.4
	佐野中学校区	該当者	548	55	143	19	90	76	220	167	64
		該当率		%	10.0	26.1	3.5	16.4	13.9	40.1	30.5
	大島中学校区	該当者	550	58	145	23	88	64	226	171	49
		該当率		%	10.5	26.4	4.2	16.0	11.6	41.1	31.1
	田彦中学校区	該当者	507	56	145	17	78	67	202	179	42
		該当率		%	11.0	28.6	3.4	15.4	13.2	39.8	35.3
	那珂湊中学校区	該当者	511	62	134	16	86	84	201	149	61
		該当率		%	12.1	26.2	3.1	16.8	16.4	39.3	29.2
美乃浜学園区	該当者	487	78	149	14	78	86	212	159	73	
	該当率		%	16.0	30.6	2.9	16.0	17.7	43.5	32.6	15.0

2 運動器の機能低下

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
①	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
②	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
③	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
④	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
⑤	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

上記の設問のうち、3問以上該当する選択肢(上の表の網掛け箇所)が回答された場合、運動器機能の低下している高齢者と判定されます。

(2) リスク者の状況

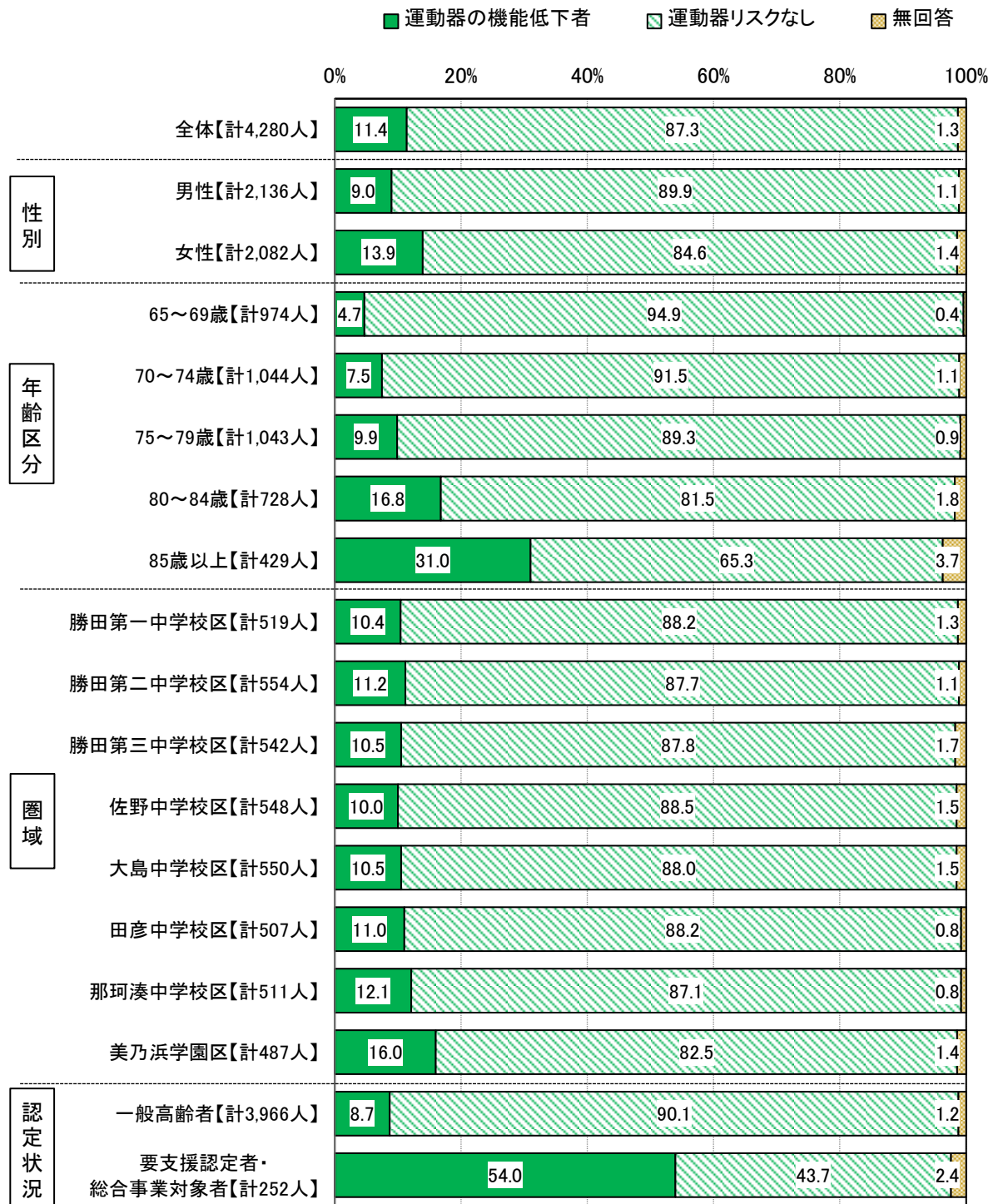
「運動器」とは、身体を動かすために働く組織を指し、筋肉や骨、関節だけではなく、脳、脊髄、末梢神経、軟骨、椎間板も含まれます。様々な組織が連動することで私たちの身体が動くことから、どれかひとつの組織が欠けても歩行や日常生活活動に支障をきたしてしまいます。運動器の障害は要支援・要介護状態となる大きな要因の1つであることから、健康寿命を延ばすためにも運動器の機能低下者を減らすことが大切です。

運動器の機能低下者の割合は男性(9.0%)よりも女性(13.9%)の方が高くなっています。

年齢区分別にみると、おおむね年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では31.0%となっています。

圏域別にみると、運動器の機能低下者の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」であり、16.0%となっています。一方、運動機能器の低下者の割合が最も低いのは「佐野中学校区」であり、10.0%となっています。

運動器の機能低下者の状況



3 転倒リスク

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
④	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

④で「1. 何度もある」または「2. 1度ある」の選択肢を回答された場合、転倒リスクのある高齢者と判定されます。

(2) リスク者の状況

転倒リスク者は、運動器の機能低下リスク判定に用いた5つの設問のうち1設問の回答に基づき判定されるものであり、その意味においては運動器の機能低下リスクに内包された指標であるともいえますが、転倒経験があっても他の2設問に該当しない場合は運動器の機能低下者とはならないため、別途リスク者として独立した指標を定め分析することとします。

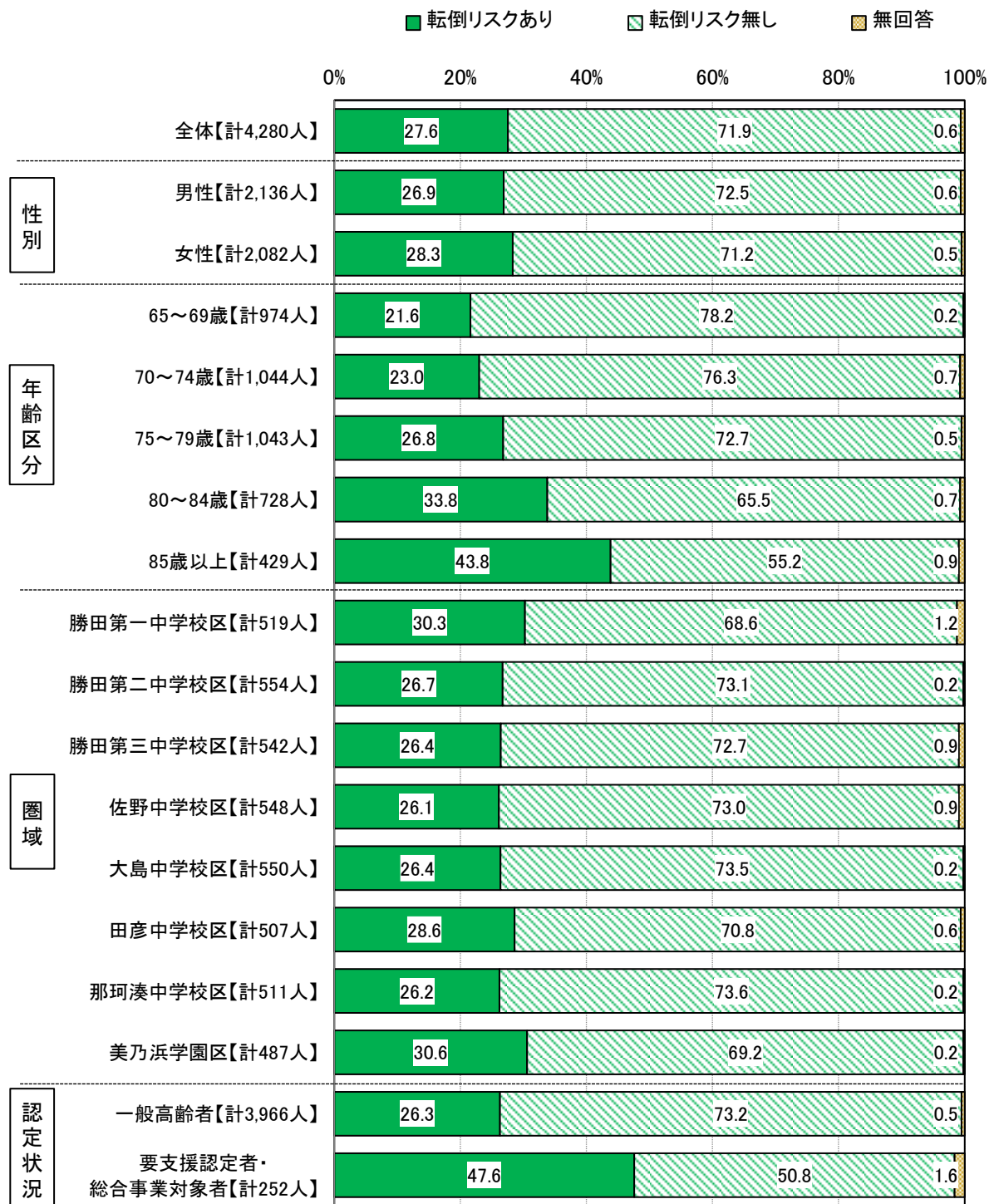
転倒の要因は、コードや段差につまずくなどの偶発的な環境要因と、歩行やバランス障害、筋力低下等による身体的な要因によるものです。従って、転倒リスク者の減少のためにはサルコペニア(加齢性筋肉減弱症)対策と併せて、自宅や施設のバリアフリー化、歩道の整備等の環境整備が必要となります。転倒リスク者を減じる取組は高齢者の転倒不安を軽減し、ひいては運動器の機能低下者を減らすことにつながります。

転倒リスク者(転倒経験のある人)の割合は、男性が26.9%、女性が28.3%であり、女性の方が高くなっています。

年齢区別にみると、おおむね年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では43.8%となっています。

圏域別にみると、転倒リスク者の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」であり、30.6%となっています。一方、転倒リスク者の割合が最も低いのは「佐野中学校区」であり、26.1%となっています。

転倒リスク者の状況



4 低栄養の傾向

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑥	身長・体重	()cm ()kg →BMI18.5以下
⑦	6か月間で2～3kg以上の体重の減少 はありましたか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ

身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。

低栄養状態を確認する場合は国が示す必須項目(身長・体重を問う設問)では不十分であるため、本市では、別途示されたオプション項目(⑦)を追加して調査しました。

(2) 低栄養の傾向に係る考察

低栄養のリスク者割合は全体で3.2%となっており、他のリスク判定と比べればリスク者の割合は低いことが分かります。

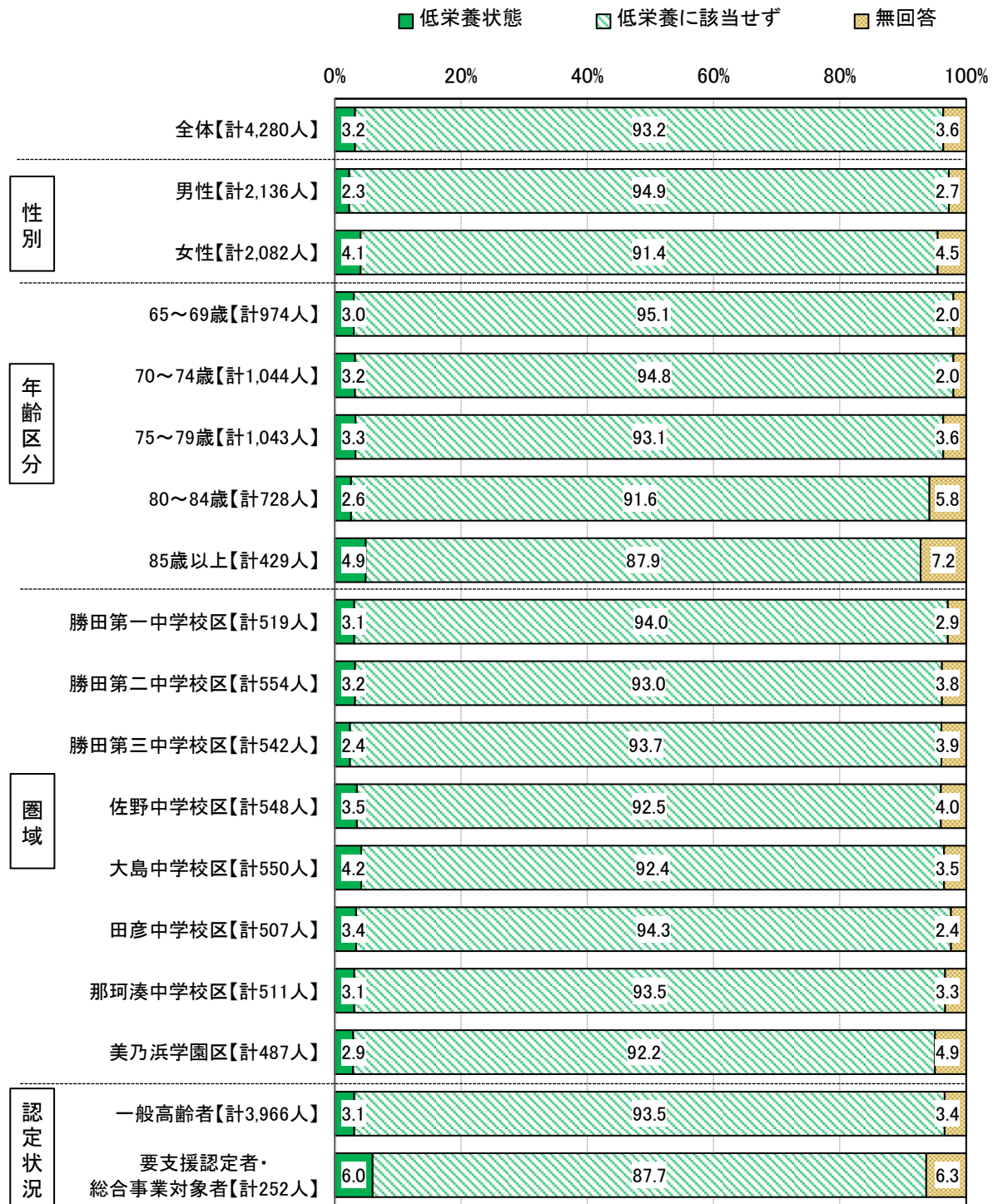
低栄養の判定には現在の身長及び体重を記入していただく必要があり、他の設問と比べて無回答が多くなる傾向にあります。無回答がある場合は判定不能となります。調査結果からは低栄養のリスク者の割合は低いようにみえますが、判定不能者の中に潜在的なリスク者が存在していることも否認できません。よりきめ細やかな分析をするためには、個別の追跡調査が必要となります。

低栄養のリスク者の割合は男性が2.3%、女性が4.1%であり、女性の方が高くなっています。

年齢区分別にみると、85歳以上が最も高く4.9%となっています。

圏域別にみると、「大島中学校区」のリスク者の割合は4.2%と最も高くなっています。

低栄養のリスク者の状況



5 口腔機能の低下

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑧	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
⑨	お茶や汁物等でむせることがありますか（オプション項目）	1. はい 2. いいえ

⑧で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります。

口腔機能の低下を確認する場合は国が示す必須項目(⑧)のみでは不十分であるため、本市では、別途示されたオプション項目(⑨)を追加して調査しました。

嚥下機能の低下を把握する「お茶や汁物等でむせることがありますか」と併せ、⑧～⑨のどちらにも該当した場合は、口腔機能が低下している高齢者と判定されます。

(2) 口腔機能の低下に係る考察

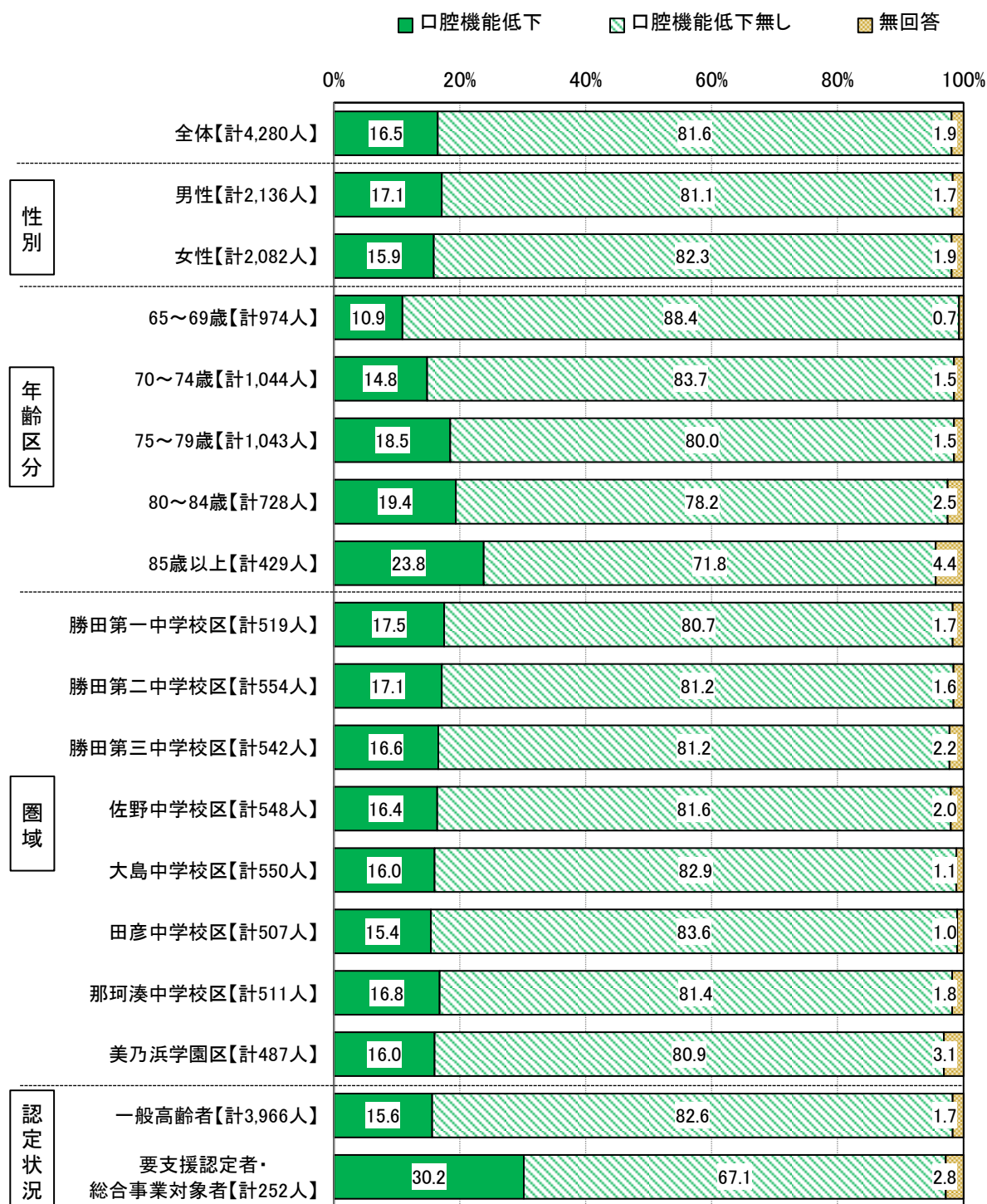
口腔機能の低下によって食事のバランスが悪くなり、運動機能や生理機能を正常に保つことが困難になるだけでなく、糖尿病や高血圧といった生活習慣病の発症や重症化のリスクが高くなると推察されています。

口腔機能低下のリスク者割合は全体で16.5%となっています。男性が17.1%、女性が15.9%で男性の方が高くなっています。

年齢区分別にみると、おおむね年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では23.8%となっています。

圏域別にみると、「勝田第一中学校区」のリスク者の割合が17.5%と最も高くなっています。

口腔機能低下のリスク者の状況



6 閉じこもり傾向

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑩	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

⑩で「1. ほとんど外出しない」または「2. 週1回」の選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者と判定されます。

(2) リスク者の状況

上記に記しているとおり、本調査において閉じこもり傾向の高齢者とは、外出頻度が週に1回以下であることです。

外出頻度が低下する要因は数多く考えられます。そもそも、外出する目的が無ければ無理に自宅の外に出る必要性も無く、現に自宅内で穏やかに過ごすことを好む高齢者も多くいらっしゃいます。

しかしながら、一般的に閉じこもり状態が長くなることで、人との交流が減り、うつ傾向になったり、認知機能が低下したりすると考えられています。運動器の機能低下や転倒リスク、低栄養と閉じこもりは関連があると言われていることから、他のリスク者の割合を低減するためにも外出頻度を増やし、閉じこもり傾向のある高齢者を減らすことが大切です。

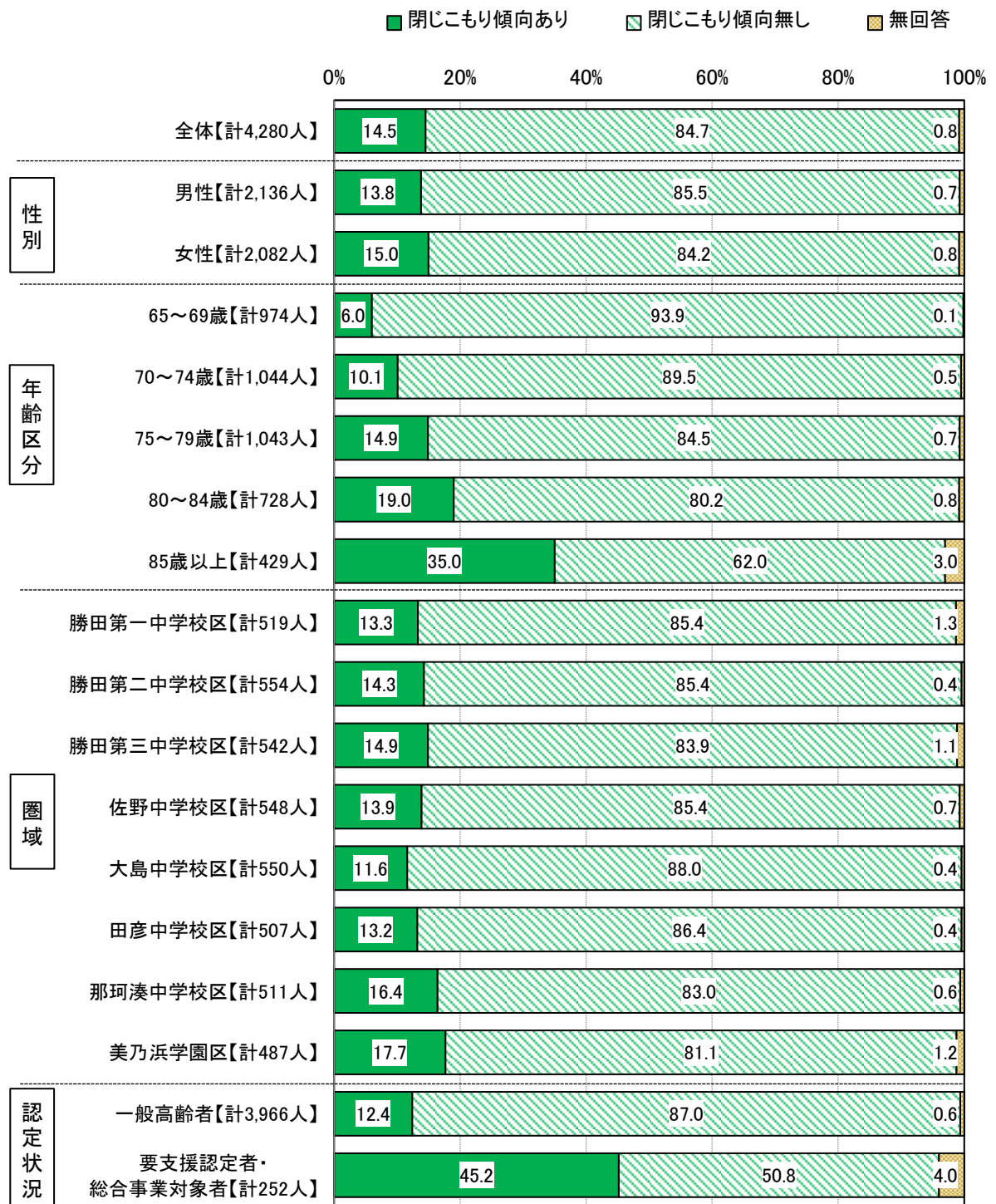
閉じこもり傾向となる要因は、「身体的要因」の他、「心理的要因」「社会・環境要因」が考えられます。「身体的要因」については運動器の機能低下者や転倒リスク者の割合を低減する取組によってある程度取り除くことが可能ですが、「心理的要因」及び「社会・環境要因」は家庭や地域で役割を持ち、積極的に地域に関わること、高齢者が自然に地域と関われる環境づくり等、それぞれ特有の取組が必要となります。

閉じこもり傾向のある高齢者は、男性が13.8%、女性が15.0%となっており、男性に比べて女性が高くなっています。

年齢区分別にみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では35.0%となっています。

圏域別にみると、閉じこもり傾向のある高齢者の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」であり、17.7%となっています。一方、閉じこもり傾向のある高齢者の割合が最も低いのは「大島中学校区」であり、11.6%となっています。

閉じこもりリスク者の状況



7 認知機能の低下

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
①	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

①で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者と判定されます。

(2) リスク者の状況

認知症を引き起こす原因疾患は多数存在しますが、認知症が進行する最大の原因は加齢です。今後、いわゆる団塊の世代が後期高齢者に移行することで、認知症の高齢者の数は増加することが見込まれています。

認知症(特にアルツハイマー病)による症状が出現する十数年前から脳内ではタンパク質の異常な蓄積が既に始まっており、認知症と診断される時期には相当の神経細胞が機能不全に陥っていると考えられています。従って、明らかな認知症を発症した時点では予防対策は極めて困難といえます。

本調査では、「物忘れが多いと感じますか」という設問に「1. はい」と回答した人の割合を認知機能の低下リスク有りと判定していますが、単なる「物忘れ」は加齢に伴い生じる自然な現象であり、認知症とは異なります。

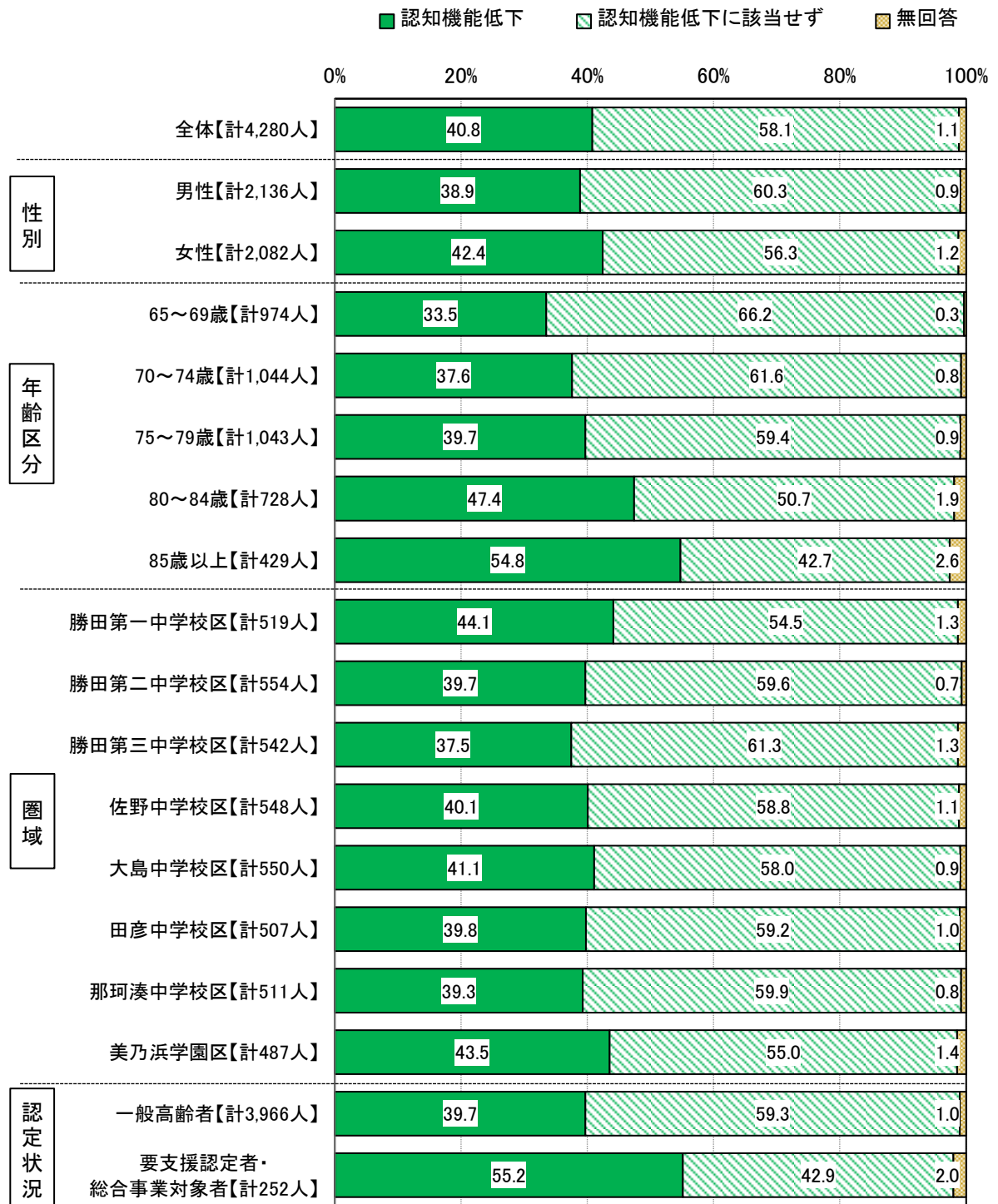
認知症の前段階である軽度認知障害を放置しておくとならば将来的に症状が悪化する可能性が非常に高く、軽度認知障害と診断された高齢者のうち、約半分が認知症になると言われています。

認知機能低下者の出現率は男性が38.9%、女性が42.4%で、女性の方が男性に比べて認知機能低下者の出現率が高くなっています。

年齢区分別にみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では54.8%となっています。

圏域別にみると、認知機能低下者の出現率が最も高いのは「勝田第一中学校区」であり、44.1%となっています。一方、認知機能低下者の出現率が最も低いのは「勝田第三中学校区」であり、37.5%となっています。

認知機能の低下リスク者の状況



8 うつ傾向

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑫	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
⑬	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

⑫、⑬でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者と判定されます。

(2) リスク者の状況

「うつ」は、気分が落ち込んだり何事にも興味を持てなくなったりすることに強い苦痛を感じ、日常生活の支障をきたすまでになった状態です。高齢者は、身体的にも社会的にも喪失に関連した様々なストレスを感じる人が多いことから、うつ状態になりやすいと考えられます。うつ状態が強くなると身体の状態にも影響することから、高齢者のうつ対策は介護予防のためにも重要です。大うつ病診断基準DSM-IVによると、うつ病の診断基準は下記ようになります。

以下の症状のうち、少なくとも1つある。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 抑うつ気分 | 2. 興味または喜びの喪失 |
|----------|---------------|

さらに、以下の症状を併せて、合計で5つ以上が認められる。

- | |
|--|
| 3. 食欲の減退あるいは増加、体重の減少あるいは増加
4. 不眠あるいは睡眠過多
5. 精神運動性の焦燥または制止(沈滞)
6. 易疲労感または気力の減退
7. 無価値感または過剰(不適切)な罪責感
8. 思考力や集中力の減退または決断困難
9. 死についての反復思考、自殺念慮、自殺企図 |
|--|

これらの症状がほとんど1日中、ほとんど毎日あり2週間にわたっている症状のために著しい苦痛または社会的、職業的、または他の重要な領域における機能障害を引き起こしている。これらの症状は一般身体疾患や物質依存(薬物またはアルコールなど)では説明できない。

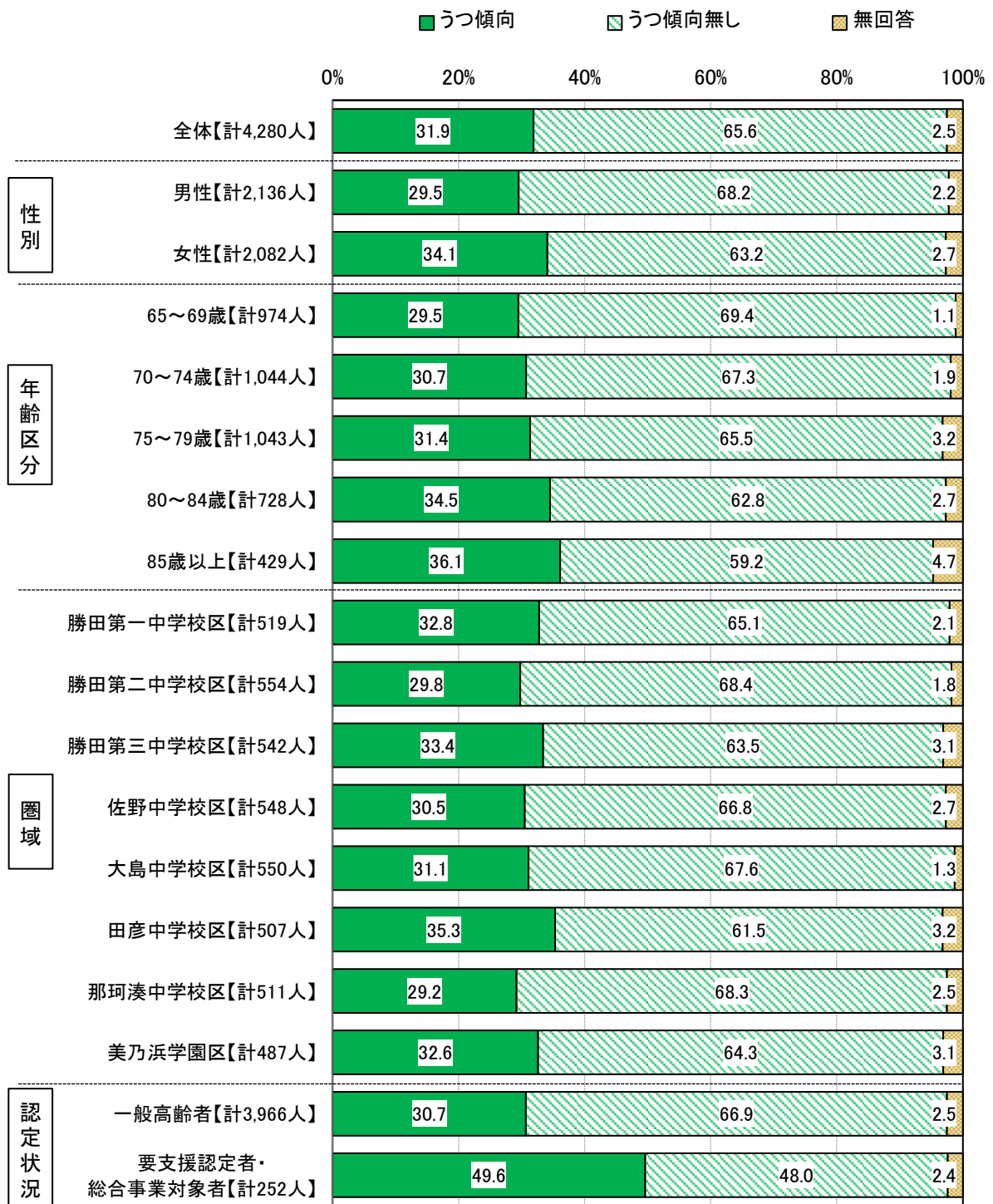
本調査において「うつ傾向」のリスク判定は、上に挙げた大うつ病診断基準DSM-IVのうち、「1. 抑うつ気分」及び「2. 興味または喜びの喪失」に相当する質問の回答のみに基づいています。よって、本調査による判定結果と「うつ病」は同一視することができません。

うつ傾向がある人の割合は男性が29.5%、女性が34.1%で女性の方が高くなっています。

年齢区分別にみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では36.1%となっています。

圏域別にみると、うつ傾向がある人の割合が最も高いのは「田彦中学校区」であり、35.3%となっています。一方、うつ傾向がある人の割合が最も低いのは「那珂湊中学校区」であり、29.2%となっています。

うつ傾向リスク者の状況



9 IADLの低下

(1)リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑭	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑮	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑯	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑰	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑱	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

上記設問で、「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点でIADLを評価します(5点を「1. 高い」、4点を「2. やや低い」、3点以下を「3. 低い」とします)。

※IADLとは

IADL(Instrumental Activities of Daily Living)とは、「手段的日常生活動作」とも言われ、電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、日常生活動作ではとらえられない高次の生活機能の水準を測定するもの。

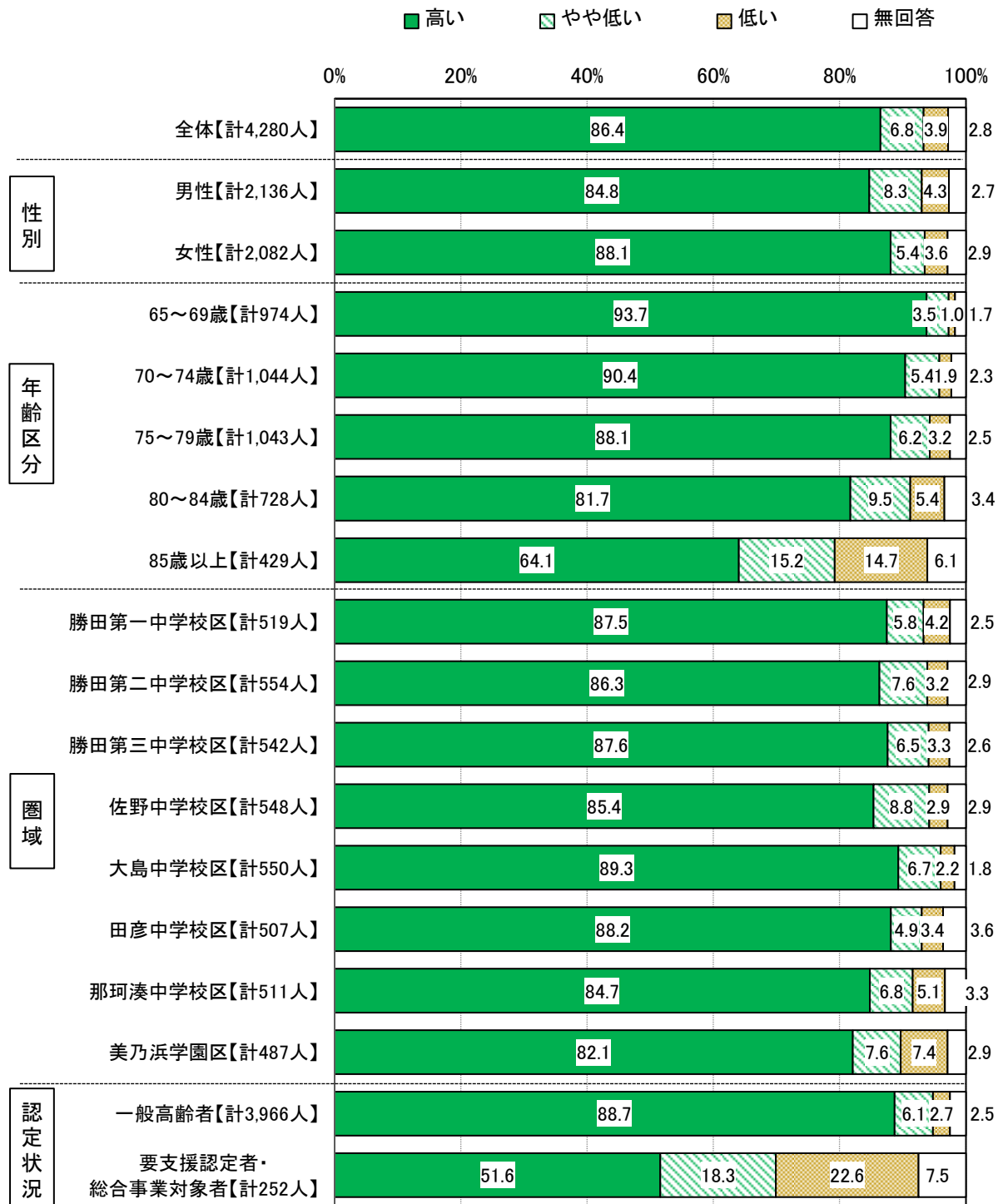
(2)IADLの状況

IADLが「高い」(5点)人の割合は男性が84.8%、女性が88.1%であり、男性に比べて女性の方が、IADLが「高い」人の割合が高くなっています。

年齢区分別にみると、年齢階層が高くなるにつれてIADLが「低い」又は「やや低い」人の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上では29.9%となっています。

圏域別にみると、IADLが「低い」又は「やや低い」人の割合が最も高いのは「美乃浜学園区」であり、15.0%となっています。一方、IADLが「低い」又は「やや低い」人の割合が最も低いのは「田彦中学校区」であり、8.3%となっています。

IADLの状況



第5章 日常生活圏域に関する分析

1 本市における日常生活圏域について

本市では、中学校区を単位として、コミュニティセンターが整備されるとともに、地域住民のまちづくりやコミュニティ活動が行われています。また、コミュニティ組織や民生委員児童委員協議会も概ね中学校区を単位としてきたことから、本市における日常生活圏域の設定については、中学校区を単位としています。



2 日常生活圏域についての分析

(1) 勝田第一中学校区域

本市の中心部に位置し、常磐線勝田駅より東側及び南側に商店街を形成し、その中に大型店舗が立地しています。区域内には昭和40～50年代に造成された住宅団地が複数あり、昭和通り線の南側の親水性公園とともに住宅街を形成しています。

また、那珂川沿いや中丸川沿いは稲作を中心とした農地が、台地部分では、甘しょ栽培を中心とした農業振興地域内農用地区域に指定された農地が広がっています。



【圏域の傾向】

- 前期高齢者が45.5%、後期高齢者が54.5%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、1人暮らしの割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、82.7%と市全体とほぼ同じとなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は61.3%と市全体より低くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が26.4%と市全体より高くなっています。
- リスク判定では、転倒、口腔、認知症、うつで市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、ボランティア、スポーツ、趣味、学習・教養サークルに参加している割合は市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある割合は市全体より高くなっています。
- 外出する手段では、路線バス、あおぞらバスの割合が高くなっています。
- 免許を返納した(持っていない)割合は、21.6%で市全体とほぼ同じとなっています。
- 最寄りのバス停まで歩ける割合は、89.0%で市全体より高くなっています。
- 外出において困っていることは、通院、買物、家族や友人との交流で市全体より低くなっています。
- 買物で困っていることは、徒歩圏内にお店がないの割合が高くなっています。
- 利用している買物支援サービスは、弁当配達サービスの割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による分析結果

(単位:%)

		市全体	勝田第一 中学校区
年齢	前期高齢者の割合	47.1	45.5
	後期高齢者の割合	51.4	54.5
家族構成	1人暮らしの割合	16.6	18.5
	夫婦2人暮らしの割合	49.4	48.7
	息子・娘との2世帯の割合	16.5	16.4
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	82.1	82.7
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	64.6	61.3
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.9	26.4
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	11.4	10.4
	転倒リスク高齢者の割合	27.6	30.3
	低栄養リスク高齢者の割合	3.2	3.1
	口腔機能リスク高齢者の割合	16.5	17.5
	閉じこもりリスク高齢者の割合	14.5	13.3
	認知症リスク高齢者の割合	40.8	44.1
	うつリスク高齢者の割合	31.9	32.8
	IADLが低い高齢者の割合	10.7	10.0
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	9.6	11.8
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	20.4	21.6
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	20.8	22.7
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	5.7	5.8
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	7.1	6.9
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	20.8	19.7
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	47.2	50.1
	地域づくりへの企画・運営としての参加意向のある高齢者の割合	22.7	22.7
外出手段等	徒歩	42.3	42.0
	自動車(自分で運転)	72.3	71.5
	自動車(人に乗せてもらう)	26.0	24.3
	路線バス・あおぞらバス	8.1	8.9
	免許を返納した・持っていない方の割合	21.4	21.6
	最寄りのバス停まで歩ける方	87.1	89.0
困る外出で	通院	40.8	39.3
	買物	40.2	32.1
	家族や友人との交流	12.1	8.9
困る買物で	徒歩圏内にお店がない	11.0	13.7
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.2	8.9
	購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	5.8
利用している買物支援	宅配サービス	15.1	12.9
	インターネットショッピング	8.7	8.7
	移動販売	1.8	1.7
	弁当配達サービス	1.4	1.9

(2)勝田第二中学校区

常磐線勝田駅の西側に位置し、那珂市及び水戸市と接する地域です。区域のほぼ中央に国道6号線を挟んだ地域であり、区域の北部には大手ものづくり企業が立地しています。それ以外の区域は概ね住宅地であり、常磐線沿線では武田土地区画整理事業が施行され、優良な宅地化が進捗しています。

また、南部の那珂川周辺の低地は、水田地帯を形成しています。



【圏域の傾向】

- 前期高齢者が48.0%、後期高齢者が52.0%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、1人暮らし、夫婦2人暮らしの割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、84.3%と市全体より高くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は68.6%と市全体より高くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が26.4%と市全体より高くなっています。
- リスク判定では、口腔、IADLで市の平均より高い該当率となっています。
- 社会参加では、趣味、学習・教養、介護予防のための通いの場に参加している割合が市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある割合、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある割合はともに市全体より高くなっています。
- 外出する手段では、徒歩、自動車(人に乗せてもらう)、路線バス、あおぞらバスの割合が高くなっています。
- 免許を返納した(持っていない)割合は、21.8%で市全体より高くなっています。
- 最寄りのバス停まで歩ける割合は、88.6%で市全体より高くなっています。
- 外出において困っていることは、通院、買物、家族や友人との交流の割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、徒歩圏内にお店がない、家族等の協力がなくて行きたいときに買物に行けない、購入した商品を持って帰るのが難しいの割合が高くなっています。
- 利用している買物支援サービスは、宅配サービス、インターネットショッピング、移動販売の割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による分析結果

(単位:%)

		市全体	勝田第二 中学校区
年齢	前期高齢者の割合	47.1	48.0
	後期高齢者の割合	51.4	52.0
家族構成	1人暮らしの割合	16.6	18.2
	夫婦2人暮らしの割合	49.4	49.5
	息子・娘との2世帯の割合	16.5	15.5
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	82.1	84.3
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	64.6	68.6
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.9	26.4
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	11.4	11.2
	転倒リスク高齢者の割合	27.6	26.7
	低栄養リスク高齢者の割合	3.2	3.2
	口腔機能リスク高齢者の割合	16.5	17.1
	閉じこもりリスク高齢者の割合	14.5	14.3
	認知症リスク高齢者の割合	40.8	39.7
	うつリスク高齢者の割合	31.9	29.8
	IADLが低い高齢者の割合	10.7	10.8
	社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	9.6
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合		20.4	20.0
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合		20.8	24.9
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合		5.7	7.9
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合		7.1	8.7
収入のある仕事をしている高齢者の割合		20.8	19.9
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合		47.2	47.9
地域づくりへの企画・運営としての参加意向のある高齢者の割合		22.7	24.4
外出手段等	徒歩	42.3	44.2
	自動車(自分で運転)	72.3	72.2
	自動車(人に乗せてもらう)	26.0	26.7
	路線バス・あおぞらバス	8.1	11.2
	免許を返納した・持っていない方の割合	21.4	21.8
	最寄りのバス停まで歩ける方	87.1	88.6
困る外出で	通院	40.8	41.3
	買物	40.2	40.5
	家族や友人との交流	12.1	12.4
困る買物で	徒歩圏内にお店がない	11.0	11.2
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.2	10.3
	購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	7.0
利用している買物支援	宅配サービス	15.1	16.6
	インターネットショッピング	8.7	9.2
	移動販売	1.8	2.5
	弁当配達サービス	1.4	1.3

(3) 勝田第三中学校区

本市北東の臨海部に位置し、茨城港常陸那珂港区や国営ひたち海浜公園、工業団地からなる「ひたちなか地区」や、甘しょ栽培を主とした田畑地帯があります。市街化区域においては、勝田第2工業団地内に複数の企業が立地しており、昭和後期～平成初期に形成された住宅団地が連たんしているとともに、東部第二土地区画整理事業が施行されています。



【圏域の傾向】

- 前期高齢者が49.6%、後期高齢者が50.4%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯の割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、80.6%と市全体より低くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は63.8%と市全体より低くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が24.5%と市全体より低くなっています。
- リスク判定では、口腔、閉じこもり、うつで市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、スポーツ、趣味、学習・教養サークル、収入のある仕事に参加している割合は市全体より高くなっています。地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある割合は市全体より高くなっています。
- 外出する手段では、自動車(自分で運転)の割合が高くなっています。
- 免許を返納した(持っていない)割合は、18.8%で市全体より低くなっています。
- 最寄りのバス停まで歩ける割合は、88.6%で市全体より高くなっています。
- 外出において困っていることは、通院、買物、家族や友人との交流の割合が高く、他の地域に比べて困っていると回答した割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、徒歩圏内にお店がないの割合が高くなっています。
- 利用している買物支援サービスは、宅配サービス、弁当配達サービスの割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による分析結果

(単位:%)

		市全体	勝田第三 中学校区
年齢	前期高齢者の割合	47.1	49.6
	後期高齢者の割合	51.4	50.4
家族構成	1人暮らしの割合	16.6	12.5
	夫婦2人暮らしの割合	49.4	50.7
	息子・娘との2世帯の割合	16.5	17.9
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	82.1	80.6
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	64.6	63.8
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.9	24.5
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	11.4	10.5
	転倒リスク高齢者の割合	27.6	26.4
	低栄養リスク高齢者の割合	3.2	2.4
	口腔機能リスク高齢者の割合	16.5	16.6
	閉じこもりリスク高齢者の割合	14.5	14.9
	認知症リスク高齢者の割合	40.8	37.5
	うつリスク高齢者の割合	31.9	33.4
	IADLが低い高齢者の割合	10.7	9.8
	社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	9.6
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合		20.4	23.4
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合		20.8	21.8
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合		5.7	6.5
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合		7.1	7.0
収入のある仕事をしている高齢者の割合		20.8	21.6
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合		47.2	47.2
地域づくりへの企画・運営としての参加意向のある高齢者の割合		22.7	23.4
外出手段等	徒歩	42.3	35.8
	自動車(自分で運転)	72.3	76.4
	自動車(人に乗せてもらう)	26.0	23.8
	路線バス・あおぞらバス	8.1	7.6
	免許を返納した・持っていない方の割合	21.4	18.8
	最寄りのバス停まで歩ける方	87.1	88.6
困る外出で	通院	40.8	45.1
	買物	40.2	44.1
	家族や友人との交流	12.1	14.7
困る買物で	徒歩圏内にお店がない	11.0	14.9
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.2	9.0
	購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	5.5
利用している買物支援	宅配サービス	15.1	15.5
	インターネットショッピング	8.7	8.7
	移動販売	1.8	1.5
	弁当配達サービス	1.4	2.2

(4)佐野中学校区

本市北部に位置し、那珂市及び東海村と接する地域です。佐和駅東側では佐和駅東土地区画整理事業が施行されており、令和6年には新たに佐和駅東口が開設されました。区域内の市街化調整区域は畑地と樹林地があり農業的土地利用が図られていますが、北部には大規模開発行為による住宅団地があります。



【圏域の傾向】

- 前期高齢者が48.9%、後期高齢者が51.1%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯の割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、82.5%と市全体とほぼ同じとなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は64.6%と市全体と同率となっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が23.4%と市全体より低くなっています。
- リスク判定では、低栄養、IADLで市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、スポーツ、趣味、収入のある仕事の参加割合は市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある割合、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある割合はともに市全体より高くなっています。
- 外出する手段では、徒歩、自動車(自分で運転)、自動車(人に乗せてもらう)の割合が高くなっています。
- 免許を返納した(持っていない)割合は、21.4%で市全体と同じ割合となっています。
- 最寄りのバス停まで歩ける割合は、85.9%で市全体より低くなっています。
- 外出において困っていることは、買物の割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けないの割合が高くなっています。
- 利用している買物支援サービスは、移動販売の割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による分析結果

(単位:%)

		市全体	佐野 中学校区
年齢	前期高齢者の割合	47.1	48.9
	後期高齢者の割合	51.4	51.1
家族構成	1人暮らしの割合	16.6	13.7
	夫婦2人暮らしの割合	49.4	50.7
	息子・娘との2世帯の割合	16.5	18.1
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	82.1	82.5
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	64.6	64.6
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.9	23.4
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	11.4	10.0
	転倒リスク高齢者の割合	27.6	26.1
	低栄養リスク高齢者の割合	3.2	3.5
	口腔機能リスク高齢者の割合	16.5	16.4
	閉じこもりリスク高齢者の割合	14.5	13.9
	認知症リスク高齢者の割合	40.8	40.1
	うつリスク高齢者の割合	31.9	30.5
	IADLが低い高齢者の割合	10.7	11.7
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	9.6	8.9
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	20.4	20.8
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	20.8	21.4
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	5.7	4.2
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	7.1	6.8
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	20.8	21.0
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	47.2	47.6
	地域づくりへの企画・運営としての参加意向のある高齢者の割合	22.7	24.4
外出手段等	徒歩	42.3	45.1
	自動車(自分で運転)	72.3	73.7
	自動車(人に乗せてもらう)	26.0	27.0
	路線バス・あおぞらバス	8.1	6.6
	免許を返納した・持っていない方の割合	21.4	21.4
	最寄りのバス停まで歩ける方	87.1	85.9
困る外出で	通院	40.8	35.9
	買物	40.2	41.0
	家族や友人との交流	12.1	12.0
困る買物で	徒歩圏内にお店がない	11.0	8.8
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.2	11.5
	購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	5.3
利用している買物支援	宅配サービス	15.1	13.9
	インターネットショッピング	8.7	8.2
	移動販売	1.8	2.0
	弁当配達サービス	1.4	1.3

(5)大島中学校区

常磐線勝田駅を起点とする昭和通り線の北側に位置し、区域内の南部は大規模小売店舗が立地するなど商業的土地利用が多いものの、区域内の大部分は住宅地となっています。

また、区域の中央部では六ツ野土地区画整理事業が施行されており、六ツ野スポーツの杜公園が造成されるなど、住宅機能の充実化が図られている地域です。



【圏域の傾向】

- 前期高齢者が47.5%、後期高齢者が52.5%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、夫婦2人暮らしの割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、81.5%と市全体より低くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は67.1%と市全体より高くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が24.5%と市全体より低くなっています。
- リスク判定では、低栄養、認知症で市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、スポーツ、趣味、収入のある仕事の参加割合は市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある割合、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある割合はともに市全体より高くなっています。
- 外出する手段では、徒歩の割合が高くなっています。
- 免許を返納した(持っていない)割合は、21.5%で市全体とほぼ同じ割合となっています。
- 最寄りのバス停まで歩ける割合は、86.2%で市全体より低くなっています。
- 外出において困っていることは、すべての項目で市全体より低くなっています。
- 買物で困っていることは、すべての項目で市全体より低くなっています。
- 利用している買物支援サービスは、宅配サービス、インターネットショッピングの割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による分析結果

(単位:%)

		市全体	大島 中学校区
年齢	前期高齢者の割合	47.1	47.5
	後期高齢者の割合	51.4	52.5
家族構成	1人暮らしの割合	16.6	16.2
	夫婦2人暮らしの割合	49.4	55.1
	息子・娘との2世帯の割合	16.5	13.1
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	82.1	81.5
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	64.6	67.1
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.9	24.5
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	11.4	10.5
	転倒リスク高齢者の割合	27.6	26.4
	低栄養リスク高齢者の割合	3.2	4.2
	口腔機能リスク高齢者の割合	16.5	16.0
	閉じこもりリスク高齢者の割合	14.5	11.6
	認知症リスク高齢者の割合	40.8	41.1
	うつリスク高齢者の割合	31.9	31.1
	IADLが低い高齢者の割合	10.7	8.9
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	9.6	8.2
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	20.4	22.5
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	20.8	22.0
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	5.7	4.4
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	7.1	6.5
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	20.8	21.1
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	47.2	49.6
	地域づくりへの企画・運営としての参加意向のある高齢者の割合	22.7	22.9
外出手段等	徒歩	42.3	52.0
	自動車(自分で運転)	72.3	72.0
	自動車(人に乗せてもらう)	26.0	25.6
	路線バス・あおぞらバス	8.1	8.0
	免許を返納した・持っていない方の割合	21.4	21.5
	最寄りのバス停まで歩ける方	87.1	86.2
困る外出で	通院	40.8	37.3
	買物	40.2	34.7
	家族や友人との交流	12.1	9.3
困る買物で	徒歩圏内にお店がない	11.0	5.8
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.2	7.5
	購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	4.4
利用している買物支援	宅配サービス	15.1	18.5
	インターネットショッピング	8.7	10.2
	移動販売	1.8	0.4
	弁当配達サービス	1.4	1.1

(6) 田彦中学校区

常磐線の西側に位置し、那珂市と接する地域です。区域の中西部には国道6号線が南北に延び、沿線北部には大手ものづくり企業が立地しています。区域の大部分が住宅地ですが、西部には水田地帯で稲作を中心とした農業が行われているとともに、北東部は大規模小売店舗が立地するなど商業的要素も含む区域となっています。



【圏域の傾向】

- 前期高齢者が49.7%、後期高齢者が50.3%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、夫婦2人暮らしの割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、81.3%と市全体より低くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は66.5%と市全体より高くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が26.8%と市全体より高くなっています。
- リスク判定では、転倒、低栄養、うつで市の平均より高くなっています。
- 社会参加では、ボランティア、スポーツ、趣味、学習・教養の場、収入のある仕事に参加している割合は市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある割合、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある割合はともに市全体より高くなっています。
- 外出する手段では、徒歩、自動車(自分で運転)、路線バス、あおぞらバスの割合が高くなっています。
- 免許を返納した(持っていない)割合は、20.5%で市全体より低くなっています。
- 最寄りのバス停まで歩ける割合は、89.9%で市全体より高くなっています。
- 利用している買物支援サービスは、宅配サービス、インターネットショッピングの割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による分析結果

(単位:%)

		市全体	田彦 中学校区
年齢	前期高齢者の割合	47.1	49.7
	後期高齢者の割合	51.4	50.3
家族構成	1人暮らしの割合	16.6	15.0
	夫婦2人暮らしの割合	49.4	55.0
	息子・娘との2世帯の割合	16.5	14.8
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	82.1	81.3
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	64.6	66.5
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.9	26.8
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	11.4	11.0
	転倒リスク高齢者の割合	27.6	28.6
	低栄養リスク高齢者の割合	3.2	3.4
	口腔機能リスク高齢者の割合	16.5	15.4
	閉じこもりリスク高齢者の割合	14.5	13.2
	認知症リスク高齢者の割合	40.8	39.8
	うつリスク高齢者の割合	31.9	35.3
	IADLが低い高齢者の割合	10.7	8.3
社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	9.6	9.7
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	20.4	22.9
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	20.8	23.1
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	5.7	7.7
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	7.1	6.7
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	20.8	21.7
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	47.2	50.1
	地域づくりへの企画・運営としての参加意向のある高齢者の割合	22.7	24.1
外出手段等	徒歩	42.3	47.5
	自動車(自分で運転)	72.3	73.4
	自動車(人に乗せてもらう)	26.0	25.8
	路線バス・あおぞらバス	8.1	8.9
	免許を返納した・持っていない方の割合	21.4	20.5
	最寄りのバス停まで歩ける方	87.1	89.9
困る外出で	通院	40.8	39.4
	買物	40.2	39.4
	家族や友人との交流	12.1	10.6
困る買物で	徒歩圏内にお店がない	11.0	6.5
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.2	8.5
	購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	5.7
利用している買物支援	宅配サービス	15.1	18.9
	インターネットショッピング	8.7	11.4
	移動販売	1.8	1.0
	弁当配達サービス	1.4	0.8

(7)那珂湊中学校区

東は太平洋、南側は那珂川に面した土地であり、市内で最も古い時期から市街地を形成しています。古くは漁業を中心としたまちづくりが中心でしたが、現在は那珂湊おさかな市場などの観光業や水産加工業が主たる産業となっています。

また、ひたちなか海浜鉄道湊線が東西に延びており、その沿線では船窪土地区画整理事業が施行され、令和2年には県道和田町常陸海浜公園線が造成され、交通利便性の向上が図られています。



【圏域の傾向】

- 前期高齢者が45.8%、後期高齢者が54.2%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、ひとり暮らし、息子・娘との2世帯の割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、83.8%と市全体より高くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は63.4%と市全体より低くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が25.2%と市全体より低くなっています。
- リスク判定では、運動器、口腔、閉じこもり、IADLで市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、ボランティアに参加している割合、収入のある仕事をしている高齢者の割合が市全体より高くなっています。地域づくりへの参加意向のある割合、地域づくりへの企画・運営として参加する意向のある割合はともに市全体より低くなっています。
- 外出する手段では、自動車(自分で運転)、自動車(人に乗せてもらう)の割合が高くなっています。
- 免許を返納した(持っていない)割合は、19.2%で市全体より低くなっています。
- 最寄りのバス停まで歩ける割合は、85.7%で市全体より低くなっています。
- 外出において困っていることは、家族や友人との交流の割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、購入した商品を持って帰るのが難しいの割合が高くなっています。
- 利用している買物支援サービスは移動販売の割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による分析結果

(単位:%)

		市全体	那珂湊 中学校区
年齢	前期高齢者の割合	47.1	45.8
	後期高齢者の割合	51.4	54.2
家族構成	1人暮らしの割合	16.6	19.2
	夫婦2人暮らしの割合	49.4	44.6
	息子・娘との2世帯の割合	16.5	17.0
健康観等	主観的健康観の高い高齢者の割合	82.1	83.8
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	64.6	63.4
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.9	25.2
リスク判定	運動器機能リスク高齢者の割合	11.4	12.1
	転倒リスク高齢者の割合	27.6	26.2
	低栄養リスク高齢者の割合	3.2	3.1
	口腔機能リスク高齢者の割合	16.5	16.8
	閉じこもりリスク高齢者の割合	14.5	16.4
	認知症リスク高齢者の割合	40.8	39.3
	うつリスク高齢者の割合	31.9	29.2
	IADLが低い高齢者の割合	10.7	11.9
	社会参加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	9.6
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合		20.4	16.8
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合		20.8	16.8
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合		5.7	4.9
介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合		7.1	7.0
収入のある仕事をしている高齢者の割合		20.8	23.5
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合		47.2	40.9
地域づくりへの企画・運営としての参加意向のある高齢者の割合		22.7	21.0
外出手段等	徒歩	42.3	37.6
	自動車(自分で運転)	72.3	72.6
	自動車(人に乗せてもらう)	26.0	26.6
	路線バス・あおぞらバス	8.1	5.9
	免許を返納した・持っていない方の割合	21.4	19.2
	最寄りのバス停まで歩ける方	87.1	85.7
困る外出で	通院	40.8	40.8
	買物	40.2	39.8
	家族や友人との交流	12.1	14.3
困る買物で	徒歩圏内にお店がない	11.0	8.8
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.2	10.2
	購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	7.0
利用している買物支援	宅配サービス	15.1	12.1
	インターネットショッピング	8.7	7.4
	移動販売	1.8	2.3
	弁当配達サービス	1.4	0.8

(8)美乃浜学園区

旧阿字ヶ浦中学校区、旧平磯中学校区からなる区域で、ひたちなか海浜鉄道湊線が南北に延び、市街化調整区域は甘しょ栽培を中心とした農業的土地利用が大半を占めています。

また、区域西部は工業団地が造成され、企業の立地が進むとともに、隣接地では阿字ヶ浦土地区画整理事業の施行により住宅化が進んでいます。



【圏域の傾向】

- 前期高齢者が47.6%、後期高齢者が52.4%と、後期高齢者の割合が上回っています。
- 家族構成では、ひとり暮らし、息子・娘との2世帯の割合が高くなっています。
- 自身の健康状態では、とてもよい、まあよいの割合の合計値は、80.3%と市全体より低くなっています。
- 現在の幸福感では、7点～10点の割合の合計値は62.2%と市全体より低くなっています。
- 経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの割合の合計値が30.8%と市全体より高くなっています。
- リスク判定では、運動器、転倒、閉じこもり、認知症、うつ、IADLで市の平均より高い該当率を示しています。
- 社会参加では、すべての項目で市全体より低くなっています。
- 外出する手段では、自動車(人に乗せてもらう)の割合が高くなっています。
- 免許を返納した(持っていない)割合は、25.1%で市全体より高くなっています。
- 最寄りのバス停まで歩ける割合は、83.2%で市全体より低くなっています。
- 外出において困っていることは、通院、買物、家族や友人との交流の割合が高く、他の地域に比べて困っていると回答した割合が高くなっています。
- 買物で困っていることは、徒歩圏内にお店がない、家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けないの割合が高くなっています。
- 利用している買物支援サービスは、移動販売、弁当配達サービスの割合が高くなっています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による分析結果

(単位:%)

		市全体	美乃浜 学区区
年 齢	前期高齢者の割合	47.1	47.6
	後期高齢者の割合	51.4	52.4
家 族 構 成	1人暮らしの割合	16.6	19.5
	夫婦2人暮らしの割合	49.4	41.7
	息子・娘との2世帯の割合	16.5	19.5
健 康 観 等	主観的健康観の高い高齢者の割合	82.1	80.3
	主観的幸福感の高い(7点~10点)高齢者の割合	64.6	62.2
	経済状況で苦しいと回答した人の割合	25.9	30.8
リ ス ク 判 定	運動器機能リスク高齢者の割合	11.4	16.0
	転倒リスク高齢者の割合	27.6	30.6
	低栄養リスク高齢者の割合	3.2	2.9
	口腔機能リスク高齢者の割合	16.5	16.0
	閉じこもりリスク高齢者の割合	14.5	17.7
	認知症リスク高齢者の割合	40.8	43.5
	うつリスク高齢者の割合	31.9	32.6
	IADLが低い高齢者の割合	10.7	15.0
社 会 参 加	ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	9.6	8.8
	スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	20.4	14.4
	趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	20.8	12.5
	学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	5.7	3.1
	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合	7.1	7.0
	収入のある仕事をしている高齢者の割合	20.8	19.5
	地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	47.2	43.2
	地域づくりへの企画・運営としての参加意向のある高齢者の割合	22.7	19.1
外 出 手 段 等	徒歩	42.3	32.6
	自動車(自分で運転)	72.3	68.2
	自動車(人に乗せてもらう)	26.0	28.1
	路線バス・あおぞらバス	8.1	7.8
	免許を返納した・持っていない方の割合	21.4	25.1
	最寄りのバス停まで歩ける方	87.1	83.2
困 る こ と で	通院	40.8	45.9
	買物	40.2	46.7
	家族や友人との交流	12.1	13.9
困 る こ と で	徒歩圏内にお店がない	11.0	19.1
	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	10.2	15.0
	購入した商品を持って帰るのが難しい	5.8	4.7
利 用 し て い る 支 援	宅配サービス	15.1	11.7
	インターネットショッピング	8.7	6.4
	移動販売	1.8	2.3
	弁当配達サービス	1.4	2.3

3 生活機能評価等に関する分析

日常生活圏域別に生活機能評価等に関する分析をみると、最も高い該当率を示しているのが、運動器の機能低下は美乃浜学園区(16.0%)、転倒リスクは美乃浜学園区(30.6%)、低栄養の傾向は大島中学校区(4.2%)、口腔機能の低下は勝田第一中学校区(17.5%)、閉じこもり傾向は美乃浜学園区(17.7%)、認知機能の低下は勝田第一中学校区(44.1%)、うつ傾向は田彦中学校区(35.3%)、IADLの低下は美乃浜学園区(15.0%)であり、美乃浜学園区が各リスクにおいて高い該当率を示しています。

一方、各リスクで最も低い該当率を示しているのが、運動器の機能低下は佐野中学校区(10.0%)、転倒リスクは佐野中学校区(26.1%)、低栄養の傾向は勝田第三中学校区(2.4%)、口腔機能の低下は田彦中学校区(15.4%)、閉じこもり傾向は大島中学校区(11.6%)、認知機能の低下は勝田第三中学校区(37.5%)、うつ傾向是那珂湊中学校区(29.2%)、IADLの低下は田彦中学校区(8.3%)であり、勝田第三中学校区、佐野中学校区、田彦中学校区が各リスクにおいて低い該当率を示しています。

●日常生活圏域別のリスク該当者数・該当率

区分		単位	回答者数	運動器	転倒	低栄養	口腔	閉じこもり	認知機能	うつ	IADL
全体	該当者	人	4,280	489	1,180	138	707	619	1,747	1,365	461
	該当率	%		11.4	27.6	3.2	16.5	14.5	40.8	31.9	10.7
圏域	勝田第一中学校区	該当者	519	54	157	16	91	69	229	170	52
		該当率		%	10.4	30.3	3.1	17.5	13.3	44.1	32.8
	勝田第二中学校区	該当者	554	62	148	18	95	79	220	165	60
		該当率		%	11.2	26.7	3.2	17.1	14.3	39.7	29.8
	勝田第三中学校区	該当者	542	57	143	13	90	81	203	181	53
		該当率		%	10.5	26.4	2.4	16.6	14.9	37.5	33.4
	佐野中学校区	該当者	548	55	143	19	90	76	220	167	64
		該当率		%	10.0	26.1	3.5	16.4	13.9	40.1	30.5
	大島中学校区	該当者	550	58	145	23	88	64	226	171	49
		該当率		%	10.5	26.4	4.2	16.0	11.6	41.1	31.1
	田彦中学校区	該当者	507	56	145	17	78	67	202	179	42
		該当率		%	11.0	28.6	3.4	15.4	13.2	39.8	35.3
	那珂湊中学校区	該当者	511	62	134	16	86	84	201	149	61
		該当率		%	12.1	26.2	3.1	16.8	16.4	39.3	29.2
	美乃浜学園区	該当者	487	78	149	14	78	86	212	159	73
		該当率		%	16.0	30.6	2.9	16.0	17.7	43.5	32.6

第6章 クロス集計による分析

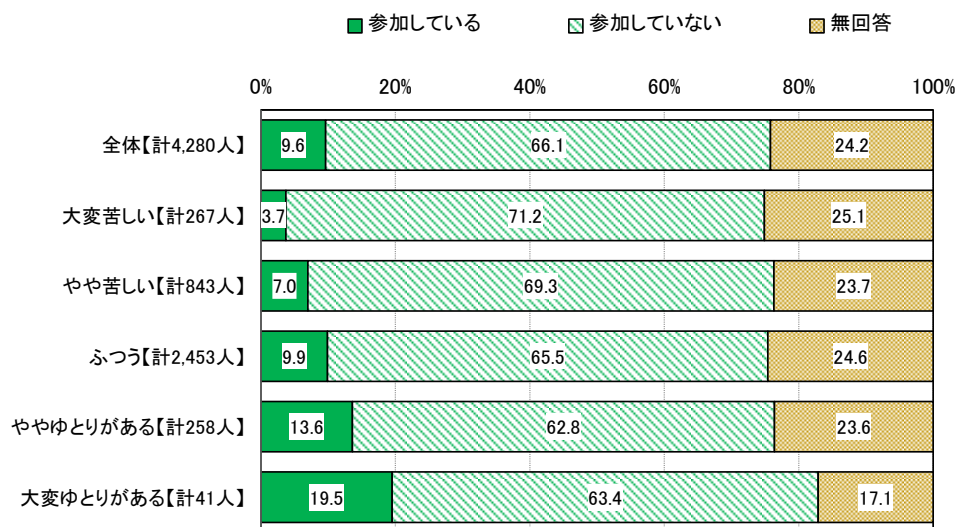
1 総合事業についての分析

(1)現在の経済的状況別の分析

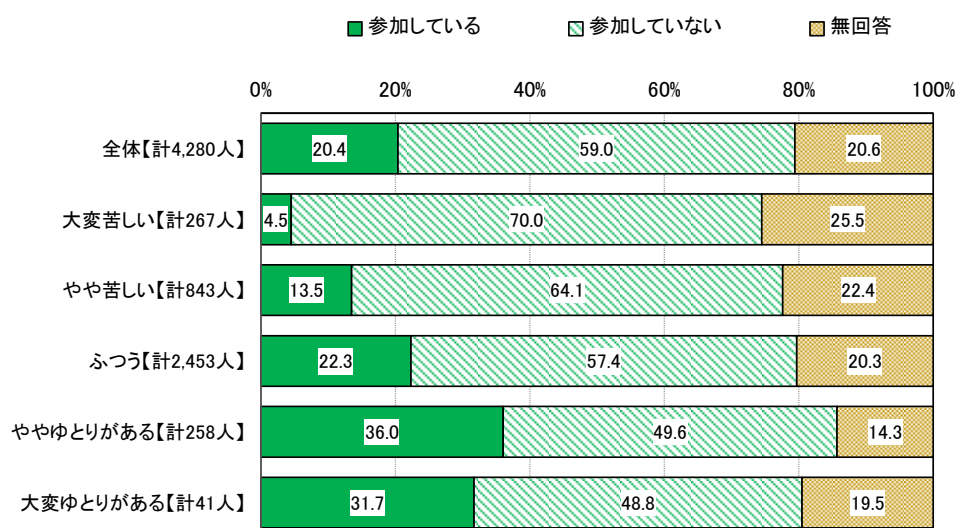
ア. 地域活動への参加状況

現在の経済的状況別に地域活動への参加状況をみると、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブについては、経済的状況による差が少ない傾向があり、その他の6項目については、経済的に苦しい人に比べて、ゆとりがある人のほうが参加している割合が高い傾向があります。

【①ボランティアのグループ】

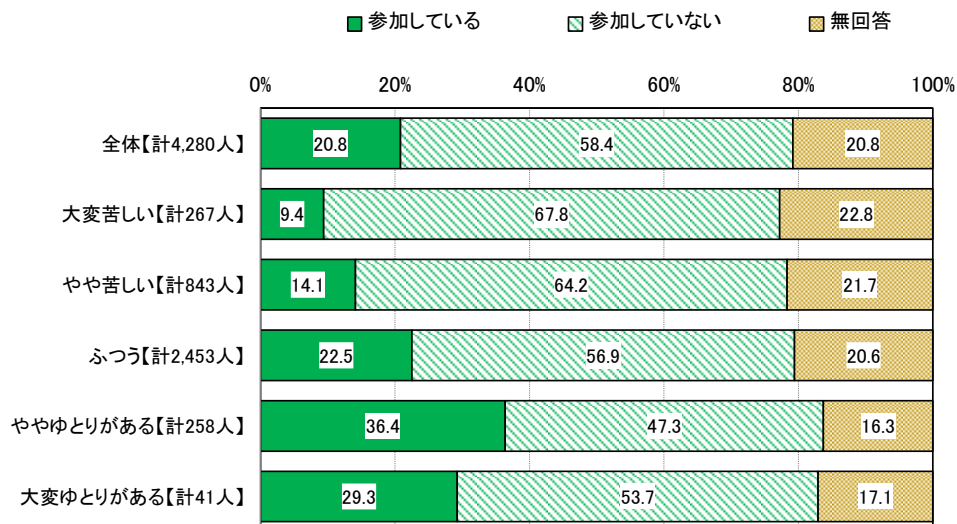


【②スポーツ関係のグループやクラブ】

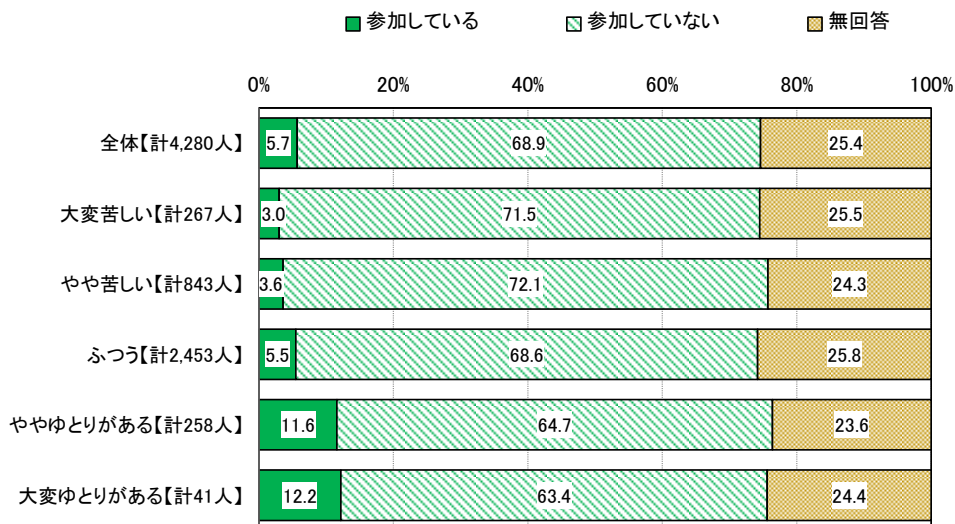


第6章 クロス集計による分析

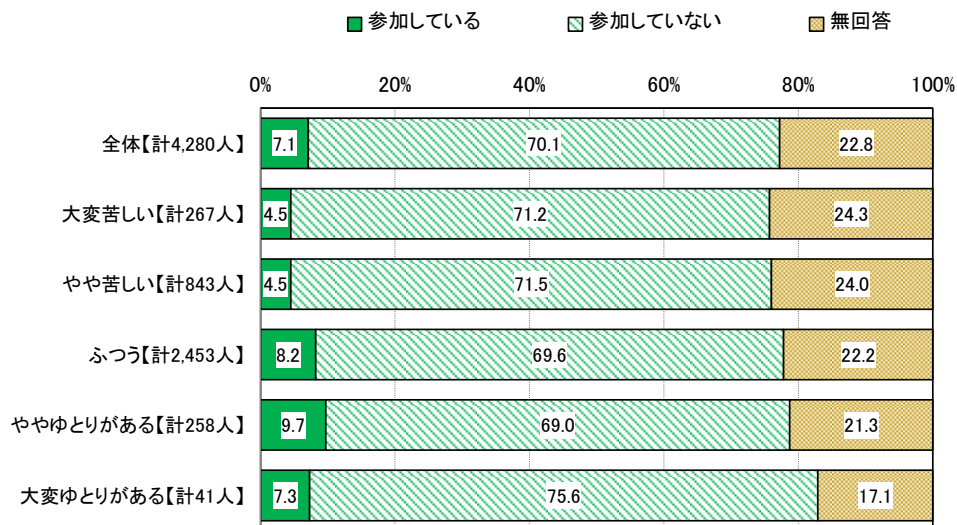
【③趣味関係のグループ】



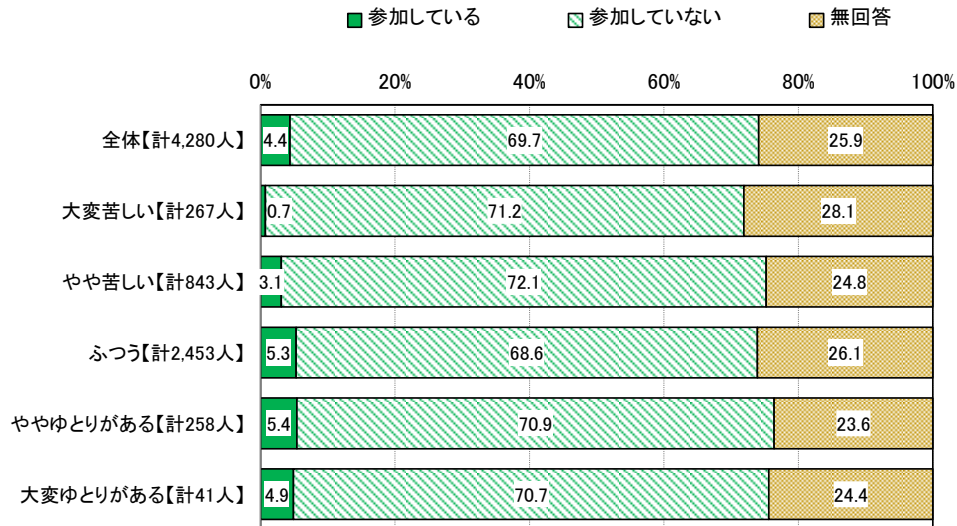
【④学習・教養サークル】



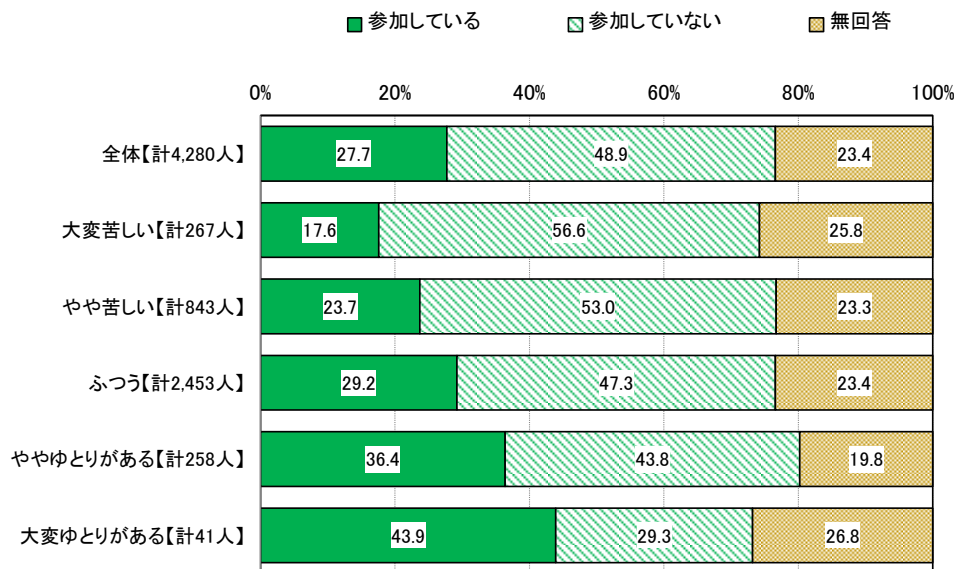
【⑤市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場】



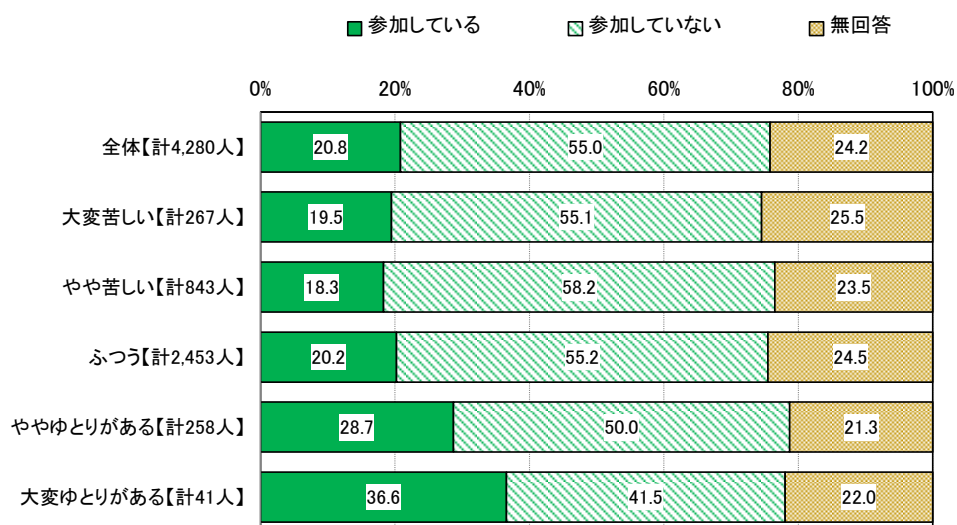
【⑥老人クラブ】



【⑦町内会・自治会】



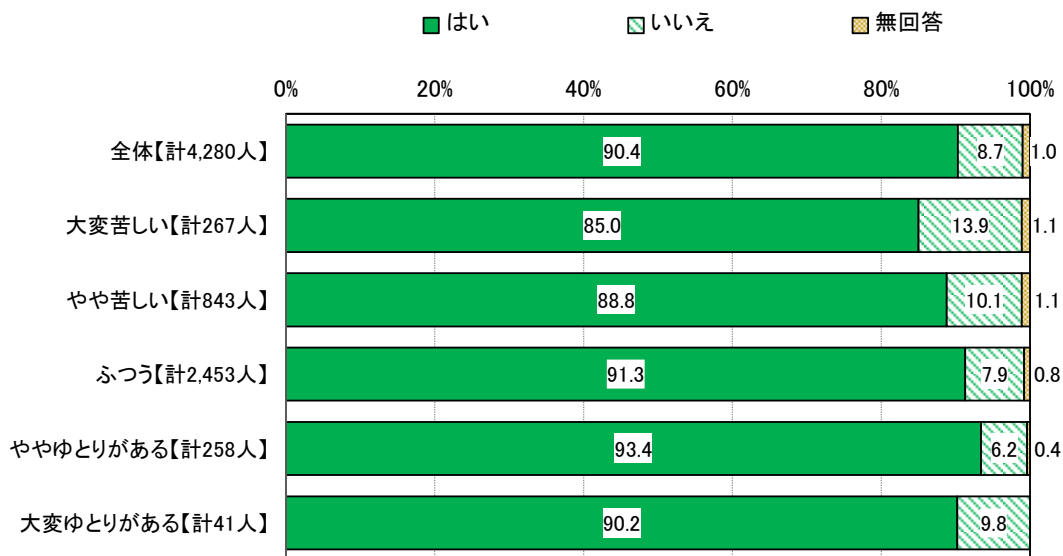
【⑧収入のある仕事】



第6章 クロス集計による分析

イ. 健康についての記事や番組への関心の有無

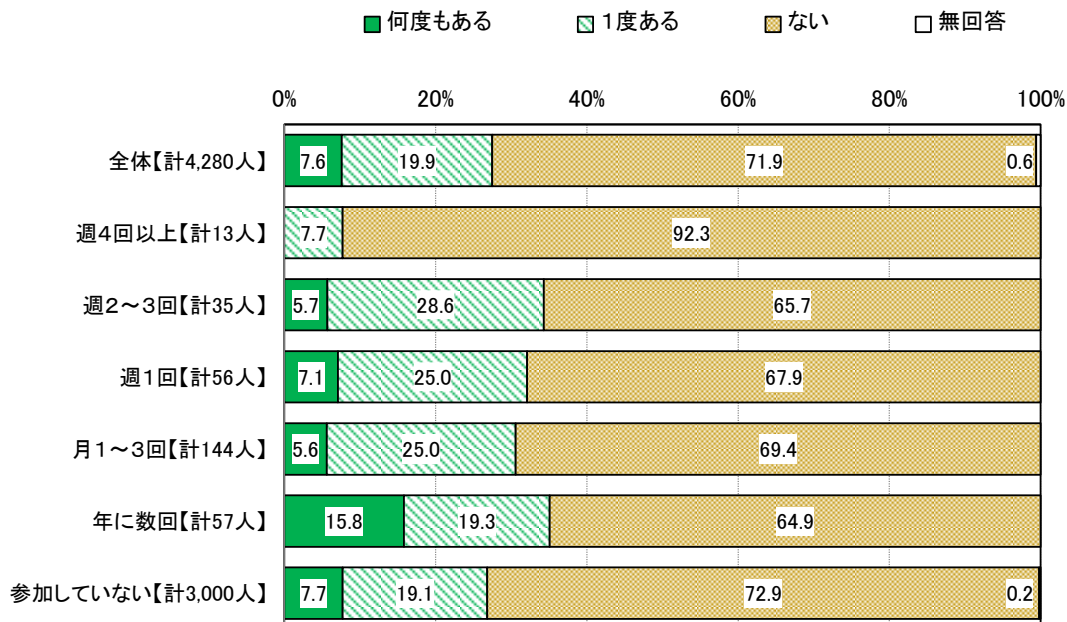
現在の経済的状況別に健康についての記事や番組への関心の有無をみると、経済的に苦しい人に比べて、ゆとりがある人のほうが関心度が高い傾向があります。



(2)市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場への参加状況別の分析

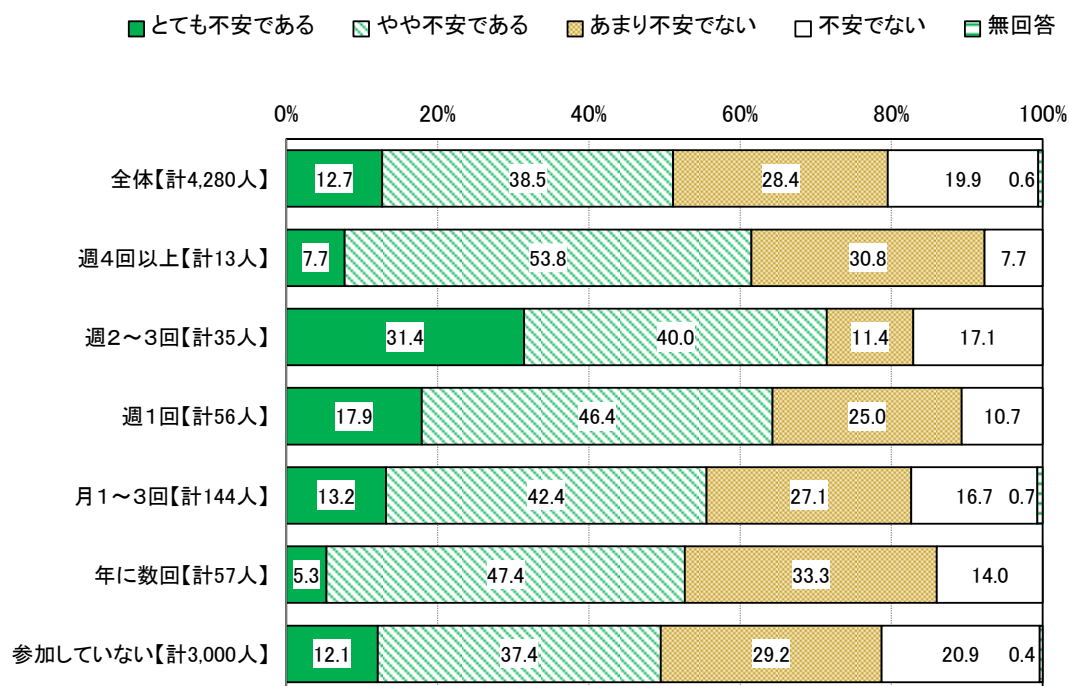
ア. 過去1年間の転んだ経験

介護予防のための通いの場への参加状況別に過去1年間の転んだ経験をみると、参加頻度が高い人(週4回以上)に比べて、低い人のほうが転んだ経験が「ある」という割合が高くなっています。



イ. 転倒に対する不安の大きさ

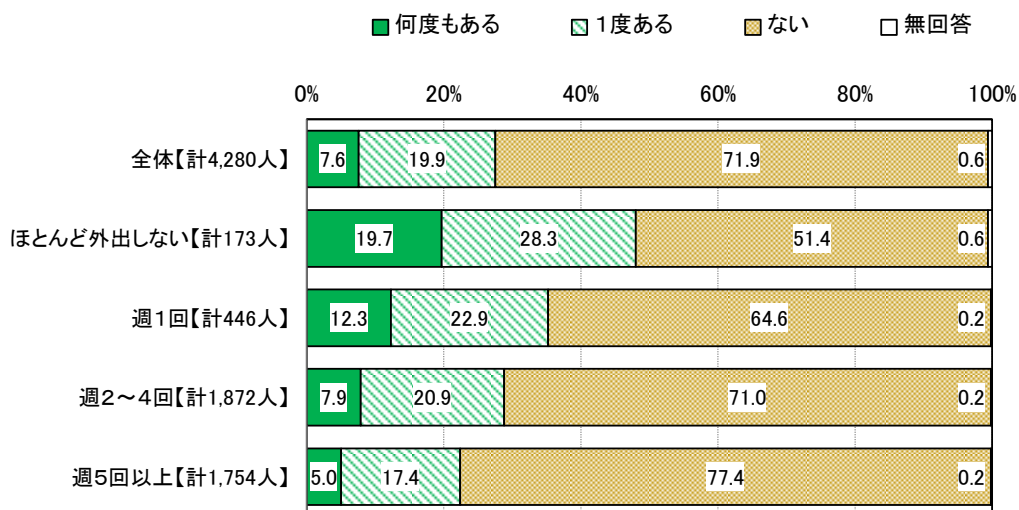
介護予防のための通いの場への参加状況別に転倒に対する不安の大きさをみると、参加頻度が「週2～3回」参加している人が不安を抱えている割合が最も高くなっています。



(3) 外出頻度別の分析

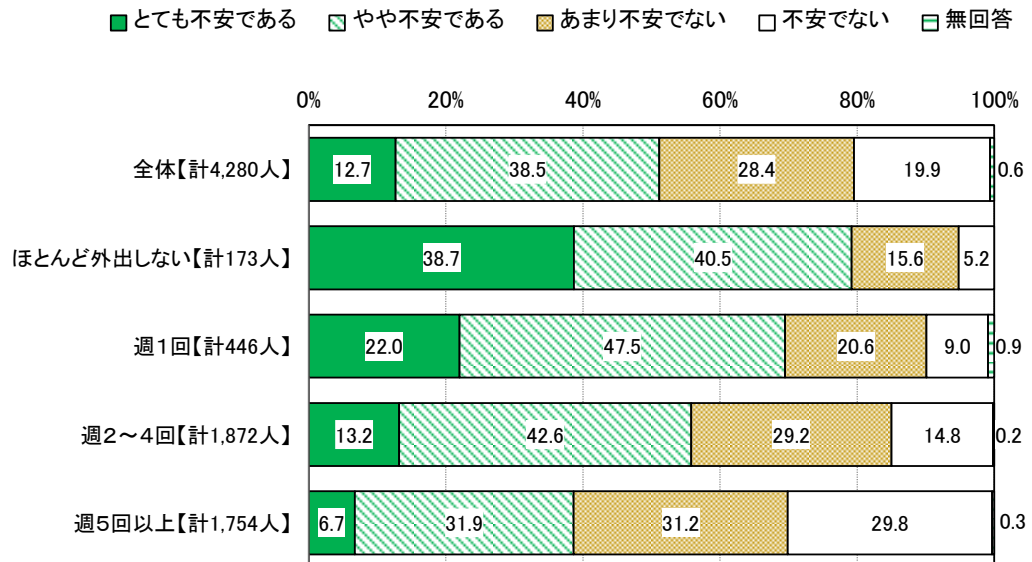
ア. 過去1年間の転んだ経験

外出頻度別に過去1年間の転んだ経験をみると、外出頻度が低い人ほど転んだ経験がある割合が高くなっています。



イ. 転倒に対する不安の大きさ

外出頻度別に転倒に対する不安の大きさをみると、外出頻度が低い人ほど不安を感じている割合が高くなっています。



ウ. 外出する際の移動手段

外出頻度別に外出する際の移動手段をみると、外出頻度が低い人ほど自動車以外で外出するうえで人の支援を受けている割合が高く、外出頻度が高い人ほど徒歩や、自分で運転している割合が高くなっています。

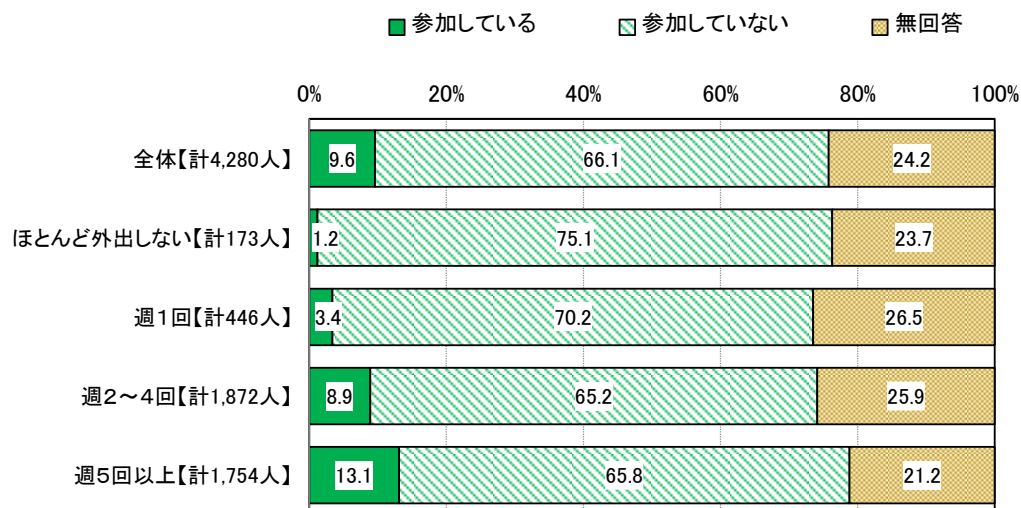
	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス・あおぞらバス
全体【計4,280人】	42.3	15.1	1.6	72.3	26.0	10.0	8.1
ほとんど外出しない【計173人】	26.0	10.4	0.6	19.7	61.8	7.5	6.9
週1回【計446人】	37.7	10.8	0.9	45.5	42.4	7.8	13.7
週2～4回【計1,872人】	41.6	16.0	1.8	71.4	28.3	9.7	9.1
週5回以上【計1,754人】	46.6	15.7	1.8	86.4	15.7	11.3	5.9

	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルパーカー	タクシー	その他	無回答
全体【計4,280人】	0.5	0.1	0.0	1.0	6.2	0.4	0.7
ほとんど外出しない【計173人】	1.2	1.2	0.0	2.9	17.9	2.9	0.6
週1回【計446人】	1.3	0.0	0.0	2.7	12.3	0.4	0.2
週2～4回【計1,872人】	0.6	0.1	0.1	1.0	6.6	0.3	0.0
週5回以上【計1,754人】	0.1	0.1	0.0	0.3	3.2	0.3	0.7

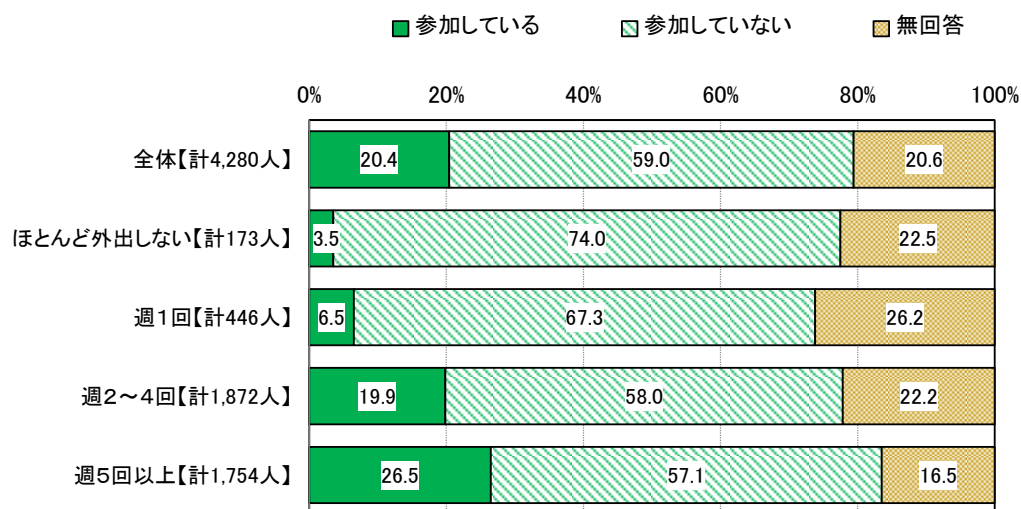
工. 地域活動への参加状況

外出頻度別に地域活動への参加状況を見ると、外出頻度が低い人ほど地域活動へ参加している割合が低く、特に②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事については他の項目と比べてその差が大きくなっています。

【①ボランティアのグループ】

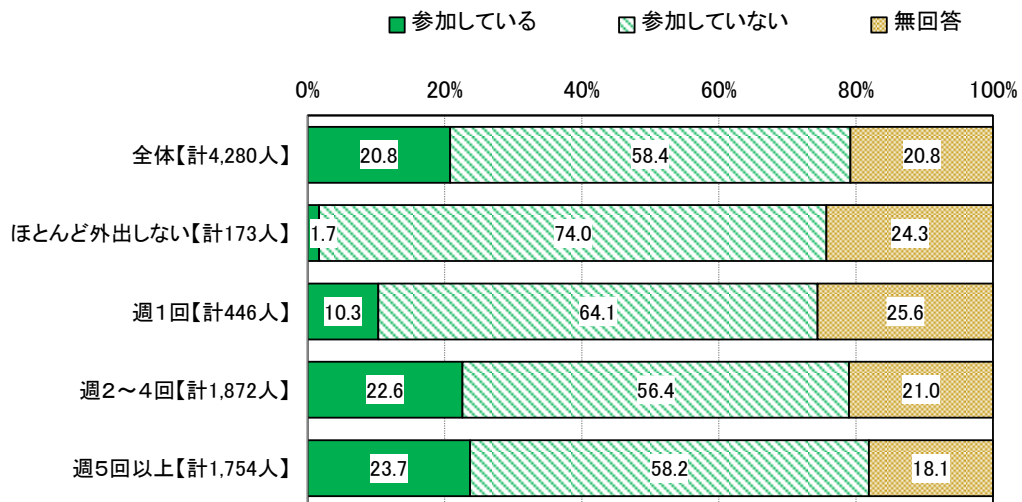


【②スポーツ関係のグループやクラブ】

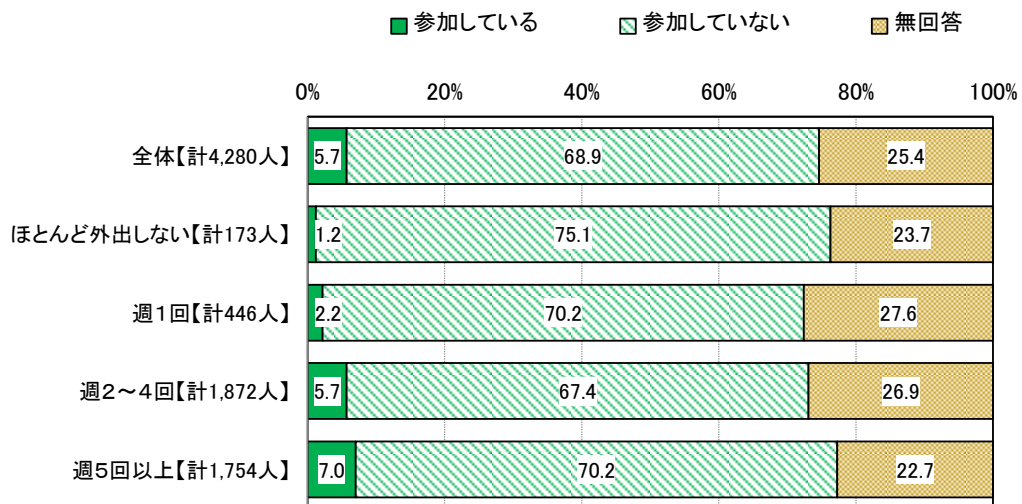


第6章 クロス集計による分析

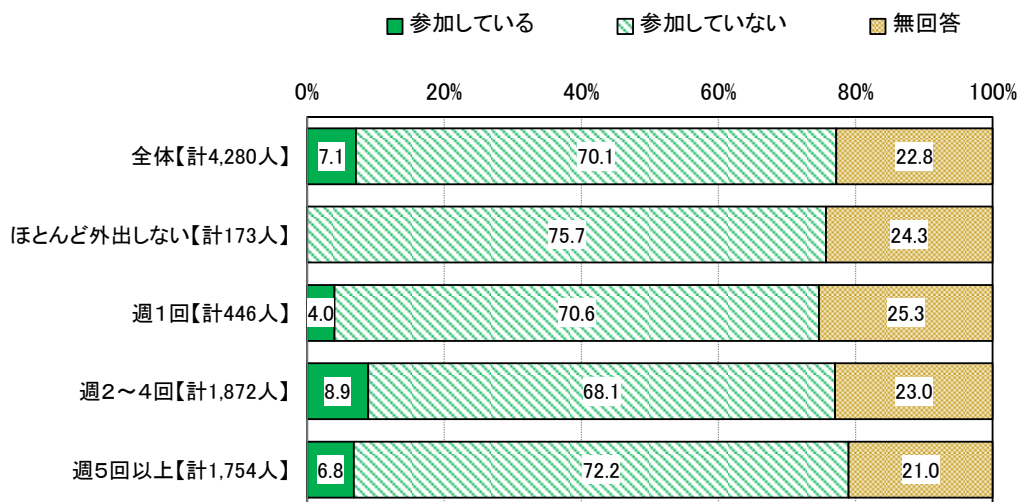
【③趣味関係のグループ】



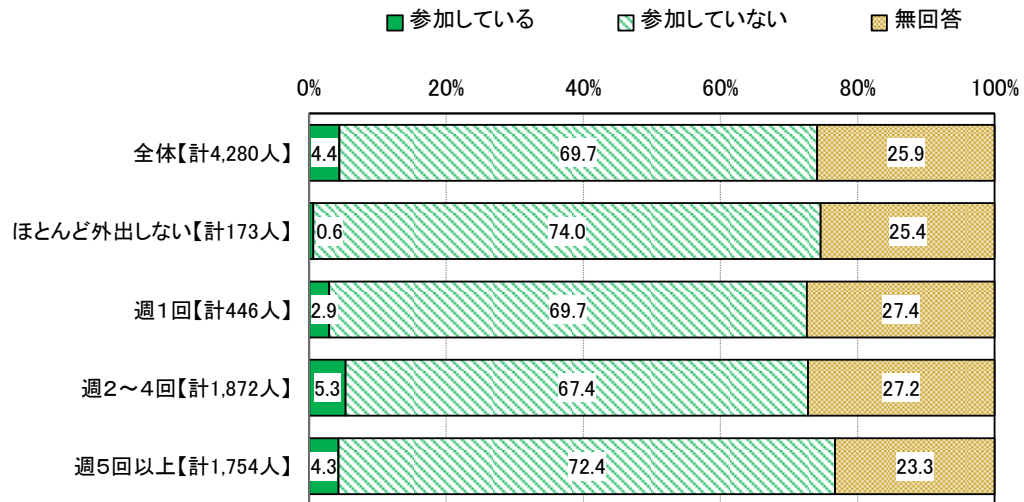
【④学習・教養サークル】



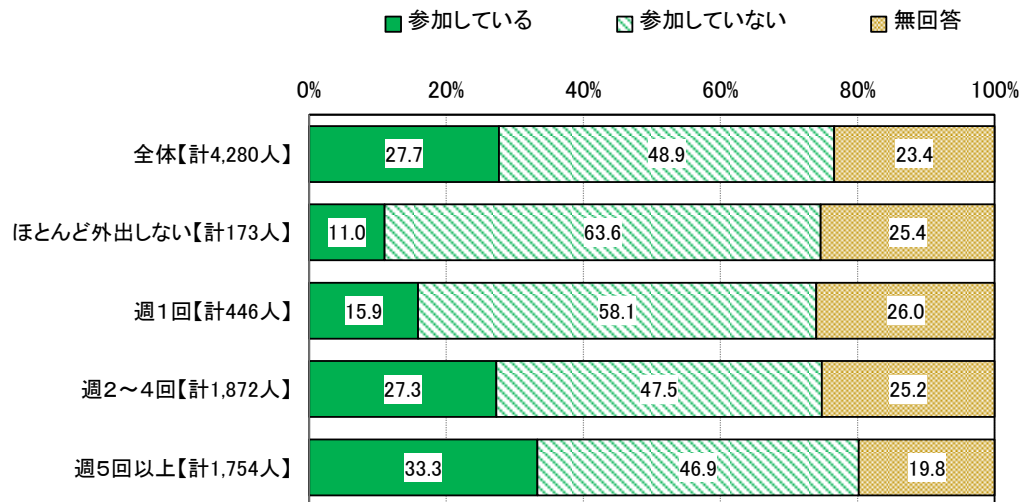
【⑤市で開催している体操教室などの介護予防のための通いの場】



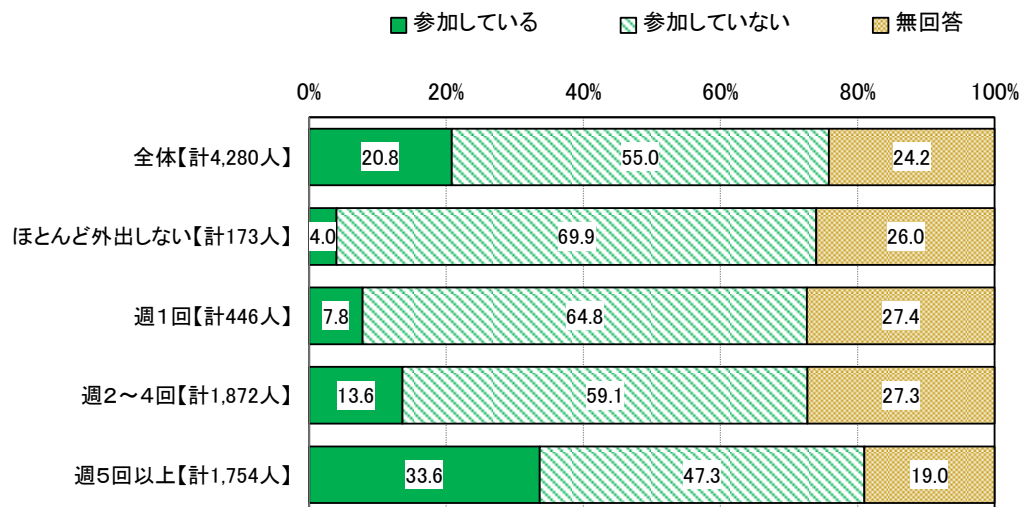
【⑥老人クラブ】



【⑦町内会・自治会】



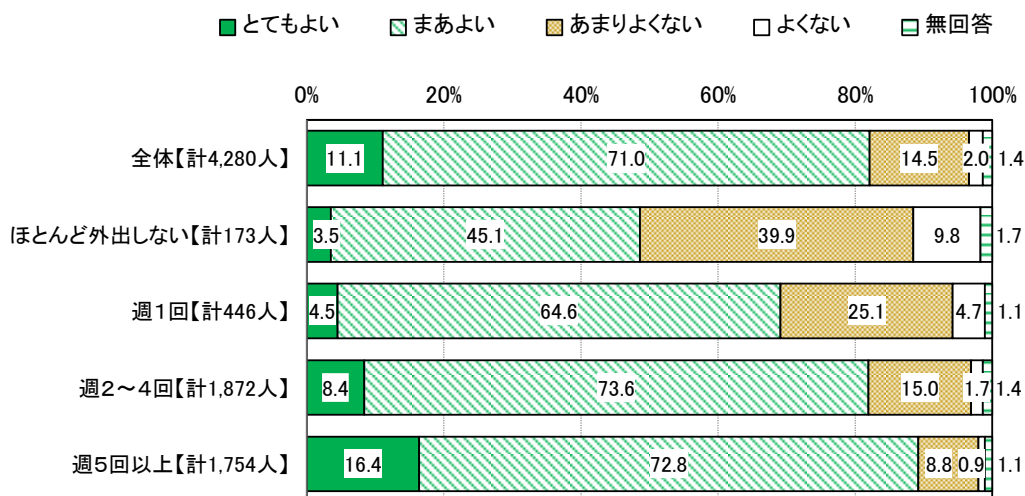
【⑧収入のある仕事】



第6章 クロス集計による分析

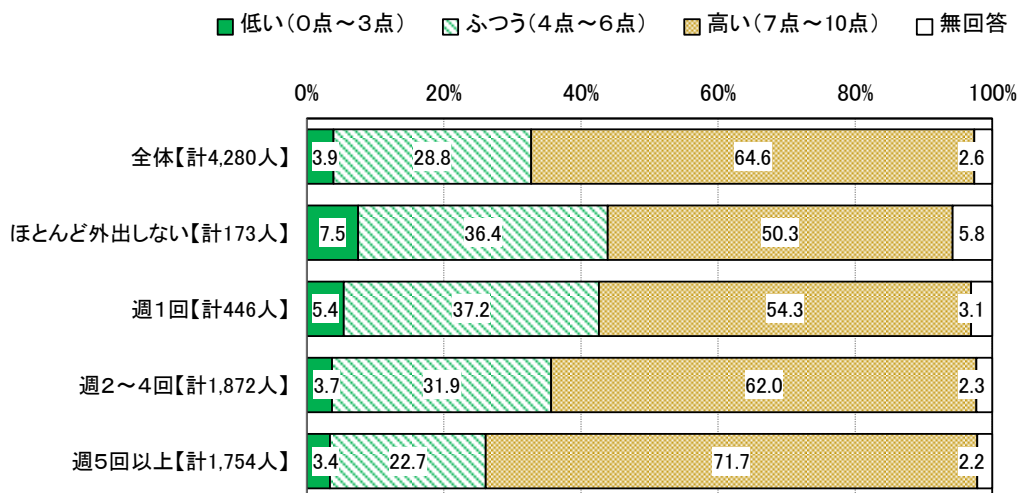
オ. 現在の健康状況

外出頻度別に現在の健康状態をみると、外出頻度が低い人ほど健康状態についてよくないと感じている割合が高くなっています。



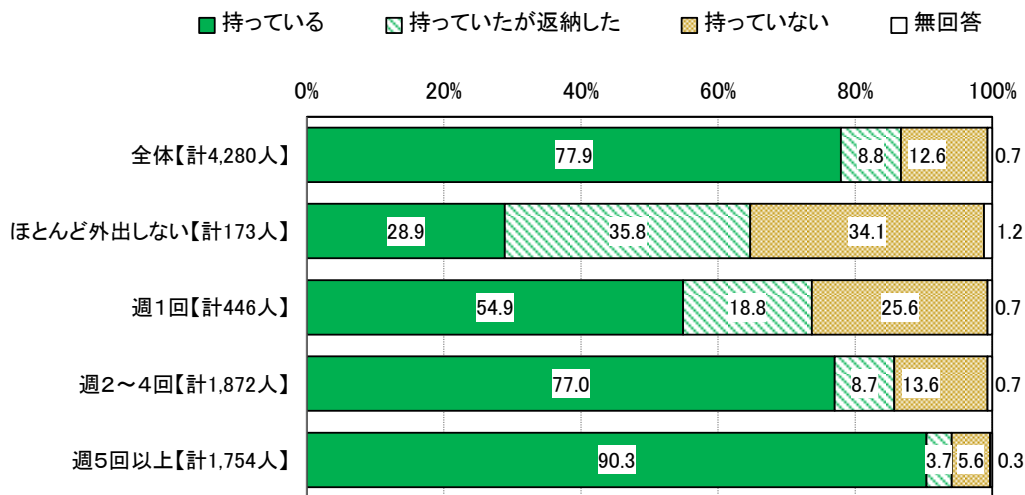
カ. 現在の幸福感

外出頻度別に現在の幸福感をみると、外出頻度が高い人ほど現在の幸福感が高い傾向があります。



キ. 自動車運転免許(バイク)の所有状況

外出頻度別に自動車運転免許の所有状況をみると、外出頻度が低い人ほど返納した人を含めた持っていない人の割合が高くなっています。



(4)教室で教わった運動を自宅で実施している回数別の分析

ア. 教室に参加したことで感じている効果

教室で教わった運動を自宅で実施している回数別に教室に参加したことで感じている効果をみると、自宅で実施している回数が多いほど、腰痛などの痛みの改善や歩行に関する改善を感じている割合が高くなっています。

また、自宅で実施している回数が多いほど、「人との交流が増えた」、「外出が楽しみになった」の割合が高くなっています。

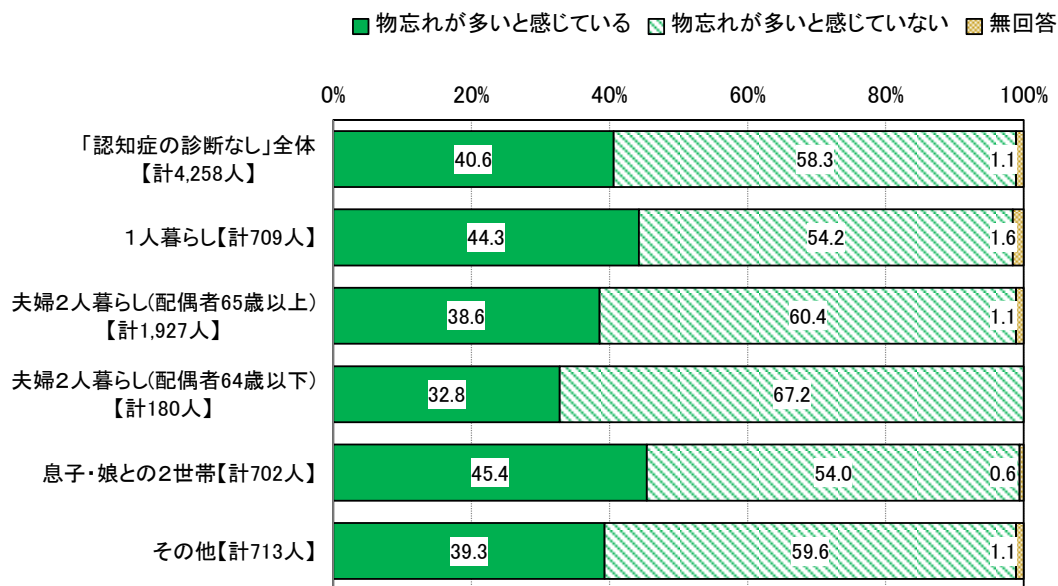
	腰痛やひざ痛の改善	つまずかなくなった	歩きやすくなった	人との交流が増えた	外出が楽しみになった	その他	感じたことはない	無回答
全体【計305人】	17.7	10.2	17.4	66.9	21.3	4.3	8.2	4.9
週3回以上【計74人】	29.7	8.1	21.6	75.7	29.7	4.1	5.4	2.7
週1回【計67人】	20.9	17.9	22.4	67.2	34.3	0.0	3.0	3.0
月1、2回【計62人】	11.3	8.1	14.5	69.4	11.3	8.1	8.1	1.6
していない【計81人】	8.6	3.7	13.6	63.0	12.3	4.9	16.0	3.7

2 認知症についての分析

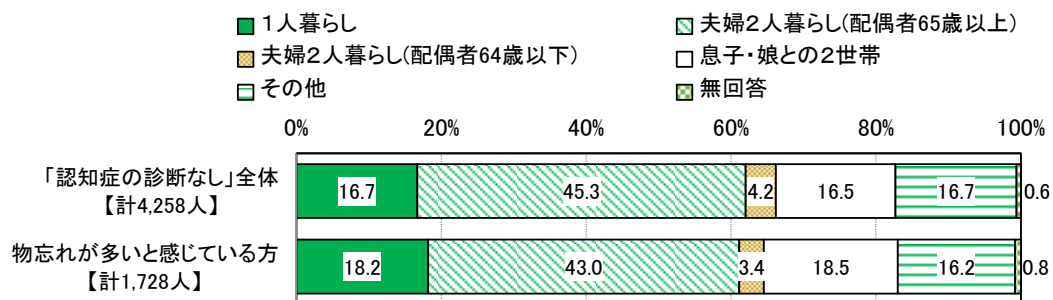
(1) 家族構成別の分析

ア. 認知症とは診断されていない方のうち、物忘れが多いと感じている方

認知症とは診断されていない人のうち、物忘れが多いと感じている人の割合を家族構成別にみると、「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」が他の家族構成と比べて割合が高くなっています。

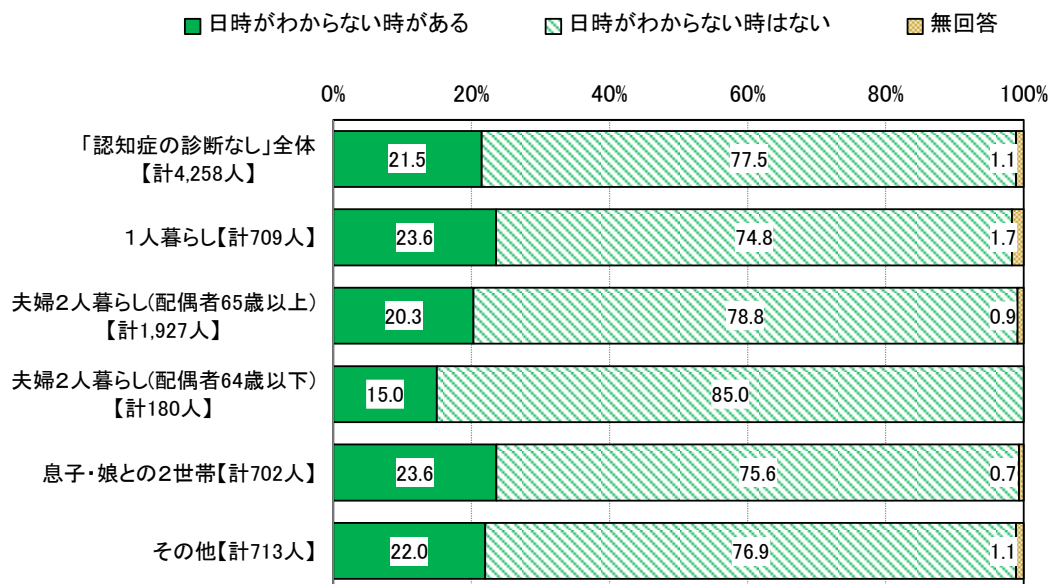


ア-①. 認知症とは診断されていない方のうち、物忘れが多いと感じている方の家族構成

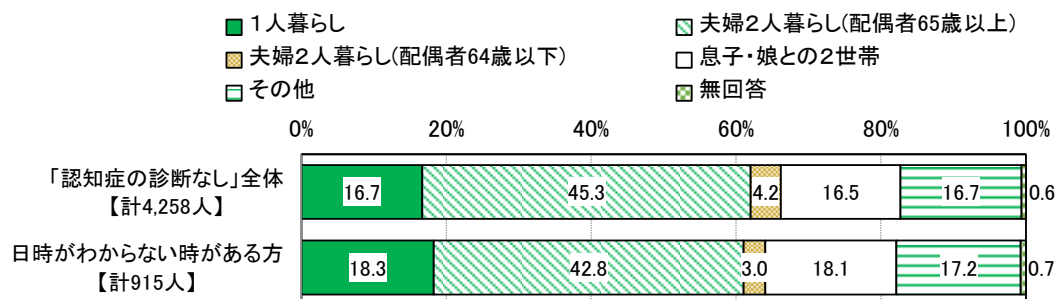


イ. 認知症とは診断されていない方のうち、日時がわからない時がある方

認知症とは診断されていない人のうち、日時がわからない時がある人の割合を家族構成別にみると、「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」が他の家族構成と比べて割合が高くなっています。



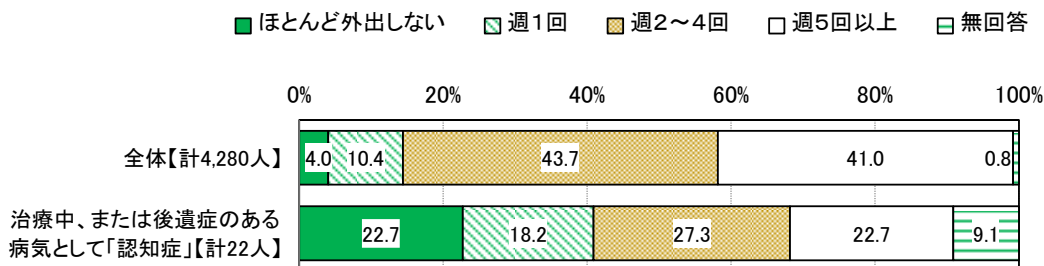
イ-①. 認知症とは診断されていない方のうち、日時がわからない時がある方の家族構成



(2) 現在治療中、または後遺症のある病気として「認知症」と回答があった方の分析

ア. 外出する頻度

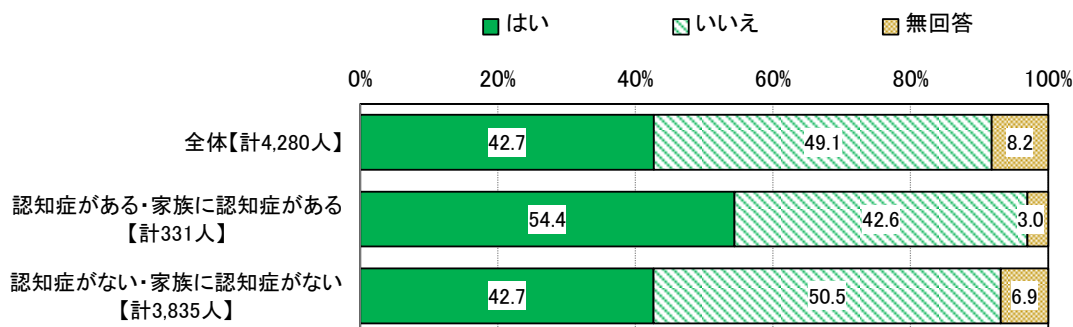
現在治療中、または後遺症のある病気として「認知症」と回答があった人の外出する頻度をみると、「ほとんど外出しない」の割合は全体の結果に比べて高く、「週5回以上」の割合は全体の結果に比べて低くなっています。



(3) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる方・いない方別の分析

ア. 家族の認知症の症状について友人や近所の人に相談したり協力を求めたりすることができる方

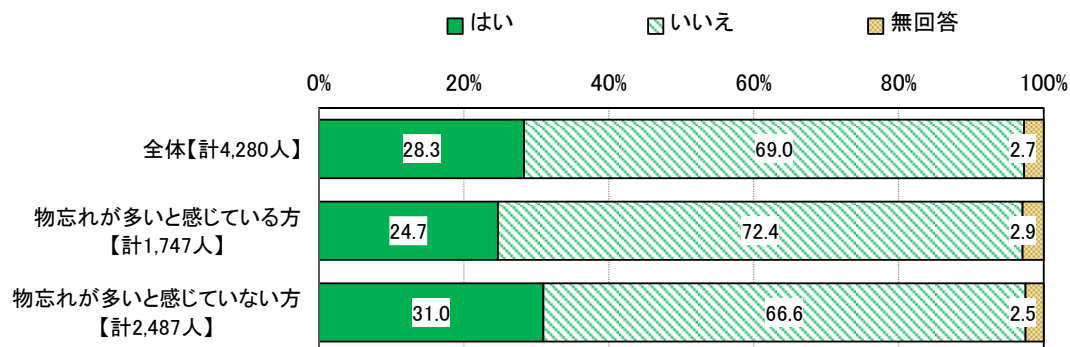
認知症の症状がある・家族に認知症の症状がある方がいるかと、家族の認知症の症状について友人や近所の人に相談したり、協力を求めたりすることができるかの関係性をみると、認知症の症状がある・家族に認知症の症状がある方がいる人については、相談したり、協力を求めたりすることができるかと回答した人の割合が全体の結果に比べて高くなっています。



(4)物忘れが多いと感じている方・いない方別の分析

ア. 認知症に関する相談窓口の認知度

物忘れが多いと感じている方・いない方別に認知症に関する相談窓口の認知度をみると、物忘れが多いと感じていない方ほど、「はい」の割合が高くなっています。

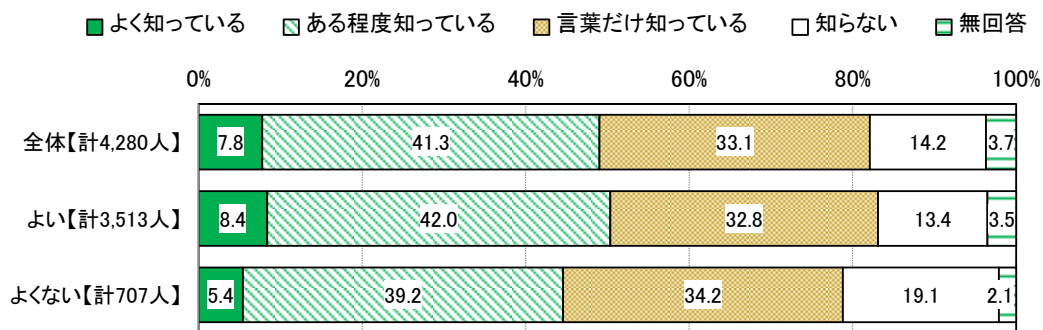


3 在宅医療・在宅介護についての分析

(1)現在の健康状態別の分析

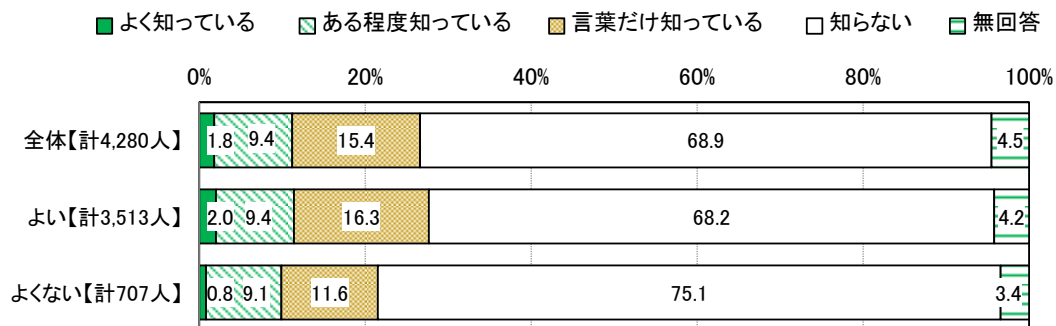
ア. 在宅医療・在宅介護の認知度

現在の健康状態別に在宅医療・在宅介護の認知度をみると、健康状態が「よい」人のほうが在宅医療・在宅介護の認知度が高くなっています。



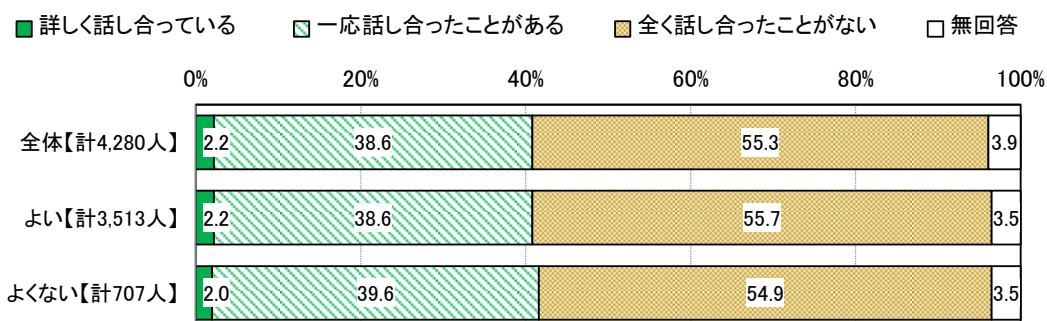
イ. 「人生会議」の認知度

現在の健康状態別に「人生会議」の認知度をみると、健康状態が「よい」人のほうが人生会議の認知度が高くなっています。



ウ. もしものときの受けたい医療や介護について、家族等で話し合いを行っているか

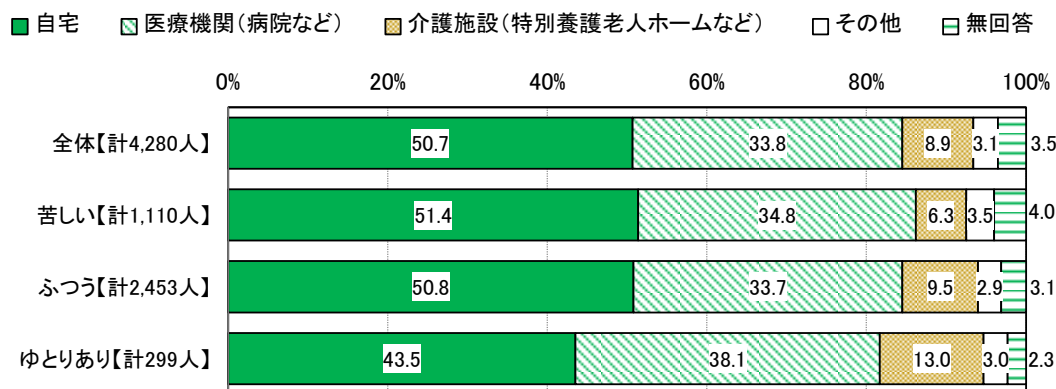
現在の健康状況別に、もしものときの受けたい医療や介護について、家族等で話し合いを行っているかをみると、健康状況による大きな差はみられませんでした。



(2)現在の経済的状況別の分析

ア. 最期を迎える場として希望する場所

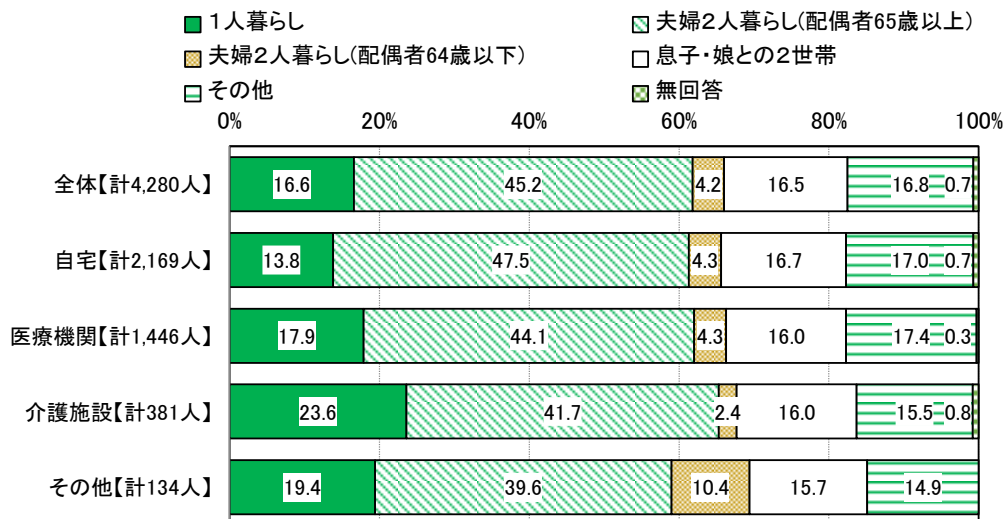
現在の経済的状況別に最期を迎える場として希望する場所をみると、経済的状況を「苦しい」と感じている人のほうが「自宅」を希望する割合が高く、「ゆとりあり」と感じている人のほうが「医療機関(病院など)」、「介護施設(特別養護老人ホームなど)」を希望する割合が高くなっています。



(3)最期を迎える場として希望する場所別の分析

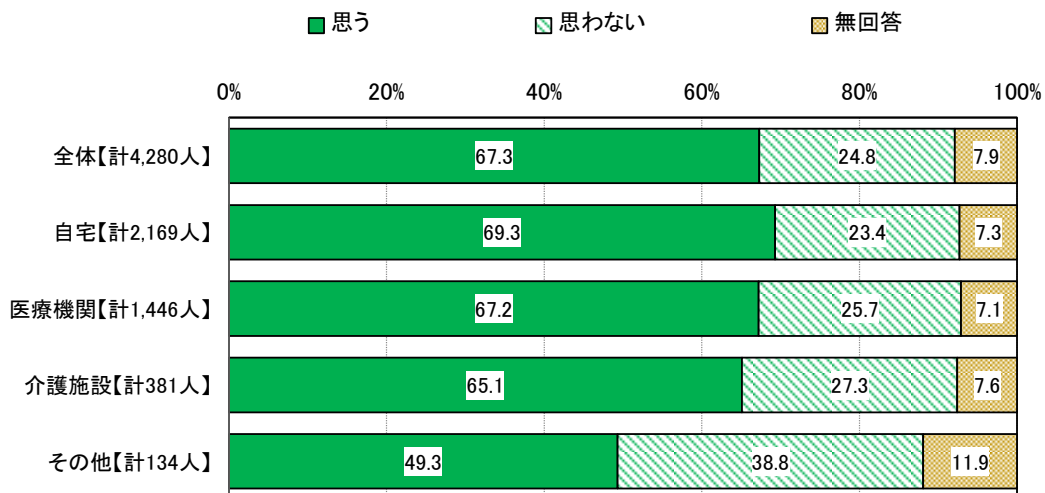
ア. 家族構成

最期を迎える場として希望する場所別に家族構成をみると、介護施設を希望する人に「1人暮らし」の割合が高くなっています。



イ. 高齢者の住みやすさ

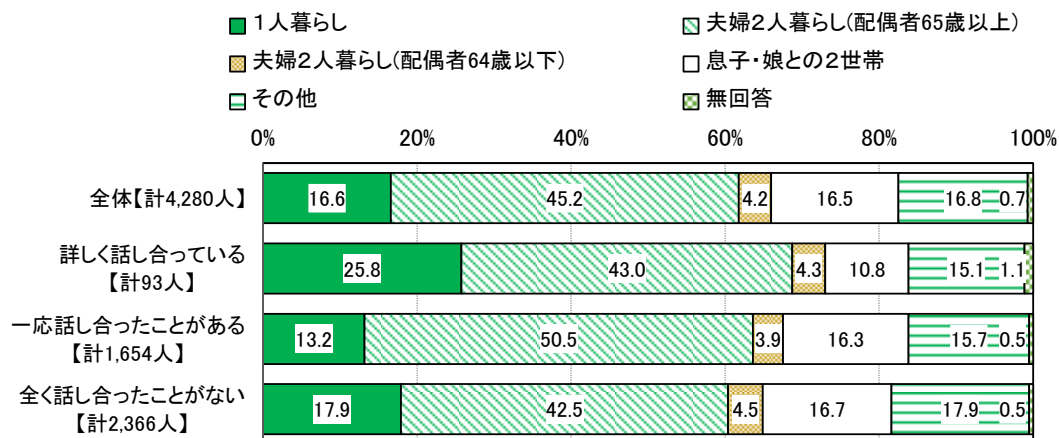
最期を迎える場として希望する場所別に高齢者にとってのひたちなか市の住みやすさをみると、自宅と回答する人ほど住みやすいと「思う」の割合が高くなっています。



(4)もしものときの受けたい医療や介護について、家族等で話し合いを行っている状態別の分析

ア. 家族構成

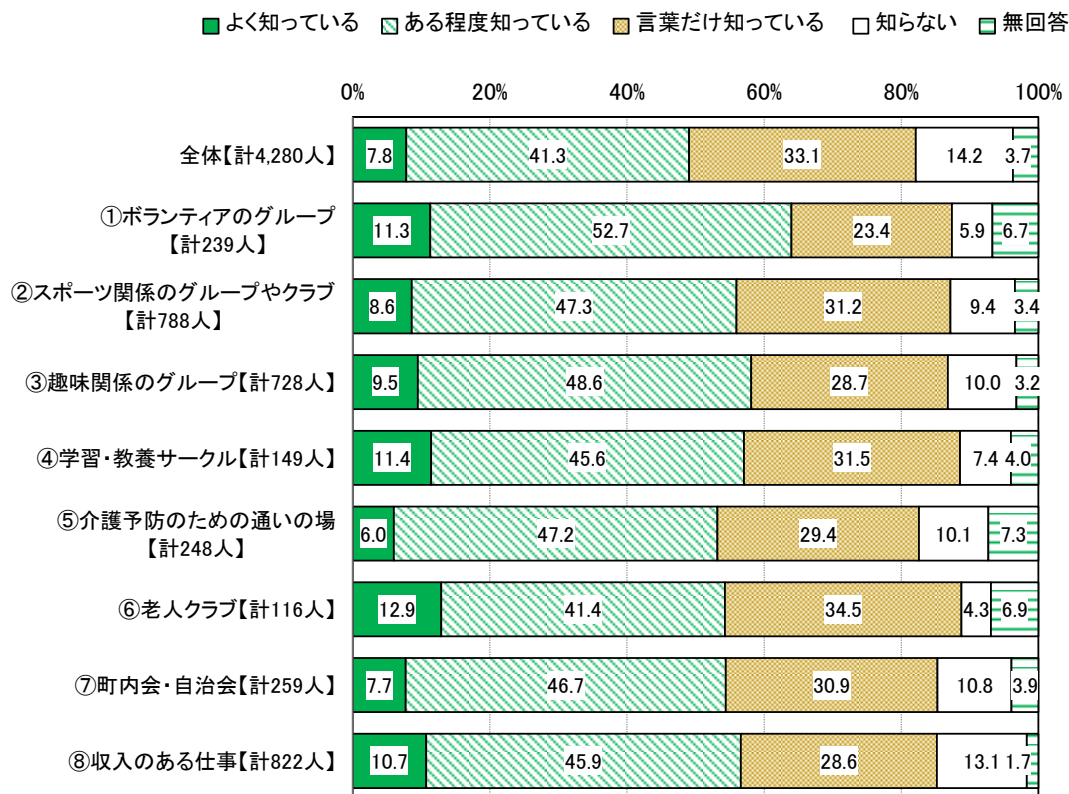
もしものときの受けたい医療や介護について、家族等で話し合いを行っている状態別に家族構成をみると、詳しく話し合っている人の割合は「1人暮らし」が高くなっています。



(5)月1～3回以上参加している地域活動別の分析

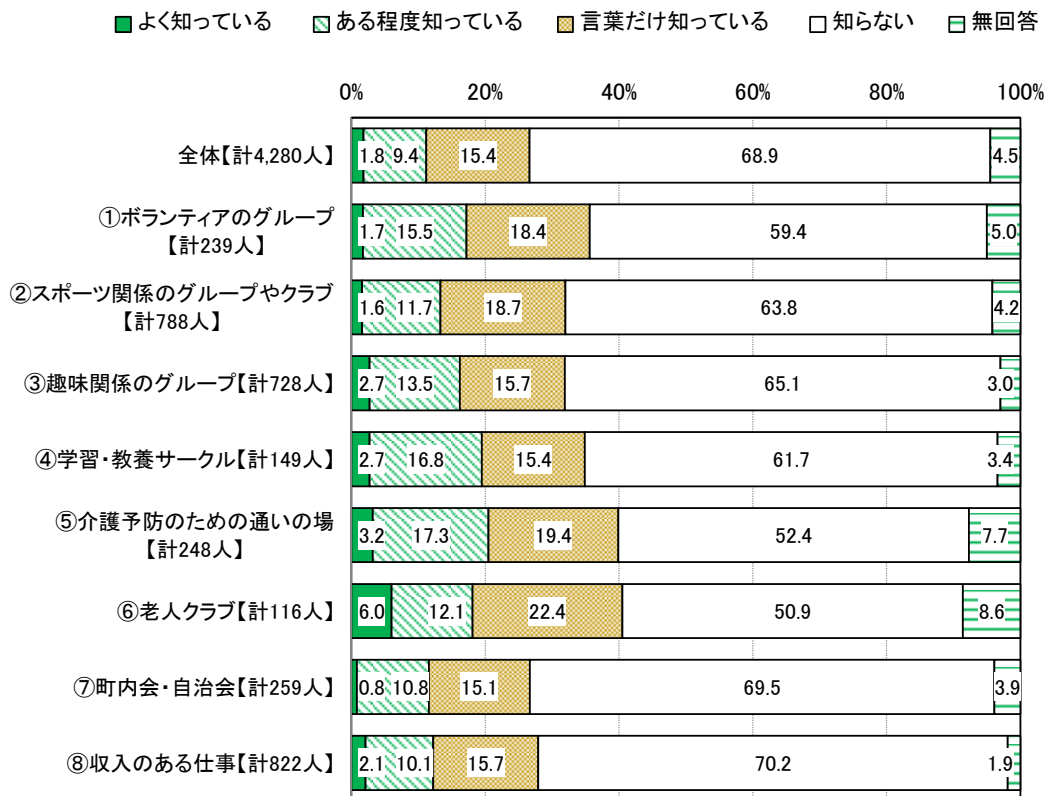
ア. 在宅介護・在宅医療の認知度

月1～3回以上参加している地域活動別に在宅介護・在宅医療の認知度をみると、①ボランティアのグループ、③趣味関係のグループ、④学習・教養サークルに参加している方の認知度が比較的高くなっています。特に、⑥老人クラブでは「よく知っている」の割合が高くなっています。



イ. 「人生会議」の認知度

月1～3回以上参加している地域活動別に「人生会議」の認知度をみると、①ボランティアのグループ、④学習・教養サークル、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブに参加している方の認知度が比較的高くなっています。

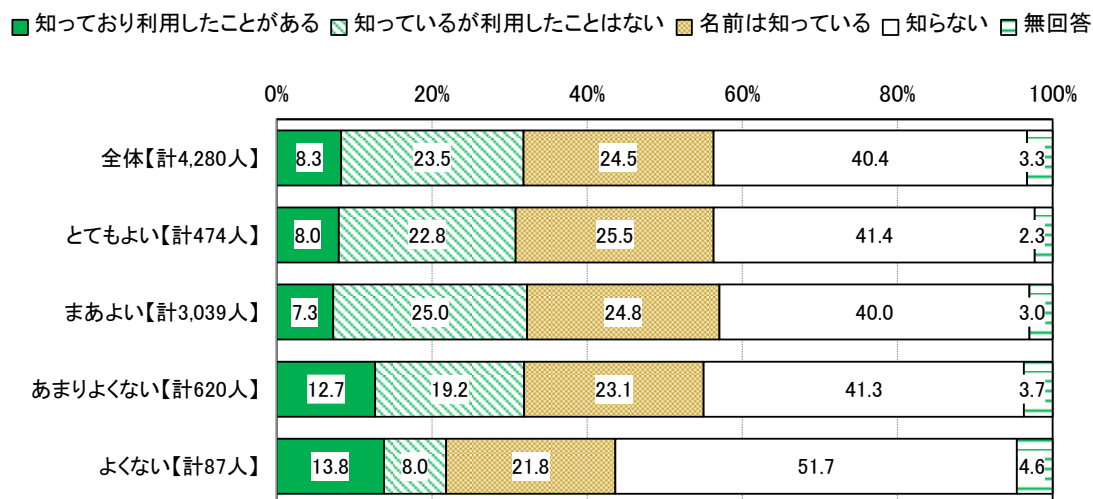


4 地域包括支援センター(おとしより相談センター)についての分析

(1)現在の健康状態別の分析

ア.「地域包括支援センター」の認知度

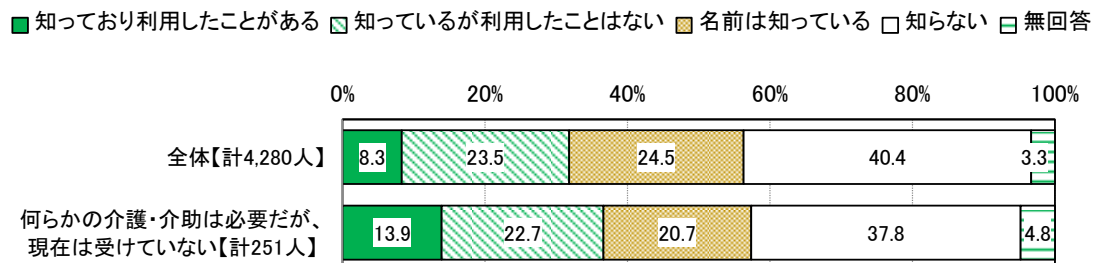
現在の健康状態別に「地域包括支援センター」の認知度をみると、健康状態がよくない人ほど、「知っており利用したことがある」の割合が高くなっています。



(2)介護・介助の必要性において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」という方の分析

ア.「地域包括支援センター」の認知度

介護・介助の必要性において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」という方の「地域包括支援センター」の認知度をみると、「知っており利用したことがある」の割合は全体の結果に比べて高く、「知らない」の割合は全体の結果に比べて低くなっています。

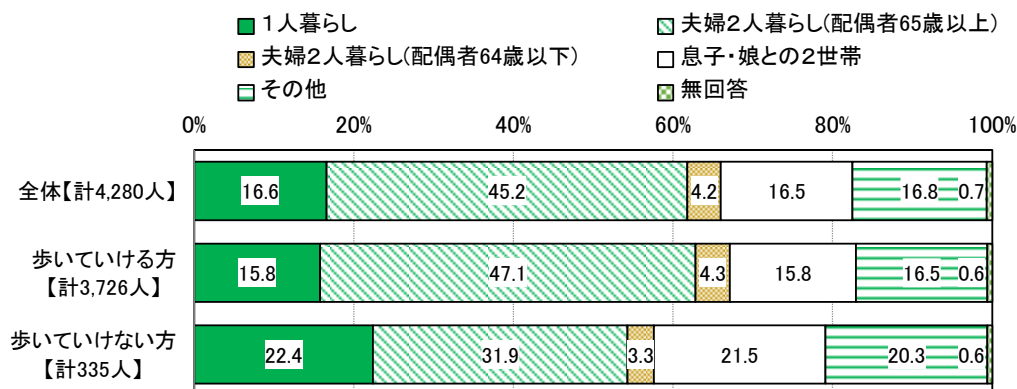


5 最寄りのバス停までの移動の可否についての分析

(1)最寄りのバス停までの移動の可否別の分析

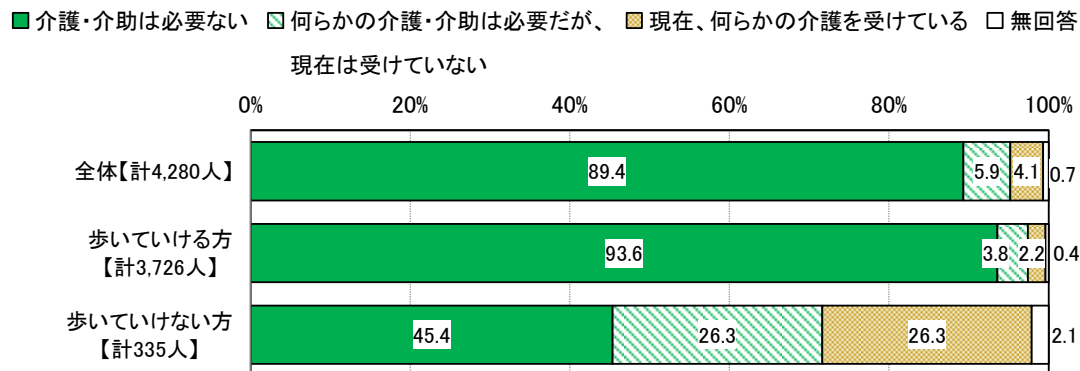
ア. 家族構成

最寄りのバス停までの移動の可否別に家族構成をみると、歩いていけない人ほど、「1人暮らし」の割合が高くなっています。



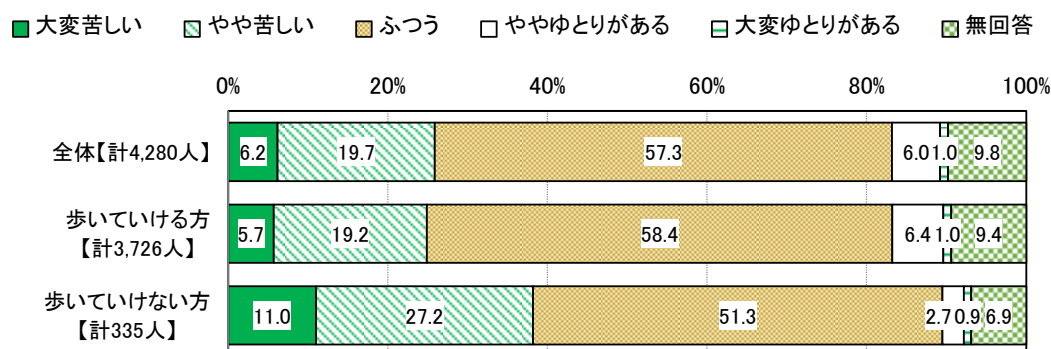
イ. 普段の生活での介護・介助の必要性

最寄りのバス停までの移動の可否別に普段の生活での介護・介助の必要性をみると、歩いていけない人ほど、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」の割合が高くなっています。



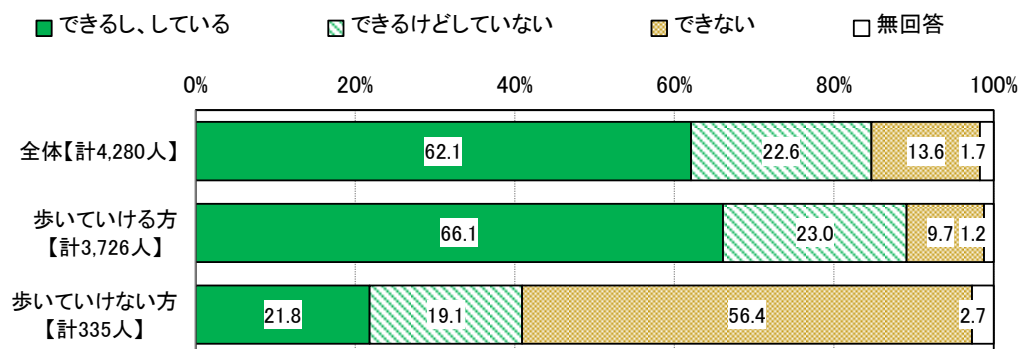
ウ. 経済状況

最寄りのバス停までの移動の可否別に経済状況をみると、歩いていけない人ほど、「大変苦しい」、「やや苦しい」の割合が高くなっています。



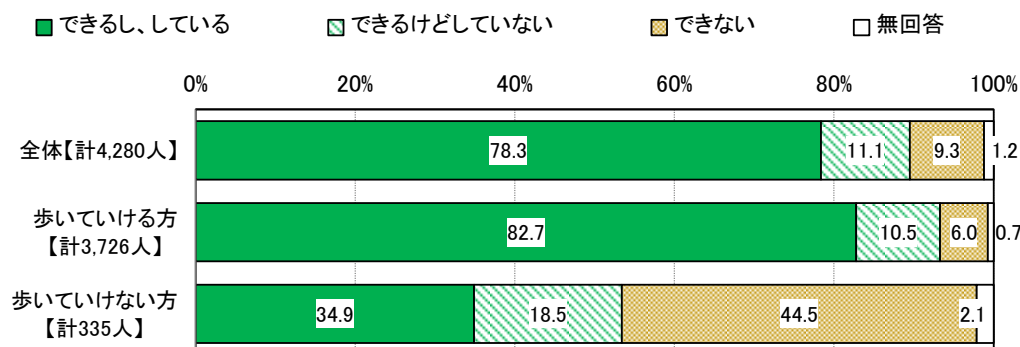
エ. 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることの可否

最寄りのバス停までの移動の可否別に階段を手すりや壁をつたわずに昇ることの可否をみると、歩いていけない人ほど、「できない」の割合が高くなっています。



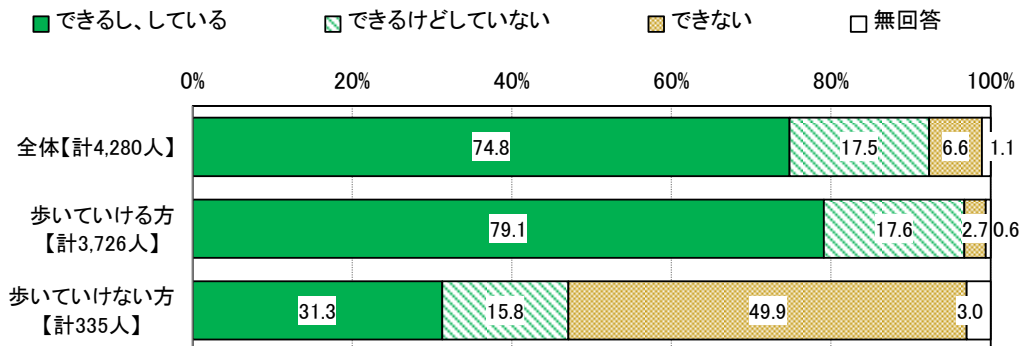
オ. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることの可否

最寄りのバス停までの移動の可否別に椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることの可否をみると、歩いていけない人ほど、「できない」の割合が高くなっています。



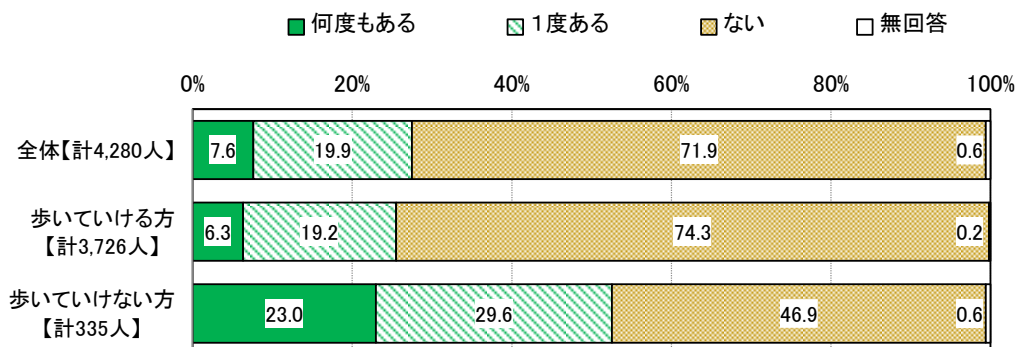
カ. 15分位続けて歩いていますか

最寄りのバス停までの移動の可否別に15分位続けて歩くことの可否をみると、歩いていけない人ほど、「できない」の割合が高くなっています。



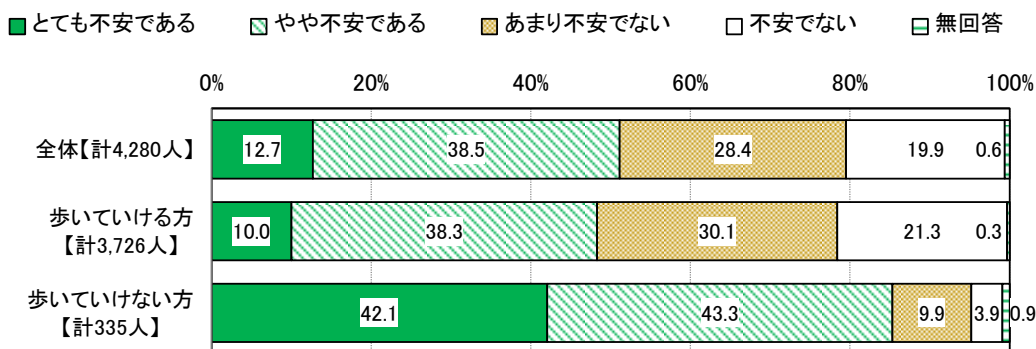
キ. 過去1年間に転んだ経験

最寄りのバス停までの移動の可否別に過去1年間に転んだ経験をみると、歩いていけない人ほど、「何度もある」、「1度ある」の割合が高くなっています。



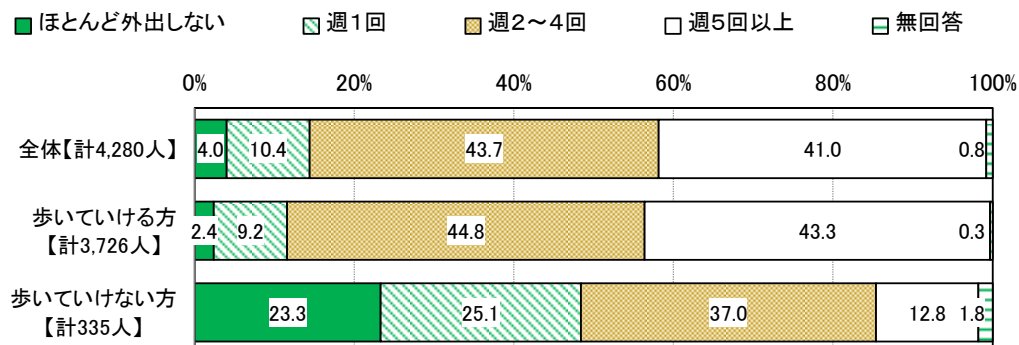
ク. 転倒に対する不安

最寄りのバス停までの移動の可否別に転倒に対する不安をみると、歩いていけない人ほど、「とても不安である」、「やや不安である」の割合が高くなっています。



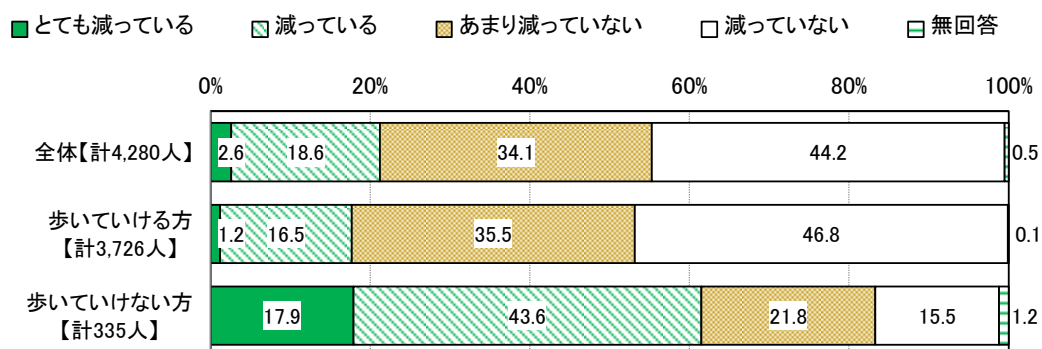
ケ. 外出頻度

最寄りのバス停までの移動の可否別に外出頻度をみると、歩いていけない人ほど、「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



コ. 外出回数

最寄りのバス停までの移動の可否別に外出回数をみると、歩いていけない人ほど、「とても減っている」、「減っている」の割合が高くなっています。



サ. 外出が減った理由

最寄りのバス停までの移動の可否別に外出が減った理由をみると、歩いていけない人ほど、「病気」、「足腰などの痛み」、「トイレの心配(失禁など)」、「耳の障害(聞こえの問題など)」、「交通手段がない」の割合が高くなっています。

	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害
全体【計4,280人】	13.4	2.5	45.5	12.5	6.4	4.9
歩いていける方【計3,726人】	11.0	1.5	39.3	10.2	5.3	4.4
歩いていけない方【計335人】	20.4	5.8	67.5	19.9	10.7	7.3

	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体【計4,280人】	22.3	8.2	17.7	15.9	3.5
歩いていける方【計3,726人】	24.0	8.8	13.7	19.2	4.1
歩いていけない方【計335人】	16.5	5.8	30.6	7.8	0.5

シ. 外出手段

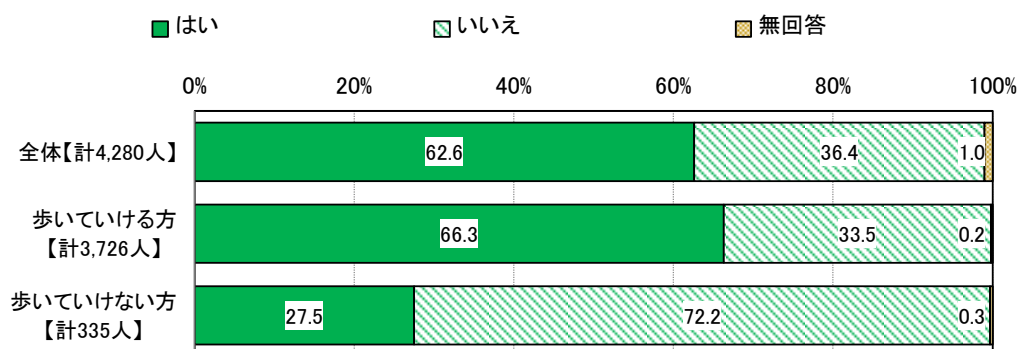
最寄りのバス停までの移動の可否別に外出手段をみると、歩いていけない人ほど、「自動車(人に乗せてもらう)」、「タクシー」の割合が高くなっています。

	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス・あおぞらバス
全体【計4,280人】	42.3	15.1	1.6	72.3	26.0	10.0	8.1
歩いていける方【計3,726人】	45.8	16.2	1.8	76.0	23.4	11.2	9.2
歩いていけない方【計335人】	17.3	6.6	0.0	31.9	59.7	2.1	0.9

	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体【計4,280人】	0.5	0.1	0.0	1.0	6.2	0.4	0.7
歩いていける方【計3,726人】	0.4	0.0	0.0	0.4	5.6	0.3	0.1
歩いていけない方【計335人】	1.8	1.2	0.0	7.5	15.8	1.2	0.3

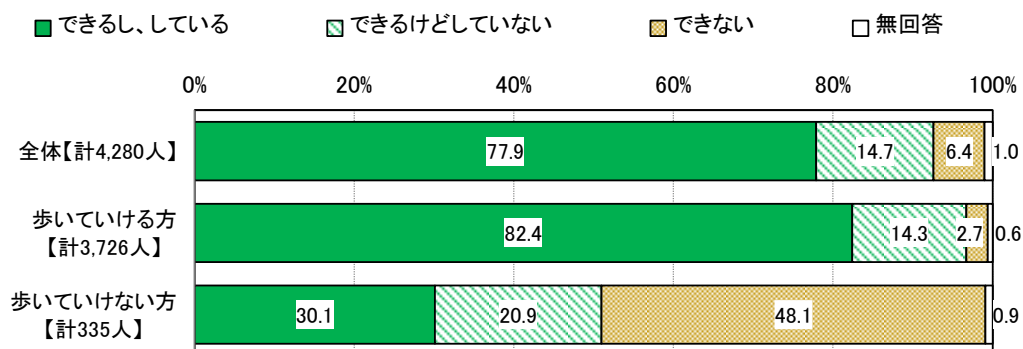
ス. 週に1回以上のウォーキング等の運動の有無

最寄りのバス停までの移動の可否別に週に1回以上のウォーキング等の運動の有無をみると、歩いていけない人ほど、「いいえ」の割合が高くなっています。



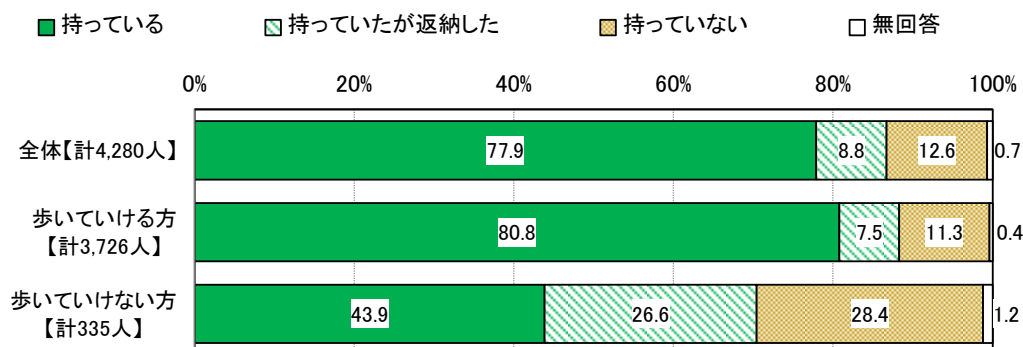
セ. バスや電車を使って1人で外出の可否

最寄りのバス停までの移動の可否別にバスや電車を使って1人で外出の可否をみると、歩いていけない人ほど、「できない」の割合が高くなっています。



ソ. 自動車運転免許(バイクを含む)の有無

最寄りのバス停までの移動の可否別に自動車運転免許(バイクを含む)の有無をみると、歩いていけない人ほど、「持っていたが返納した」、「持っていない」の割合が高くなっています。



タ. 外出において困っていること

最寄りのバス停までの移動の可否別に外出において困っていることをみると、歩いていけない人ほど、「買物」、「通院」の割合が高くなっています。

	買物	通院	趣味や娯楽	通勤	作業（農作業など）	家族や友人との交流	その他	困っていることはない	無回答
全体【計4,280人】	40.2	40.8	11.6	0.7	2.1	12.1	1.9	34.9	12.2
歩いていける方【計3,726人】	38.5	38.8	12.6	0.9	1.7	12.4	2.0	35.7	12.7
歩いていけない方【計335人】	48.4	51.1	9.2	0.0	3.3	11.4	1.6	32.6	7.6

チ. 現在治療中、または後遺症のある病気の有無

最寄りのバス停までの移動の可否別に現在治療中、または後遺症のある病気の有無をみると、歩いていけない人ほど、「高血圧」、「心臓病」、「糖尿病」、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「外傷（転倒・骨折等）」などの割合が高くなっています。

	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全体【計4,280人】	13.3	47.2	3.0	9.6	15.0	18.2	6.4	4.8	9.9	8.8
歩いていける方【計3,726人】	13.9	46.8	2.8	8.9	14.5	19.6	6.0	4.6	10.0	8.3
歩いていけない方【計335人】	6.6	54.9	6.0	18.8	19.4	9.9	11.3	8.4	10.4	17.6

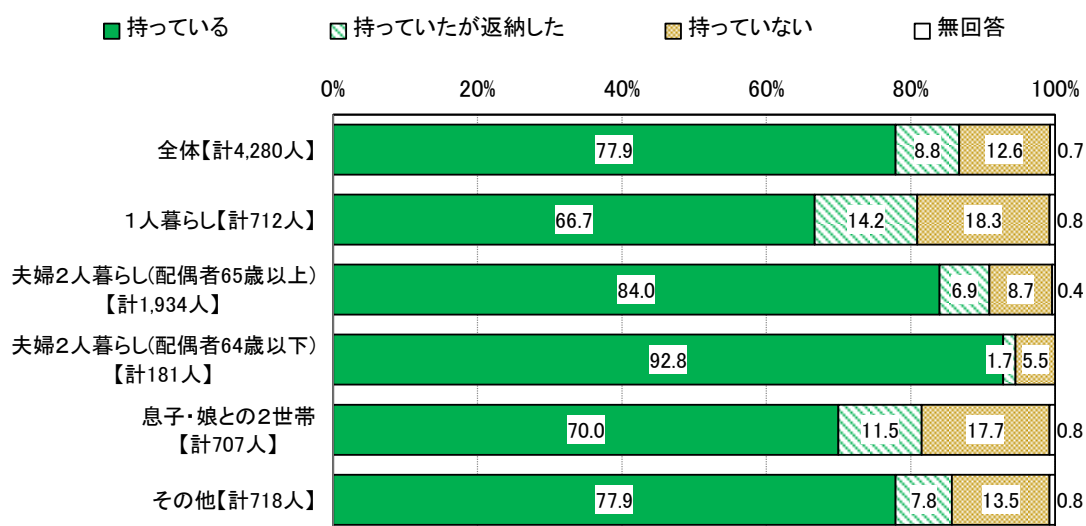
	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体【計4,280人】	2.1	4.8	1.5	0.6	0.5	0.4	19.2	5.4	6.3	4.4
歩いていける方【計3,726人】	1.7	4.7	1.3	0.6	0.3	0.3	19.5	5.2	6.3	4.2
歩いていけない方【計335人】	7.2	6.3	3.6	1.2	3.3	2.4	20.0	10.1	7.8	3.6

6 家族構成(1人暮らし)についての分析

(1)家族構成の分析

ア. 自動車運転免許(バイクを含む)の有無

家族構成別に自動車運転免許(バイクを含む)の有無をみると、「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」では、「持っていたが返納した」、「持っていない」の割合が高くなっています。



イ. 外出において困っていること

家族構成別に外出において困っていることをみると、「1人暮らし」では、「買物」、「通院」、「家族や友人との交流」の割合が高くなっています。

	買物	通院	趣味や娯楽	通勤	作業(農作業など)	家族や友人との交流	その他	困っていることはない	無回答
全体【計4,280人】	40.2	40.8	11.6	0.7	2.1	12.1	1.9	34.9	12.2
1人暮らし【計712人】	46.3	46.3	10.0	1.3	1.7	17.3	1.7	29.0	10.0
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)【計1,934人】	41.7	41.7	15.9	0.7	2.3	10.6	3.0	34.1	10.6
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)【計181人】	46.2	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	15.4
息子・娘との2世帯【計707人】	36.9	37.4	11.2	0.0	1.5	11.2	0.5	38.3	16.0
その他【計718人】	32.0	36.6	6.5	0.7	3.3	9.2	2.0	41.2	13.1

ウ. 買物で困っていること

家族構成別に買物で困っていることをみると、「1人暮らし」では、「購入した商品を持って帰るのが難しい」、「買物を手伝ってくれる家族等がない」、「買物支援サービスを利用したいが、どうしたらいいかわからない」の割合が高くなっています。

	車や自転車の運転に不安がある	徒歩圏内にお店がない	購入した商品を持って帰るのが難しい	家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	買物を手伝ってくれる家族等がない	買物支援サービスを利用したいが、どうしたらいいかわからない	その他	困っていることはない	無回答
全体【計4,280人】	4.8	11.0	5.8	10.2	2.0	1.2	2.3	72.0	4.2
1人暮らし【計712人】	5.6	12.5	10.1	12.2	6.9	2.4	2.7	62.8	6.2
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)【計1,934人】	4.6	10.8	4.9	8.6	1.2	1.0	2.1	75.2	3.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)【計181人】	3.9	7.2	1.1	6.1	0.6	0.6	0.6	82.9	2.2
息子・娘との2世帯【計707人】	6.5	10.3	5.7	13.3	0.7	0.6	2.4	68.0	4.8
その他【計718人】	3.2	11.6	5.2	10.2	0.6	1.3	2.8	74.8	3.2

エ. 外出手段(自動車運転免許(バイクを含む)の有無別)

家族構成別に外出手段をみると、1人暮らしで自動車運転免許を「持っていたが返納した」、「持っていない」人ほど、「徒歩」、「自転車」、「自動車(人に乗せてもらう)」、「路線バス・あおぞらバス」、「歩行器・シルバーカー」、「タクシー」の割合が高くなっています。

	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス・あおぞらバス
全体【計4,280人】	42.3	15.1	1.6	72.3	26.0	10.0	8.1
1人暮らし全体【計712人】	43.0	15.9	1.1	62.2	20.9	12.2	15.6
1人暮らし・免許を持っている方【計475人】	37.9	10.9	1.7	92.4	6.1	10.1	7.6
1人暮らし・免許を返納・持っていない方【計231人】	53.2	26.0	0.0	0.9	51.5	16.5	32.5

	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体【計4,280人】	0.5	0.1	0.0	1.0	6.2	0.4	0.7
1人暮らし全体【計712人】	0.8	0.3	0.0	3.2	12.2	0.8	0.4
1人暮らし・免許を持っている方【計475人】	0.2	0.2	0.0	0.0	4.6	0.0	0.4
1人暮らし・免許を返納・持っていない方【計231人】	2.2	0.4	0.0	10.0	28.1	2.6	0.0

オ. 外出手段(最寄りのバス停までの移動の可否別)

家族構成別に外出手段をみると、1人暮らしで最寄りのバス停まで歩いていけない人ほど、「自動車(人に乗せてもらう)」、「歩行器・シルバーカー」、「タクシー」の割合が高くなっています。

	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス・あおぞらバス
全体【計4,280人】	42.3	15.1	1.6	72.3	26.0	10.0	8.1
1人暮らし全体【計712人】	43.0	15.9	1.1	62.2	20.9	12.2	15.6
1人暮らし・バス停まで歩ける方【計173人】	63.6	30.6	0.0	1.2	43.9	20.8	42.8
1人暮らし・バス停まで歩けない方【計50人】	22.0	10.0	0.0	0.0	74.0	0.0	0.0

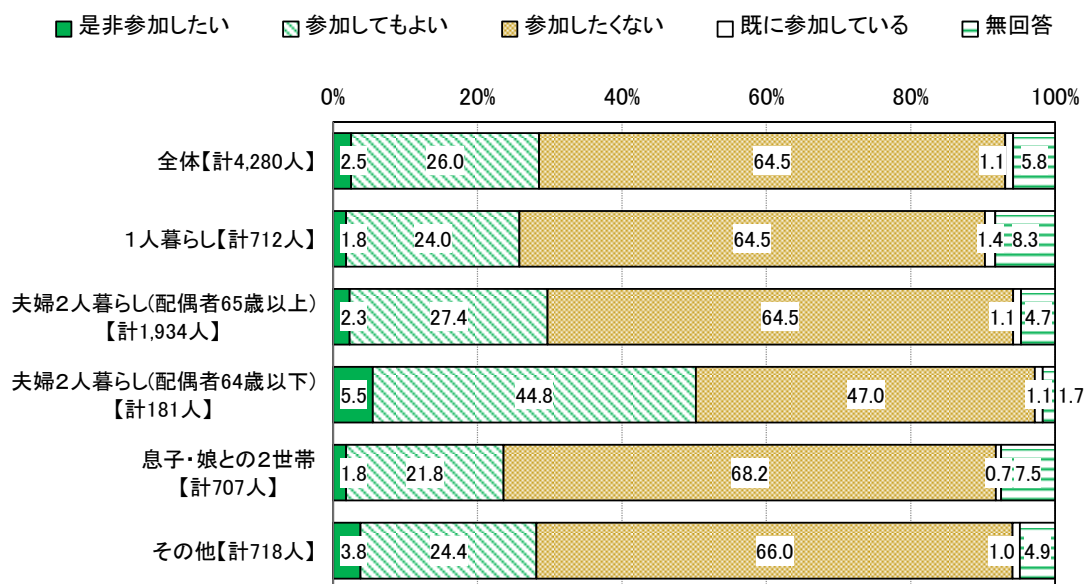
	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体【計4,280人】	0.5	0.1	0.0	1.0	6.2	0.4	0.7
1人暮らし全体【計712人】	0.8	0.3	0.0	3.2	12.2	0.8	0.4
1人暮らし・バス停まで歩ける方【計173人】	1.7	0.0	0.0	5.2	27.2	2.3	0.0
1人暮らし・バス停まで歩けない方【計50人】	4.0	2.0	0.0	26.0	30.0	4.0	0.0

7 有償ボランティアについての分析

(1) 家族構成の分析

ア. 家族構成

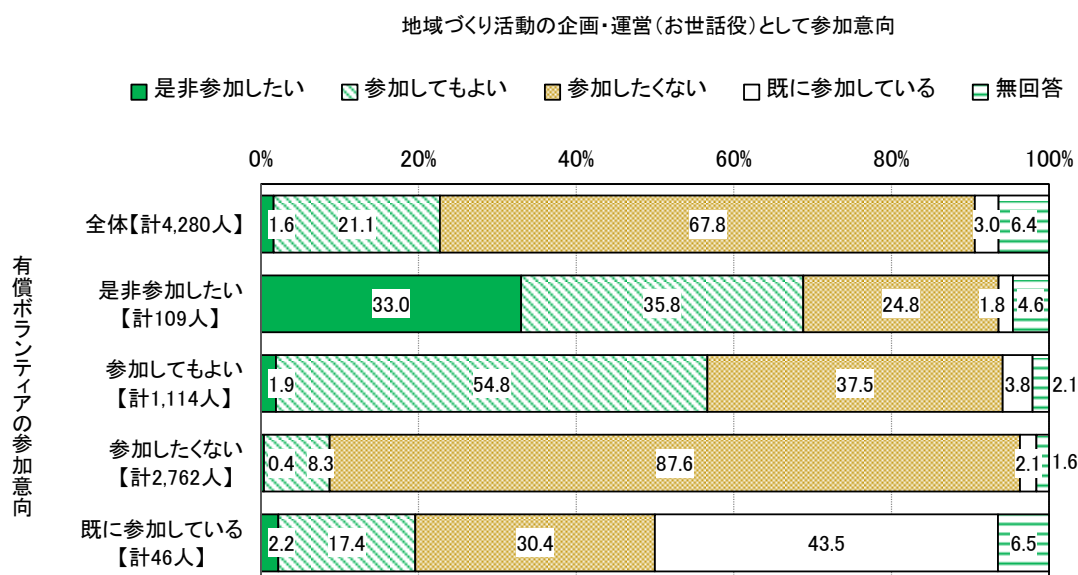
家族構成別に有償ボランティアの参加意向をみると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で、「是非参加したい」、「参加してもよい」の割合が高くなっています。



(2) 地域づくり活動の企画・運営(お世話役)として参加意向の分析

ア. 地域づくり活動の企画・運営(お世話役)として参加意向

有償ボランティアの参加意向別に地域づくり活動の企画・運営(お世話役)としての参加意向をみると、有償ボランティアで「ぜひ参加したい」、「参加してもよい」と回答した人ほど、地域づくり活動の企画・運営(お世話役)として「是非参加したい」の回答割合が高くなっています。



第7章 調査票

(宛名ラベル)

第 10 期

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【調査票】

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
令和8年1月9日(金)までに投函してください。

ご協力をお願い

日頃より市政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では、令和9年度から令和11年度までを計画期間とする「ひたちなか市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（第10期）」の策定に向けて取り組んでおります。策定に当たっては国の意向に基づき、市内に居住する65歳以上の方（要介護1～5の方を除く）約6,000人を対象に、この「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施することといたしました。

本調査につきましては、計画策定のための基礎資料とさせていただくほか、効果的な介護予防施策の立案と効果評価等に活用させていただきます。

つきましては、次ページの「記入に際してのお願い」をご一読のうえ、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、収集した個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律等関係法令に則り適正な取り扱いを行います。調査の趣旨を十分ご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

ひたちなか市 保健福祉部 高齢福祉課

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和7年10月1日現在、65歳以上の方（要介護1～5の方を除く）の中から無作為に抽出した方です。
2. 回答にあたっては、あて名の本人についてお答えいただきますが、ご家族の方等が本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されたりしてもかまいません。
3. 回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。
4. 記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに令和8年1月9日（金）までにポストに投函してください。
5. この調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

問合せ	ひたちなか市高齢福祉課
電話	029-273-0111 内線7231~7234

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市による高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市で適切に管理いたします。
- ・ただし、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

はじめに、記入した日、記入者からお答えください。

記 入 日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄）	
3. その他	
※ご本人様のお答えを代筆する場合は「1. あて名のご本人が記入」に○をつけてください。	

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】		
(3) 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)		
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()	
(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問2	からだを動かすことについて
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(3) 15分位続けて歩いていますか	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	
1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか	
1. とても不安である 2. やや不安である	
3. あまり不安でない 4. 不安でない	

(6) 週に1回以上は外出していますか	
1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2~4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	
1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない
【(7)で「1. とても減っている」、「2. 減っている」の方のみ】	
(8) 外出の回数が減っている理由は、次のどれですか (いくつでも)	
1. 病気	2. 障害 <small>しょうがい のうそっちゅう こういしょう</small> (脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ()
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)	
1. 徒歩	2. 自転車
	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)
	6. 電車
7. 路線バス・あおぞらバス	8. 病院や施設のバス
	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー	13. その他 ()
(10) あおぞらバスなどの最寄りのバス停まで1人で歩いて行けますか	
1. はい	2. いいえ
(11) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	
1. はい	2. いいえ

問3 食べることについて		
(1) 身長・体重 ※右詰めで記入してください。 例：体重 <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="1"/> kg		
身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg	
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか		
1. はい	2. いいえ	
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか		
1. はい	2. いいえ	
(4) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)		
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用		
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし		
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用		
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		
(5) 1日3食、欠食せずにきちんと食べていますか		
1. はい	2. いいえ	
(6) 6か月間で2～3kg以上の体重の減少はありましたか		
1. はい	2. いいえ	
(7) どなたかと食事をとにする機会はありますか		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問4	毎日の生活について		
(1) 物忘れが多いと感じますか			
1. はい		2. いいえ	
(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか			
1. はい		2. いいえ	
(3) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)			
1. できるし、している		2. できるけどしていない	3. できない
(4) 自動車運転免許(バイクを含む)を持っていますか			
1. 持っている	2. 持っていたが返納した		3. 持っていない
【(4)において「2. 持っていたが返納した」、「3. 持っていない」の方のみ】			
(5) 外出において困っていることはありますか(いくつでも)			
1. 買物	2. 通院	3. 趣味や娯楽	
4. 通勤	5. 作業(農作業など)	6. 家族や友人との交流	
7. その他()		8. 困っていることはない	
(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか			
1. できるし、している		2. できるけどしていない	3. できない

(7) 買物で困っていることはありますか (いくつでも)		
1. 車や自転車の運転に不安がある	2. 徒歩圏内にお店がない	
3. 購入した商品を持って帰るのが難しい	4. 家族等の協力がないと行きたいときに買物に行けない	
5. 買物を手伝ってくれる家族等がない	6. 買物支援サービスを利用したいが、どうしたらいいかわからない	
7. その他 ()	8. 困っていることはない	
(8) 現在利用している買物支援サービスはありますか (いくつでも)		
1. 宅配サービス(※1)	2. 弁当配達サービス	3. インターネットショッピング
4. 移動販売 (※2)	5. 買物代行サービス	6. 介護サービスのヘルパー
7. お店への送迎サービス	8. 利用していない	9. その他 ()
※1 注文をした商品が自宅に届くもの		
※2 食品などをのせて移動する車両にて、商品を目で見ながら購入できるもの		
(9) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(10) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(11) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか		
1. はい	2. いいえ	

<p>(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>参加者として</u>参加してみたいと思いますか</p>	
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している
<p>(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>企画・運営(お世話役)</u>として参加してみたいと思いますか</p>	
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している
<p>(5) 有償ボランティア(対価として物やお金がもらえるボランティア)があったら、参加してみたいと思いますか</p>	
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

問6 就労について

<p>(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)</p>		
1. 職に就いたことがない	2. 引退した	3. 常勤(フルタイム)
4. 非常勤(パート・アルバイト等)	5. 自営業	6. 求職中
7. その他 ()		

問7	たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします		
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚 ・親・孫	5. 近隣住民	6. 友人	
7. その他（	）	8. そのような人はいない	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚 ・親・孫	5. 近隣住民	6. 友人	
7. その他（	）	8. そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚 ・親・孫	5. 近隣住民	6. 友人	
7. その他（	）	8. そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚 ・親・孫	5. 近隣住民	6. 友人	
7. その他（	）	8. そのような人はいない	

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は誰ですか
(いくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 市役所 | 6. 地域包括支援センター
(おとしより相談センター) |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい 2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中 (<small>のうしゅっけつ・のうこうそく</small> 脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. <small>とうようびょう</small> 糖尿病	6. <small>こうしけっしょう</small> 高脂血症 (<small>しじついじょう</small> 脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)		8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. <small>じんぞう</small> 腎臓・ <small>ぜんりつせん</small> 前立腺の病気	10. <small>きんこっかく</small> 筋骨格の病気 (<small>こつそ</small> 骨粗しょう症、 <small>しょう</small> 関節症等)	
11. <small>がいしょう</small> 外傷 (<small>てんとう</small> 転倒・ <small>こっせつ</small> 骨折等)	12. がん (悪性新生物)	
13. 血液・ <small>めんえき</small> 免疫の病気	14. うつ病	
15. <small>にんちしょう</small> 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病	
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ()

問9	認知症にかかる相談窓口の把握について
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか	
1. はい	2. いいえ
【(2)において「1. はい」の方のみ】	
(3) 認知症の相談窓口として、知っている機関はどこですか (いくつでも)	
1. 市役所	2. 地域包括支援センター (おとしより相談センター)
3. 認知症地域支援推進員	4. 認知症の専門病院
5. 家族の会・民間研究機関	6. その他 ()

(4) 家族に認知症の症状があり、徘徊など生活をする上で困った場合に、友人や近所の人に相談したり、協力を求めたりすることができますか	
1. はい	2. いいえ
(5) 成年後見制度(※4)について知っていますか	
1. はい	2. いいえ
<p>※4 認知症、知的障害、精神障害などの理由により、適切に判断する能力が十分でない方々を保護・支援するため、法的に権限を与えられた後見人等が生活状況や身体状況などを考慮しながら契約の締結や、財産の管理を行う制度</p>	
(6) 成年後見制度の相談窓口として、知っている機関はどこですか (いくつでも)	
1. 水戸家庭裁判所	2. 専門職 (弁護士・司法書士など)
3. 市役所	4. 中核機関 (ひたちなか市社会福祉協議会)
5. 権利擁護サポートセンター (水戸市社会福祉協議会)	6. 地域包括支援センター (おとしより相談センター)
7. その他 ()	8. 知っている機関はない

問10 在宅での医療や介護について	
(1) 在宅での医療や介護について、知っていますか	
1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. 言葉だけ知っている	4. 知らない
(2) 最期を迎える場として、どこが良いと考えますか	
1. 自宅	2. 医療機関（病院など）
3. 介護施設（特別養護老人ホームなど）	4. その他（ ）
【(2)において「1. 自宅」の方のみ】	
(3)－① 選んだ理由は次のどれですか（いくつでも）	
1. 住み慣れた場所で最期を迎えたい	
2. 最期まで自分らしく過ごしたい	
3. 家族などと過ごす時間を多くしたい	
4. 家族などに看取られたい	
5. 家族などが自宅で最期を迎えていた	
6. ヘルパーなどの介護サービスがある	
7. 医師や看護師が訪問してくれる	
8. 病状が急に悪くなくても入院できる	
9. 医療機関や介護施設に入ると、経済的に負担が大きい	
10. その他（ ）	

【(2) において「1. 自宅」以外の方のみ】

(3)－② 選んだ理由は次のどれですか (いくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 介護してくれる家族などがいない |
| 2. 家族などに介護負担をかけたくない |
| 3. 医師や看護師が訪問してくれるか不安がある |
| 4. 病状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安がある |
| 5. 病状が急に悪くなったときに入院できるのか不安がある |
| 6. 24時間相談にのってくれる所がない |
| 7. 居住環境が整っていない |
| 8. 自宅で医療や介護を受けるのは、経済的負担が大きい |
| 9. その他 () |

(4) もしものとき (自身の最期が近い場合など) のために、受けたい医療や介護について前もって繰り返し話し合う取り組み (人生会議) を知っていますか

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

(5) もしものときの受けたい医療や介護について、家族等とどれくらい話し合っていますか

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 詳しく話し合っている | 2. 一応話し合ったことがある |
| 3. 全く話し合ったことがない | |

【(5) において「3. 全く話し合ったことがない」の方のみ】	
(6) 話し合ったことがない理由は、次のどれですか (いくつでも)	
1. 話し合いたくない	2. 話し合う必要性を感じない
3. 話し合うきっかけがなかった	4. 知識がないため、何を話し合っ ていいかわからない
5. その他 ()	
(7) もしものときの受けたい医療や介護について考えるために、知りたい情報は 次のどれですか (いくつでも)	
1. 心身の状態の変化	2. 受けられる医療や介護の内容
3. 医療機関や介護施設の情報	4. 医療や介護の体験談
5. 自分の意思の伝え方や残し方	6. 相談・サポート体制
7. その他 ()	8. 知りたくない

問 1 1	地域包括支援センター (おとしより相談センター) について
(1) 市内にある高齢者の相談窓口「地域包括支援センター (おとしより相談センタ ー)」を知っていますか	
1. 知っており利用したことがある	2. 知っているが利用したことはない
3. 名前は知っている	4. 知らない

◆◆◆以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました◆◆◆

ひたちなか市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

発行 ひたちなか市 保健福祉部 高齢福祉課
発行日 令和8年3月